滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）

図面リスト

意匠図						構造図		
整理番号	図面番号	図面名称	整理番号	図面番号	図面名称	整理番号	図面番号	図面名称
69 － 1	Ｌ － 1	表紙、図面リスト	69 － 28	Ａ － 21	改修前・改修後　5階天井伏図	69 － 54	Ｓ － 1	構造改修特記仕様書(1)
69 － 2	特Ａ－ 1	改修工事特記仕様書(1)	69 － 29	Ａ － 22	改修前・改修後　R階天井伏図 改修後　R階スラブ裏断熱材範囲図	69 － 55	Ｓ － 2	構造改修特記仕様書(2)
69 － 3	特Ａ－ 2	改修工事特記仕様書(2)	69 － 30	Ａ － 23	撤去建具表(1)	69 － 56	Ｓ － 3	躯体改修標準図
69 － 4	特Ａ－ 3	改修工事特記仕様書(3)	69 － 31	Ａ － 24	撤去建具表(2)	69 － 57	Ｓ － 4	改修前・改修後　1階伏図
69 － 5	特Ａ－ 4	改修工事特記仕様書(4)	69 － 32	Ａ － 25	建具共通事項	69 － 58	Ｓ － 5	改修前・改修後　2階伏図
69 － 6	特Ａ－ 5	改修工事特記仕様書(5)	69 － 33	Ａ － 26	新設建具表	69 － 59	Ｓ － 6	改修前・改修後　3階伏図
69 － 7	特Ａ－ 6	改修工事特記仕様書(6)	69 － 34	Ａ － 27	撤去詳細図	69 － 60	Ｓ － 7	改修前・改修後　4階伏図
69 － 8	Ａ － 1	附近見取り図・全体配置図	69 － 35	Ａ － 28	部分詳細図(1)	69 － 61	Ｓ － 8	改修前・改修後　5階伏図
69 － 9	Ａ － 2	改修前・改修後　外部仕上表・凡例・特記事項	69 － 36	Ａ － 29	部分詳細図(2)	69 － 62	Ｓ － 9	Ｅ通り軸組図（現況・撤去図）
69 － 10	Ａ － 3	改修前・改修後　仕上表(1)	69 － 37	Ａ － 30	部分詳細図(3)	69 － 63	Ｓ － 10	Ｅ通り軸組図（改修図）
69 － 11	Ａ － 4	改修前・改修後　仕上表(2)	69 － 38	Ａ － 31	家具詳細図(1)	69 － 64	Ｓ － 11	13，14，15通り軸組図（現況・撤去図）
69 － 12	Ａ － 5	改修前・改修後　仕上表(3)	69 － 39	Ａ － 32	家具詳細図(2)	69 － 65	Ｓ － 12	13，14，15通り軸組図（改修図）
69 － 13	Ａ － 6	改修前・改修後　1階平面図	69 － 40	Ａ － 33	家具詳細図(3)	69 － 66	Ｓ － 13	増打ち壁配筋要領図(1)
69 － 14	Ａ － 7	改修前・改修後　2階平面図	69 － 41	Ａ － 34	家具詳細図(4)	69 － 67	Ｓ － 14	増打ち壁配筋要領図(2)
69 － 15	Ａ － 8	改修前・改修後　3階平面図	69 － 42	Ａ － 35	家具詳細図(5)	69 － 68	Ｓ － 15	増打ち壁配筋要領図(3)
69 － 16	Ａ － 9	改修前・改修後　4階平面図	69 － 43	Ａ － 36	家具詳細図(6)	69 － 69	Ｓ － 16	R階改修伏図
69 － 17	Ａ － 10	改修前・改修後　5階平面図	69 － 44	Ａ － 37	家具詳細図(7)			
69 － 18	Ａ － 11	改修前・改修後　R階平面図	69 － 45	Ａ － 38	家具詳細図(8)			
69 － 19	Ａ － 12	改修前・改修後　立面図(1)	69 － 46	Ａ － 39	家具詳細図(9)			
69 － 20	Ａ － 13	改修前・改修後　立面図(2)	69 － 47	Ａ － 40	家具詳細図(10)			
69 － 21	Ａ － 14	改修前　断面詳細図	69 － 48	Ａ － 41	家具詳細図(11)			
69 － 22	Ａ － 15	改修後　断面詳細図	69 － 49	Ａ － 42	黒板・白板・掲示板　詳細図			
69 － 23	Ａ － 16	改修前・改修後　屋外階段詳細図	69 － 50	Ａ － 43	改修前・改修後　外構平面図			
69 － 24	Ａ － 17	改修前・改修後　1階天井伏図	69 － 51	Ａ － 44	外構詳細図(1)			
69 － 25	Ａ － 18	改修前・改修後　2階天井伏図	69 － 52	Ａ － 45	外構詳細図(2)			
69 － 26	Ａ － 19	改修前・改修後　3階天井伏図	69 － 53	仮 － 1	仮設計画図			
69 － 27	Ａ － 20	改修前・改修後　4階天井伏図						

工事名称　滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）			69 枚のうち　1　号	内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町１８３ 一級建築士　神先 鎮司　登録第111118号 一級建築士事務所　京都府知事　登録第22229号	業務名称　滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称　表紙・図面リスト			縮尺　―		図面名称　表紙・図面リスト
課長	副課長	係長	係員	作成　令和4年　7 月	
				総括 / 主任 / 担当	
滋賀大学施設管理課					

縮尺　A1　―　A3　―

図面番号　Ｌ － 1

滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　滋賀県大津市平津2-5-1（滋賀大学石山団地構内）

2．完成期限　令和５年２月２８日（火曜日）

3．建物概要

建 物 名 称		自然科学棟			
工　　種		模様替			
構　　造		ＲＣ			
階　　数		５Ｆ			
建築基準法による	建築面積(㎡)	777.70			
	延べ面積(㎡)	3,850			
消防法施行令別表第一の区分		(7)			
改 修 面 積 （ ㎡ ）		1,920			
備　　考		改修範囲は東側			

4．工事種目（⊙ 印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外 ＼ 工 事 種 目	工事種別：講義棟			屋外
⊙ 2 仮設工事	一式			一式
⊙ 3 防水改修工事	一式			
⊙ 4 外壁改修工事	一式			
⊙ 5 建具改修工事	一式			
⊙ 6 内装改修工事	一式			
⊙ 7 塗装改修工事	一式			
・ 8 耐震改修工事				
⊙ 9 環境配慮改修工事	一式			
・ プール改修工事				
⊙ 舗装工事				一式

5．指定部分　⊙無　・有

6．概成工期　⊙無　・有　令和　年　月　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第１号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 63枚及び本特記仕様書　6　枚によるほか、〇印の付いたものを適用する。

⊙ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
⊙ 建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下「標準詳細図」という。)
⊙ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
⊙ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)
⊙ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和4年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
⊙ 工事写真撮影要領(令和元年7月)
・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　　）図による。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ㊟ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の （　） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の ［　］ 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の ((　)) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の [[　]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）[G] 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

⊙ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙ 風圧力
風速（Vo=　32　m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
⊙ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　25　）

⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

(1.3.3～4)[1.3.3～4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1.　第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2.　１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3.　第１種電気工事士の資格を有する者	⊙
4.　高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
5.　旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
6.　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
7.　２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8.　第２種電気工事士の資格を有する者	⊙
9.　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

⊙ 施工条件

(1.3.5)[1.3.5]

この工事現場では、次の施工条件による。
・下記の日程は工事中止日とする。
令和4年9月3日、9月24日、10月22日、11月19日、11月20日、11月30日、令和5年1月13日、1月14日、1月15日、1月28日、2月4日、2月24日、2月25日、2月26日
・工事範囲の備品の移動を令和4年9月中迄行うため、仮設間仕切りの設置は監督職員と協議の上、施工日を決定すること。
・令和4年9月30日、12月8日及び令和5年2月11日は騒音作業を中止すること。
・令和4年10月1日以降にコンクリートブレーカーを用いたRC壁の解体等、大きな騒音・振動が発生する作業については、原則土日など授業の行われない日に行うこと。
・令和5年1月28日～2月10日は大学内定期試験が実施されるため、騒音作業については監督職員と協議の上、施工日を決定すること。
・別途機械設備工事にて既設屋上設備機器の移設を令和4年12月24日より行うため、屋上設備基礎の新設は令和4年12月23日までに完了すること。
・工事範囲外の居室には稼働中の実験器具が設置されているため、工事範囲外に粉塵が排出されないよう仮設間仕切りの目張りや集塵機の使用等の処置を十分行うこと。
・工事範囲外の部分については工事中も使用するため、動線の確保だけでなく安全面の処置を十分に行うこと。屋外階段は学生・教職員等の避難経路となるため、緊急時には通行可能な状態とすること。
・工事範囲外の場所を使用し仕上材等がキズつく恐れがある場合は、シート等により養生を行い、使用後に清掃を行うこと。
・エレベータは工事中資材搬入時のみ使用可能とする。エレベータを使用する場合は十分に養生を行い、使用後に清掃を行うこと。
・解体工事中は工事範囲外についても、必要に応じて廊下の床の清掃を十分行うこと。
・完成後、利用者にシックハウス等の影響や臭い等による不快感が発生しないよう、工事中も出来る限り換気を行うこと。

⊙ 発生材の処理等

(1.3.11)[1.3.12]

（1）引渡しを要するもの
1）品名
2）引渡し先
3）集積場所
（2）特別管理産業廃棄物
1）品名　ビニル床タイル、石綿板、ヒル石吹付
2）処理方法　[9-1-3]による
（3）現場において再利用を図るもの
1）品名　発生土
2）使用箇所　外構スロープ・階段
（4）再資源化を図るもの
1）品名　コンクリートガラ、発生土、木くず
（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

⊙ 環境への配慮

(1.4.1)[1.4.1]

（1）建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－ｎ－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⊙ 材料の品質等

(1.4.2)[1.4.2]

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（５）に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料

⊙ 技能士

(1.5.2)[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	
鉄筋工事	鉄筋施工
コンクリート工事	左官、型枠施工
鉄骨工事	
ブロック・ＡＬＣパネル工事 ＰＣカーテンウォール工事	
防水工事	防水施工
石工事	
タイル工事	
木工事	
屋根、とい工事	
金属工事	内装仕上げ施工（鋼製下地）
左官工事	左官
建具工事	サッシ施工、ガラス施工
塗装工事	塗装
内装工事	内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）
植栽工事	

・ 施工の検査等

(1.5.5)[1.6.5]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。

⊙ 施工の立会い

(1.5.7)[1.6.7]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
外部足場解体前	

⊙ 化学物質の濃度測定

(1.5.9)[1.6.9]

（1）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100 $\mu g/m^3$ (0.08ppm)以下
トルエン	260 $\mu g/m^3$ (0.07ppm)以下
キシレン	200 $\mu g/m^3$ (0.05ppm)以下
エチルベンゼン	3800 $\mu g/m^3$ (0.88ppm)以下
スチレン	220 $\mu g/m^3$ (0.08ppm)以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
自然科学棟	1	153生化学実験室	1
	2	256理科教育・化学・物理大実験室	1
	3	359食物実習室	1
	4	480地域子育て連携室	1
	5	574地学実験室	1

（3）測定方法は、⊙吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法））により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。

（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

（6）ホルムアルデヒド簡易測定器を用いて、全室（PS,EPSを除く）測定を行う。（全51室）ホルムアルデヒド簡易測定器は、文部科学省「学校環境衛生の基準」スクリーニング法適合品もしくはビル衛生管理用厚生労働大臣認定品を使用する。

⊙ 完成時の提出図書

(1.7.1～3)[1.8.1～3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。

⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
CADデータ（電子納品）　1 部
A3版原図　1 部
A1版原図　部
A3複写図（製本）　1 部
A1複写図（製本）　部
⊙ 施工計画書
A4ファイル綴じ　1 部
⊙ 保全に関する資料
A4ファイル綴じ　1 部
⊙ 施工図（次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。）
鉄筋配筋図（納まり図含む）　一式
コンクリート躯体図　一式
鉄骨製作図　一式
~~カーテンウォール製作図　一式~~
天井伏図　一式
建具施工図　一式
ウッドデッキ施工図　一式
~~機器・配管固定の施工図　一式~~
⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
原本（電子媒体）　1部
アルバム（紙又は電子媒体）　1部
⊙ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
	カラー木製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる 外部：〇箇所 内部：〇箇所	カラー印画紙キャビネ判			
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
外部：10箇所 内部：25箇所 程度	カラー印画紙キャビネ判	1	1280× 960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	Ａ４アルバム綴じ	1		
	電子データ（JPEGフルカラー）			

注：※ のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。
1）　貸与する設計図のＣＡＤデータは以下による。
著作者名：滋賀大学施設管理課
ファイル形式：ＪＷＷ
貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2）　完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のｉ）及びｉｉ）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
ｉ）提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ｉｉ）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3）　電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4）　電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5）　提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ
ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＤＸＦ及びＰＤＦ
上記の他、監督職員が認めた形式

⊙ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

⊙ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
６章および８章による

コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲　※　図示　・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数＿＿枚
フィルムサイズ＿＿＿＿
コンクリート厚さ＿＿ｃｍ
⊙ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 2 号
図面名称	改修工事特記仕様書(1)	縮尺　―
課長／副課長／係長／係員		作成　令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録番号252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括　主任　担当

業務名称：滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称：改修工事特記仕様書(1)
縮尺：A1 ―　A3 ―
図面番号：特Ａ－１

2 仮設工事

⊙ 騒音・粉じん等の対策

[2.1.3]

・防音パネル
⊙防音シート（屋外階段を除く、北面及び南面のみ）
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
　⊙工事に必要な範囲　　・

⊙ 足場等

[2.2.1][表 2.2.1]

⊙「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場　⊙設置する　（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・　　　　）
　　　　　・設置しない
防護シート　⊙設置する　（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・　　　　）
　　　　　・設置しない
内部足場　⊙設置する　（ ※ 脚立、足場板等　・　　　　）　・設置しない
⊙材料、撤去材等の運搬方法
　種別　（ ・ A 種　・ B 種　⊙ C 種　⊙ D 種　⊙ E 種 ）
　　C種：利用可能なエレベーター　（自然科学棟エレベーター）
　　D種：利用可能な階段　　　　　（屋外階段）

⊙ 既存部分の養生

[2.3.1]

１）養生方法等
　⊙既存部分　　養生方法　（・　　※ビニルシート、合板）
　⊙既存家具、既存設備等　　養生方法　（・　　※ビニルシート等）
　・既存ブラインド、カーテン等　養生方法　（・ビニルシート等　・　　）
　　　　　　　　　　　　　　　保管場所　　（・図示　・　　）
　・固定された備品、机、ロッカー等の移動　（・図示　・　　）
２）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り

[2.3.2][表 2.3.1]

１）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・
２）仮設間仕切りの種別と材質等

種　別	仕上げ（厚さmm）	塗　装	充填
⊙ A 種	⊙ せっこうボード 種類(・　　　　) 厚さ(・　mm　※ 9.5mm) ・ 合板 材種(・　　　　) 厚さ(・　mm　※ 9mm) ・	⊙ なし ・ 片面 ・	グラスウール 厚さ 50 (mm)
⊙ B 種			
※ C 種	防炎シート		

３）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材　質	仕上げ	塗　装	設置箇所
⊙アルミ製	・	⊙ なし	⊙ 7 か所
~~※ 木製~~	※ 合板張り程度	⊙ 片面	・ 図示

3 防水改修工事

・ 施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲　・図示　・
調査方法　・図示　・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書　提出部数：・２部　・

⊙ 降雨等に対する養生方法（とい共）

[3.1.3]

・
※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による。

⊙ 改修工法の種類及び工程

[3.1.4]

防水改修工法の種類　　　（⊙ Ｓ４Ｓ　）工法
シーリング改修工法の種類　（⊙ 再充填　）工法

⊙ 既存防水の処理

[3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　　　　）
　　　　　　　　　⊙行わない
既存防水層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　　　　）
　　　　　　　　　⊙行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
　・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
　⊙行わない

⊙ 既存下地の処理

[3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置　・
　　　※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
　・図示
　※監督職員と協議する

⊙ 合成高分子系ルーフィングシート防水

[3.5.2～4] [表3.5.1～3]

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・POS ⊙S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ⊙S-M2 ・S-M3			・ ⊙ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ・ ・ ・ ・	脱気装置 ⊙設ける ・設けない 改修用ドレン ⊙設ける ・設けない
・S3S	・S-F1	・ ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地				・	
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2	・ ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	改修標準仕様書3.5.2(3) (ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ） ・ ・25mm ・50mm	・ ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI-M1 ・SI-M2		改修標準仕様書3.5.2(3) (ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ） ・ ・25mm ・50mm			・ ・	

⊙S-M2の場合で立上りが、接着工法の場合
　立上り面のシート厚さ（・　　　　　※1.5mm）
・SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム（　・設置する　　　・設置しない）

⊙ 塗膜防水

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による		脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
⊙L4X	・X-1 ※X-2 ・	屋外防水ﾓﾙﾀﾙ部	・ ⊙製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による		脱気装置　・設ける　⊙設けない

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　・　　　　　※主材料の製造所の仕様による
　設置数量　・　　個　※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける　・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける　・設けない

⊙ シーリング

[3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
　・シーリング充填工法
　⊙シーリング再充填工法
　・拡幅シーリング再充填工法
　・ブリッジ工法
　　ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
　　エッジング材張り　　　・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
　下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
EXP.J金物、建具廻り、ﾊﾟﾈﾙ廻り	ＭＳ－２
ガラス廻り	ＳＲ－１

シーリング材の目地寸法
　　・
　　・図示
　※改修標準仕様書3.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
シーリング材の接着性試験
　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

⊙ とい

[3.8.2、3]

といその他の材種
　・配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン　・
ルーフドレンの材種その他

種別	材種	張掛け幅
⊙ろく屋根用（・縦型　⊙横型）	⊙改修用塩ビ製	⊙100mm以上　・50mm以上
・バルコニー用	・	・100mm以上　・50mm以上
・バルコニー中継用	・	・100mm以上　・50mm以上

とい受金物
　材種　⊙ステンレス製　　※溶融亜鉛めっきを行ったもの
　形状　・　　　　　　　　※市販品（とい径100以下）
　　　　　　　　　　　　　※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
　取付け間隔
足金物
　材種　・　　　　　　　　※溶融亜鉛めっきを行ったもの
　形状　・　　　　　　　　※市販品
　取付け間隔　・
多雪地域の軒どい取付間隔　・適用する　　・適用しない
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・　　　・図示
鋼管製といの防露巻き　・　※改修標準仕様書表3.8.4による
たてどい受金物の取付け　・　　　※図示
ルーフドレンの取付け
　・
　※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

⊙ アルミニウム製笠木

[3.9.2、3]

種類　⊙オープン形式（⊙押出250形　・押出300形　・押出350形）
　　　⊙板材折曲げ形（・オープン形式　⊙シール形式）
　　　　　　本体幅（　）mm　板厚（・　mm　⊙2.0mm）
表面処理　種別
　　着色　⊙標準色（　　　）・特注色（　　　　）
既存笠木等の撤去　⊙行う（範囲　⊙図示　・　　　　）
　　　　　　　　　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・

笠木の固定金具の工法等
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

4 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲　⊙ 外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　⊙ ２部

・ ポリマーセメントスラリー

[4.2.2]

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢２８日）	曲げ性能（材齢２８日）	吸水性（７２時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
３ 以下	３％以下	０．５ N/mm² 以上	５．０ N/mm² 以上	１５％ 以下	５．０ N/mm² 以上

保水係数 ０．３５～０．５５
粘調係数 ０．５０～１．００

・ 既調合モルタル

[4.2.2]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

⊙ 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整

[4.6.3]

工　法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	⊙ひび割部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
⊙ 高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
・ 塗膜はく離剤工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
・ 水洗い工法	・ 図示 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面	

⊙ 下地調整塗材

[4.6.3]

※ 下地調整塗材
・ ポリマーセメントモルタル

⊙ 仕上塗材仕上げ

[4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
新規仕上塗材の種類

・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	防火材料
・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ゆず肌状	・適用しない	・
・外装薄塗材Ｅ	（・吹付け　・ローラー塗り）		・
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・さざ波状		・
・防水形外装薄塗材Ｅ	・平たん状		・
・外装薄塗材Ｓ	・凹凸状 （・吹付け　・こて塗り） ・着色骨材砂壁状 （・吹付け　・こて塗り）		・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	上塗材	防火材料
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し	・適用する	・適用する	・
・外装厚塗材Ｓｉ	・凸部処理	・適用しない	・適用しない	・
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・凹凸状 （・こて塗り　・ローラー塗り） ・ひき起こし （・こて塗り　・ローラー塗り） ・かき落とし			・

⊙複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状	溶媒	・	・
・可とう形複層塗材ＣＥ	⊙凸部処理	※水系		・
・複層塗材Ｓｉ	・凹凸状	・	※耐候形３種	・
⊙複層塗材Ｅ		樹脂		・
・複層塗材ＲＥ		※アクリル系		・
・防水形複層塗材ＣＥ		・		・
・防水形複層塗材Ｅ		外観		・
・防水形複層塗材ＲＥ		※つやあり ・メタリック ・		・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状	溶媒	・	・
・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状	※水系		・
・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状	・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・メタリック ・	※耐候形３種	・

・ マスチック塗材塗り

[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]

種別　・Ａ種　・Ｂ種

5 建具改修工事

⊙ 改修工法

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙ アルミニウム製建具		⊙	⊙	⊙ 建具表による　・
~~・ 樹脂製建具~~		―	・	・ 建具表による　・
~~・ 鋼製建具~~	・ 外部	・	・	・ 建具表による　・
	・ 内部	・	・	・ 建具表による　・
⊙ 鋼製軽量建具		・	⊙	⊙ 建具表による　・
⊙ ステンレス製建具		・	⊙	⊙ 建具表による　・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

~~・ 防火戸~~

[5.1.4]

・指定する　適用箇所（・建具表による　・　　　）
・指定しない
　ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・連動させる（・建具表による　・　　　）
　・連動させない

~~・ 見本の製作等~~

[5.1.5]

建具見本の製作　　・行う（建具符号：　　　）　　・行わない
建具見本の程度　　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　　　　　　　　　・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　　）　　・行わない

~~・ 防犯建物部品~~

[5.1.7]

・適用する（　　　　）　適用箇所（・建具表による　・　　　）
・適用しない

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 3 号
図面名称	改修工事特記仕様書(2)	縮尺　―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修工事特記仕様書(2)	A1　― A3　―	特Ａ － ２

⊙ アルミニウム製建具

[5.2.2～5][表 5.2.2]

性能値等
- 耐風圧性の等級 （ S－５ ）
- 気密性の等級 （ A－３ ）
- 水密性の等級 （ W－４ ）

外部に面する建具の種別
- ・Ａ種（建具符号：・建具表による ・ ）
- ⊙Ｂ種（建具符号：⊙建具表による ・ ）
- ・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）

枠の見込み寸法 ・建具表による

防音ドア,防音サッシ　　遮音性の等級（・ ）

断熱ドア,断熱サッシ[G]　　断熱性の等級（・ ）

耐震ドア　　面内変形追随性の等級（・ ）

表面処理
- 外部に面する建具 ⊙BB-1 ・BB-2
  - 着色 ⊙標準色（ ）・特注色（ ）
- 屋内の建具 ・BC-1 ・BC-2
  - 着色 ・標準色（ ）・特注色（ ）

ステンレス鋼板 ・　　※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
結露水の処理方法 ・図示 ・
水切り板、ぜん板 ・図示 ・

⊙ 網戸等

[5.2.3、5.3.3]

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
⊙防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

~~・樹脂製建具~~

[5.2.2][5.3.2～5]

性能値等
- 耐風圧性の等級 （ ）
- 気密性の等級 （ ）
- 水密性の等級 （ ）

外部に面する建具の種別
- ・Ａ種（建具符号：・建具表による ・ ）
- ・Ｂ種（建具符号：・建具表による ・ ）
- ・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）

枠の見込み寸法 ・建具表による
防音ドア ・ 防音サッシ　　遮音性の等級（・Ｔ－１ ・Ｔ－２）
断熱ドア ・ 断熱サッシ[G]　　断熱性の等級（・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・Ｈ－６ ）

表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
ガラス ※複層ガラス

~~・鋼製建具~~

[5.2.2][5.4.2～4][表 5.4.2]

性能等級
- 簡易気密型ドアセット　・適用する
  - （建具符号：・建具表による ・ ）
  - ・適用しない
- 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
  - ・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
  - ・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）

防音ドア ・ 防音サッシ　　遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシ[G]　　断熱性の等級（ ）
耐震ドア　　面内変形追随性の等級（ ）

鋼板の厚さ ・ mm
　※改修標準仕様書表5.4.2による

ステンレス鋼板 ・　　※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

⊙ 鋼製軽量建具

[5.2.2][5.5.2～4]

性能等級
- 簡易気密型ドアセット　⊙適用する
  - ・適用しない

防音ドア ・ 防音サッシ　　遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシ[G]　　断熱性の等級（ ）
耐震ドア　　面内変形追随性の等級（ ）

鋼板の種類 ⊙亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ・ mm
　⊙改修標準仕様書表5.5.1による
ステンレス鋼板・　　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
召合せ、縦小口包み板の材質
　※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材

⊙ ステンレス製建具

[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]

性能等級
- 簡易気密型ドアセット　・適用する
  - ⊙適用しない
- 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4
  - ⊙S-5
  - ・S-6

防音ドア ・ 防音サッシ　　遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシ[G]　　断熱性の等級（ ）
耐震ドア　　面内変形追随性の等級（ ）
ステンレス鋼板・　　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⊙ 建具用金物

[5.7.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
　※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。

金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による
　※改修標準仕様書表5.7.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による
　※改修標準仕様書表5.7.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・

⊙錠前類 （シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）

⊙錠前類 （レバーハンドル）

⊙クローザ類

⊙ 鍵

[5.7.4]

マスターキー ・ 製作する ⊙ 製作しない
　⊙ 既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ※ 各室３本１組 ・
鍵箱 ・ 無 ⊙ 有

⊙ 自閉式上吊り引戸装置

[5.9.3]

性能値等 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による

- ・手動開き力 （ ）
- ・手動閉じ力 （ ）
- ・閉じ速度の調整 （ ）
- ・制動区間 （ ）
- ・開閉繰返し （ ）
- ・耐衝撃性 （ ）

⊙ ガラス

[3.7][5.13.2～4]

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
　⊙建具表による

⊙型板ガラスの厚さによる種類
　⊙建具表による

⊙網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
　⊙建具表による

⊙合わせガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
　⊙建具表による
　形状による種類
　⊙平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
　落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
　⊙Ⅰ類 ・Ⅱ-１類 ・Ⅱ-２類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス
　形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称
　⊙建具表による
　破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
　⊙Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
　板ガラスによる種類及び厚さによる種類
　・建具表による
　性能による種類
　・1種 ・2種

⊙複層ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
　⊙建具表による
　断熱性による区分
　・Ｔ１ ⊙Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
　日射取得性、日射遮蔽性による区分
　⊙Ｇ ・Ｓ
　乾燥気体の種類
　⊙空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　・建具表による
　日射熱遮へい性による区分
　・１種 ・２種 ・３種
　耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が２種の場合）
　・Ａ種 ・Ｂ種
　映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による

~~・ガラス用フィルム~~

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルム[G]	・ＳＣ－１	・ＳＣ－２	
・低放射フィルム	・ＬＥ	／	
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＩ－１	・ＧＩ－２	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＤ－１	・ＧＤ－１	
・ガラス貫通防止フィルム	・ＳＦ	／	

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
　※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※ 既存のまま ・ 図示

⊙ 既存床の撤去及び下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※ 仕上材のみ（接着剤とも）
　⊙ 下地モルタルとも（⊙ 図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲　※ 図示 ・ 改修箇所の室内 ・

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　・
　※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
　（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

⊙ 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2～4]

野縁等の種類
　屋外（※ 25形 ・ 19形） 屋内（※ 19形 ・ 25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
　工法
　　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
　　周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
　　野縁の間隔 ・図示 ・

既存の埋込みインサート ・使用する ⊙使用しない
あと施エアンカーの確認試験
　⊙行う（試験箇所数 ・ 箇所
　　※屋内の場合、当該階において3箇所 ）
　（確認強度 ・ N
　　※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度）
　・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法
　・
　※改修標準仕様書6.6.4(8)による
・天井のふところが3.0mを超える場合
　補強方法 ※図示
・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所 ※図示 ・
　補強方法 ※図示 ・

⊙ 軽量鉄骨壁下地

[6.7.3、4] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類

　※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準じる開口部の補強
　・
　※標準仕様書6.7.4(5)による

⊙ ビニル床シート[G]

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート) ・	・無地 ⊙マーブル柄 ・柄物	※ 2.0 ・	

目地処理する場合の工法 ・ ※熱溶接工法

~~・ビニル床タイル[G]~~

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ＴＴ (単層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・	
・ＦＴ (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
※ＫＴ (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・300×300 ・450×450 ・	・ 2.0 ・ 3.0	
・ ＦＯＡ (置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・ ＦＯＢ (薄型置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・	・	

~~・特殊機能床材~~

[6.8.2]

・帯電防止床シート
　種類 （ ）
　性能 （ ）
　厚さ （ mm）
・帯電防止床タイル
　種類 （ ）
　性能 （ ）
　寸法 厚さ （ × mm）
・視覚障害者用の床タイル
　種類 （ ）
　形状 （ ）
　突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による
・耐動荷重性床シート
　種類 （ ）
　厚さ （ mm）
・防滑性床シート
　種類 （ ）
　厚さ （ mm）
・防滑性床タイル
　種類 （ ）
　寸法 厚さ （ × mm）

⊙ ビニル幅木

[6.8.2]

材質の種類 ⊙軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ⊙75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上

~~・ゴム床タイル~~

[6.8.2]

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 （ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）

⊙ カーペット敷き[G]

[6.9.2、3] [表6.9.1]

・ 織じゅうたん

織り方	パイルの形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

　色柄（・ ※模様のない無地）
　パイル糸の種類等
　　※無地の織りじゅうたんの種別（・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種）

　帯電性 ・適用する ・適用しない

織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法 ・グリッパー 工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーペット
　厚さ (mm) （ ）
　帯電性 ・適用する
　　・適用しない
　備考（ ）

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	図示	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平　場 ※市松敷き ・模様流し ・
　階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
　材質（ ）
　種類（ ）
　形状等 ※図示 ・

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 4 号	
図面名称	改修工事特記仕様書(3)	縮尺 —	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	改修工事特記仕様書(3)
縮尺	A1 — / A3 —
図面番号	特Ａ－３

~~・合成樹脂塗床~~

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

[6.13.2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

種類等	厚さ(mm)、規格等
・ 木質系セメント板G	
・ 木毛セメント板 ・ 硬質 ・ 中質 ・ 普通	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 木片セメント板 ・ 硬質 ・ 普通	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・30 ・
・ 繊維板G	
・ ＭＤＦ（普通）	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
・ ハードボード（素地）	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＮ ・研磨板 （・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ ハードボード（化粧）	・内装用ＤＩ ・外装用ＤＥ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボード	A級（天井仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・	・
・ パーティクルボードG	
・ 単板張りパーティクルボード	・ 無研磨板ＶＮ ・ 研磨板ＶＳ ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ 化粧パーティクルボード	・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＶ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＯ ・ 塗装ＤＣ ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・
・	・
・ 吸音材料	
・ ロックウール化粧吸音板	・ フラットタイプ（・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ ） ・ 凹凸タイプ（・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ ）
・ ロックウール吸音ボード（1号）	・ 25 ・
⊙ グラスウール吸音ボード（32K）	・ 25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包） ⊙ 50
・	・
⊙ せっこうボード	
⊙ せっこうボード	※ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・ シージングせっこうボード	12.5（・不燃 ・準不燃）
⊙ 強化せっこうボード	⊙ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	9.5
⊙ 化粧せっこうボード	・ 木目 12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目 ・ 板目） 専用下地材有り ⊙ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5（準不燃）
・	・
・ 普通合板G	表板の樹種名 ・ 板面の品質（ ） 厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない
・ 天然木化粧合板G	化粧板の樹種名 厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない
・ 特殊加工化粧合板G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ・ ） 表面性能 厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない
・ けい酸カルシウム板（タイプ 2）	・ 6 ・ 8 ・
・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による （※ 1.2 ・ ）
・ ポリエステル樹脂化粧板	・
・	・

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・

~~・壁紙張り~~

[6.14.2、3]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	※ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・ 準不燃・ 難燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種別 ※RB種 ・
コンクリート面の下地調整の種別 ※RB種 ・
せっこうボード面の下地調整の種別 ※RB種 ・

~~・モルタル塗り~~

[6.15.3、5、6]

モルタル ・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２ コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
・設けない
床目地 ・設ける（工法※押し目地 ・ ）
（目地割り ※２㎡程度 ・ ）
（最大目地間隔 ※３m程度 ・ ）
・設けない

・防水剤

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・

~~・タイル張り~~

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル （※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・ ）
床タイル以外 （・図示 ・ ）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材料の適用G	耐凍害性		耐滑り性	備考
		I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

・既調合目地材

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材料の適用G	耐凍害性		耐滑り性	備考
		I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

内装タイル接着 張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

~~・セルフレベリング材塗り~~

[6.17.2、3]

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系
標準塗厚(mm) ・

7 塗装改修工事

⊙ 材料

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

⊙ 下地調整

[7.2.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示 ・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う（ 箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※ＲＢ種 ・	・ＲＡ種 ・ＲＢ種	－
鉄鋼面	※ＲＢ種 ・	ＲＡ種	－
亜鉛めっき鋼面	※ＲＢ種 ・	ＲＡ種	－
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※ＲＢ種 ・	ＲＣ種	－
モルタル、プラスター面	※ＲＢ種 ・	・ＲＡ種 ・ＲＢ種	・行う ⊙行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※ＲＢ種 ・	ＲＡ種	⊙行う ・行わない
押出成形セメント板面	・ＲＡ種 ・ＲＢ種 ・ＲＣ種 ・	・ＲＡ種 ・ＲＢ種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・ＲＢ種 ・ＲＣ種	・ＲＡ種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ＲＢ種 ・	⊙ＲＡ種 ・ＲＢ種	－

⊙ 錆止め塗料塗り

[7.3.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

塗装面			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ種 ・
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種 ・
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種 ・
	EP-G	塗替え	※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｃ種 ・
		新規見え掛り	※Ｂ種 ・Ａ種	※Ａ種 ・
		新規見え隠れ	※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・
亜鉛めっき鋼面	EP-G以外	塗替え	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種 ・
		新規鋼製建具等	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ａ種 ・
	EP-G	塗替え	Ｃ種	※Ｃ種 ・
		新規鋼製建具等	Ｃ種	※Ａ種 ・

⊙ 塗装

[7.4.2～7.14.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		－	－
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ 1 ）級	・	A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	A種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・オイルステイン塗り(OS) 塗料（ ・油性 ・水性）		－	－
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.10.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗りG
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2） ・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種

工程	塗料その他				塗付け量(kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	２種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

9 環境配慮改修工事

⊙ 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～5]

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（・ ⊙図示 ）
貸与資料（ ）

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材 料 名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)
⊙ビニル床タイル	⊙ 1 箇所	・ 箇所
⊙石綿板	⊙ 1 箇所	・ 箇所
⊙ビニル床シート	⊙ 1 箇所	・ 箇所
⊙化粧石膏ボード	⊙ 1 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり３サンプル
採取箇所 ・ 図示 ・

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
⊙	測定 1	処理作業前	処理作業室内	⊙計 2点
⊙	測定 2		調査対象室外部の付近	⊙計 2点
⊙	測定 3	処理作業中	処理作業室内	⊙計 2点
⊙	測定 4		セキュリティーゾーン入口	⊙計 1点
⊙	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ⊙計 1点
⊙	測定 6		処理作業室外 ⊙施工区画周辺 ・敷地境界	⊙計 4点
⊙	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	⊙計 2点
⊙	測定 8	処理作業後ｼｰﾄ	処理作業室内	⊙計 2点
⊙	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	⊙計 2点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

⊙JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
⊙測定 3	25	1	5
⊙測定 1,4,5,7,8 ・	47	5	120
⊙測定 2,6,9 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
⊙石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・図示 ⊙ ヒル石吹付
除去工法 ・手工具ケレン工法※9.1.3 (2) (ｱ)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
⊙埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・図示 ・
除去工法 ・破砕して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ⊙図示 ・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ⊙図示 ・

~~・断熱アスファルト防水改修工事~~

[9.2.2～3]

改修特記仕様書３章による

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 5 号
図面名称	改修工事特記仕様書(4)	縮尺 －
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月

滋賀大学施設管理課

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 諭司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称 滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称 改修工事特記仕様書(4)
縮尺 A1 － A3 －
図面番号 特Ａ－４

~~・ガラス改修工事~~

[9.4.2、3]

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・T１　・T２　・T３　・T４　・T５　・T６
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン
上記以外は、改修特記仕様書5章　建具改修工事による

⊙ 断熱・防露改修工事[G]

[9.5.2～4]

フェノールフォーム 断熱材又は保温材、接着剤 のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(mm)　・
施工場所　・

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　⊙A種1　・A種1H　・
吹付け厚さ（mm）　⊙25　・30　・
施工箇所　⊙図示

・現場発泡断熱材

・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(mm)　・
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
（　材質・　　　　厚さ・　　mm　　）

20 ユニット及びその他の工事

⊙ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
図示による	⊙置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ⊙375×375		・1.0G ・0.6G	・ ⊙3000N ・ ・5000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ⊙ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
⊙　※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
パネルの長さ
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内

パネルの平面形状（角度）
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内

フリーアクセスフロアの高さ
※　±0.5mm以内

~~・移動間仕切~~

(20.2.4)

構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面仕上材 材質	仕上げ	遮音性(db/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・図示	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
・図示
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
・
※パネル重量の５倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。

~~・階段滑り止め~~

(20.2.6)

材種　（・ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材　・　　）
滑り止め材　形状　（　・ひも型　・タイヤ型　）
材質　（　ゴム又は合成樹脂　）
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法
幅(mm)　・ 35　端部フラットエンド（・あり　・なし）

⊙ 手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー ・	・35 ・45 ・		
⊙ステンレス製	⊙HL	⊙38φ	屋外階段	

⊙ 黒板及びホワイトボード[G]

(20.2.8)

⊙黒板
区分　・　※焼き付け
種類　・　⊙鋼製黒板　・ほうろう黒板
色　・　※緑
⊙ホワイトボード

~~・鏡~~

(20.2.9)

取付箇所　（　　）
寸法（mm）　・ 図示
厚さ（mm）　※ 5

⊙表示

(20.2.10)

⊙衝突防止表示
形状・寸法　（ ⊙３０φ　・　）
材質　（ ⊙ステンレス製　・　）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
⊙適用する（※消防法に適合する市販品　・　）
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示　※図示

~~・ブラインド~~

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製[G] ・	※ 25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・ アルミスラット ・ クロススラット ・	・ 80 ・ 100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	ー				

スラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。

~~・ロールスクリーン~~[G]

(20.2.13)

操作方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅・高さ　・図示
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製　・木製
品質等
その他の材料　・　※ロールスクリーンの製造所の仕様による

~~・カーテン~~

(20.2.14)

形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示 ・	
						（暗幕）

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上

⊙ カーテンレール

(20.2.14)

材料による区分
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

~~・ブラインドボックス及びカーテンボックス~~

溝型×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　⊙図示
材質　・集成材（仕上げ：　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1　・BC-2
色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
・鋼製（仕上げ：　）

⊙ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

~~・床点検口~~

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

⊙ エキスパンションジョイント金物

材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製	・50　⊙100 ・150	⊙有り（ 1時間　） ・無し	

外部は防水型とする

~~・くつふきマット~~

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304)製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	・1200 ⊙1500 ・1800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

（品質・性能）
（1） 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
（2） 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示

~~・車止め支柱~~

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

~~・フェンス~~

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　・図示　・

~~・鋼製書架及び物品棚~~

種類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ １種　・ ２種　・ ３種
・ 鋼製物品棚		・ ４種　・ ５種　・ ６種

⊙ 屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り

~~・洗面カウンター~~

材　種　・ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・ 人工大理石
奥行き(mm)　・ 約 450　・ 約 600

~~・防煙垂れ壁~~

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※ 不燃布（不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

~~・屋外掲示板~~

照明器具　※ 有り　・ 無し
施　錠　※ 有り　・ 無し
製造所

⊙ 収納家具

材質、形状、寸法　※ 図示
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

21 排水工事

~~・屋外雨水排水~~

材料　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（１種）	・B形管 ・	※図示 ・	
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ RF-VP [G]		※ 図 示	
	・ RS-VU [G]		※ 図 示	
	・ VP		※ 図 示	
	・ VU		※ 図 示	

基床の厚さ及び種類　・図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤

側塊の形状及び寸法　・図示
排水桝の種類　・図示
砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン[G]　・切込砂利又は切込砕石

・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　・　※18N/mm2
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295A
・現場打ちの場合の足金物　※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
・行わない

~~・鋳鉄製ふた~~

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

~~・グレーチング~~

(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛 めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用）	・歩行用	・細目 ・	・（　）	・凹凸形 ・
		・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・（　）	・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用）	・歩行用	ー	ー	・凹凸形 ・
		・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	ー	ー	・平形 ・

⊙ 街きょ、縁石及び側溝

(21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
⊙縁石	⊙ 図 示
・Ｌ形側溝	・ 図 示
・Ｕ形側溝	・ 図 示
・Ｕ形側溝ふた	・ 図 示
・	・ 図 示

地業の材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　⊙図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
⊙行わない

⊙ 埋戻し土

(21.2.1)

※　Ｂ種

22 舗装工事

⊙ 路床

(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
⊙盛土	・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土Ⓖ	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャランⒼ　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・砂	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

・路床安定処理
　安定処理の方法　　・置き換え工法　　・安定処理工法

　路床安定化処理用添加材料
　　種類　　・普通ポルトランドセメント　　・高炉セメントＢ種Ⓖ
　　　　　　・フライアッシュセメントＢ種
　　　　　　・生石灰（　　　　　　）　・消石灰（　　　　　　）
　　添加量　・　　　　kg/m3（目標CBR　・3以上　・　　　　）

・ジオテキスタイル
　単位面積質量　　・60g/m²以上　・
　厚さ(mm)　　　　・0.5～1.0　・
　引張強さ　　　　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
　透水係数　　　　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
　砂の粒度試験　　　　　　　　　・行う　　・行わない
　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　　・行わない
　路床締固め度の試験　　　　　　・行う　　・行わない
　現場CBR試験　　　　　　　　　・行う　　・行わない

⊙ 路盤

(22.2.2、3、5)(表 22.3.1)

路盤の厚さ　⊙図示　・

路盤材料

種類	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	⊙クラッシャランⒼ
	・粒度調整砕石Ⓖ
・クラッシャラン鉄鋼スラグⒼ	
・粒度調整鉄鋼スラグⒼ	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグⒼ	

~~・アスファルト舗装~~

(22.4.2～6)(表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料及び種類
　アスファルト　・再生アスファルトⒼ　（・60～80　・80～100）
　　　　　　　　・ストレートアスファルト
　骨材　　　　　・道路用砕石
　　　　　　　　・アスファルトコンクリート再生骨材Ⓖ

加熱アスファルト混合物等の種類
　・密粒度アスファルト混合物(13)
　・細粒度アスファルト混合物(13)
　・密粒度アスファルト混合物(13F)

シールコートの乳剤の種別
　　・PK-1　　　・PK-2
試験
　アスファルト混合物等の抽出試験　　・行う　　・行わない
舗装の平たん性　　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
　　　　　　　　　・

⊙ コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図 示
	歩行者用通路	⊙図示	※70　⊙150

寒冷地の縁部立下り寸法等　　・図示
材料
　・コンクリートの種類　・
　　設計基準強度　　　・
　　所定のスランプ　　※８　　・
　　粗骨材の最大寸法
　※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
　早強ポルトランドセメント　　　・使用する　　　・使用しない
　注入目地材料　　※低弾性タイプ　　　・高弾性タイプ
目地
　　種 類
　　間隔　　・　　　　ｍ程度ごと
　　構造　　・図示　　　　・
　　※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
試験
　　アスファルト混合物等の抽出試験　　・行う　　⊙行わない
　　舗装の平たん性
　　　　　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

⊙ ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装Ⓖ　(22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板（Ｎ） ・透水平板（Ｐ） ・保水性平板（Ｍ）	⊙300角 ・	※ 60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材　　※砂　　・空練りモルタル
普通平板はⒼ（再生材１料を用いた舗装用ブロック）、透水平板はⒼ（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
　　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。

⊙ インターロッキングブロック舗装Ⓖ

種　類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※ 普通ブロック（Ｎ） ・ 透水性ブロック（Ｐ） ・ 保水性ブロック（Ｍ）	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※ 普通ブロック（Ｎ） ⊙ 透水性ブロック（Ｐ） ・ 保水性ブロック（Ｍ）	歩行者用通路	⊙図示 ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材　　※砂　　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックはⒼ（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
透水性ブロックはⒼ（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
　　※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

参考メーカー 一覧表

	材料名	商品名	会社名 （アイウエオ順）	備考
3 防水改修工事	合成高分子系ルーフィングシート防水		田島ルーフィング(株) 東西アスファルト地業協同組合 日新工業(株)	同等品
5 建具改修工事	アルミ製建具		エコムテック（株） （株）オーライズ 三協立山アルミ（株） 不二サッシ（株） YKK AP（株）	同等品
	鋼製軽量建具		小松ウォール工業(株) 三和シャッター工業(株) 文化シャッター(株)	同等品
	ステンレス製建具		三和シャッター工業(株) ナブコ(株) 文化シャッター(株)	同等品
6 内装改修工事	タイルカーペット	ＮＴ-250eco タピスセレクトＲＸ ＧＡ-100Ｎ	（株）サンゲツ 田島ルーフィング(株) 東リ（株）	同等品
20 ユニットおよびその他の工事	フリーフロアー	ＩＢフロア H-100	ナカ工業（株）	同等品
	エキスパンション金物	アルミニウム製(既製品) 屋根・外壁・床は1時間耐火 クリアランス100	（株）ＡＢＣ商会	同等品
	屋外階段格子	アルミニウム製(既製品) ブリンカースBLD-3050E縦張り@60	（株）ＡＢＣ商会	同等品
	アコーディオンカーテン	アコーディオンカーテンＮＰ クローザエクセル やまなみマークⅡ	立川ブラインド工業（株） トーソー（株） （株）ニチベイ	同等品
	流し台・作業台	すみれ 木製キッチン（ＰＬ型） セクショナルキッチンBL11型	クリナップ（株） タカラスタンダード（株） ナスラック（株）	同等品
	実験台など		（株）アズワン （株）ダルトン （株）ヤガミ	同等品
	黒板、白板、掲示板等		（株）青井黒板 （株）久保塗板製作所	同等品
	サイン		（株）フジタ	同等品
	ウッドデッキ、ベンチ	人工木デッキ：プラスッド JF2760AC、JF2726AN	フクビ化学工業（株）	同等品
	ゴムチップ舗装	ライトブラウン	（株）ＡＢＣ商会	同等品
	入退室管理設備	非接触カードリーダーシステム	（株）クマヒラ	既存システム

工事区分表

1. ●印の付いたものを適用する。
2. ●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

名称	摘要	建築	電気	機械	別途	備考
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●				墨出し、補修除く
〃	壁スリーブ入れ	●	●	●		ボイド等
〃	床スラブ木製型枠入	●				墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ	●	●	●		ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●				
配管ダクト類の防水貫通部補修		●				外壁部タイル補修は建築工事
~~ＡＬＣパネルの穴あけ、補修~~	~~ダクト等の貫通部~~	○				
~~ＰＣ版の穴あけ~~	~~スリーブ入れ~~	○				
~~同上補修~~		○	○	○		~~モルタル充てん等~~
~~インサート~~	~~ＰＣ版~~	○				
インサート	コンクリート床、天井	●	●	●		
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		●			照明器具等
〃	機械設備関係開口部			●		空調吹出口等
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●				照明器具、空調吹出口 給排気ガラリ等
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●	●		ボード切込、墨出し等
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●				石、金属パネル等
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●				
~~床点検口~~	~~点検口取付及び、開口部補強~~	●				~~墨出し共~~
防火区画貫通部補修		●	●	●		モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●	●	●		
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（含む排水金具）	●				水切り板、同穴開け共
同上用配管接続	給排水用			●		
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		●			
流し台	陶器製			●		
~~洗面器等取付化粧板~~		○				
ルーフドレン		●				
竪樋	防露工事共	●				第1桝までの配管共
雨水排水管	第１桝から排水幹線までの配管	●				第1桝を含む
〃	幹線の配管	●				
生活排水、実験排水管	建物及び第１桝までの配管			●		第1桝までの配管共
〃	第１桝から排水幹線までの配管	●		●		第1桝を含む
〃	幹線の配管			●		
大型機械基礎		●				
同上基礎上鉄骨架台			○	●		
~~機器用アンカーボルト~~	~~ボイラ等機械設備関係機器~~			○		~~墨出し、型枠入れ共~~
~~〃~~	~~自家発電機等電気設備関係機器~~		○			~~墨出し、型枠入れ共~~
~~一般機器類の基礎~~	~~仕上げ共~~	○				
屋外自立盤の基礎	仕上げ共	●				
~~屋外貯油槽~~	~~地下式~~			○		
~~共同溝~~	~~歩床コンクリート~~					
~~建物、共同溝接続トレンチ~~		○				
~~同上接続部止水板~~		○				
~~各種槽類~~	~~コンクリート製~~	○				
~~〃~~	~~ＳＵＳ、ＦＲＰ、鋼製~~			○		
~~〃~~	~~屋外大型のものの基礎~~	○				
~~〃~~	~~屋上設置のものの基礎~~	○				
換気扇取付	ダクトのあるもの			●		天井扇等
〃	壁、サッシ等への取付（材共）			●		フード取付共
同上用スイッチ			●			
同上用電源配線			●			接続共
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●				
全熱交換器				●		
同上用スイッチ			●			機械支給品
同上用電源配線			●			接続共
~~外壁取付ガラリ~~	~~給排気用~~	●				~~ガラリチャンバー共~~
~~内壁取付ガラリ~~		●				~~遮光ガラリ共~~
~~ガラリへの給排気~~				●		
~~ダクト接続~~						
~~煙感知器連動防火戸~~		○				
~~同上用レリーズ~~	~~配管配線、ボックス共~~		○			
~~同上用煙感知器~~	~~リレー及びリレーまでの配管配線共~~		○			
~~排煙防火ダンパー~~	~~リレー取付まで①~~			○		
~~煙感知器連動シャッター~~	~~リレー取付まで②~~	○				
~~煙感知器連動防煙垂れ壁~~	~~リレー取付まで③~~	○				
~~上記①～③用煙感知器~~	~~リレーまでの配管配線共~~		○			

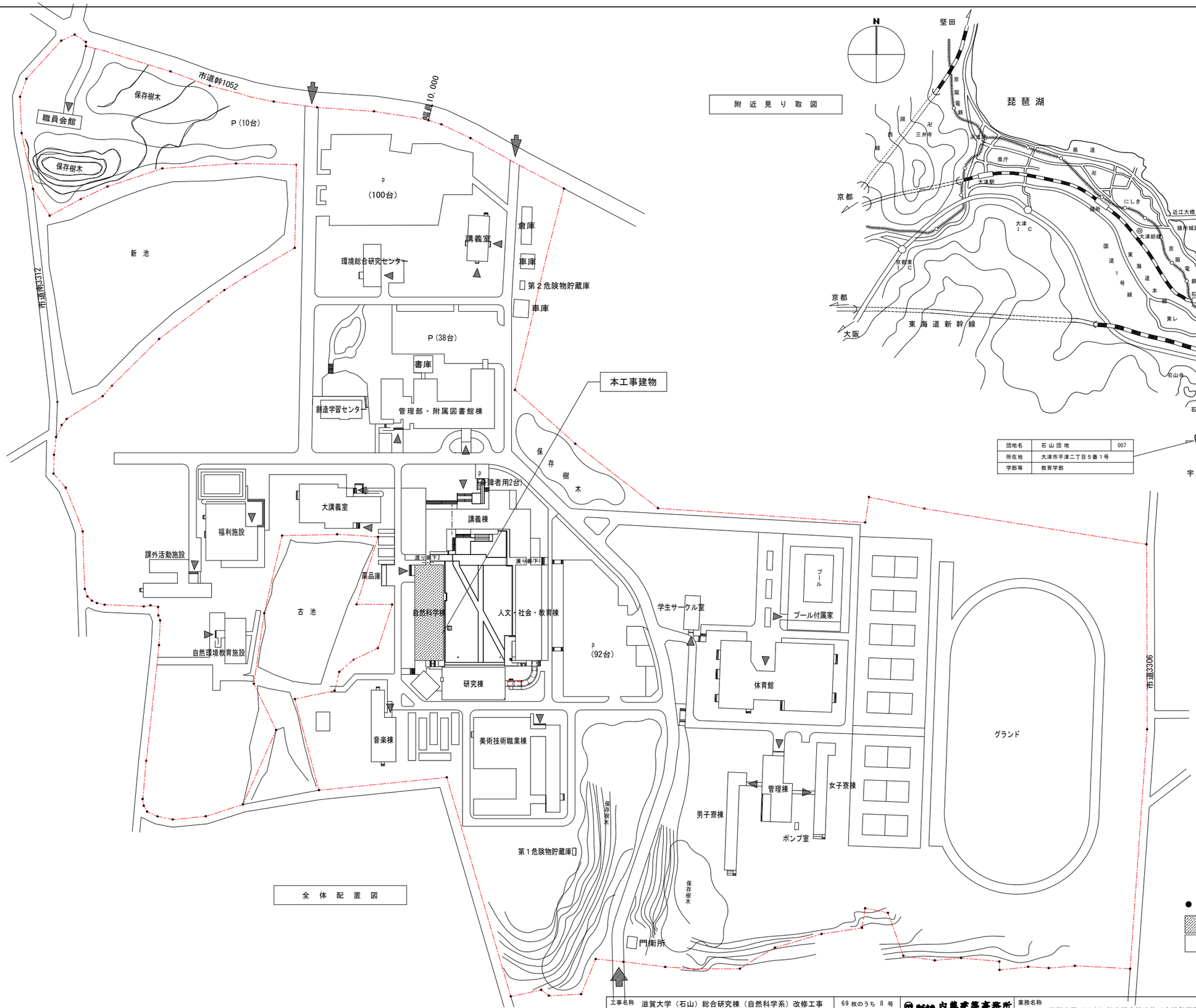
名称	摘要	建築	電気	機械	別途	備考
~~道路側溝用排水~~	~~Ｌ型・Ｕ型と管敷設~~	○				
~~制御盤~~	~~制御盤以降の配管、配線共~~		○	○		
~~同上用電源配線~~	~~１次側接続まで~~		○			~~接地共~~
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			●		
屋内消火栓起動リレー			●			
同上表示灯及び起動装置			●	●		
自動火災報知器			●			
~~連結送水口~~	~~座板共~~			○		
~~独立煙突~~		○				
~~同上煙道~~	~~鋼板製~~			○		
~~同上雷保護設備~~			○			
~~配管配線用ピット~~			○			
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●				
~~コンクリートシャフト点検口~~		○				
~~天井フック~~		○				
~~機械室、電気室の防音遮音処理~~		○				
~~特殊サイズ鏡~~		○				
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			●		
~~雷保護設備~~			○			
~~保守管理用タラップ、はしご~~		○				~~トレンチ、床下部、屋上~~
~~室内テレビ用吊金物~~		○				
~~テレビアンテナ~~	~~取付共~~		○			
~~同上用基礎~~		○				
~~グリストラップ及び~~	~~コンクリート製~~	○				
~~ガソリントラップ~~	~~ステンレス鋼板製~~			○		
~~電動シャッターの配管配線~~	~~二次側。操作盤、押釦取付共~~	○				
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		○			
~~自動扉の配管配線~~	~~二次側~~	●	●			
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		●			
入退室システム操作盤	読取装置共	●				
同上配管配線		●				
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		●			
電気錠	配管配線、接続ボックスまで	●				
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで	●				接続共
~~中央監視装置本体~~	~~関係機器、関係機器間配線を含む~~		○			
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		○			
~~同上用信号線~~	~~各メーターから装置まで~~		○			~~接続共~~
~~芝生、種子吹付け~~		○				
~~法枠、モルタル吹付け~~		○				
~~コンクリート擁壁~~		○				
植栽		●				
電動スクリーン、プロジェクター等取付					●	
同上用電源配線			●			
空調機				●		
同上リモコン配線				●		
同上リモコン取付				●		
同上用電源配線			●			
情報設備						
無線AP取付					●	
上記LANケーブル配線			●			
機器取付	ケーブル成端共				●	
実験台						
実験台取付	水栓･コンセントは実験台に含む	●				
同上給排水･給湯 ガス接続				●		
同上電源接続			●			
壁の補修						
同上設備撤去に伴う補修			●	●		
同上壁の仕上げ		●				
スクラバー						
スクラバー設置				●		
電源･制御配線			●			接続共
ドラフトチャンバー						
ドラフトチャンバー設置				●		
同上電源配線			●			
手洗い用配管バック		●				
家具、備品移設	取付棚等、転倒防止復旧とも				●	
躯体撤去を伴う埋設配線・配管	掘削、配線・配管の撤去	●	●	●		
躯体撤去を伴う埋設配線・配管	躯体、仕上げの復旧	●				
恒温恒湿室　配管用開口		●		●		

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 7 号
図面名称	改修工事特記仕様書(6)	縮尺　―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年 7 月

滋賀大学施設管理課

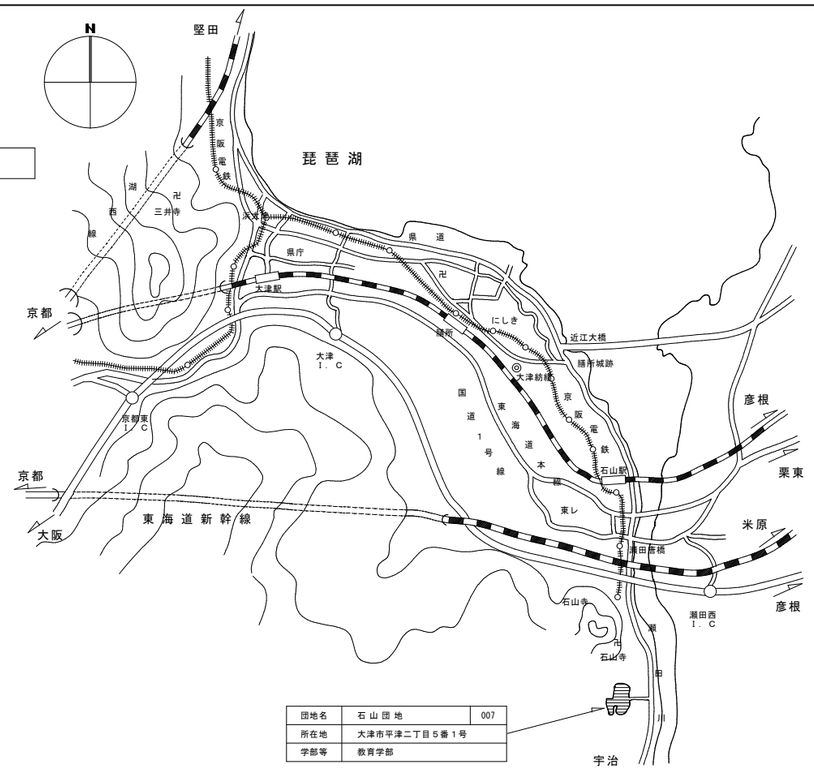
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括　主任　担当

業務名称　滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称　改修工事特記仕様書(6)
縮尺　A1 ―　A3 ―
図面番号　特Ａ－６



全 体 配 置 図

附 近 見 り 取 図



● 凡 例

本工事建物を示す。

既設建物を示す。

工事名称	滋賀大学（石山）総合研究棟（自然科学系）改修工事	69 枚のうち 8 号	
図面名称	附近見取り図・全体配置図	縮尺	—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士 神谷敏司 登録第111198
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ）第3231号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/1,000 A3 1/2,000
図面名称	附近見取り図・全体配置図	図面番号 A － 1

【外部仕上表】

（灰色網掛け）：アスベスト含有建材を示す

現況（改修前）			改修（改修後）		
部位		仕　　様	部位		仕　　様
【自然科学棟】			【自然科学棟】		
屋上	平場	ポリエチレンフィルムt-0.15＋保護コンクリートt=80　伸縮目地@3,000内外	屋上	平場	既存防水層の上、合成高分子系ルーフィングシート防水（Ｓ－Ｍ２：機械式固定工法）新設
		コンクリートコテ押え(増打ちt=15)＋シート防水t=1.5			
	立上	防水モルタル塗り		立上	既存防水層の上、合成高分子系ルーフィングシート防水（Ｓ－Ｆ２：接着工法）新設
		シート防水t=1.5＋防水押えレンガ積			
	パラペット	アルミ製笠木W=225、W=190		パラペット	既存笠木撤去・新設
		立上：コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ			立上：高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
	樋・ドレン	樋：ＶＰφ100　ＳＯＰ		樋・ドレン	樋：撤去・新設　カラーＶＰφ100、掴み金物(ステンレス製)：@1,200共
		ドレン：鋳鉄製横引きドレン			ドレン：既存撤去、塩ビ製横引き改修ドレン新設　ＳＵＳ製防塵網付
	ネットフェンス	H=1,200(既製品)、基礎コンクリート：W250×H150×L500　@2,000		ネットフェンス	撤去
PH屋根	平場	コンクリートコテ押え(増打ちt=15)＋シート防水t=1.5	PH屋根	平場	既存防水層の上、合成高分子系ルーフィングシート防水（Ｓ－Ｍ２：機械式固定工法）新設
	立上	シート防水t=1.5		立上	既存防水層の上、合成高分子系ルーフィングシート防水（Ｓ－Ｆ２：接着工法）新設
	パラペット	アルミ製笠木W=225		パラペット	撤去・新設　アルミ製笠木W=225
	樋・ドレン	樋：ＶＰφ75　ＳＯＰ		樋・ドレン	樋：撤去・新設　カラーＶＰφ75、掴み金物(ステンレス製)：@1,200共
		ドレン：鋳鉄製横引きドレン			ドレン：既存撤去、塩ビ製横引き改修ドレン新設　ＳＵＳ製防塵網付
外壁	外壁・巾木	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ	外壁	外壁・巾木	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
		1階打継部：防水モルタルコテ押え			
	屋外階段外壁	リブ付コンクリート下地の上、複層塗材Ｅ		屋外階段外壁	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
	梁型	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ		梁型	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
	柱型	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ		柱型	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
犬走	床	コンクリートコテ押え、Ｕ字溝付（W=300）	犬走	床	高圧水洗
					Ｕ字溝は堆積している土を撤去の上、清掃
ＥＸＰ・Ｊ		アルミ製（既製品）クリアランス100	ＥＸＰ・Ｊ		撤去・新設
タラップ		ステンレス製（既製品）	タラップ		清掃
屋外階段	床	防水モルタル塗り　排水溝付W=100	屋外階段	床	高圧水洗
		段鼻タイル、点字タイル300角			高圧水洗
	巾木	防水モルタル塗り		巾木	高圧水洗
	手摺壁・壁	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ		手摺壁・壁	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
					手摺：ステンレスパイプSUS304　38φ×1.5、ブラケット：ステンレスSUS304　16φ　@750内外新設
	天井・段裏	コンクリート打放しの上、複層材Ｅ		天井・段裏	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
	樋・ドレン	樋：ＶＰφ75　ＳＯＰ		樋・ドレン	樋：撤去・新設　カラーＶＰφ75、掴み金物(ステンレス製)：@1,200共
		ドレン：鋳鉄製中継きドレン75φ用			ドレン：既存のまま（清掃程度）
				手摺	ステンレスパイプSUS304 38φ×5　HL(中央手摺壁、1階より屋上まで設置)
庇	天端	防水モルタル塗り	庇	天端	高圧水洗、下地調整の上、塗膜防水
	庇裏	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ		庇裏	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
	立上	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ		立上	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ

【特記事項】

●及び ⊙ の項目を適用する

項目	内　容
全体	●外構工事の際は、地中埋設配管の調査を十分に行った上で施工を行うこと。
仮設・養生	●当該工事は、入居者が入居しながらの改修工事となるため、出入口及び避難経路を確保し、騒音及び粉塵対策には十分注意して工事を行うこと。 ●建物周辺及び外壁面に設置してある設備機器（監視カメラ等）への養生を十分に行い、損傷等影響を及ぼさないように注意して工事を行うこと。
撤去	●撤去部の既存存置部との取合については、原則としてカッター切りを行うこと。 ●既存存置のＲＣ壁で、新規ＲＣ壁増打を行う面は、既存仕上モルタルを撤去し、コンクリート面を表面より10mm程度目荒しを行うこと。 ●既存建具のブラインドはすべて撤去・処分とする。(大きさは建具と同サイズとする)
屋上防水改修	●既存設備基礎・配管取出口等の撤去跡は、樹脂モルタル等にて不陸調整を行う。 ●屋外防水撤去において、防水撤去後、既存下地に不具合がある場合は、下地処理・下地調整を行うこと。 ●既存防水撤去後、工事中、防水が無い場合は、仮設防水を行うこと。 ●新設防水時には、水勾配調整を行うこと。
外部・内部仕上改修共通	●ＲＣ新設壁・増打壁に塗装・左官仕上げを直接行う場合は、コンクリート打放し（Ｂ種）、下地調整材（Ｃ－２）の上、指定仕上げ材とする。
外部仕上改修	●躯体切断面は、モルタル補修の上、指定仕上げとする。（内、外部共） ・既設外壁面の側面にコンクリート床・壁・梁を新設する場合は、目荒らしを行った上で、コンクリート打設を行うこと。 ●庇、屋外階段等は、特記なき限り不良箇所を下地処理の上、下地調整を行うこと。 ●外部のシーリング撤去は、バックアップ材まで撤去とする。 ●外部鉄部で塗替を行う場合の錆止め塗料は、Ａ種（JIS K 5674）とし、現場２回塗りとする。 ●外部新設鉄部は、特記なき限り、溶融亜鉛メッキ処理とする。 ・水洗い工法（水洗・清掃）は、特記なき限り高圧水洗機を使用すること。 加圧力は15ＭＰａ程度とする。 ●高圧水洗工法による高圧水洗機の加圧力は下記とする。 ・既存塗膜　全面除去　：50ＭＰａ以上 ⊙既存塗膜　劣化部除去：30～50ＭＰａ
外壁・内壁補修	・既存下地の補修数量は、下記程度とする。なお、補修工事着手前に入念な現地調査を行うこと。 モルタル面ひび割れ部補修　⇒　数量・工法は、特記仕様書による モルタル面浮き部補修　⇒　数量・工法は、特記仕様書による モルタル面欠損部補修　⇒　数量・工法は、特記仕様書による タイル面浮き部補修　⇒　数量・工法は、特記仕様書による
外部建具改修	●建具・水切廻りは、既存シーリング材を全て撤去の上、打直しを行うこと。
外部その他	●外部に設ける鋼製部材（手摺・庇等）については、熱膨張による部材破断等を防止するため、ルーズホール等の対策を施すこと。
耐震補強改修（外壁・内壁共）	・既存モルタル面に耐震補強材を新設する際は、モルタルを撤去し、コンクリート面に10mm程度目荒らしを行うこと。 ・既存タイル面に耐震補強材を新設する際は、タイル及び下地モルタルを撤去し、コンクリート面に10mm程度目荒らしを行うこと。
内部仕上改修	●特記なき限り、床及び壁の仕上下地モルタルは撤去しないこと。 ●床材張付けに先立ち下地表面の傷等のへこみは、ポリマーセメント、ポリマーセメントモルタル等により補修を行い、突起等はサンダー掛け等を行い、平滑にすること。（ＯＡフロア下を除く） ●コンクリート躯体と軽量鉄骨壁（ＬＧＳ壁）等、壁における異種下地の取合部にはシーリングを行うこと。 又、耐火壁との取合部には、耐火シーリングを行うこと。 ●既存面塗装替の範囲については、既存下地不良箇所を補修の上、全面について下地調整を行うこと。（クロス面共） ●既存建具床見切り又は既存床見切り撤去部分においては、床見切り部分の既存モルタルを撤去し、床面調整モルタルを施すこと。 ●既存ＲＣ壁等に取付く新設建具又は見切材等において、既存ＲＣ壁等には、取付用鉄筋Ｄ１３等の補強を行うこと。 ●塗装下の壁ボード張りは、下張りは突付け張りとし、上張りはベベルエッジボードを使用の上、目地処理（寒冷紗下地）を行うこと。 ●壁部分：硬質ウレタンフォーム　t=25吹付　※断熱の折返しは躯体よりW450としt=25吹付とする。 ●外壁断熱材の内部仕上下地は、特記なき限りLGS下地GB-Rt=12.5＋12.5(片面FL+1,000迄)とする。 ●天井回り縁は、特記なき限り塩ビ製(突付け)とする。 ●下がり天井見切縁は、特記なき限り塩ビ製とする。 ●塗装下地の塗替えは、既存下地調整を行うこと。 ●内部仕上材撤去において、附随するものは撤去すること。 ●既存壁撤去に際し、改修範囲外の既存壁及び仕上材に損傷を与えた場合は、既存壁・仕上同材にて復旧すること。 ●特記なき限り、天井仕上材撤去・新設部は、下地ＬＧＳ共撤去・新設とし、インサートも全て新設とする。（金属系アンカーφ9） ●ホワイトボード（ホーロー）、スクリーンＢＯＸ、ブラインドの下地設置及び下地補強は本工事とする。 ●現況仕上等において、アスベスト含有建材として図示のある建材は、関係法令を遵守し適切に処分すること。 ●新設スクリーンボックスは、特記なき限りアルミ製（既製品）とする。 ●鋼製床下地材が、土間コンクリートに接する部分は、防錆処理を行うこと。 ●ブラインドについては、撤去は本工事とし、新設は別途工事とする。 ●上り框はSUS304 HL t2.0とする。 ●塗装部でＥＰ－Ｇ表記のあるものは皮脂軟化対策塗料仕様とすること。　ＥＰ－Ｇ(Ｂ種) ●ビニル床シートは特記なき限り、継ぎ目溶接とする。 ●既存物を再取付する場合はクリーニングの上、破損箇所がある場合は、既存物同材にて補修又は、復旧し再取付けすること。
その他	●使用建築材料は全てＦ☆☆☆☆材料を使用すること。 ●記載のメーカー名・品番等はメーカーを指定するものでは無く、性能及びスペックを示すものとする。 ●撤去工事完了後、床レベルの測定を行い、監督職員に報告すること。 測定結果の上、床の不陸調整が必要な部屋については、監督職員と工法を協議の上、平滑にすること。

【凡例・基材記号及び工法記号】

区分	記号	名称
凡例・基材	ＢＭ	ベンチマーク
	ＫＢＭ	仮ベンチマーク
	ＧＬ	基準地盤面
	ＨＧＬ	平均地盤面
	ＦＬ	基準床面
	Ｗ、ｗ	幅
	Ｌ、ｌ	長さ
	Ｈ、ｈ	高さ
	ｄ、φ、Ｄ	直径
	Ｒ、ｒ	半径
	℄	センターライン
	Ｓ	縮尺
	＠	間隔
	ｔ	厚さ
	ＰＳ	パイプスペース（特記なきかぎりスラブ付）
	ＥＰＳ	電気配管スペース（特記なきかぎりスラブ付）
	ＤＳ	ダクトスペース
	ＥＶ	エレベーター
	ＳＴＬ	ステンレス流し台
	ＰＴ	パーティション間仕切
	ＳＬＷ	スライディングウォール
	ＨＢ	配管パック
	ＯＡ	フリーアクセスフロアー
構造	ＳＲＣ	鉄骨鉄筋コンクリート
	ＲＣ	鉄筋コンクリート
	Ｃ	コンクリート
	Ｓ	鉄骨
	ＬＧＳ	軽量鉄骨
	ＣＢ	コンクリートブロック
	ＰＣ	プレキャストコンクリート
	Ｗ	木製・木造
	Ｍ	モルタル
	ＳＴ	スチール
	ＳＵＳ	ステンレス
	ＰＬ	プレート
	ＦＢ	フラットバー

【材料記号】

区分	記号	名称
内装材料	ＶＳ(１)	柄調ビニル床シートt=2.0　FS
	ＶＳ(２)	柄調ビニル床シートt=2.0　FS
	ＶＳ(３)	柄調ビニル床シートt=2.0　FS　防滑性
	ＶＳ(４)	ビニル床シートt=2.5　FS
	ＶＴ	ビニル床タイルt=2.0
	ＴＣＰ	タイルカーペットt6.5
	ＶＢ	ビニル巾木
	ＷＢ	木製巾木
	ＶＣ	無機質クロス（不燃）
	ＧＢ－Ｒ	石膏ボード
	ＧＢ－Ｆ	強化石膏ボード
	ＧＢ－ＮＣ(Ｔ)	不燃積層石膏ボード（トラバーチン模様）
	ＦＫ	繊維混入けい酸カルシウム板
	ＦＧ	曲面施工用繊維混入石膏ボード
	ＰＦ板	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	ＤＲ	ロックウール化粧吸音板（普通）
	ＧＷ	グラスウール吸音材
	ＧＬ	直張り工法

区分	記号	名称
塗料・その他	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り
	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗り
	ＤＰ	耐候性塗料塗（2液型ポリウレタン）
	ＣＬ	クリヤーラッカー塗り
	ＯＳ	油性ステイン塗り
	ＨＬ	ヘアライン仕上（＃120）
	複層塗材Ｅ	合成樹脂エマルション系複層仕上塗材
	防水形複層塗材E	防水形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材
	下地調整塗材CM-2	セメント系下地調整厚塗材２種
	下地調整塗材C-2	セメント系下地調整塗材２種
	ＭＳ－２	変成シリコーン系
	ＰＳ－２	ポリサルファイド系
	ＳＲ－１	シリコーン系
	ＰＵ－２	ポリウレタン系
	ＡＣ－１	アクリル系（遮音壁取合い部）
管類・その他	ＶＰ	カラー硬質塩化ビニル管
	ＨＰ	遠心力鉄筋コンクリート管
	RD-T	たて引き用　ルーフドレン
	RD-Y	よこ引き用　ルーフドレン
	RD-J	中継用　ルーフドレン
	TD	竪樋
	ＢＢ	黒板
	ＷＢ	ホワイトボード
	ＮＢ	掲示板
	ＳＢ	スクリーンボックス
	ＣＴ	コンクリート製実験台
	ＣＴＴ	コンクリート製天秤台
	ＣＳ	コンクリート製流し台
	ＰＪ	プロジェクターハンガー
	ＣＲ	カーテンレール

【不燃・準不燃材料　認定番号】

区分	認定番号	名称
不燃・準不燃	ＮＭ－８６１９	石膏ボードt=12.5
	ＮＭ－８６１５	強化石膏ボードt=12.5、15、21（耐火構造用）
	ＮＭ－９６３９	シージングせっこうボードt=12.5
	ＮＭ－８５７８	けい酸カルシウム板
	ＮＭ－４２２７	化粧けい酸カルシウム板
	ＮＭ－８６０５	グラスウールガラスクロス張り
	ＱＭ－９８２８	石膏ボードt=9.5
	ＱＭ－０５２４	化粧石膏ボードt=9.5(910×910)
壁装材料	ＮＭ－９９１４	無機質クロス：防火認定品
基材同等	ＮＭ－８５８５	塗料塗装／不燃下地

【防火・準耐火・耐火構造　認定番号】

区分	認定番号	名称
耐火遮音構造	ＦＰ０６０ＮＰ－０１７４	両面強化石膏ボード重張りt=12.5＋12.5
	ＦＰ０６０ＮＰ－０１７５	ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50（24K）充填の場合

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 9 号
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺　－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司　(登録第252129号)
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
総括　主任　担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 ー　A3 ー	図面番号 A－2
図面名称	改修前・改修後　外部仕上表・凡例・特記事項		

内部仕上表（改修前）

●：全面撤去　○：一部撤去
（灰色網掛け）：アスベスト含有建材を示す

階	室名	床高(仕上面)	撤去	床	撤去	巾木	撤去	壁(特記なき限り柱型の仕上も同じ)	撤去	天井(梁型仕上は天井伏図参照)	天井高	撤去	廻縁	撤去	ブラインドボックス	備考(特記なき限り本工事による撤去)
1階	廊下	±0		テラゾータイル	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	ー	ー	
		-50		Ｍ				平面図による	●	Ｃ１						
	低温室	±0	●	コンクリート金コテ押え	ー	ー		コンクリート打放しのまま	ー	コンクリート打放しのまま	直天	ー	ー	ー	ー	プレハブユニット撤去
				ＣＳ				平面図による		ＣＳ						
	クロマト	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	154 天秤室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	ー	ー	ＣＴＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	155 化学第1実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	156 化学第2機器分析室	±0	○	ビニル床タイルt=2.0	○	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	流し台、ＷＢ、スクリーン撤去 ＰＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	157 システム科学室 第3実験室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＮＢ、ＷＢ撤去 実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	158 研究室	±0	ー	ビニル床タイルt=2.0	ー	ビニル巾木 H=75	ー	ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	159 物理ＥＳＲ実験室	±0	ー	ビニル床タイルt=2.0	ー	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	ー	化粧石膏ボードt=9	2,700	ー	塩ビ	ー	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	ー	Ｃ１						
	175 認知情報第2実験室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＣＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	176 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＰＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	177 教員室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	178 物理第1演習室 教育実践論講師室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	179 ゼミ室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0＋タイルカーペット	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	180 ロッカー室3	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＮＢ、ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
2階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	ー	ー	ＮＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	256 被服実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＣＴ、実験台、流し台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	257 天秤比色室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＣＴＴ、吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	258 食物実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＮＢ、ＷＢ撤去 流し台、実験台、吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	259 食物実習室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	石綿板t=4　ＡＥＰ	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＢＢ、ＷＢ、ＮＢ撤去 ＣＴ、ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ撤去 実験台、流し台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	275 教員室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	276 被服化学実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	277 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	278 実験室栄養食品	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＣＴ、ＣＴＴ撤去 流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	279 研究室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	280 調理科学実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	流し台、実験台、吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						

内部仕上表（改修後）

●：全面新設（塗装の場合は塗替）　○：一部新設

階	室名	床高(仕上面)	新設	床	新設	巾木	新設	壁(特記なき限り柱型の仕上も同じ)	新設	天井(梁型仕上は天井伏図参照)	天井高	新設	廻縁	新設	カーテンボックス	備考(特記なき限り本工事による新設)
1階	廊下	±0		既存清掃	○	ビニル巾木 H=75		ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,.400	○	塩ビ			ＮＢ
		-50		ー				平面図による	○	Ｃ１						
	153 生化学実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0 (耐薬品性)	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	実験台 実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	154 生化学分析室	±0	●	ビニル床シートt=2.0 (耐薬品性)	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	155 実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	ＷＢ、実験流し台 作業台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	156 実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	研究室	±0	ー	既存のまま	ー	既存のまま	ー	既存のまま	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	既存のまま	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	174 研究室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	175 実験室A	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	実験室B	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	実験室C	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	176 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＷＢ
	177			ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
2階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	●	塩ビ			ＮＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	254 生物実験準備室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	255 化学実験準備室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	256 理科教育・化学・生物大実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0 (耐薬品性)	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	ＢＢ(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応)、ＰＪ 実験台
								平面図による	○	Ｃ１						
	257 物理大実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＷＢ、ＳＢ、ＰＪ 実験台 転倒防止チェーン
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	275 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	276 実験室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	277 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	278 システム科学第2実験室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						

【内部下地材料表（改修前）】

区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	仕様
床	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）	壁			平面図による	天井	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）
	●	Ｍ	モルタル								
									●	Ｃ１	ＬＧＳ天井下地

【内部下地材料表（改修後）】

区分	有無	記号	下地処理	仕様	区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	下地処理	仕様
床	●	ＣＳ(既)	下地処理(下地補修共)	既存　コンクリート（スラブ）	壁			平面図による	天井	●	ＣＳ(既)	下地処理(下地補修共)	既存　コンクリート（スラブ）
				※ＯＡフロア下の下地補修は不要とする									
										●	Ｃ１(既)		既存　ＬＧＳ天井下地
	●	Ｃ		新設　嵩上げコンクリート									
	●	Ｍ		新設　モルタルt30						●	Ｃ１		新設　ＬＧＳ天井下地

特記なき限り下記による
床高（上段）：床仕上面高さ(FL基準)特記なきは±0
床高（下段）：床スラブ天端高さ(FL基準)特記なきは-10
天井高さはFL基準からの高さを示す。
（斜線ハッチ）：の範囲は工事範囲外を示す。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 10 号
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺 ー
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録番号252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 ー A3 ー	図面番号 Ａ－３
図面名称	改修前・改修後　仕上表(1)		

内部仕上表（改修前）

●：全面撤去　○：一部撤去
（網掛け）：アスベスト含有建材を示す

階	室名	床高（仕上面）	撤去	床	撤去	巾木	撤去	壁（特記なき限り柱型の仕上も同じ）	撤去	天井（梁型仕上は天井伏図参照）	天井高	撤去	廻縁	撤去	ブラインドボックス	備考（特記なき限り本工事による撤去）
3階	廊下	±0	○	ビニル床シートt=2.0	○	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,400	○	塩ビ	―	―	ＮＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	356 物理大実験室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	―	スチール SOP	ＢＢ、ＮＢ、ＳＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	357 被服実習室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	―	スチール SOP	ＷＢ、ＳＢ撤去 実験台、ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ撤去 恒温恒湿室撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	374 家政資料室兼卒論演習室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＢＢ、ＳＢ撤去 ＰＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	375 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	376 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	377 家政実習室兼製図室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＳＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	378 教員室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去 流し台、吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	379 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
4階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	―	―	ＮＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	455 生物第1実験室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	456 生物測定室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	恒温恒湿室撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	457 地質鉱物実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＣＴ撤去 実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	天秤室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,500	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	加熱室	±0	―	モルタルコテ塗り	●	壁仕上に同じ		ＥＰ	●	石綿板t=4　ＡＥＰ	2,500	●	塩ビ	―	―	ＣＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	458 地学基礎実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	―	スチール SOP	ＢＢ、ＳＢ撤去 実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	474 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	475 ハードウェア研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	476 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＣＴ撤去 流し台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	477 X線マイクロアナライザ室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	478 教員室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＣＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	479 Ｘ線実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	暗室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	壁仕上に同じ		ＥＰ	●	石膏ボードt=9　ＥＰ	2,500	●	塩ビ	―	―	ＣＴ撤去 流し台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	光学測定室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,500	●	塩ビ	―	―	ＣＴ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	480 システム科学第2実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						

【内部下地材料表（改修前）】

区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	仕様
床	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）	壁			平面図による	天井	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）
	●	Ｍ	モルタル								
									●	Ｃ１	ＬＧＳ天井下地

特記なき限り下記による
床高（上段）：床仕上面高さ(FL基準)特記なきは±0
床高（下段）：床スラブ天端高さ(FL基準)特記なきは-10
天井高さはFL基準からの高さを示す。
（斜線）：の範囲は工事範囲外を示す。

内部仕上表（改修後）

●：全面新設（塗装の場合は塗替）　○：一部新設

階	室名	床高（仕上面）	新設	床	新設	巾木	新設	壁（特記なき限り柱型の仕上も同じ）	新設	天井（梁型仕上は天井伏図参照）	天井高	新設	廻縁	新設	カーテンボックス	備考（特記なき限り本工事による新設）
3階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	●	塩ビ	―	―	ＮＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	357 被服実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	―	SOP塗替	実験台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	358 被服実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0（耐薬品性）	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	―	SOP塗替	実験台、実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	359 食物実習室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	―	SOP塗替	ＷＢ(上下式) 実験台、実験流し台 ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	374 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	375 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	376 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	377 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	378 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	379 食物実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0（耐薬品性）	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	380 食物準備室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	ＣＲ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
4階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	●	塩ビ	―	―	ＮＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	454 実験室	±0	●	タイルカーペットt=6.5 踏込:ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	ＷＢ、ＳＢ
				ＣＳ(既)、ＦＡＨ=50				平面図による	●	Ｃ１						
	455 実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	456 被服実習・家庭科演習室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	―	SOP塗替	ＷＢ、ＳＢ 被服台、実験台、実験流し台 ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	474 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	475 実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	476 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	477 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	478 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	ＷＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	479 実験室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	ＷＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	480 地域子育て連携室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	―	―	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						

【内部下地材料表（改修後）】

区分	有無	記号	下地処理	仕様	区分	有無	記号	仕様	区分	有無	記号	下地処理	仕様
床	●	ＣＳ(既)	下地処理(下地補修共)	既存　コンクリート（スラブ）	壁			平面図による	天井	●	ＣＳ(既)	下地処理(下地補修共)	既存　コンクリート（スラブ）
				※ＯＡフロア下の下地補修は不要とする									
										●	Ｃ１(既)		既存　ＬＧＳ天井下地
	●	Ｃ		新設　嵩上げコンクリート									
	●	Ｍ		新設　モルタルt30						●	Ｃ１		新設　ＬＧＳ天井下地

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 11 号	
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
総括　主任　担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 ―　A3 ―	図面番号 Ａ－４
図面名称	改修前・改修後　仕上表(2)		

内部仕上表（改修前）

●：全面撤去　○：一部撤去
（網掛け）：アスベスト含有建材を示す

階	室名	床高（仕上面）	撤去	床	撤去	巾木	撤去	壁（特記なき限り柱型の仕上も同じ）	撤去	天井（梁型仕上は天井伏図参照）	天井高	撤去	廻縁	撤去	ブラインドボックス	備考（特記なき限り本工事による撤去）
5階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,400	●	塩ビ	ー	ー	ＮＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	556 生物学第3実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＣＴ撤去 流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	557 地球物理実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	○	化粧石膏ボードt=9	2,700	○	塩ビ	ー	スチール SOP	ＢＢ、ＳＢ撤去 流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	○	Ｃ１						
	558 情報科学研究室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ、ＳＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	559 理科資料室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	560 天体物理実験室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ、ＳＢ撤去 流し台、実験台、吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	地学天体物理実験室1	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	地学天体物理実験室2	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	575 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	576 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	577 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	578 陸水物理学実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ、ＳＢ撤去 流し台、実験台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	579 第1暗室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	石膏ボードt=9　ＥＰ	2,500	●	塩ビ	ー	ー	一部ＣＴ撤去、ＣＴ存置 流し台撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
	580 機械室	±0	●	コンクリートコテ押え	●	壁仕上に同じ		木毛板打込　複層塗材Ｅ		木毛板打込　複層塗材Ｅ	直天	ー	ー	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による		ＣＳ						
	581 太陽観測室	±0	●	ニードルパンチカーペット	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	木毛板打込ヒル石吹付	直天	ー	ー	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による		ＣＳ						
	分光器室	±0	ー	ビニル床タイルt=2.0	ー	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	ー	石膏ボードt=9　ＥＰ	2,700	ー	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による	ー	Ｃ１						
	第2暗室	±0	ー	ビニル床シートt=2.0	ー	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	ー	石膏ボードt=9　ＥＰ	2,500	ー	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による	ー	Ｃ１						
	582 研究室	±0	●	ビニル床タイルt=2.0の上 カーペット敷き	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ	●	化粧石膏ボードt=9	2,700	●	塩ビ	●	スチール SOP	ＷＢ撤去 吊戸棚撤去
				ＣＳ				平面図による	●	Ｃ１						
PH階	観測室	+2,050	ー	フローリングt=15 ポリウレタン樹脂塗	ー	木製　ＳＯＰ H=75		ＥＰ		ＥＰ	直天	ー	ー	ー	ー	
				木床組み				平面図による		ＣＳ						
	前室	+600	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ		ＥＰ	直天	ー	ー	ー	ー	
				ＣＳ				平面図による		ＣＳ						

内部仕上表（改修後）

●：全面新設（塗装の場合は塗替）　○：一部新設

階	室名	床高（仕上面）	新設	床	新設	巾木	新設	壁（特記なき限り柱型の仕上も同じ）	新設	天井（梁型仕上は天井伏図参照）	天井高	新設	廻縁	新設	カーテンボックス	備考（特記なき限り本工事による新設）
5階	廊下	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75		ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	●	塩ビ	ー	ー	ＮＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	557 実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	実験台、実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	558 教育心理学データ処理室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	559 学習心理学実験室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	○	化粧石膏ボードt=9.5 天井裏：ＧＷt=100敷込	2,700	○	塩ビ	ー	SOP塗替	
				ＣＳ(既)				平面図による	○	Ｃ１						
	560 鉱物展示実習室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＣＲ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	561 地学実験準備室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ(防かび性)	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	562 実験室A	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ(防かび性)	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＳＢ、ＰＪ 流し台、作業台 ＣＲ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	実験室B	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ(防かび性)	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	574 地学実験室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5 天井裏：ＧＷt=100敷込	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＷＢ(上下式)、ＳＢ、ＰＪ 実験台、実験流し台
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	579 第1暗室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,500	●	塩ビ	ー	ー	既存ＣＴ清掃 実験流し台 ＣＲ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	580 倉庫	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5	2,500	●	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
	581 太陽観測室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	※アスベスト除去 下地調整の上、ＥＰ－Ｇ	直天	ー	ー	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による		ＣＳ(既)						
	分光器室	±0	ー	既存のまま	ー	既存のまま		既存のまま	ー	既存のまま	2,700	ー	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	ー	既存のまま						
	第2暗室	±0	ー	既存のまま	ー	既存のまま		既存のまま	ー	既存のまま	2,500	ー	塩ビ	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による	ー	既存のまま						
	578 研究室	±0	●	タイルカーペットt=6.5	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	化粧石膏ボードt=9.5 天井裏：ＧＷt=100敷込	2,700	●	塩ビ	ー	ー	ＷＢ
				ＣＳ(既)				平面図による	●	Ｃ１						
PH階	観測室	±0	ー	清掃	ー	清掃	●	ＥＰ－Ｇ	●	ＥＰ－Ｇ	直天	ー	ー	ー	ー	
				木床組み(既)				平面図による		ＣＳ(既)						
	前室	±0	●	ビニル床シートt=2.0	●	ビニル巾木 H=75	●	ＥＰ－Ｇ	●	ＥＰ－Ｇ	直天	ー	ー	ー	ー	
				ＣＳ(既)				平面図による		ＣＳ(既)						

【内部下地材料表（改修前）】

区分	有無	記号	仕様
床	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）
	●	Ｍ	モルタル
壁			平面図による
天井	●	ＣＳ	コンクリート（スラブ）
	●	Ｃ１	ＬＧＳ天井下地

【内部下地材料表（改修後）】

区分	有無	記号	下地処理（下地補修共）	仕様
床	●	ＣＳ(既)		既存　コンクリート（スラブ）
				※ＯＡフロア下の下地補修は不要とする
	●	Ｃ		新設　嵩上げコンクリート
	●	Ｍ		新設　モルタルt30
壁				平面図による
天井	●	ＣＳ(既)		既存　コンクリート（スラブ）
	●	Ｃ１(既)		既存　ＬＧＳ天井下地
	●	Ｃ１		新設　ＬＧＳ天井下地

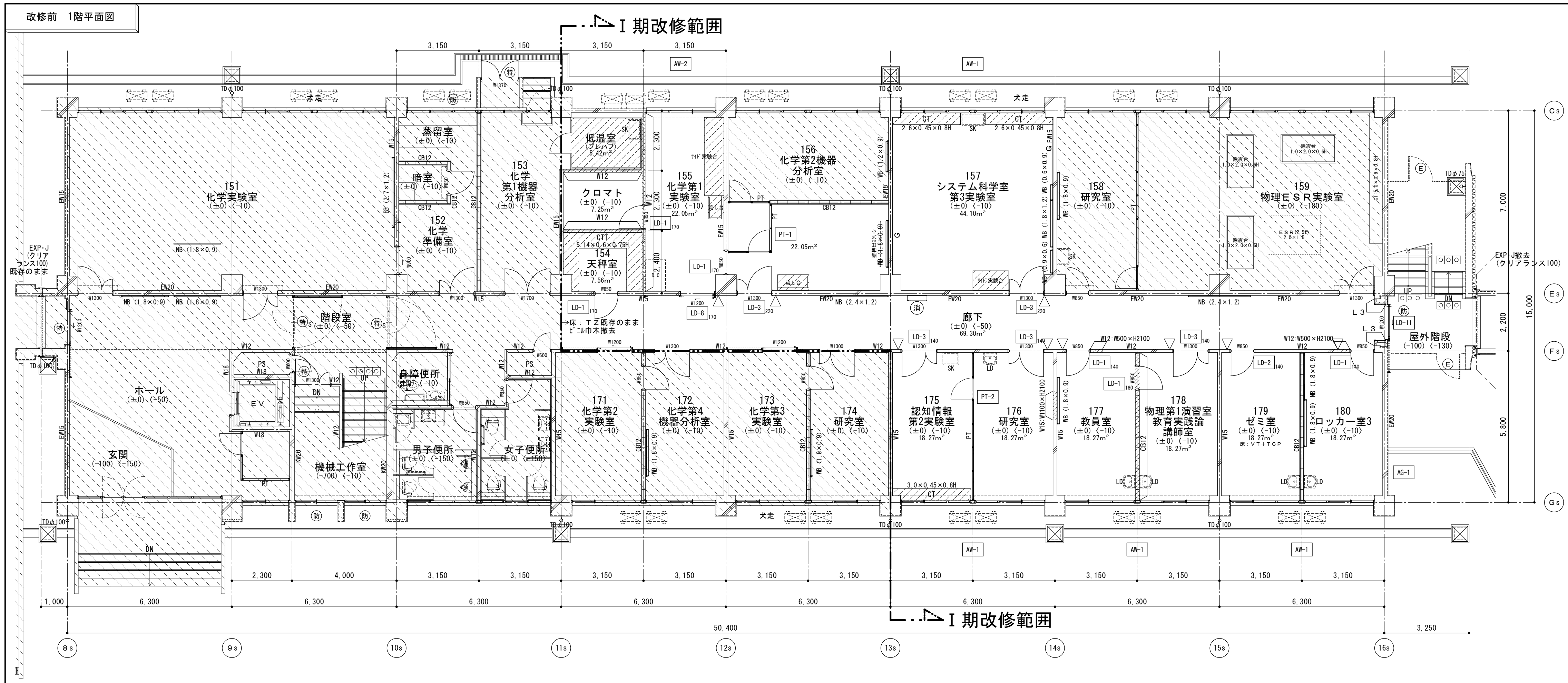
特記なき限り下記による
床高（上段）：床仕上面高さ(FL基準)特記なきは±0
床高（下段）：床スラブ天端高さ(FL基準)特記なきは-10
天井高さはFL基準からの高さを示す。
（斜線）：の範囲は工事範囲外を示す。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 12 号	
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	ー
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

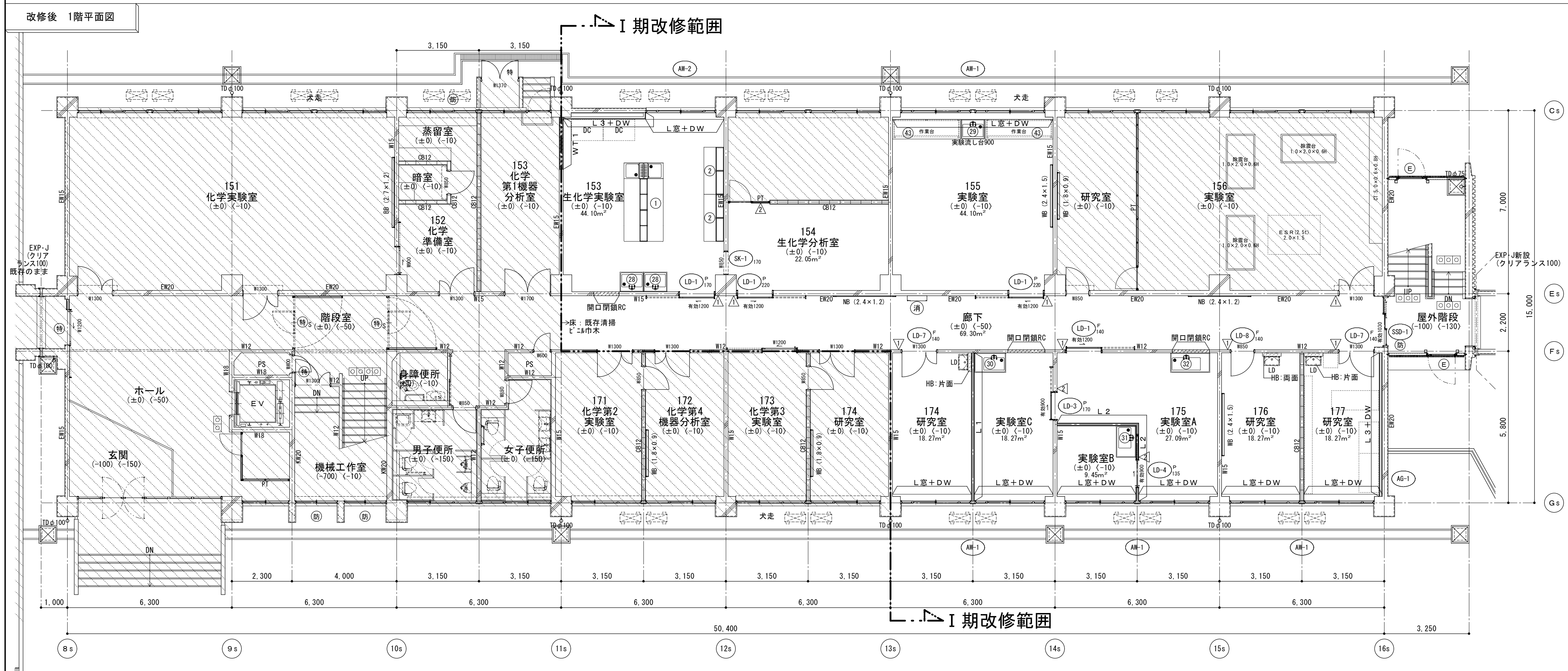
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括　主任　担当

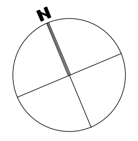
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　仕上表(3)	A1　ー / A3　ー	Ａ－５

改修前　1階平面図



改修後　1階平面図





撤去凡例

- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。（W○は壁種別を示す。）
- ：撤去建具を示す。（○は枠見込を示す。）
- ：既存建具改修を示す。

※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。
△：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。
※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。

※注記　明示のない限り下記による。
- アスベスト混入の恐れのある材料は関係法令に従い、適正に処理する。（ビニル系床タイル、天井：石綿板）
- 家具類、間仕切などの撤去跡はモルタルにて補修する。厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
- 撤去の際、見え掛り残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
- 既設部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現況復旧のこと。
- 天井仕上撤去（廻り縁共）は、特記なき限り下地共とする。
- 塗装仕上の塗り替は既設下地補修のこと。
- 工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
- 壁付、天井付備品で不要なもの（サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等）は、本工事で撤去すること。
- 特記以外の流し台、作業台、机等施設で不要なものは、本工事にて撤去すること。
- コンクリート流し台・ストーンテーブル・ドラフトチャンバー・実験台・ダクト類　手洗等衛生機器などの撤去跡の補修は本工事に含む。
- 撤去後は清掃のこと。

凡例. 記号		壁種　凡例	
ＢＢ	平面黒板（　）はW×Hの大きさを示す。上下：上下式、引：引き分けを示す。(撤去・新設)	ＷＴ１	防火区画耐火壁（１時間耐火）LGS＋ＧＢ－Ｆt=12.5＋ＧＢ－Ｆt=12.5（両面、天井裏共）
ＷＢ	白板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ１	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井裏共）
ＮＢ	掲示板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ２	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井面まで）
ＣＴ	コンクリート製テーブル(撤去)	Ｌ３	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、天井面まで）
ＣＴＴ	コンクリート製天秤台(撤去)	Ｌ窓	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、窓下まで）
ＳＳ	ステンレス製流し台(撤去)	ＧＬ	ＧＢ－Ｒt=12.5（ＧＬ工法t=25）
ＤＣ	ドラフトチャンバー(撤去・設置は別途工事)	W15	コンクリート壁(数値は厚み)を示す。
ＴＺ	テラゾー現場研ぎ	CB12	コンクリートブロック積t=120の上、モルタルt=20コテ押え(両面)天井までを示す。
ＳＢ	スクリーンボックス(○×○)は長さ、ボックス大きさを示す。(本体は別途)(撤去・新設)		Ｌ○＋Ｇは、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＰＪ	プロジェクター取付金物(本体は別途)(既存又は新設)		特記なき開口閉鎖はＷＴ１としスタッドはチドリ配置とし、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＣＲ	カーテンレール(撤去・新設)		開口閉鎖RC：コンクリートにて閉鎖（詳細は構造図による。）
ＦＡ	フリーアクセスフロアー　Hは高さを示す。	ＤＷ	壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25　最上階スラブ下：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25　改修後の断熱材吹付を示す。
ＨＢ	配管パック ※新規LDにはL720×H1,100とする。		
Ｌ	手洗い器(設備工事)	（　）	ＦＬからの床仕上面高さを示す。
ＬＤ	洗面化粧台(設備工事)	〈　〉	ＦＬからの床スラブ天端高さを示す。
(消)	屋内消火栓(設備工事)	(防)	防火設備　　ガラスは網入りt=6.8
(1)	実験台等の家具番号を示す。（家具詳細図参照）	(E)	電気錠
RD-T	たて引き用　ルーフドレン	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
RD-Y	よこ引き用　ルーフドレン		ドラフト排気部分アルミパネル範囲を示す。
RD-J	中継用　ルーフドレン	Ｇ2	画桟木製：65×24SOP撤去(撤去跡はモルタルにて補修) ※数値は取付段数を示す。2＝2段、Gは1段とする。
TD	竪樋（径は図示による）	画2	画桟木製：65×24EP-G　2段新設

改修凡例

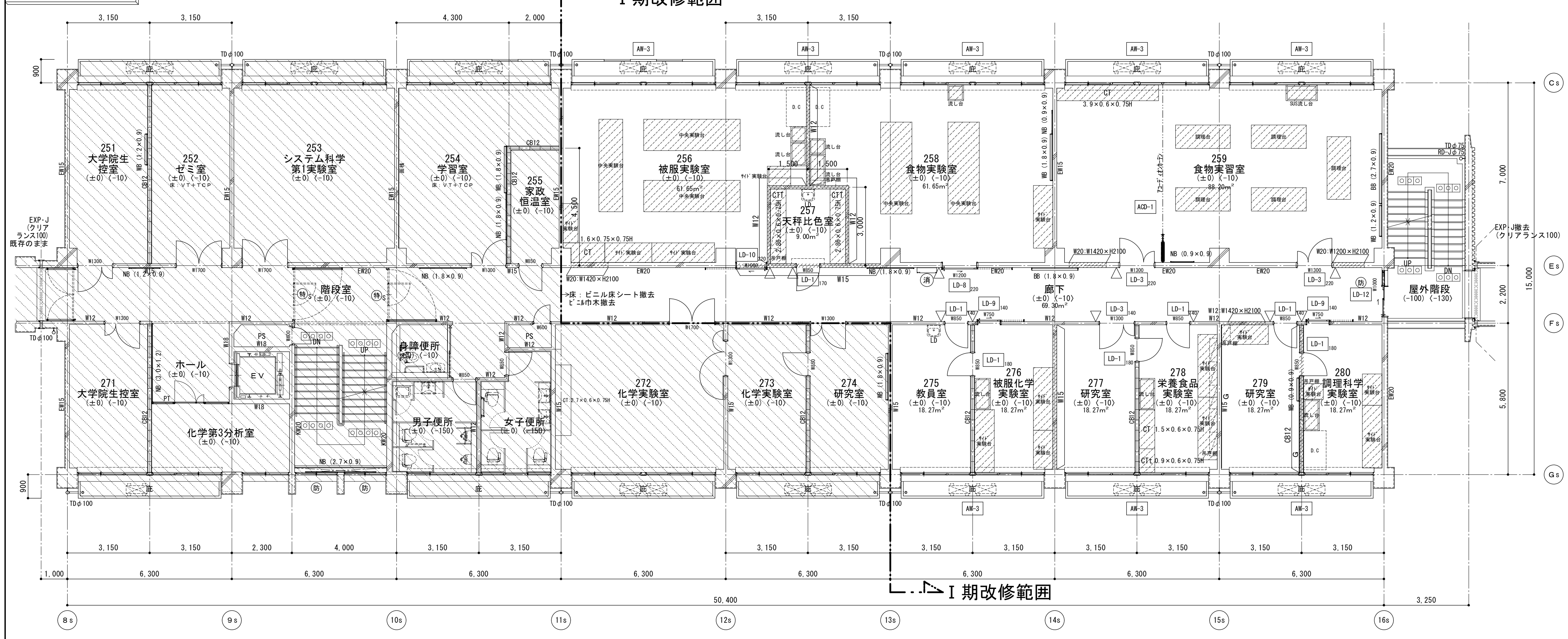
- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- HW○○：新設ＲＣ耐震補強壁を示す。（○○は壁厚を示す。）
- ：改修範囲を示す。
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。（Ｌ○は壁種別を示す。）
- ：新設建具を示す。（＊はガラス種別、○は枠見込を示す。）※特記なきは建具表による。
- ：既存建具改修を示す。
- ：新設　サインを示す。番号は種別を示す。

※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。（排水コア抜き共）

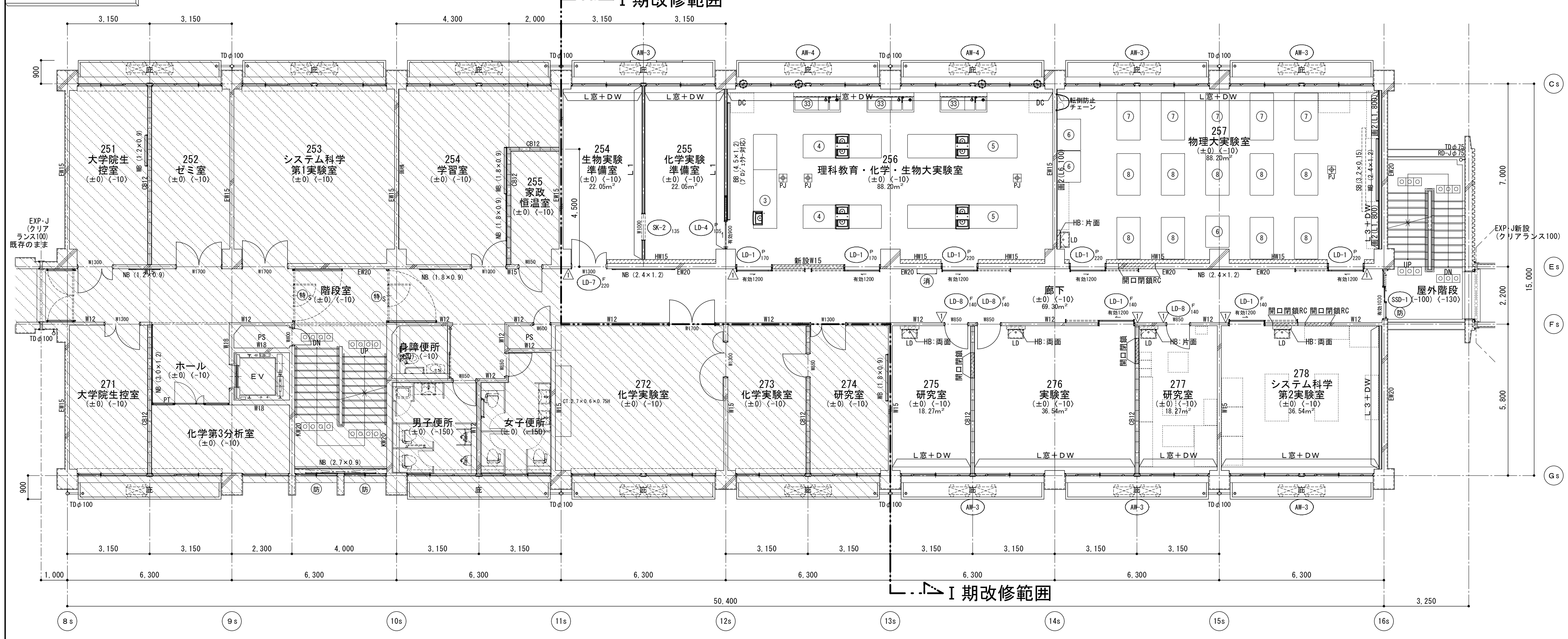
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 13 号	株式会社 内藤建築事務所　京都市左京区田中大堰町１８２　一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)　一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
図面名称	改修前・改修後　1階平面図	縮尺 —	総括 / 主任 / 担当
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

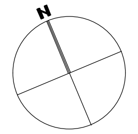
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100　A3 1/200	図面番号 Ａ－6
図面名称	改修前・改修後　1階平面図		

改修前　2階平面図



改修後　2階平面図





撤　去　凡　例

：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）
　　　ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
：の範囲は工事範囲外を示す。
：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。
（W○は壁種別を示す。）
：撤去建具を示す。
（○は枠見込を示す。）
：既存建具改修を示す。
※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。
△　：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。
※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。

※注記　明示のない限り下記による。

- アスベスト混入の恐れのある材料は関係法令に従い、適正に処理する。
（ビニル系床タイル、天井：石綿板）
- 家具類、間仕切などの撤去跡はモルタルにて補修する。
厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
- 撤去の際、見え掛り残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
- 既設部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現況復旧のこと。
- 天井仕上撤去（廻り縁共）は、特記なき限り下地共とする。
- 塗装仕上の塗り替は既設下地補修のこと。
- 工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
- 壁付、天井付備品で不要なもの（サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等）は、
本工事で撤去すること。
- 特記以外の流し台、作業台、机等施設で不要なものは、
本工事にて撤去すること。
- コンクリート流し台・ストーンテーブル・ドラフトチャンバー・実験台・ダクト類
手洗等衛生機器などの撤去跡の補修は本工事に含む。
- 撤去後は清掃のこと。

凡例．記号		壁種　凡例	
ＢＢ	平面黒板（　）はW×Hの大きさを示す。 上下：上下式、引：引き分けを示す。(撤去・新設)	ＷＴ１	防火区画耐火壁（１時間耐火） LGS＋ＧＢ－Ｆt=12.5＋ＧＢ－Ｆt=12.5（両面、天井裏共）
ＷＢ	白板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ１	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井裏共）
ＮＢ	掲示板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ２	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井面まで）
ＣＴ	コンクリート製テーブル(撤去)	Ｌ３	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、天井面まで）
ＣＴＴ	コンクリート製天秤台(撤去)	Ｌ窓	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、窓下まで）
ＳＳ	ステンレス製流し台(撤去)	ＧＬ	ＧＢ－Ｒt=12.5（ＧＬ工法t=25）
ＤＣ	ドラフトチャンバー(撤去・設置は別途工事)	W15	コンクリート壁(数値は厚み)を示す。
ＴＺ	テラゾー現場研ぎ	CB12	コンクリートブロック積t=120の上、 モルタルt=20コテ押え(両面)天井までを示す。
ＳＢ	スクリーンボックス(○×○)は長さ、ボックス 大きさを示す。(本体は別途)(撤去・新設)		Ｌ○＋Ｇは、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＰＪ	プロジェクター取付金物(本体は別途)(既存又は新設)		特記なき開口閉鎖はＷＴ１としスタッドはチドリ配置とし、 グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＣＲ	カーテンレール(撤去・新設)		開口閉鎖RC：コンクリートにて閉鎖 (詳細は構造図による。)
ＦＡ	フリーアクセスフロアー　Hは高さを示す。	ＤＷ	壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 最上階スラブ下：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 改修後の断熱材吹付を示す。
ＨＢ	配管パック ※新規LDにはL720×H1,100とする。		
Ｌ	手洗い器(設備工事)	（　）	ＦＬからの床仕上面高さを示す。
ＬＤ	洗面化粧台(設備工事)	〈　〉	ＦＬからの床スラブ天端高さを示す。
(消)	屋内消火栓(設備工事)	(防)	防火設備　　　　　ガラスは網入りt=6.8
(1)	実験台等の家具番号を示す。（家具詳細図参照）	(E)	電気錠
RD-T	たて引き用　　　　ルーフドレン	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
RD-Y	よこ引き用　　　　ルーフドレン		ドラフト排気部分アルミパネル範囲を示す。
RD-J	中継用　　　　　　ルーフドレン	G2	画桟木製：65×24SOP撤去(撤去跡はモルタルにて補修) ※数値は取付段数を示す。2＝2段、Gは1段とする。
TD	竪樋（径は図示による）	画2	画桟木製：65×24EP-G　2段新設

改　修　凡　例

：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）
　　　ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
HW○○ ：新設ＲＣ耐震補強壁を示す。（○○は壁厚を示す。）
：改修範囲を示す。
：の範囲は工事範囲外を示す。
：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。
（Ｌ○は壁種別を示す。）
：新設建具を示す。
（＊はガラス種別、○は枠見込を示す。）※特記なきは建具表による。
：既存建具改修を示す。
：新設　サインを示す。番号は種別を示す。
※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。
（排水コア抜き共）

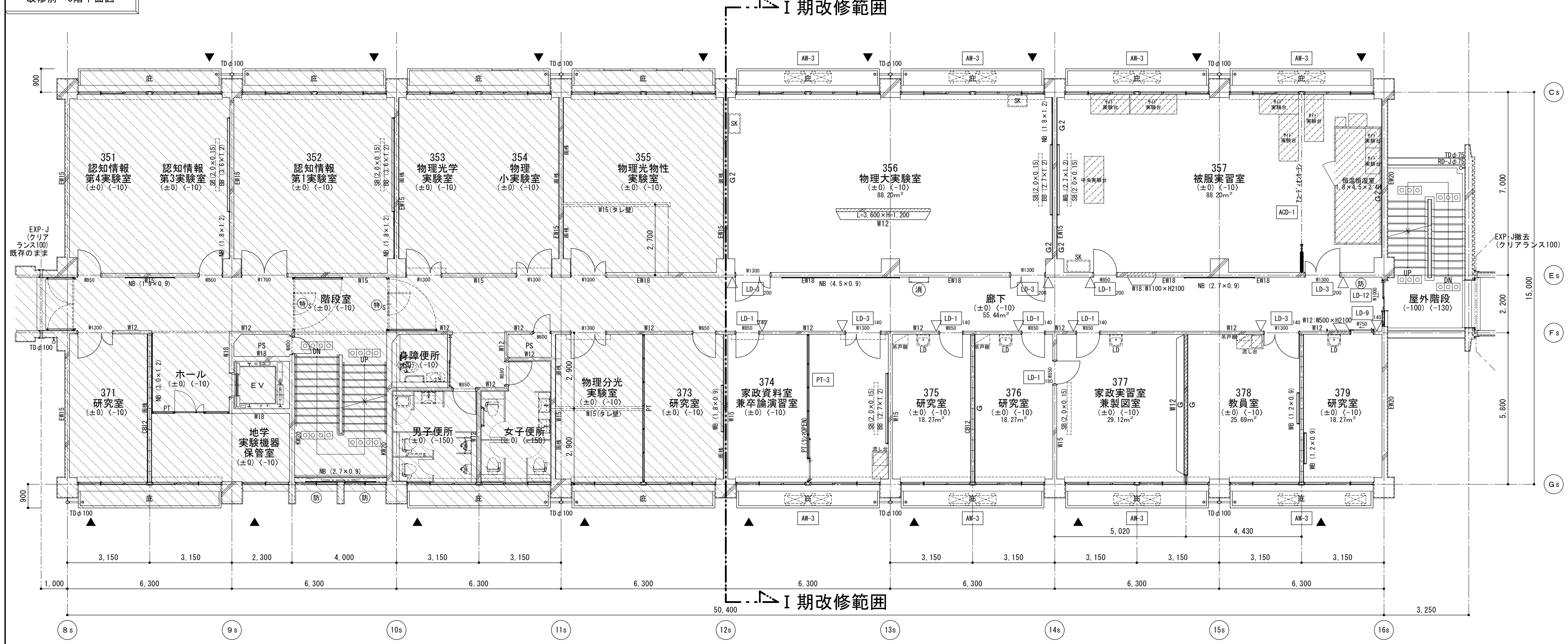
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）				69 枚のうち 14 号
図面名称	改修前・改修後　2階平面図				縮尺　－
課　長	副課長	係　長	係　員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課					

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先諭司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号

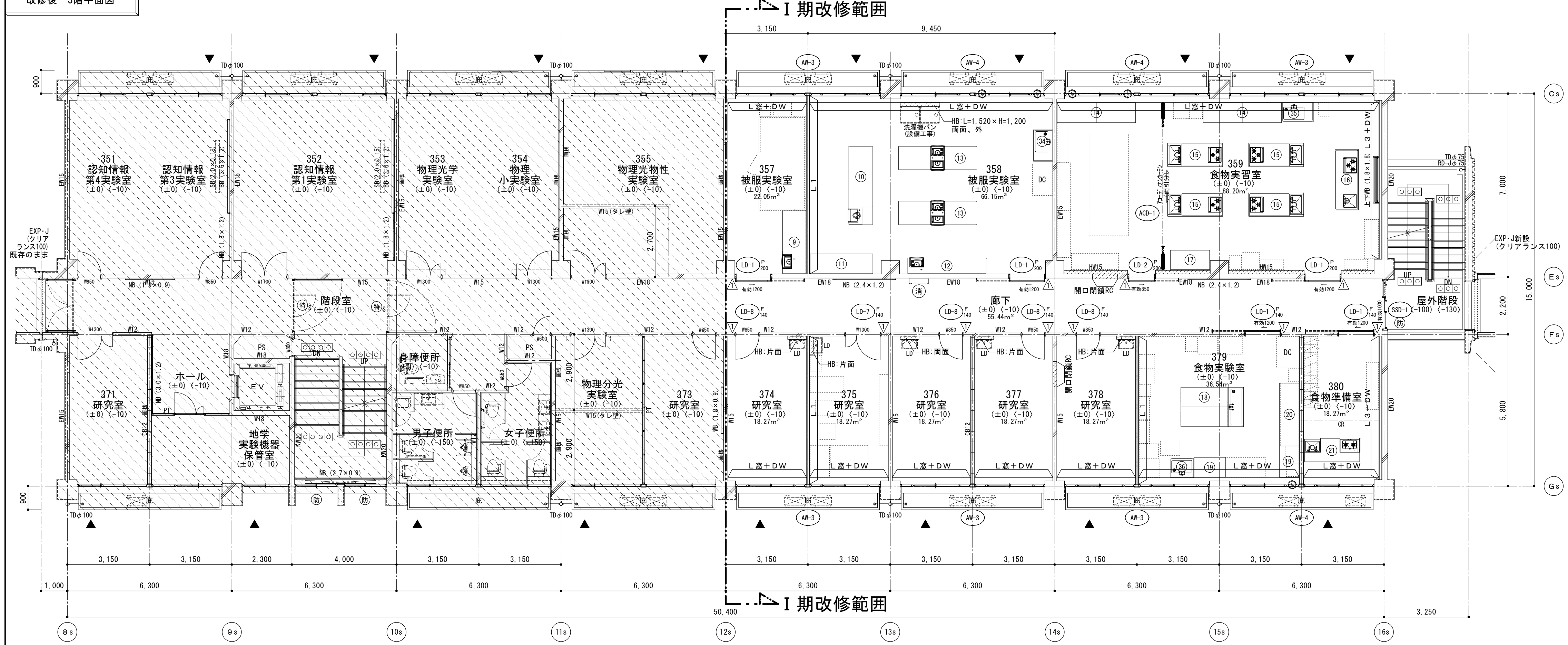
総括	主任	担当

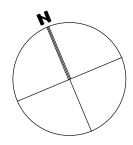
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1　1/100　A3　1/200	図面番号 Ａ－７
図面名称	改修前・改修後　2階平面図		

改修前　3階平面図



改修後　3階平面図





撤去凡例

- ：ＲＣ壁、柱（WOOはＲＣ壁厚を示す。）ＣＢOOはコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。（WOは壁種別を示す。）
- ：撤去建具を示す。（Oは枠見込を示す。）
- ：既存建具改修を示す。

※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。

※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

△ ：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。

※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。

※注記　明示のない限り下記による。

- アスベスト混入の恐れのある材料は関係法令に従い、適正に処理する。（ビニル系床タイル、天井：石綿板）
- 家具類、間仕切などの撤去跡はモルタルにて補修する。厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
- 撤去の際、見え掛り残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
- 既設部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現況復旧のこと。
- 天井仕上撤去（廻り縁共）は、特記なき限り下地共とする。
- 塗装仕上の塗り替は既設下地補修のこと。
- 工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
- 壁付、天井付備品で不要なもの（サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等）は、本工事で撤去すること。
- 特記以外の流し台、作業台、机等施設で不要なものは、本工事にて撤去すること。
- コンクリート流し台・ストーンテーブル・ドラフトチャンバー・実験台・ダクト類手洗等衛生機器などの撤去跡の補修は本工事に含む。
- 撤去後は清掃のこと。

凡例. 記号		壁種　凡例	
ＢＢ	平面黒板(　)はW×Hの大きさを示す。上下：上下式、引：引き分けを示す。(撤去・新設)	ＷＴ１	防火区画耐火壁（１時間耐火）LGS＋ＧＢ－Ｆt=12.5＋ＧＢ－Ｆt=12.5（両面、天井裏共）
ＷＢ	白板(　)はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ１	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井裏共）
ＮＢ	掲示板(　)はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ２	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井面まで）
ＣＴ	コンクリート製テーブル(撤去)	Ｌ３	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、天井面まで）
ＣＴＴ	コンクリート製天秤台(撤去)	Ｌ窓	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、窓下まで）
ＳＳ	ステンレス製流し台(撤去)	ＧＬ	ＧＢ－Ｒt=12.5（ＧＬ工法t=25）
ＤＣ	ドラフトチャンバー(撤去・設置は別途工事)	W15	コンクリート壁(数値は厚み)を示す。
ＴＺ	テラゾー現場研ぎ	CB12	コンクリートブロック積t=120の上、モルタルt=20コテ押え(両面)天井までを示す。
ＳＢ	スクリーンボックス(O×O)は長さ、ボックス大きさを示す。(本体は別途)(撤去・新設)		ＬO＋Ｇは、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＰＪ	プロジェクター取付金物(本体は別途)(既存又は新設)		特記なき開口閉鎖はＷＴ１としスタッドはチドリ配置とし、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＣＲ	カーテンレール(撤去・新設)		開口閉鎖RC：コンクリートにて閉鎖（詳細は構造図による。）
ＦＡ	フリーアクセスフロアー　Ｈは高さを示す。	ＤＷ	壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 最上階スラブ下：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 改修後の断熱材吹付を示す。
ＨＢ	配管パック ※新規LDにはL720×H1,100とする。		
Ｌ	手洗い器(設備工事)	（　）	ＦＬからの床仕上面高さを示す。
ＬＤ	洗面化粧台(設備工事)	〈　〉	ＦＬからの床スラブ天端高さを示す。
(消)	屋内消火栓(設備工事)	(防)	防火設備　ガラスは網入りt=6.8
(1)	実験台等の家具番号を示す。（家具詳細図参照）	(Ｅ)	電気錠
RD-T	たて引き用　ルーフドレン	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
RD-Y	よこ引き用　ルーフドレン	◎	ドラフト排気部分アルミパネル範囲を示す。
RD-J	中継用　ルーフドレン	Ｇ2	画桟木製：65×24SOP撤去(撤去跡はモルタルにて補修) ※数値は取付段数を示す。2＝2段、Gは1段とする。
TD	竪樋（径は図示による）	画2	画桟木製：65×24EP-G　2段新設

改修凡例

- ：ＲＣ壁、柱（WOOはＲＣ壁厚を示す。）ＣＢOOはコンクリートブロック壁厚を示す。）
- HWOO ：新設ＲＣ耐震補強壁を示す。（OOは壁厚を示す。）
- ：改修範囲を示す。
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。（ＬOは壁種別を示す。）
- ：新設建具を示す。（＊はガラス種別、Oは枠見込を示す。）※特記なきは建具表による。
- ：既存建具改修を示す。
- ：新設　サインを示す。番号は種別を示す。

※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。（排水コア抜き共）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 15 号	
図面名称	改修前・改修後　3階平面図	縮尺	－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録番号252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号

総括	主任	担当

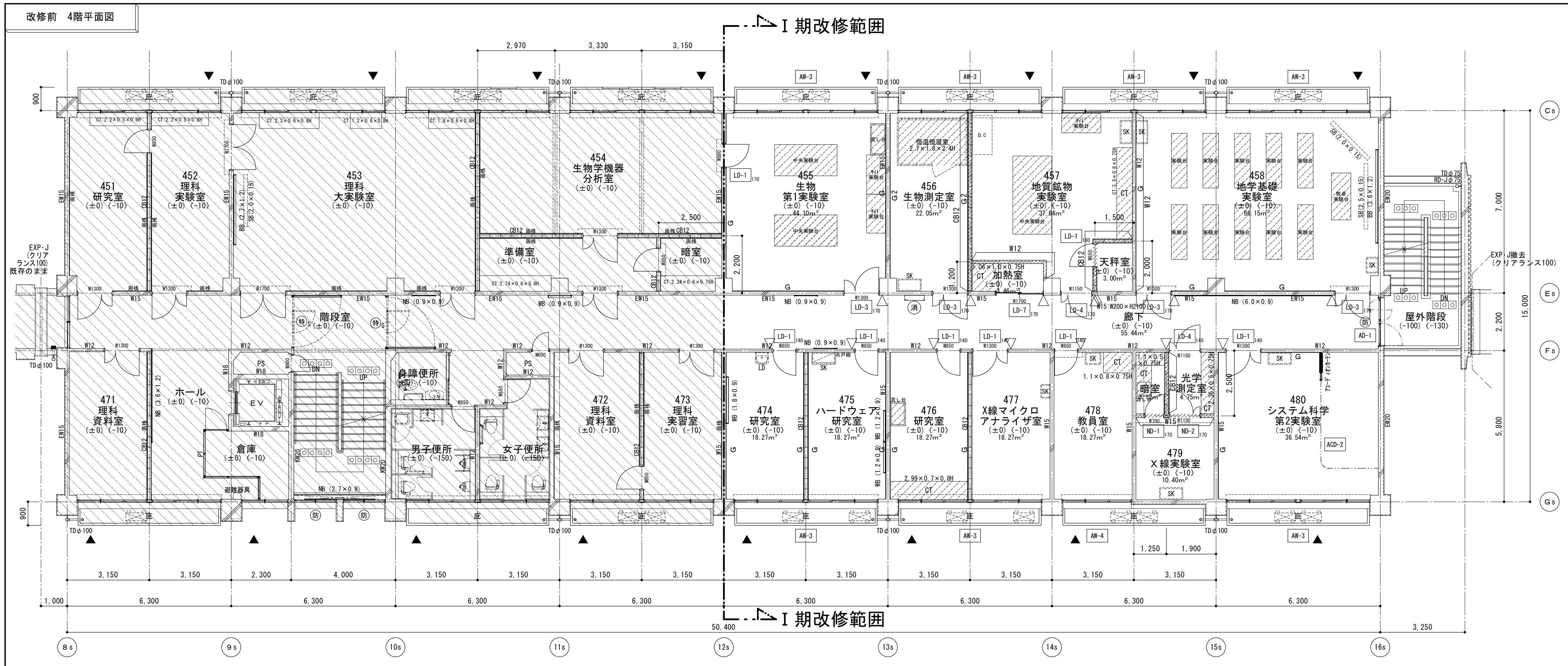
業務名称：滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務

図面名称：改修前・改修後　3階平面図

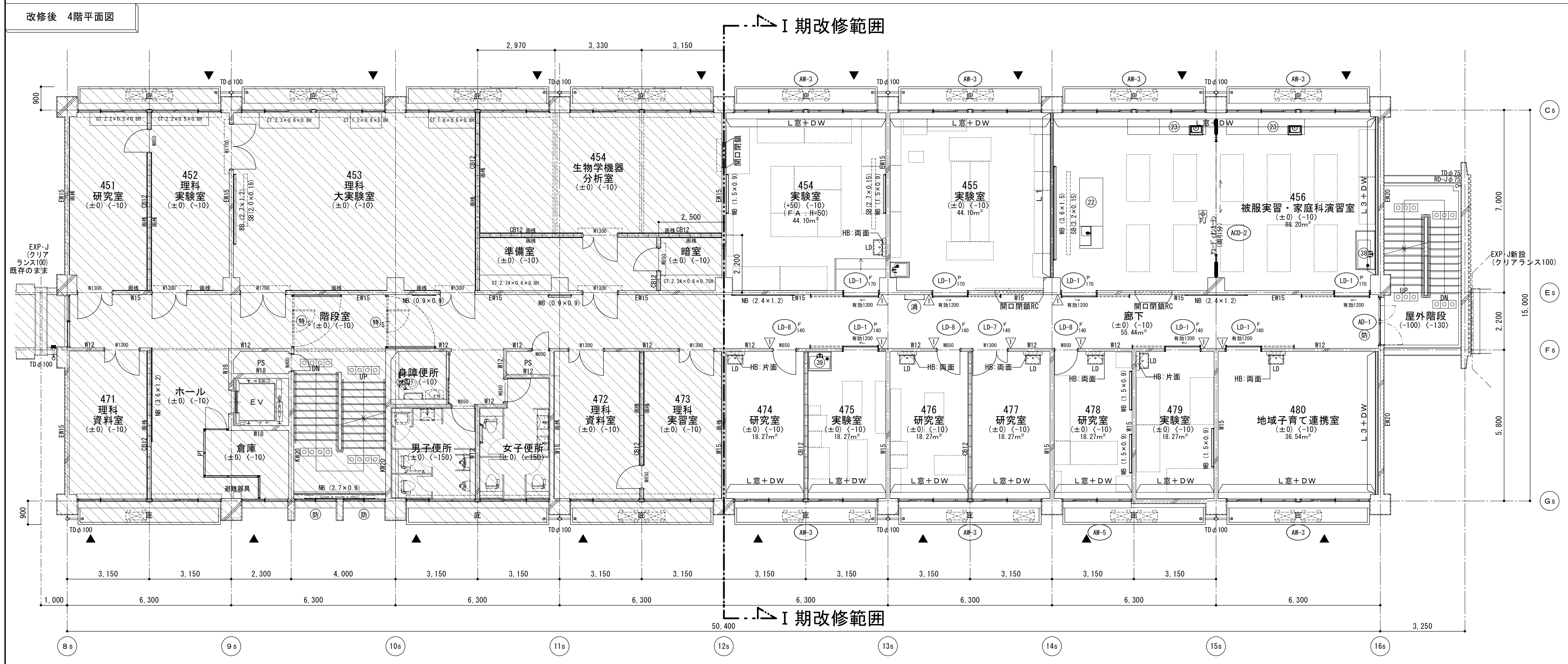
縮尺：A1　1/100　A3　1/200

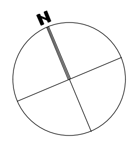
図面番号：Ａ－８

改修前　4階平面図



改修後　4階平面図





撤去凡例

- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。（W○は壁種別を示す。）
- **-*：撤去建具を示す。（○は枠見込を示す。）
- ：既存建具改修を示す。
- ※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
- ※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。
- △：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。
- ※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。

※注記　明示のない限り下記による。

- アスベスト混入の恐れのある材料は関係法令に従い、適正に処理する。
  （ビニル系床タイル、天井：石綿板）
- 家具類、間仕切などの撤去跡はモルタルにて補修する。
  厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
- 撤去の際、見え掛り残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
- 既設部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現況復旧のこと。
- 天井仕上撤去（廻り縁共）は、特記なき限り下地共とする。
- 塗装仕上の塗り替は既設下地補修のこと。
- 工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
- 壁付、天井付備品で不要なもの（サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等）は、
  本工事で撤去すること。
- 特記以外の流し台、作業台、机等施設で不要なものは、
  本工事にて撤去すること。
- コンクリート流し台・ストーンテーブル・ドラフトチャンバー・実験台・ダクト類
  手洗等衛生機器などの撤去跡の補修は本工事に含む。
- 撤去後は清掃のこと。

凡例. 記号		壁種　凡例	
ＢＢ	平面黒板（ ）はW×Hの大きさを示す。上下：上下式、引：引き分けを示す。(撤去・新設)	ＷＴ１	防火区画耐火壁（１時間耐火）LGS＋ＧＢ－Ｆt=12.5＋ＧＢ－Ｆt=12.5（両面、天井裏共）
ＷＢ	白板（ ）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ１	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井裏共）
ＮＢ	掲示板（ ）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ２	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井面まで）
ＣＴ	コンクリート製テーブル(撤去)	Ｌ３	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、天井面まで）
ＣＴＴ	コンクリート製天秤台(撤去)	Ｌ窓	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、窓下まで）
ＳＳ	ステンレス製流し台(撤去)	ＧＬ	ＧＢ－Ｒt=12.5（ＧＬ工法t=25)
ＤＣ	ドラフトチャンバー(撤去・設置は別途工事)	W15	コンクリート壁(数値は厚み)を示す。
ＴＺ	テラゾー現場研ぎ	CB12	コンクリートブロック積t=120の上、モルタルt=20コテ押え(両面)天井までを示す。
ＳＢ	スクリーンボックス(○×○)は長さ、ボックス大きさを示す。(本体は別途)(撤去・新設)	（二重線）	Ｌ○＋Ｇは、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＰＪ	プロジェクター取付金物(本体は別途)(既存又は新設)	（記号）	特記なき開口閉鎖はＷＴ１としスタッドはチドリ配置とし、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＣＲ	カーテンレール(撤去・新設)	（記号）	開口閉鎖RC：コンクリートにて閉鎖（詳細は構造図による。）
ＦＡ	フリーアクセスフロアー　Hは高さを示す。	ＤＷ	壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 最上階スラブ下：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 改修後の断熱材吹付を示す。
ＨＢ	配管パック ※新規LDにはL720×H1,100とする。		
Ｌ	手洗い器(設備工事)	（　）	ＦＬからの床仕上面高さを示す。
ＬＤ	洗面化粧台(設備工事)	〈　〉	ＦＬからの床スラブ天端高さを示す。
(消)	屋内消火栓(設備工事)	(防)	防火設備　　ガラスは網入りt=6.8
(1)	実験台等の家具番号を示す。（家具詳細図参照）	(Ｅ)	電気錠
RD-T	たて引き用　　ルーフドレン	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
RD-Y	よこ引き用　　ルーフドレン	（記号）	ドラフト排気部分アルミパネル範囲を示す。
RD-J	中継用　　ルーフドレン	Ｇ2	画桟木製：65×24SOP撤去(撤去跡はモルタルにて補修) ※数値は取付段数を示す。2＝2段、Gは1段とする。
TD	竪樋（径は図示による）	画2	画桟木製：65×24EP-G　2段新設

改修凡例

- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）ＣＢ○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- HW○○：新設ＲＣ耐震補強壁を示す。（○○は壁厚を示す。）
- ：改修範囲を示す。
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。（Ｌ○は壁種別を示す。）
- **-*：新設建具を示す。（＊はガラス種別、○は枠見込を示す。）※特記なきは建具表による。
- ：既存建具改修を示す。
- △1：新設　サインを示す。番号は種別を示す。
- ※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。（排水コア抜き共）

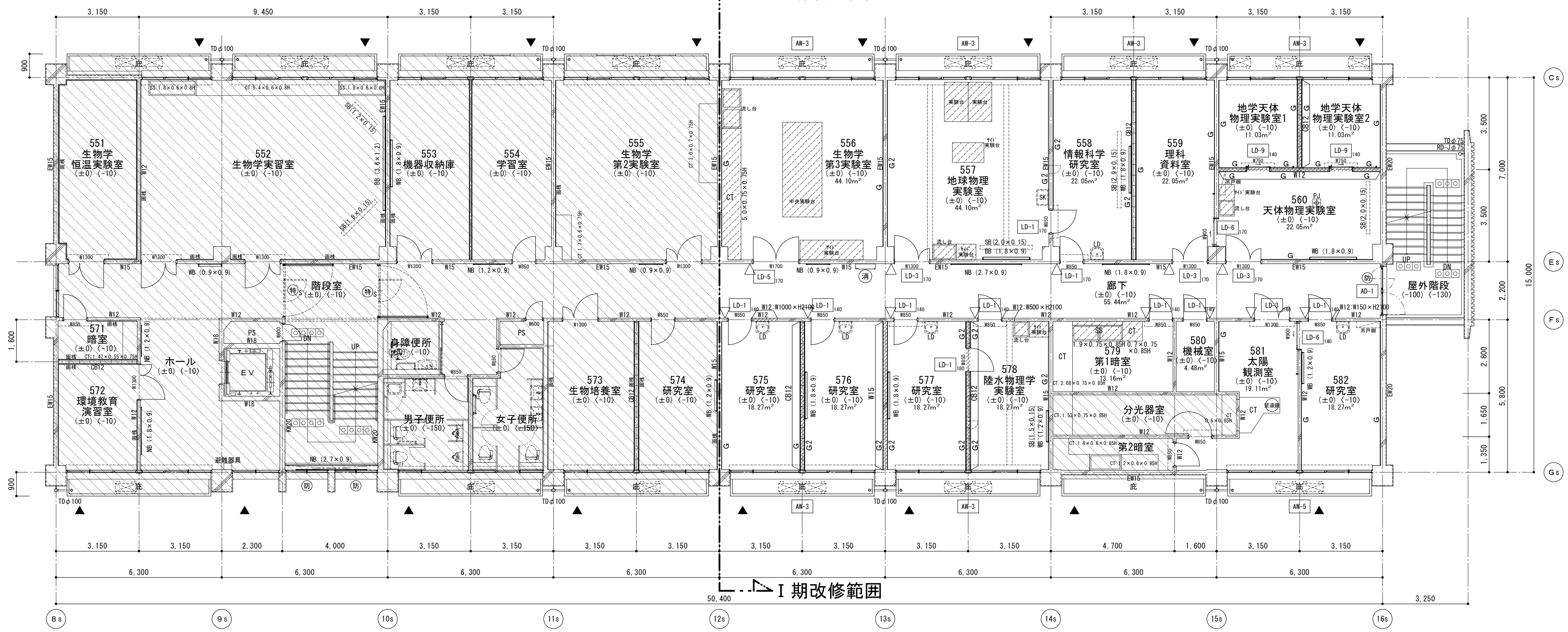
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）			69 枚のうち 16 号
図面名称	改修前・改修後　4階平面図			縮尺　－
課長	副課長	係長	係員	作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課				

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号

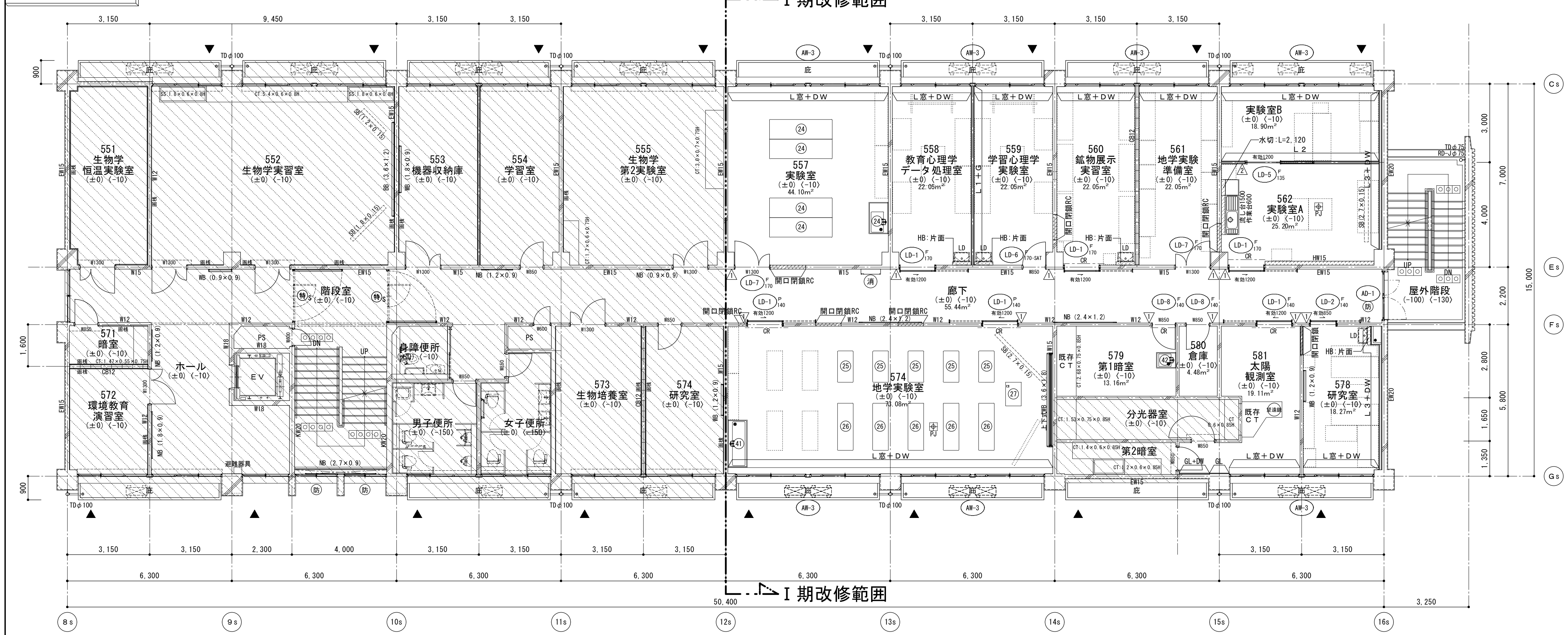
総括	主任	担当

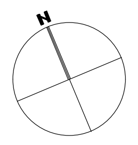
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 Ａ－９
図面名称	改修前・改修後　4階平面図		

改修前　5階平面図



改修後　5階平面図





撤　去　凡　例

- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）CB○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。（W○は壁種別を示す。）
- ：撤去建具を示す。（○は枠見込を示す。）
- ：既存建具改修を示す。

※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。
△ ：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。
※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。

※注記　明示のない限り下記による。
- アスベスト混入の恐れのある材料は関係法令に従い、適正に処理する。（ビニル系床タイル、天井：石綿板）
- 家具類、間仕切などの撤去跡はモルタルにて補修する。厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
- 撤去の際、見え掛り残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
- 既設部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現況復旧のこと。
- 天井仕上撤去（廻り縁共）は、特記なき限り下地共とする。
- 塗装仕上の塗り替は既設下地補修のこと。
- 工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
- 壁付、天井付備品で不要なもの（サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等）は、本工事で撤去すること。
- 特記以外の流し台、作業台、机等施設で不要なものは、本工事にて撤去すること。
- コンクリート流し台・ストーンテーブル・ドラフトチャンバー・実験台・ダクト類手洗等衛生機器などの撤去跡の補修は本工事に含む。
- 撤去後は清掃のこと。

凡例．記号		壁種　凡例	
ＢＢ	平面黒板（　）はW×Hの大きさを示す。上下：上下式、引：引き分けを示す。(撤去・新設)	ＷＴ１	防火区画耐火壁（１時間耐火）LGS＋ＧＢ－Ｆt=12.5＋ＧＢ－Ｆt=12.5（両面、天井裏共）
ＷＢ	白板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ１	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井裏共）
ＮＢ	掲示板（　）はW×Hの大きさを示す。(撤去・新設)	Ｌ２	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（両面、天井面まで）
ＣＴ	コンクリート製テーブル(撤去)	Ｌ３	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、天井面まで）
ＣＴＴ	コンクリート製天秤台(撤去)	Ｌ窓	LGS＋ＧＢ－Ｒt=12.5＋ＧＢ－Ｒt=12.5（片面、窓下まで）
ＳＳ	ステンレス製流し台(撤去)	ＧＬ	ＧＢ－Ｒt=12.5（ＧＬ工法t=25）
ＤＣ	ドラフトチャンバー(撤去・設置は別途工事)	W15	コンクリート壁(数値は厚み)を示す。
ＴＺ	テラゾー現場研ぎ	CB12	コンクリートブロック積t=120の上、モルタルt=20コテ押え(両面)天井までを示す。
ＳＢ	スクリーンボックス(○×○)は長さ、ボックス大きさを示す。(本体は別途)(撤去・新設)	═	Ｌ○＋Ｇは、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＰＪ	プロジェクター取付金物(本体は別途)(既存又は新設)	▨	特記なき開口閉鎖はＷＴ１としスタッドはチドリ配置とし、グラスウールt=50(24K)充填とする。
ＣＲ	カーテンレール(撤去・新設)	▨	開口閉鎖RC：コンクリートにて閉鎖（詳細は構造図による。）
ＦＡ	フリーアクセスフロアー　Ｈは高さを示す。	ＤＷ	壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 最上階スラブ下：現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付t=25 改修後の断熱材吹付を示す。
ＨＢ	配管パック ※新規LDにはL720×H1,100とする。		
Ｌ	手洗い器(設備工事)	(　)	ＦＬからの床仕上面高さを示す。
ＬＤ	洗面化粧台(設備工事)	〈　〉	ＦＬからの床スラブ天端高さを示す。
(消)	屋内消火栓(設備工事)	(防)	防火設備　　ガラスは網入りt=6.8
(1)	実験台等の家具番号を示す。（家具詳細図参照）	(E)	電気錠
RD-T	たて引き用　　ルーフドレン	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
RD-Y	よこ引き用　　ルーフドレン	◎	ドラフト排気部分アルミパネル範囲を示す。
RD-J	中継用　　ルーフドレン	G2	画桟木製：65×24SOP撤去(撤去跡はモルタルにて補修) ※数値は取付段数を示す。2＝2段、Gは1段とする。
TD	竪樋（径は図示による）	画2	画桟木製：65×24EP-G　2段新設

改　修　凡　例

- ：ＲＣ壁、柱（W○○はＲＣ壁厚を示す。）CB○○はコンクリートブロック壁厚を示す。）
- HW○○ ：新設ＲＣ耐震補強壁を示す。（○○は壁厚を示す。
- ：改修範囲を示す。
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。（Ｌ○は壁種別を示す。）
- ：新設建具を示す。（＊はガラス種別、○は枠見込を示す。）※特記なきは建具表による。
- ：既存建具改修を示す。
- △ ：新設　サインを示す。番号は種別を示す。

※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。（排水コア抜き共）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）				69 枚のうち 17 号
図面名称	改修前・改修後　5階平面図				縮尺　－
課　長	副課長	係　長	係　員		作成　令和4年　7月
滋賀大学施設管理課					

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 Ａ－10
図面名称	改修前・改修後　5階平面図		

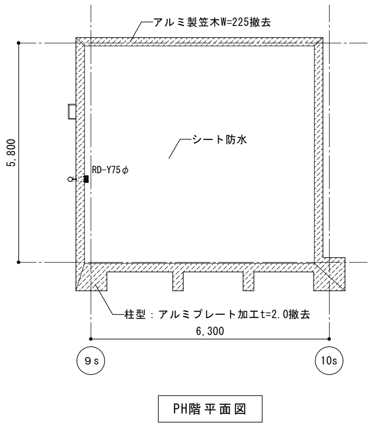
改修前 R階平面図

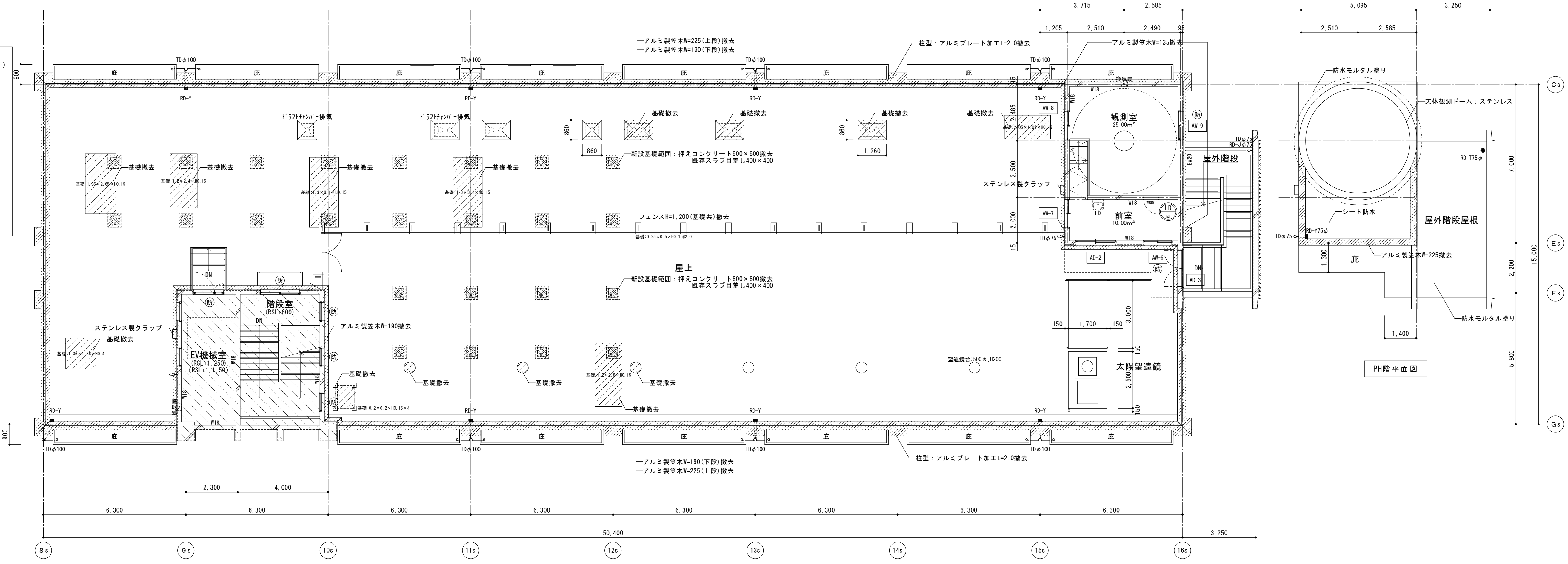
撤去凡例

- ：ＲＣ壁、柱（WOOはＲＣ壁厚を示す。）ＣＢOOはコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：仕上撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：部分撤去範囲を示す。（一部下地共）
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　撤去範囲を示す。（WOは壁種別を示す。）
- ：撤去建具を示す。（Oは枠見込を示す。）
- ：既存建具改修を示す。

※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

△ ：既設撤去　サイン（L200×H80×アクリルt=5突出）を示す。
※図中、撤去備品等の大きさは、撤去詳細図のリストを参照。



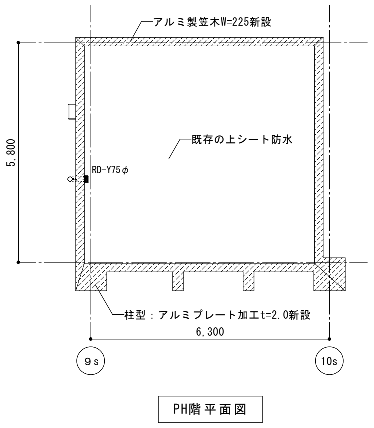


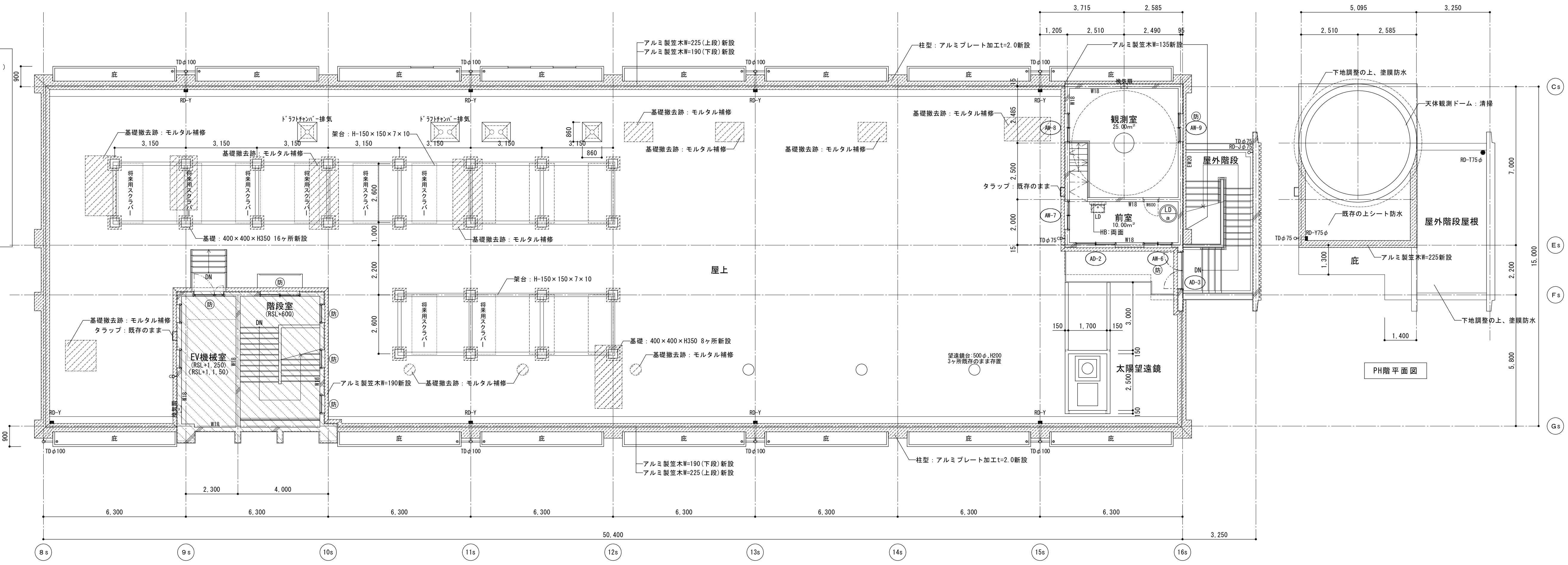
改修後 R階平面図

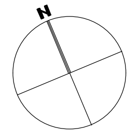
改修凡例

- ：ＲＣ壁、柱（WOOはＲＣ壁厚を示す。）ＣＢOOはコンクリートブロック壁厚を示す。）
- ：改修範囲を示す。
- ：の範囲は工事範囲外を示す。
- ：間仕切壁、部分　新設範囲を示す。（LOは壁種別を示す。）
- ：新設建具を示す。（＊はガラス種別、Oは枠見込を示す。）
※特記なきは建具表による。
- ：既存建具改修を示す。
- ：新設　サインを示す。番号は種別を示す。

※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。（排水コア抜き共）







工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 18 号	
図面名称	改修前・改修後　R階平面図	縮尺　—	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月	
滋賀大学施設管理課			

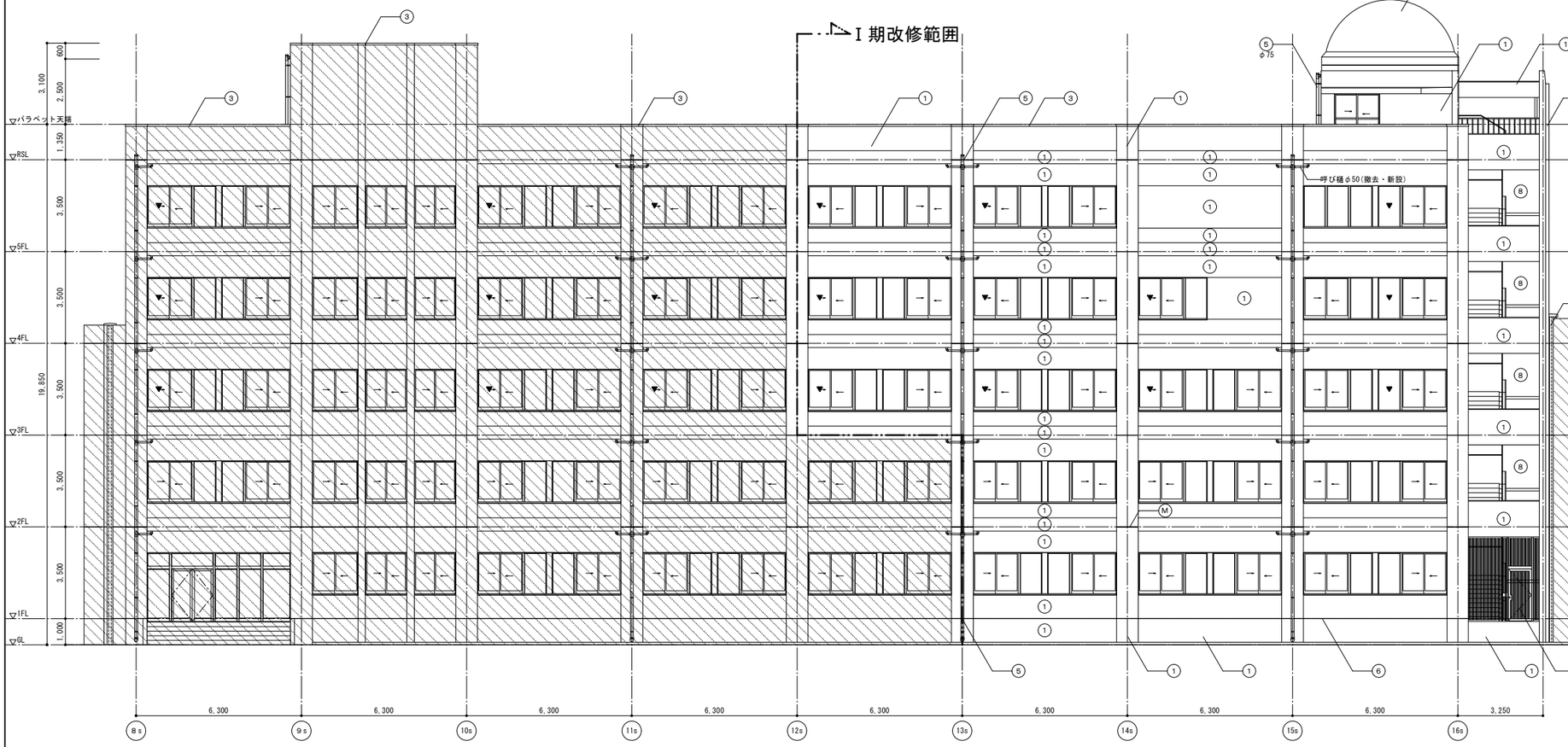
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 諭司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括　主任　担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　R階平面図	A1　1/100 A3　1/200	A － 11

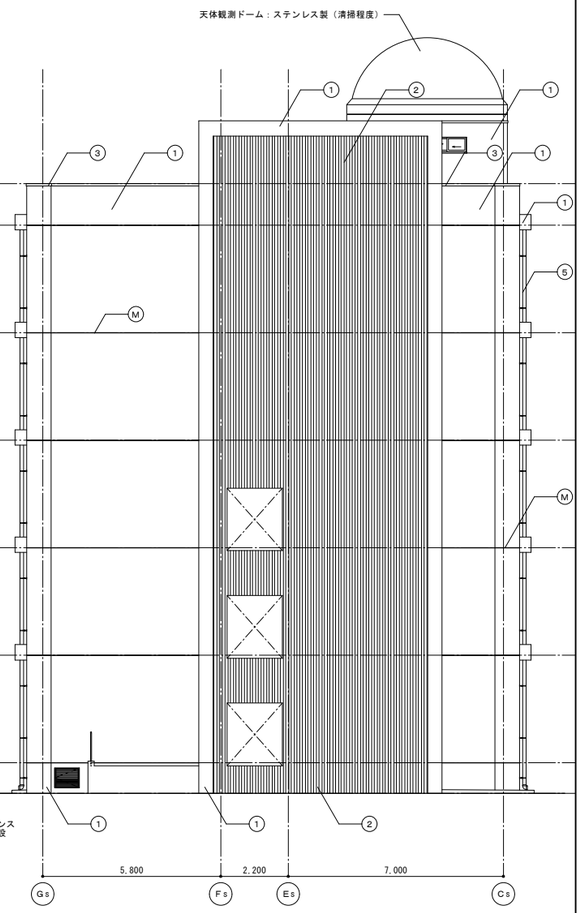
外壁改修仕様表

部位	劣化状況	工法	設計参考数量	単位
(打放し面)	1mm以下のひび割れ部分	アクリル樹脂系ノンカットひび割れ補修工法	7．0	m

※「外部足場設置後、外壁面の事前調査（目視や打診による確認作業、マーキング、計測、図面記入）を行うこと」



南面　立面図　S=1/100



東面　立面図　S=1/100

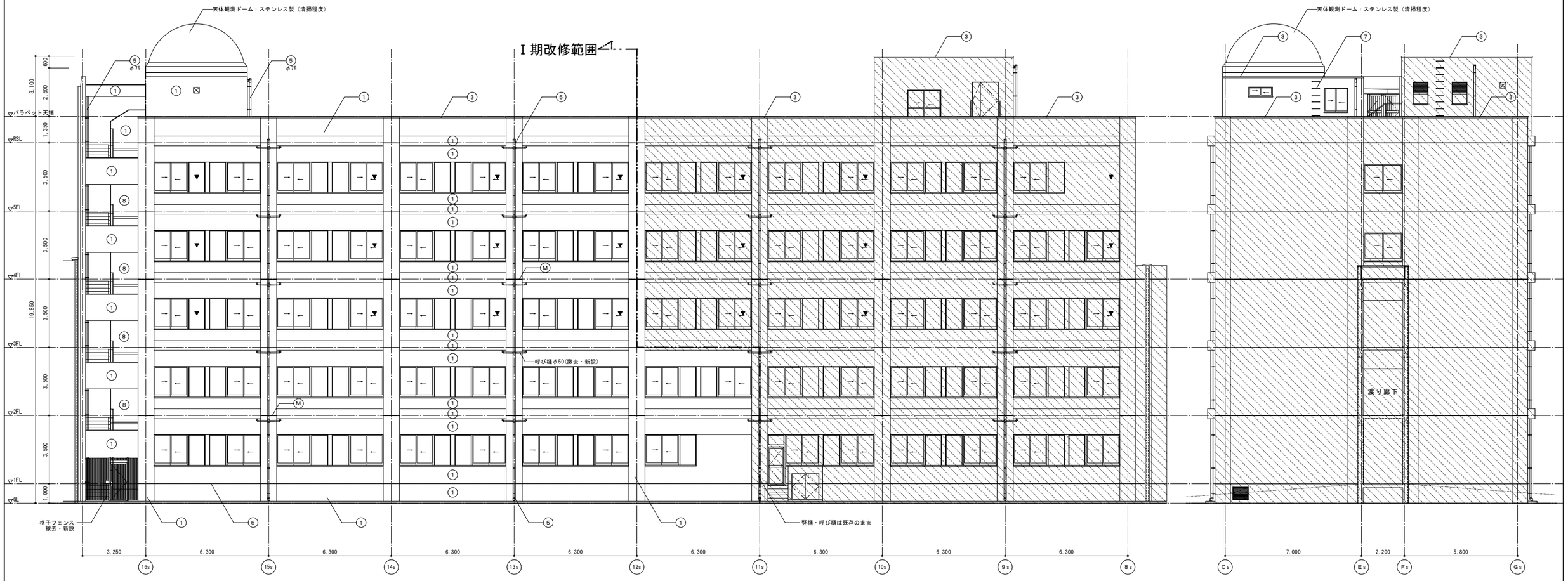
：の範囲は工事範囲外を示す。

記号	改修前　仕上凡例	改修後　仕上凡例	記号	改修前　仕上凡例	改修後　仕上凡例
①	コンクリート打放しの上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E	⑥	防水モルタルコテ押え(水切)	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E
②	リブ付きコンクリート下地の上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E	⑦	ステンレス製タラップ	既存のまま
③	笠木：アルミ製	撤去・新設	⑧	コンクリート打放しの上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E
④	アルミ製ＥＸＰ・Ｊ(既製品)	撤去・新設	Ⓜ	コンクリート打ち継ぎ目地	シーリング撤去・新設
⑤	竪樋：ＶＰ(掴み金物：@1,200内外)特記なきはφ100とする。	撤去・新設　カラーＶＰ(掴み金物：ステンレス製)特記なきはφ100とする。	▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示	標示シール撤去・新設

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 19 号	
図面名称	改修前・改修後　立面図(1)	縮尺	—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士 神丸 眞司 登録第 61119 号
一級建築士事務所 京都府知事登録 (ロ)(2)第3311号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　立面図(1)	A1 1/100 A3 1/200	A － 12



北面　立面図　S=1/100

西面　立面図　S=1/100

：の範囲は工事範囲外を示す。

記号	改修前　仕上凡例	改修後　仕上凡例
1	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
2	リブ付きコンクリート下地の上、複層塗材Ｅ	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
3	笠木：アルミ製	撤去・新設
4	アルミ製ＥＸＰ・Ｊ(既製品)	撤去・新設
5	竪樋：ＶＰ(鋼み金物：#1,200内外)特記なきはφ100とする。	撤去・新設　カラーＶＰ(鋼み金物：ステンレス製)特記なきはφ100とする。

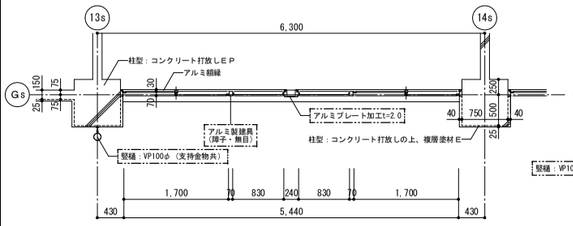
記号	改修前　仕上凡例	改修後　仕上凡例
6	防水モルタルコテ押え(水切)	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
7	ステンレス製タラップ	既存のまま
8	コンクリート打放しの上、複層塗材Ｅ	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材Ｅ
M	コンクリート打ち継ぎ目地	シーリング撤去・新設
▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示	標示シール撤去・新設

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）			69 枚のうち 20 号	
図面名称	改修前・改修後　立面図(2)			縮尺	—
課長	副課長	係長	係員	作成	令和4年 7月
滋賀大学施設管理課					

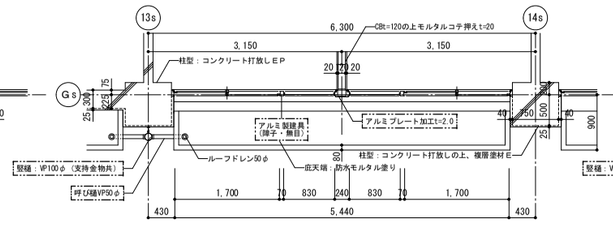
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先鎮司　登録第34111号
一級建築士事務所　京都知事登録　第22512号

総括	主任	担当

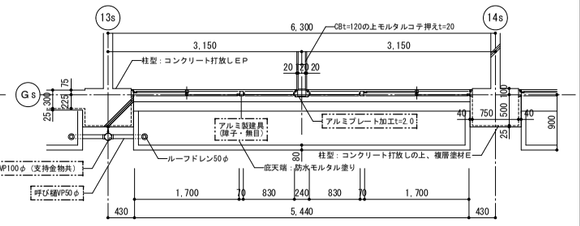
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　立面図(2)	A1　1/100 A3　1/200	A － 13



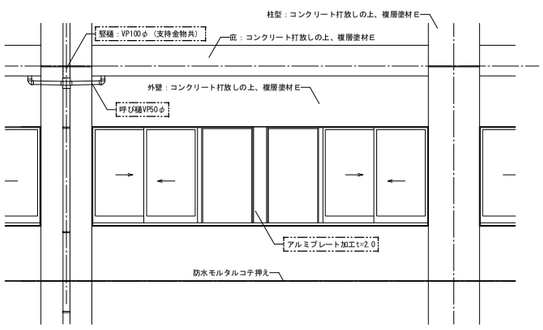
1階　開口部廻り平面詳細図　S=1/50



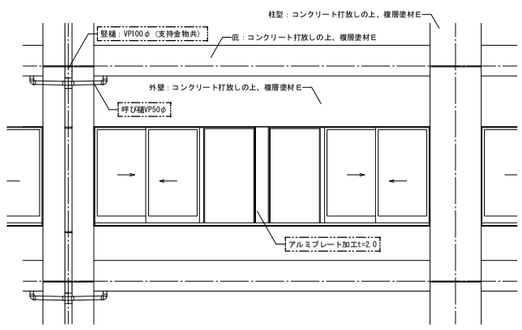
2、3階　開口部廻り平面詳細図　S=1/50



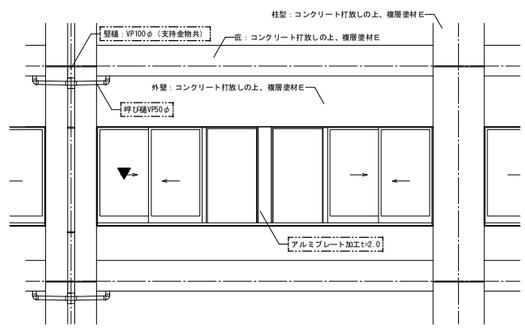
4、5階　開口部廻り平面詳細図　S=1/50



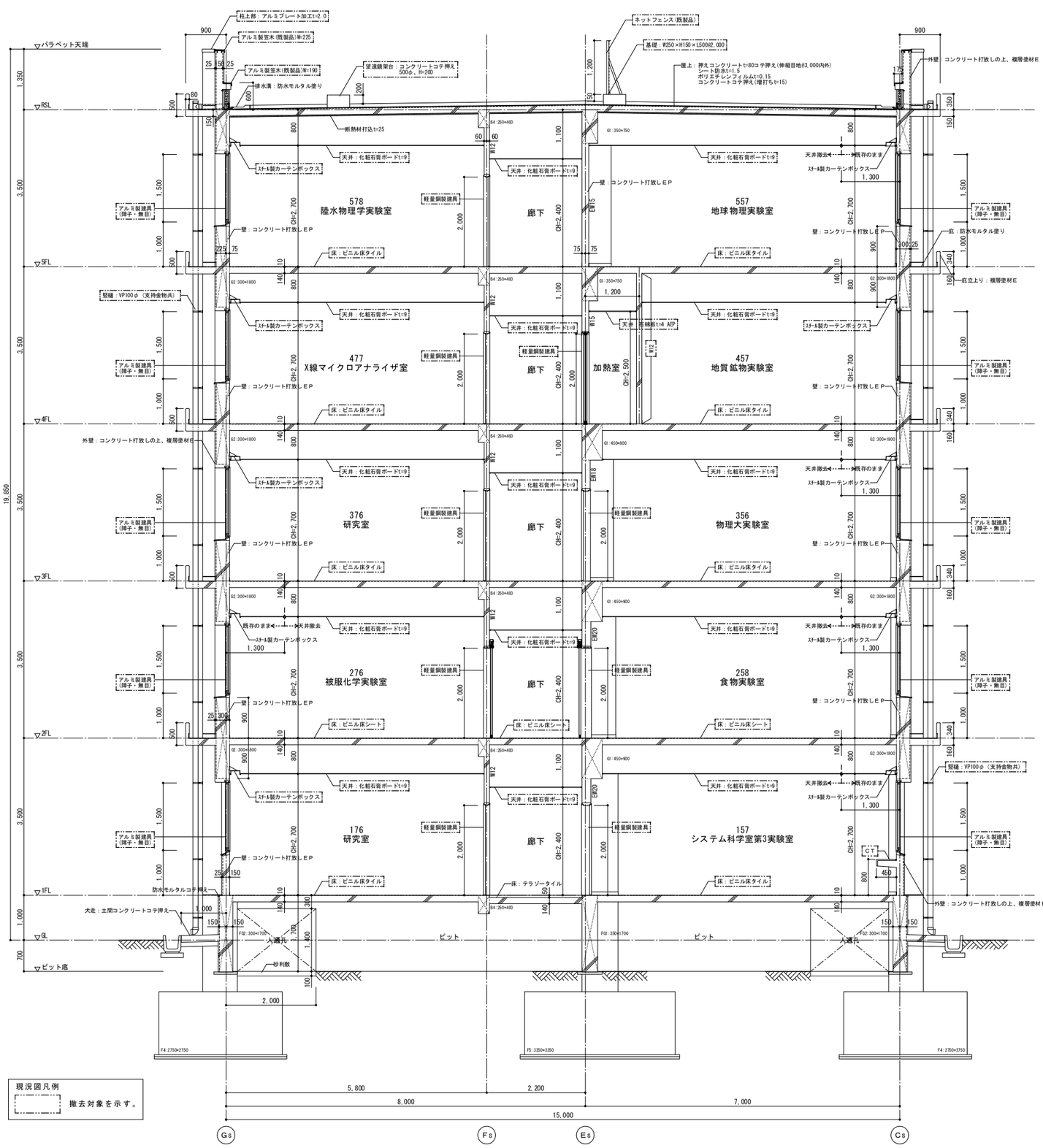
1階　開口部廻り立面図　S=1/50



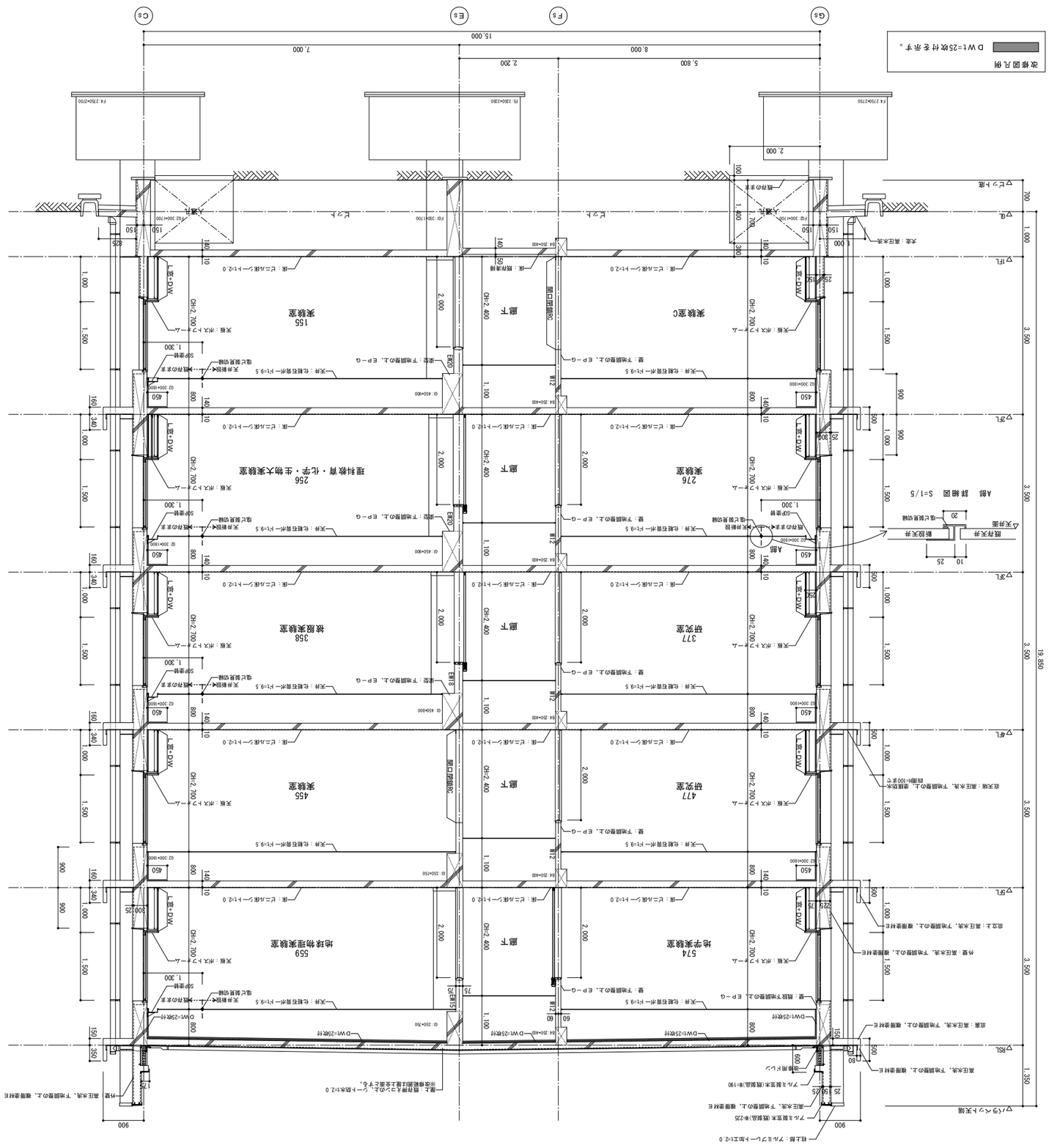
2、3階　開口部廻り立面図　S=1/50

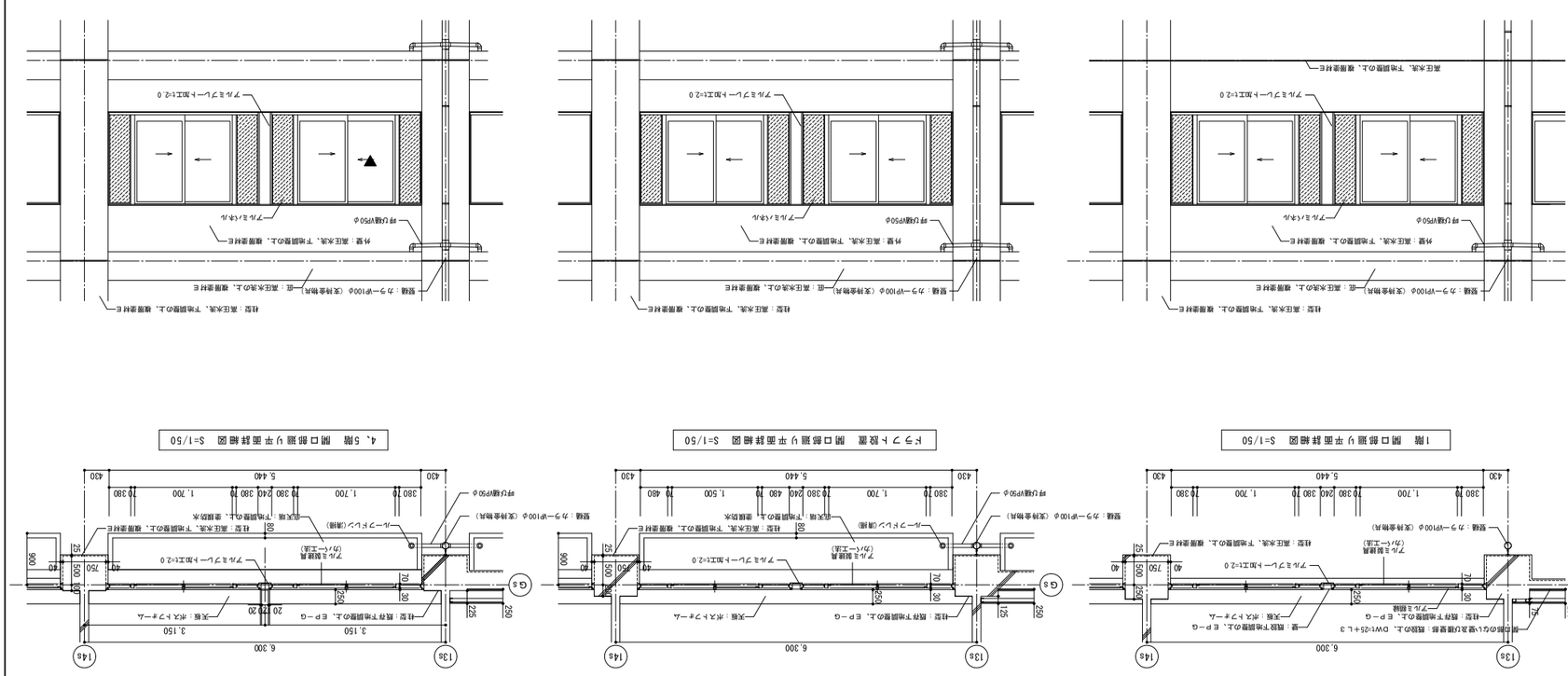


4、5階　開口部廻り立面図　S=1/50



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（1期）
図面名称	改修前　断面詳細図
設計監督	滋賀大学施設管理課
69枚のうち 21号	縮尺 —
作成 令和4年 7月	
設計	内藤建築事務所
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	改修前　断面詳細図
縮尺	A1 1/50　A3 1/100
図面番号	A－14



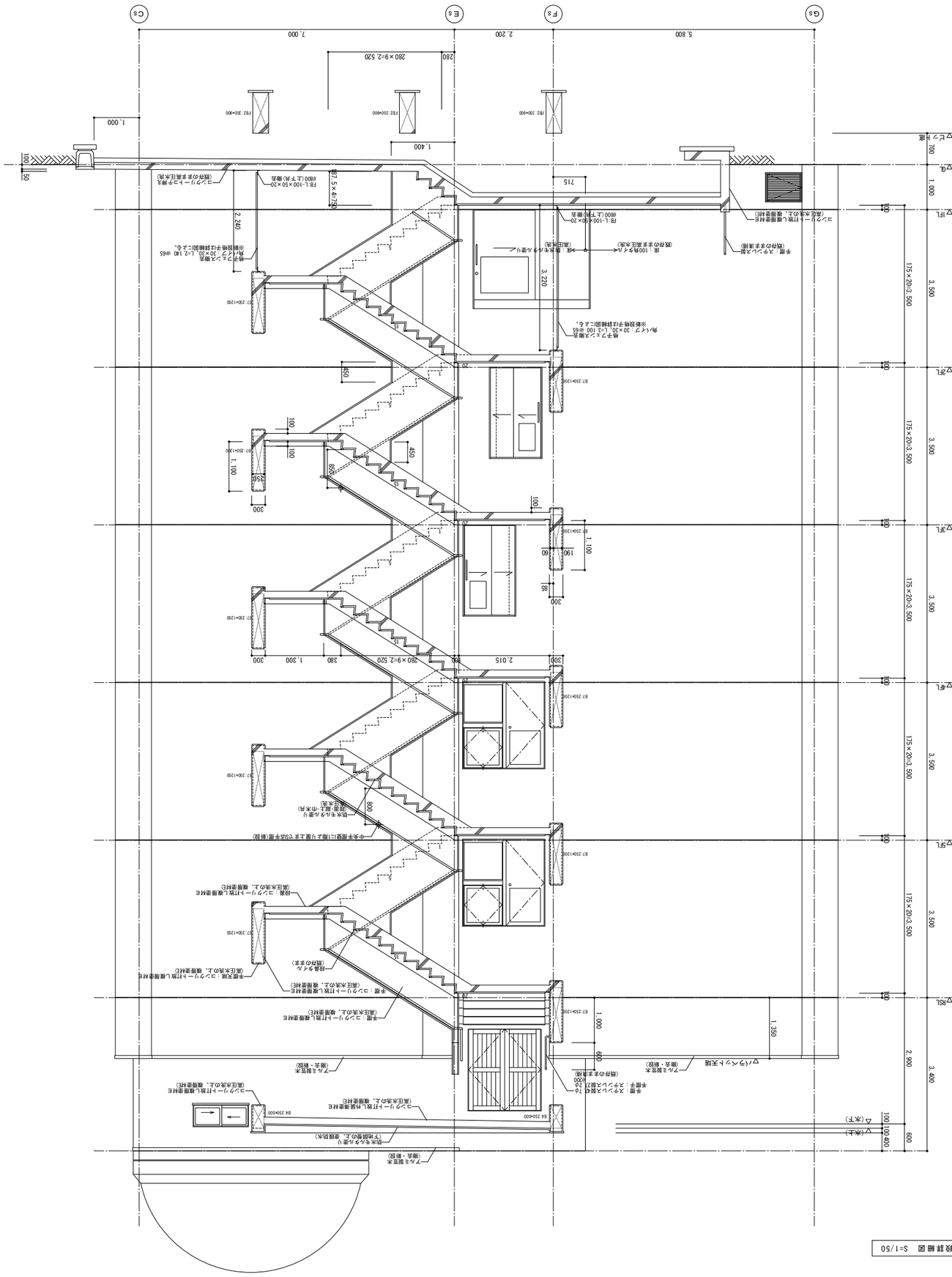


工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）
図面名称	改修後 断面詳細図
縮尺	69枚のうち 22号
作成	令和4年 7月

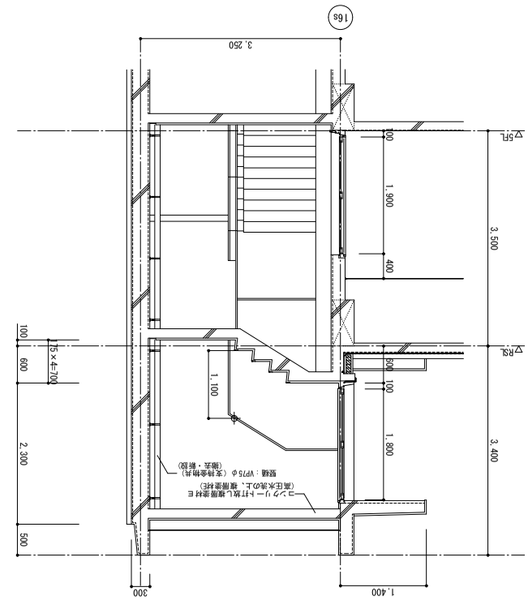
滋賀大学施設管理課

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	改修後 断面詳細図
縮尺	A1 1/50　A3 1/100
図面番号	A－15

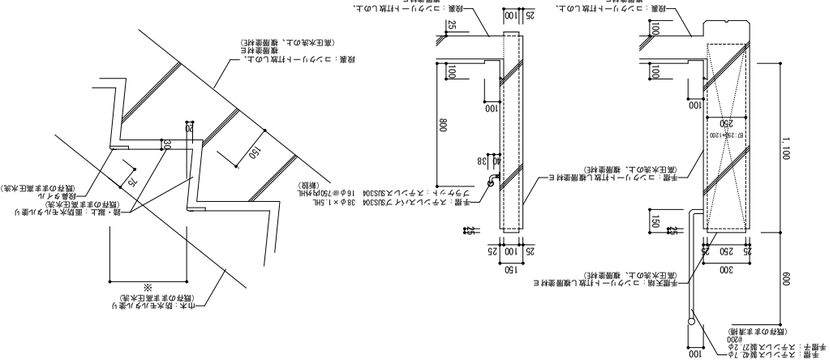
内藤建築事務所
滋賀県近江八幡市土手町183
TEL(0748)33-0001 FAX(0748)33-0002
起案 主任 担当



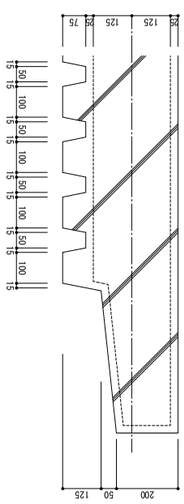
屋上階段詳細図 S=1/50



手摺詳細図 S=1/20



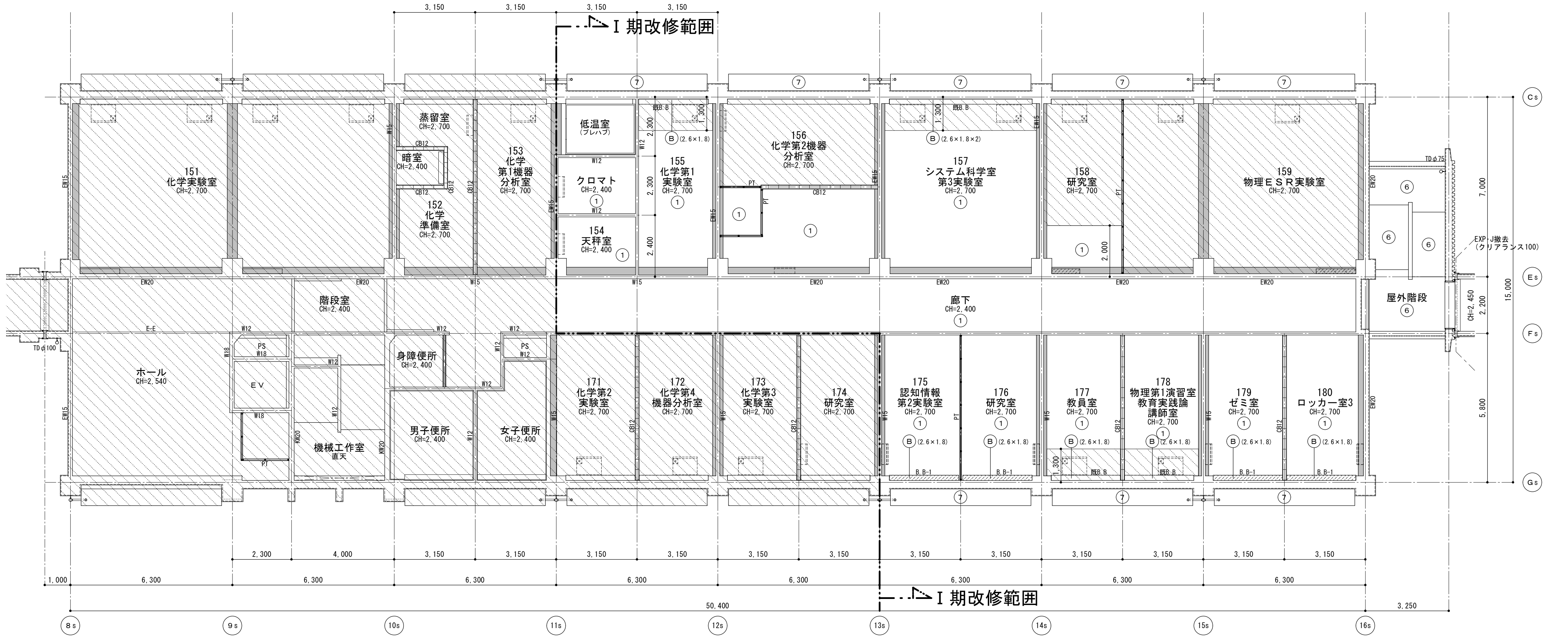
段 詳細図 S=1/10



化粧リブ詳細図 S=1/10

図面番号	A－16
縮尺	A1 1/50 A3 1/100
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	改修前・改修後　屋外階段詳細図
内藤建築事務所	京都府京都市中京区御池通室町西入 TEL 075-211-1133 FAX 075-211-1134
起案	所長
主任	担当
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）
図面名称	改修前・改修後　屋外階段詳細図
69枚のうち 23号	
縮尺	－
作成	令和4年 7月
課長	課長補佐
係長	係員
滋賀大学施設管理課	

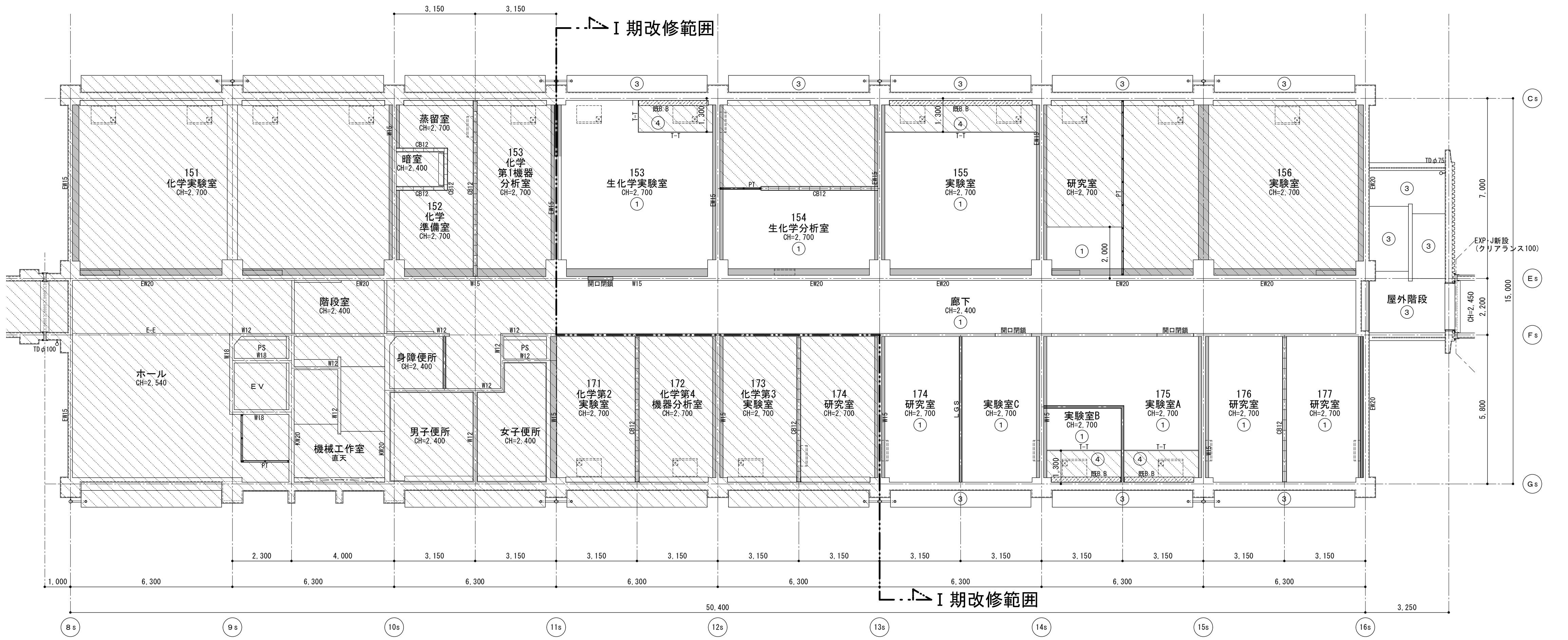
改修前　1階天井伏図



※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9　　廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ　　廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ　　廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ
Ⓑ	ブラインド(　)はW×Hを示す。(撤去)
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)
既B.B	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)
A.B	スチール製暗幕ボックス：（カーテンレール共）(撤去)
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。

改修後　1階天井伏図



※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5　　廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付
T-T	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。

天井開口補強リスト

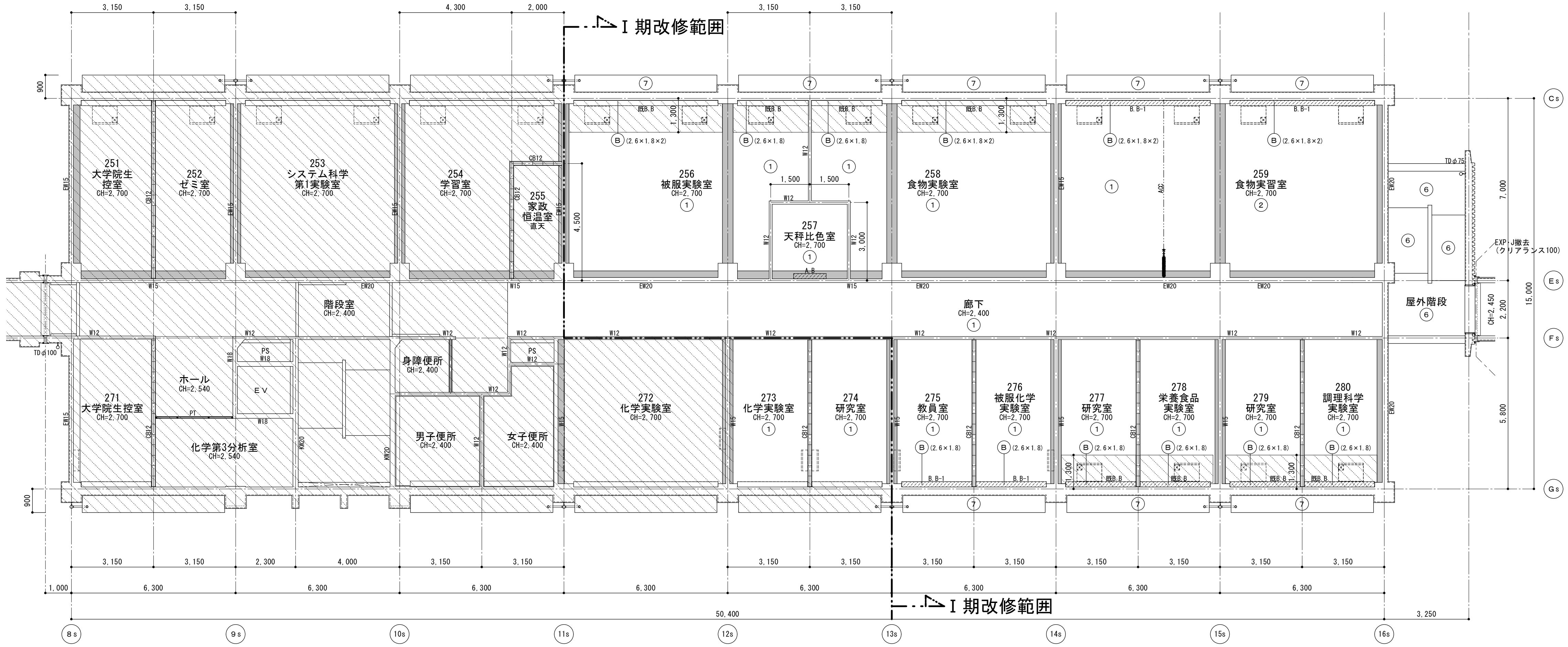
	合計
720×460	68
910×550	3
310×310	5
390×390	20
280×280	1
315×315	1
395×395	6
210×1274	22
天井点検口450×450	170

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）		69 枚のうち 24 号
図面名称	改修前・改修後　1階天井伏図		縮尺　―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員			作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	改修前・改修後　1階天井伏図
縮尺	A1　1/100　A3　1/200
図面番号	A－17

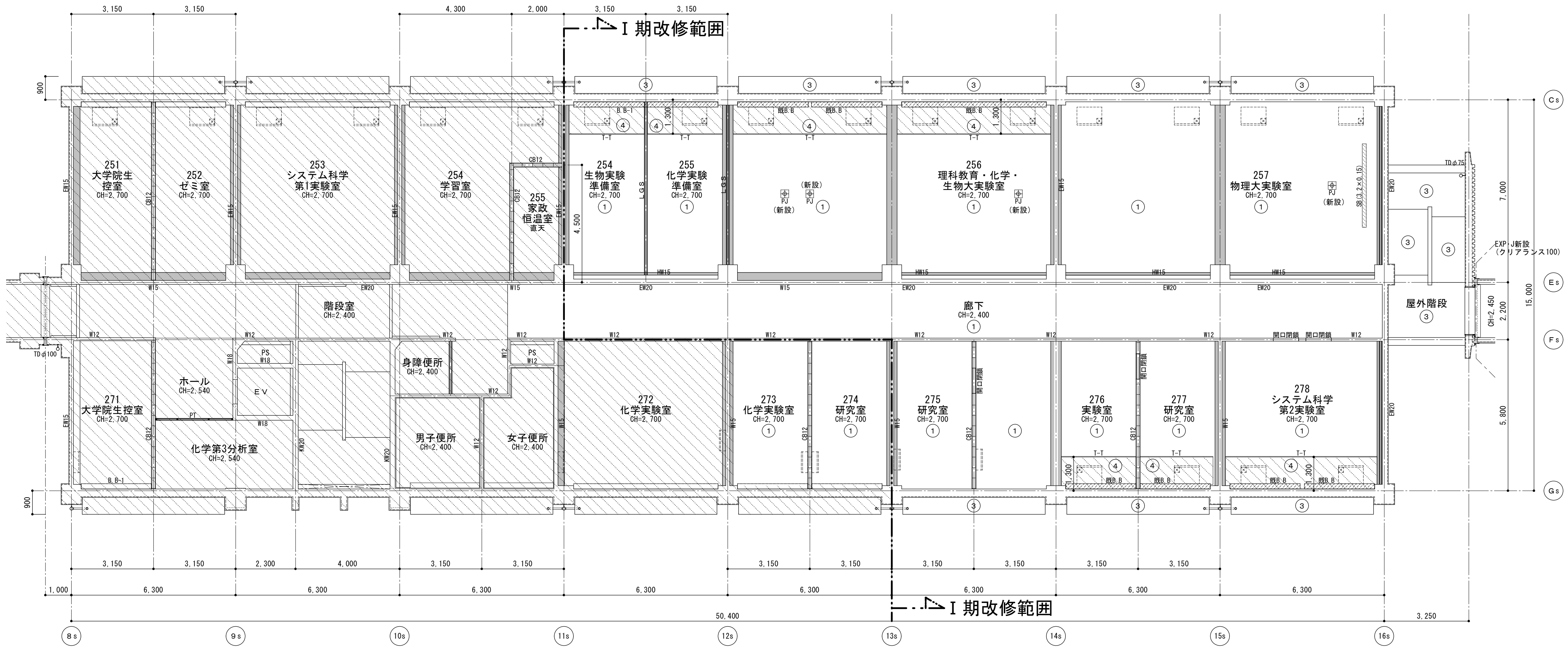
改修前　2階天井伏図



※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)		
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9	廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ	廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ	廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付	
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ	
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ	
Ⓑ	ブラインド(　)はW×Hを示す。(撤去)	
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)	
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)	
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)	
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)	
A.B	スチール製暗幕ボックス：（カーテンレール共）(撤去)	
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)	
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)	
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し	
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)	
(網掛)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)	
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。	

改修後　2階天井伏図



※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)		
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5	廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ	
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ	
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替	
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)	
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)	
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)	
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付	
T-T	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁	
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付	
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)	
(網掛)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)	
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。	

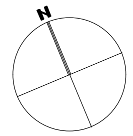
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）				69 枚のうち 25 号
図面名称	改修前・改修後　2階天井伏図				縮尺　－
課　長	副課長	係　長	係　員		作成 令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課					

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 諭司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号

総　括	主　任	担　当

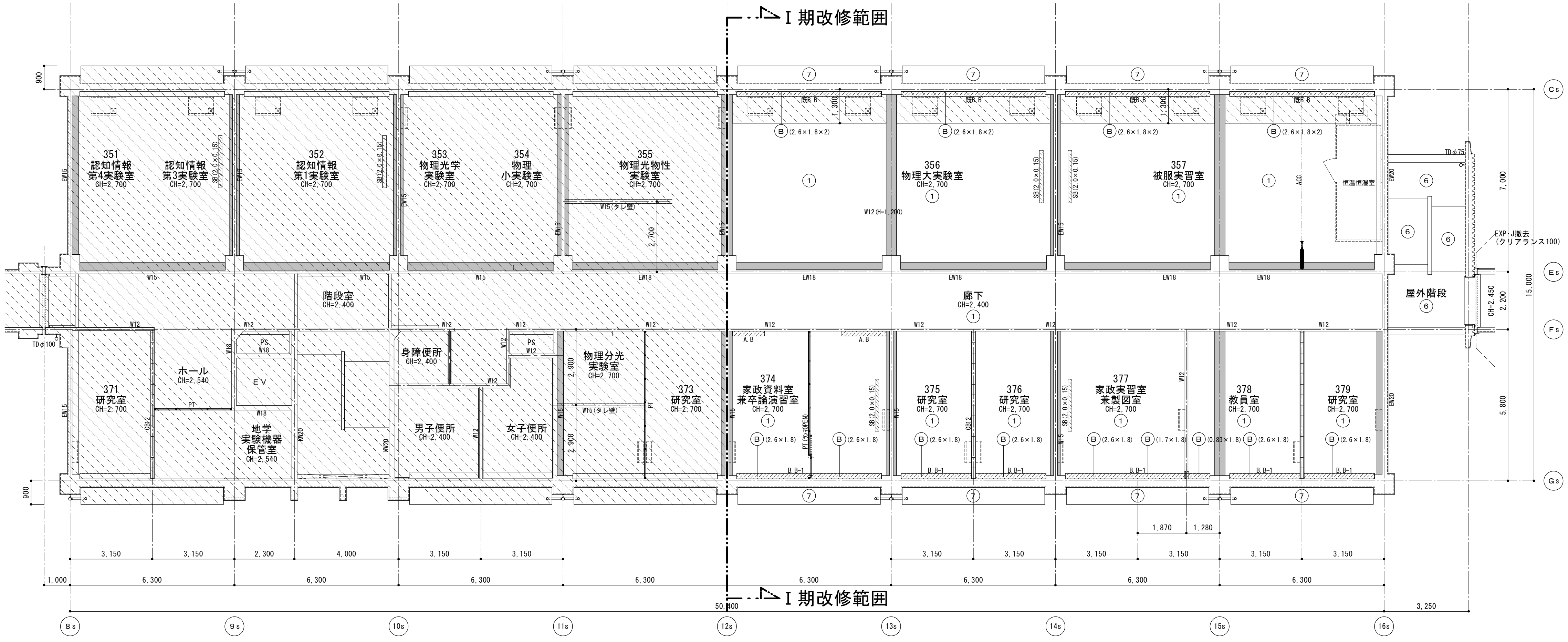
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　2階天井伏図	A1　1/100 A3　1/200	Ａ－18

改修前　3階天井伏図



※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

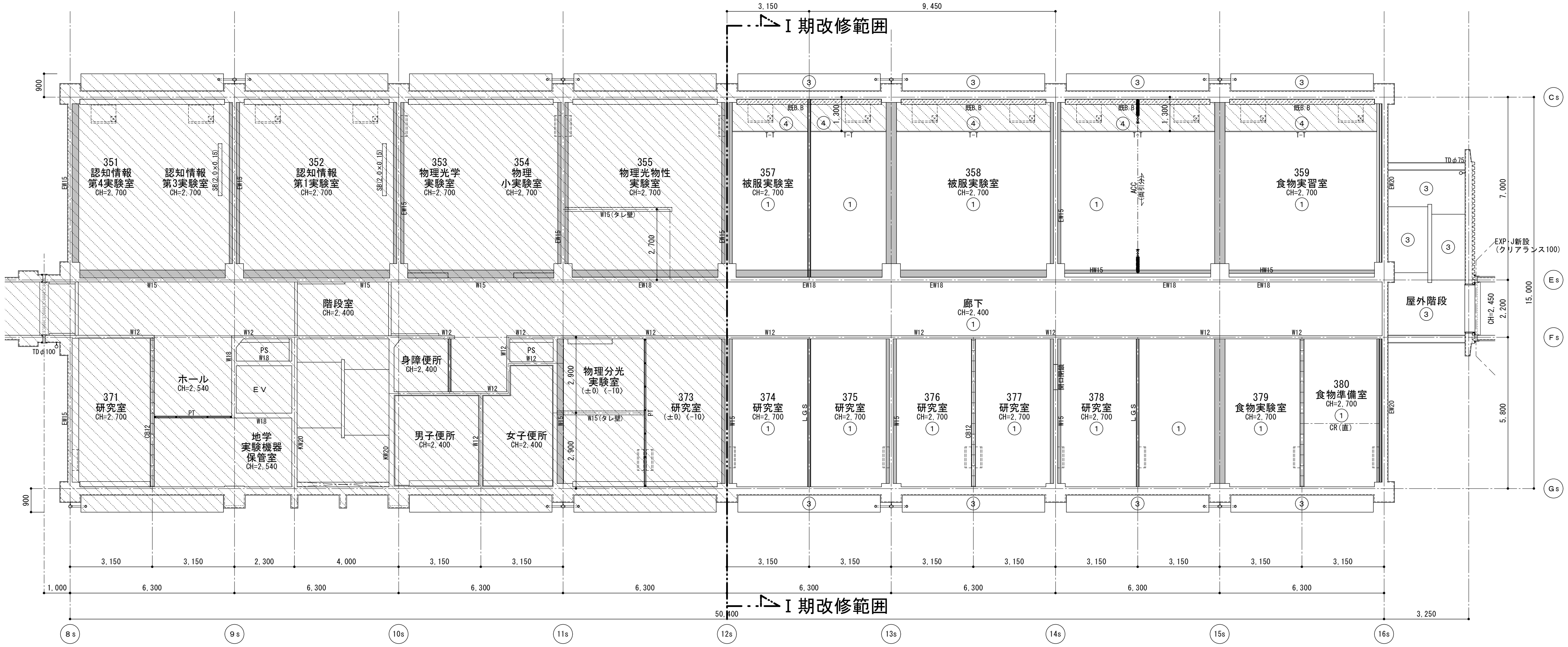
凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9　　廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ　　廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ　　廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ
Ⓑ	ブラインド(　)はW×Hを示す。(撤去)
SB	スクリーンボックス：(　)は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)
A.B	スチール製暗幕ボックス：(カーテンレール共)(撤去)
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)
(網掛)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。



改修後　3階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5　　廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替
SB	スクリーンボックス：(　)は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付
T-T	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)
(網掛)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。



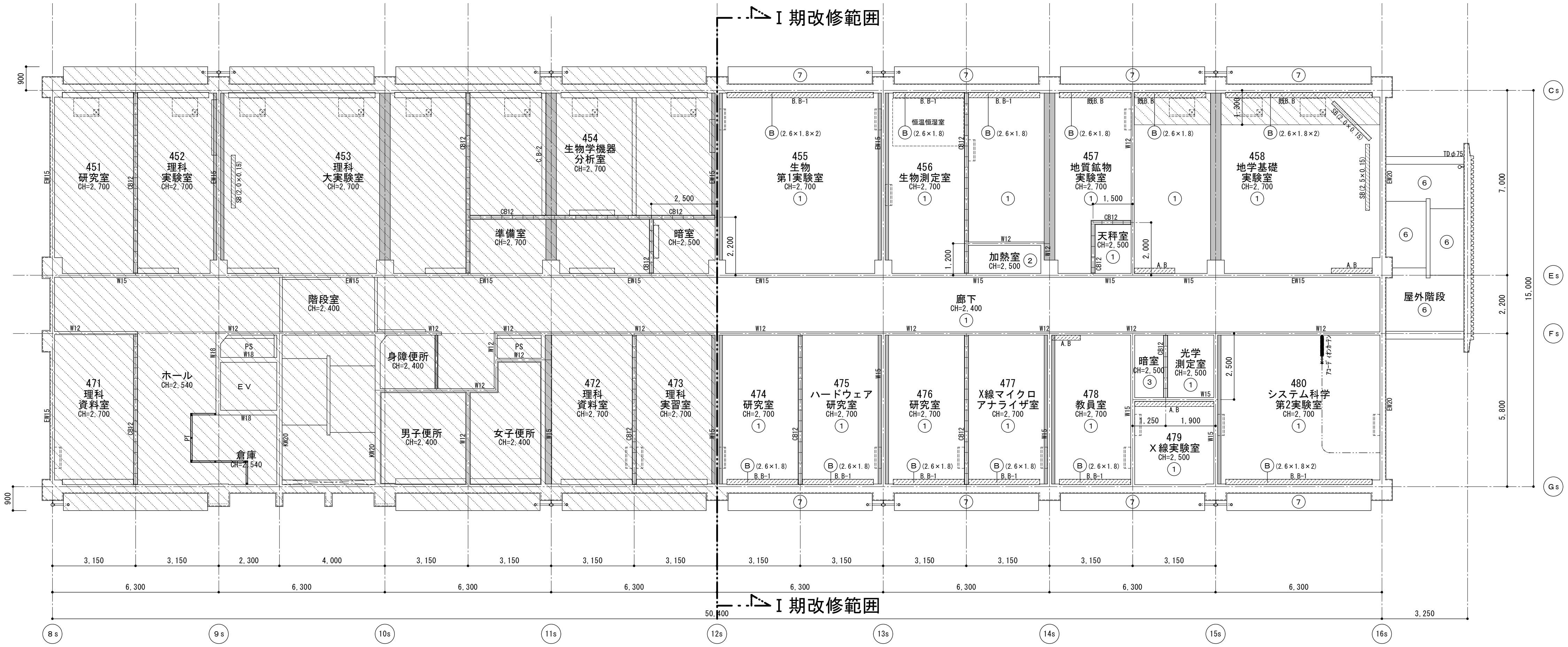
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 26 号
図面名称	改修前・改修後　3階天井伏図	縮尺　－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所	業務名称	縮尺	図面番号
京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士　神先 誠司 (登録第252129号) 一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	A1　1/100 A3　1/200	Ａ－19
総括 / 主任 / 担当	図面名称：改修前・改修後　3階天井伏図		

改修前　4階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

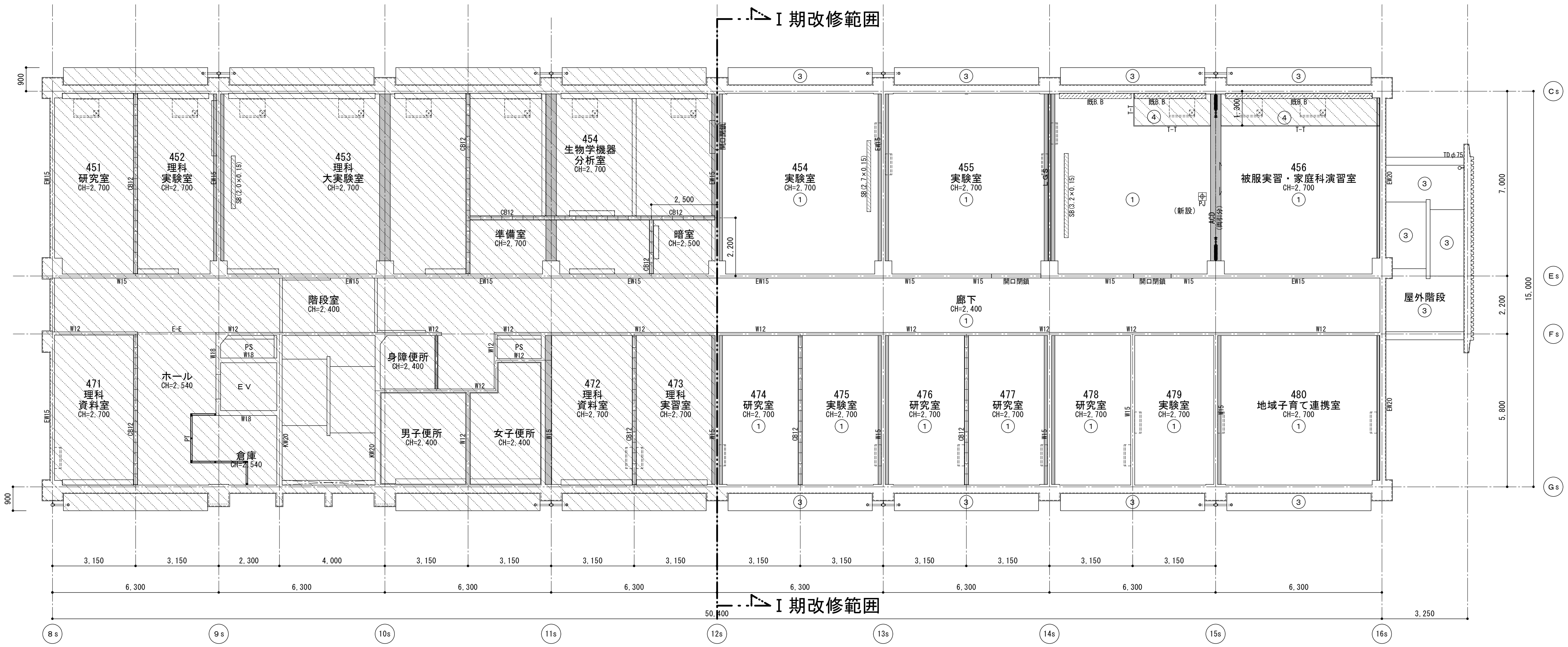
凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)		
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9	廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ	廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ	廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付	
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ	
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ	
Ⓑ	ブラインド(　)はW×Hを示す。(撤去)	
SB	スクリーンボックス：(　)は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)	
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)	
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)	
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)	
A.B	スチール製暗幕ボックス：(カーテンレール共)(撤去)	
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)	
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)	
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し	
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)	
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)	
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。	



改修後　4階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)		
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5	廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ	
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ	
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替	
SB	スクリーンボックス：(　)は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)	
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)	
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)	
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付	
T-T	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁	
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付	
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)	
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)	
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。	



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 27 号
図面名称	改修前・改修後　4階天井伏図	縮尺　－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7月
滋賀大学施設管理課		

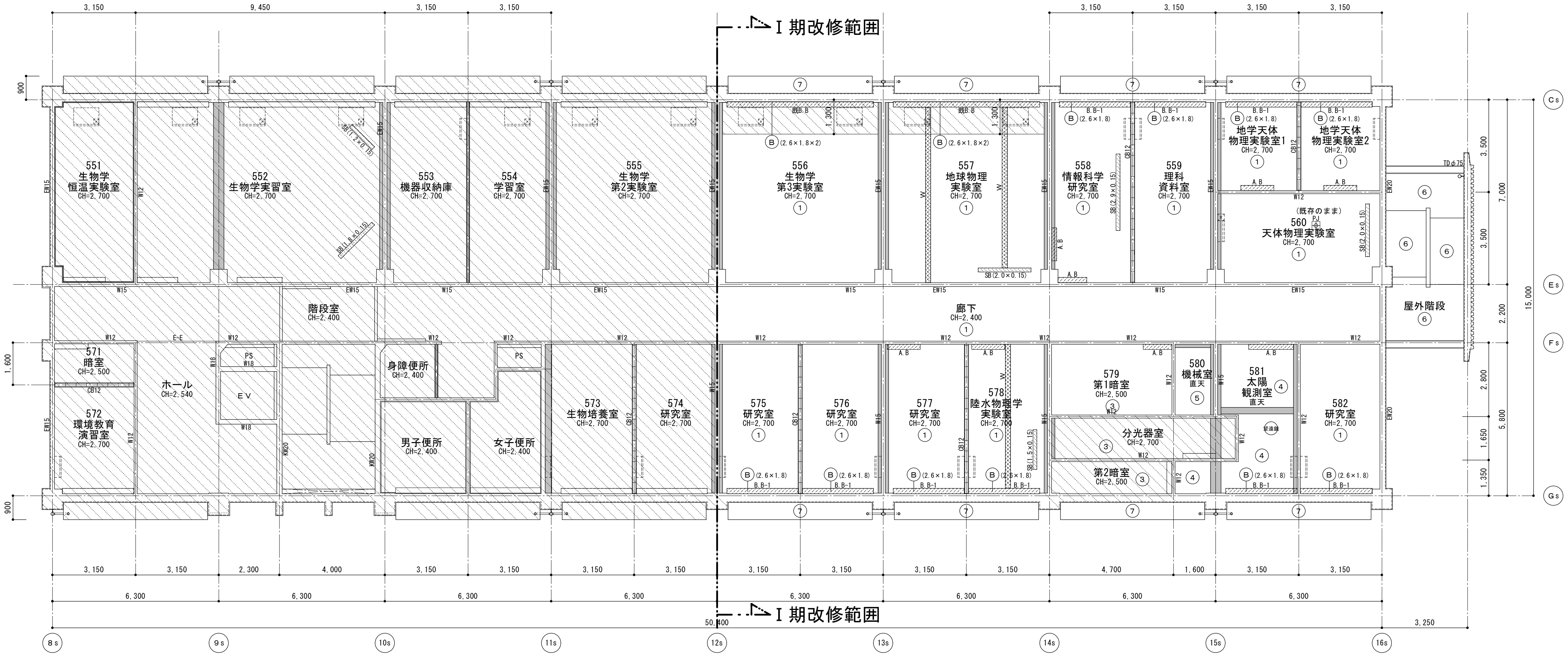
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100　A3 1/200	図面番号 A－20
図面名称	改修前・改修後　4階天井伏図		

改修前　5階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

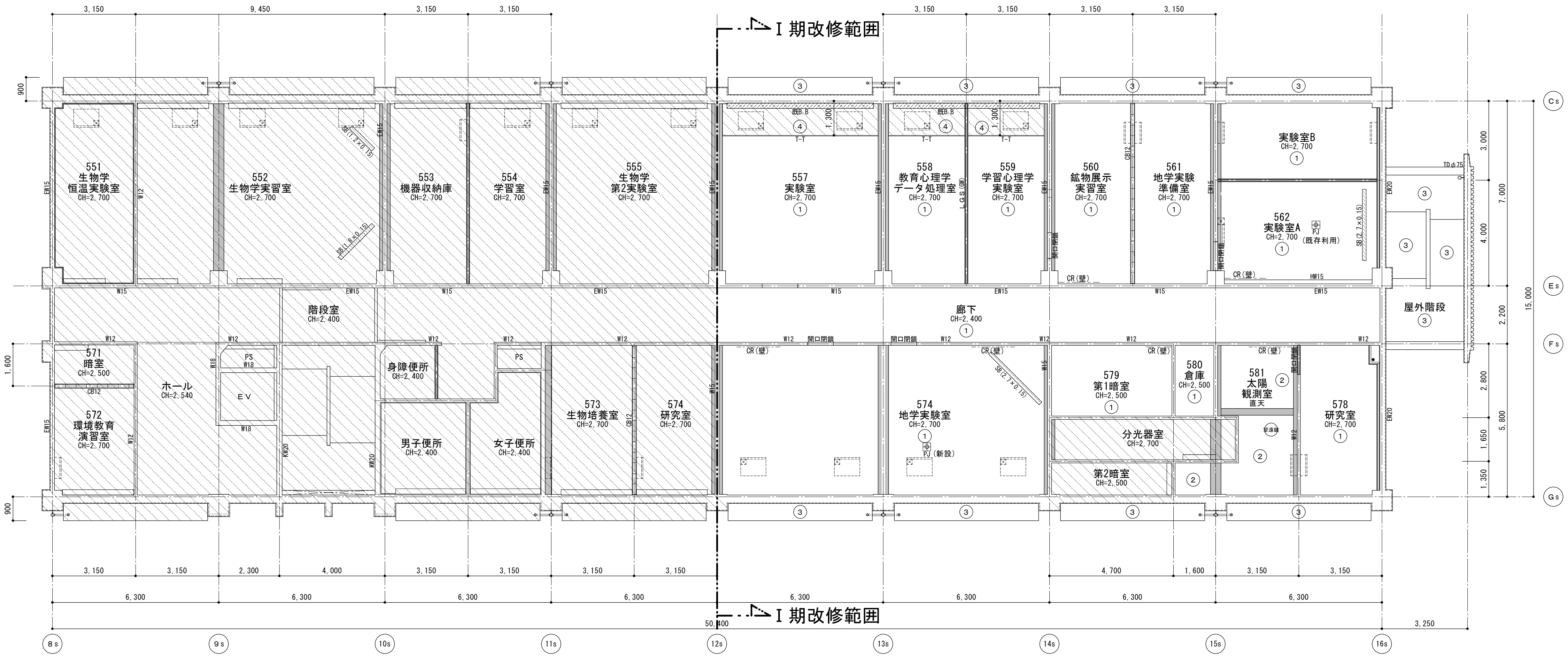
凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9　廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ　廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ　廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ
Ⓑ	ブラインド( )はW×Hを示す。(撤去)
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)
A.B	スチール製暗幕ボックス：（カーテンレール共）(撤去)
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。



改修後　5階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5　廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付
T-T	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)
(灰色)	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)
(斜線)	：の範囲は工事範囲外を示す。



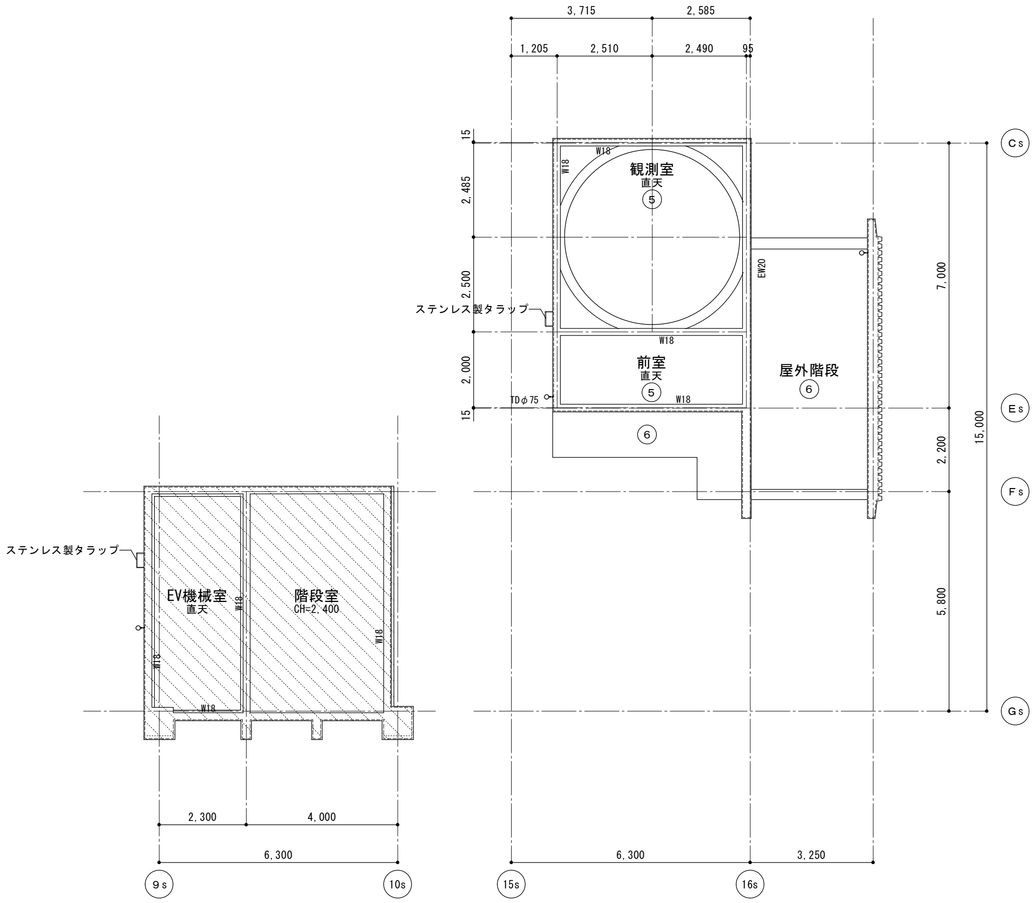
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 28 号	株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司 (登録番号252129号) 一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
図面名称	改修前・改修後　5階天井伏図	縮尺　―	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7月	総括 / 主任 / 担当
滋賀大学施設管理課			

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A－21
図面名称	改修前・改修後　5階天井伏図		

改修前　R階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

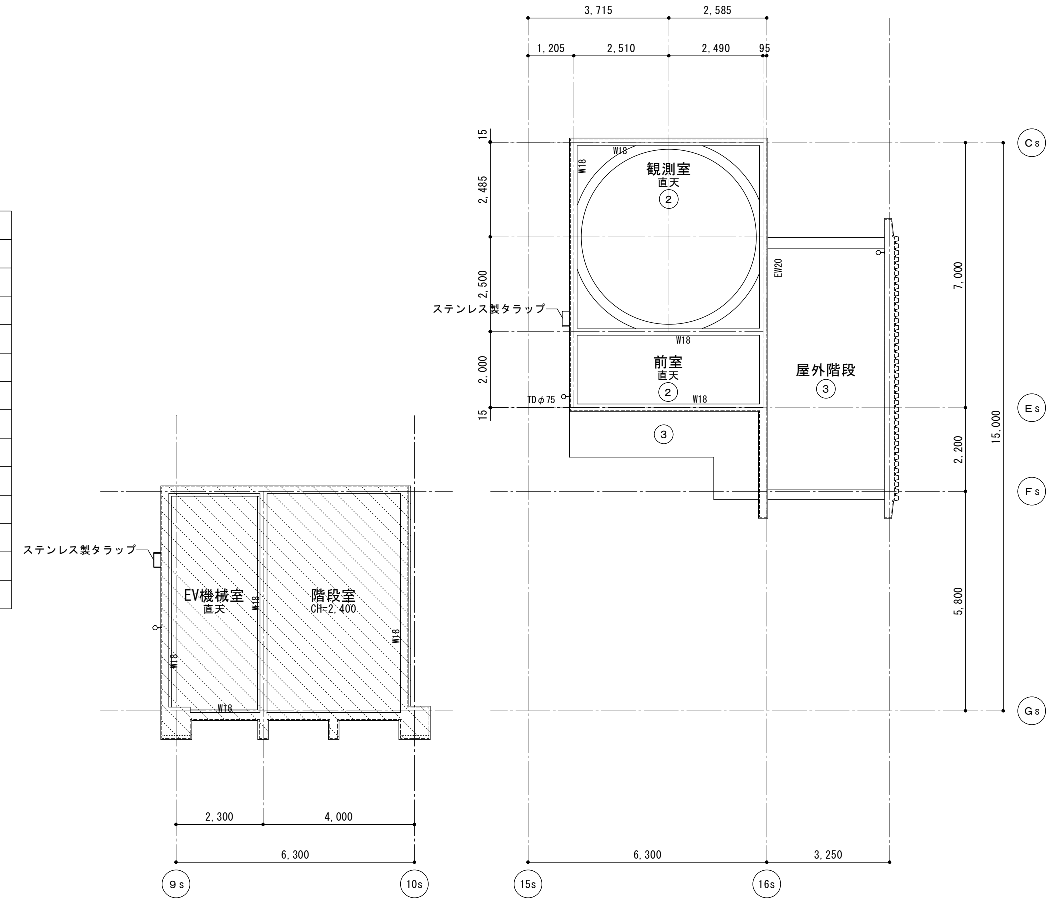
凡　例(特記なき限り仕上・下地共撤去とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9　　廻縁：塩ビ製
②	ＬＧＳ下地＋石綿セメント板t=4　ＡＥＰ　　廻縁：塩ビ製
③	ＬＧＳ下地＋石膏ボードt=9　ＥＰ　　廻縁：塩ビ製
④	コンクリート下地＋木毛板打込＋ヒル石吹付
⑤	コンクリート打放しの上、ＥＰ
⑥	コンクリート下地＋複層塗材Ｅ
Ⓑ	ブラインド(　)はW×Hを示す。(撤去)
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(撤去)
B.B-1	スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(既存のまま)
C.B-1	スチール製カーテンボックス　(数字は種別を示す。)(撤去)
A.B	スチール製暗幕ボックス：（カーテンレール共）(撤去)
W	天井付木製帯木：W200×t30(撤去)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、撤去)
PJ	プロジェクターハンガー(特記なきは既存のまま)※本体は別途工事にて取り外し
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(撤去)
	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ(塗替)
	：の範囲は工事範囲外を示す。



改修後　R階天井伏図

※天井高さ(CH=･･･)はＦＬよりの高さとする。

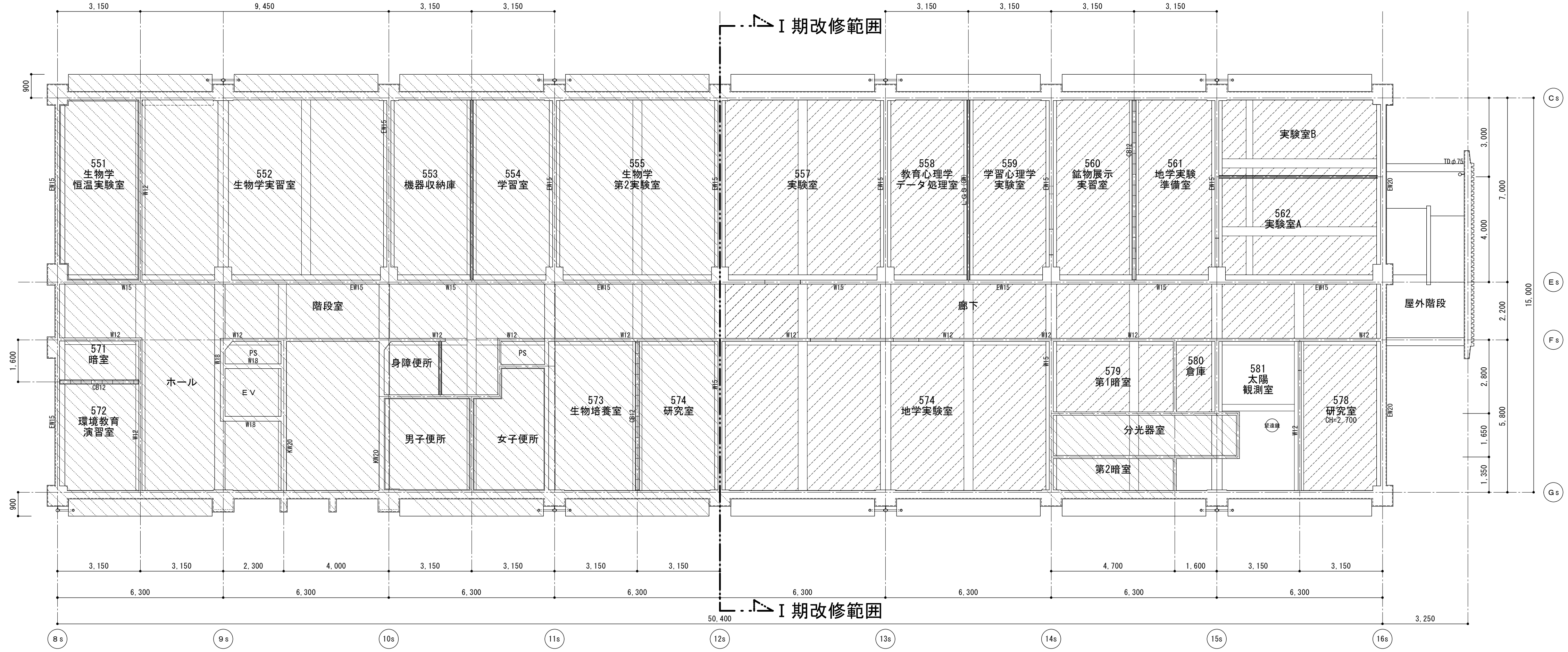
凡　例(特記なき限り仕上・下地共新設とする。)	
①	ＬＧＳ下地＋化粧石膏ボードt=9.5　　廻縁：塩ビ製
②	既存下地調整の上、ＥＰ－Ｇ
③	既設下地調整の上、複層塗材Ｅ
④	既設ボード面下地調整の上、ＥＰ塗替
SB	スクリーンボックス：（　）は長さ、ボックス大きさを示す。(新設)
既B.B	既存スチール製ブラインドボックス(数字は種別を示す。)(ＳＯＰ装替)
ACC	アコーディオンカーテン(レール天井直付)(カーテン、レール共、新設)
CR	カーテンレール：(壁)は壁付、(直)は天井直付
E-E	天井新・旧ボード取合：塩ビ製見切縁
PJ	プロジェクターハンガー(新設)※本体は別途工事にて取付
EXP･J	アルミ製エキスパンションジョイント(クリアランス100)(新設)
	梁型：コンクリート打放しの上、ＥＰ－Ｇ(塗替)
	：の範囲は工事範囲外を示す。



改修後　R階スラブ下断熱範囲図

凡　例

	現場発泡硬質ウレタンフォーム断熱材吹付t25　スラブ下
	：の範囲は工事範囲外を示す。



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 29 号
図面名称	改修前・改修後　R階天井伏図 改修後　R階スラブ裏断熱範囲図	縮尺　―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課		

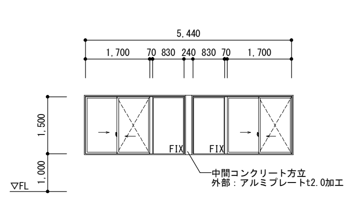
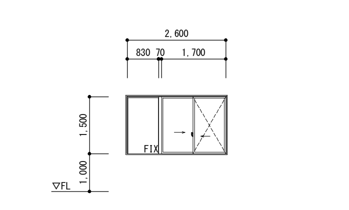
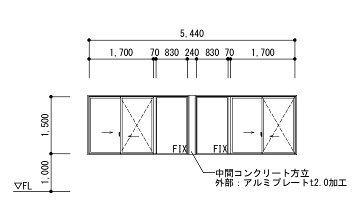
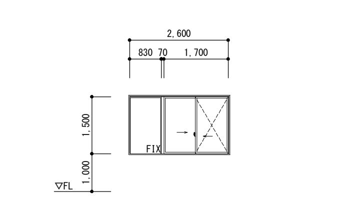
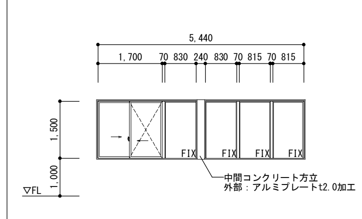
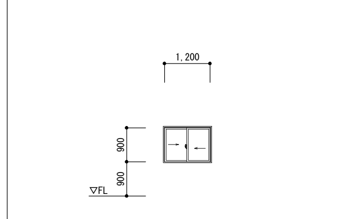
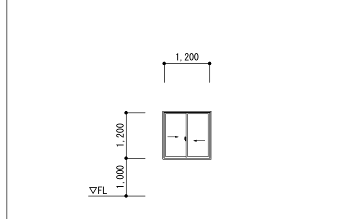
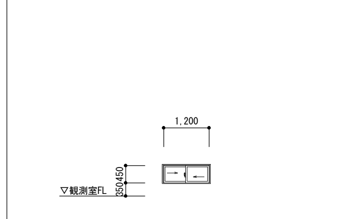
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先諭司 (登録番252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号

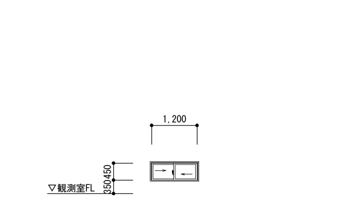
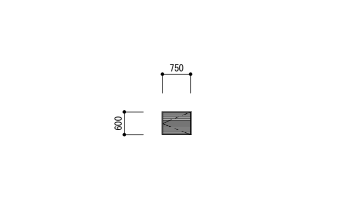
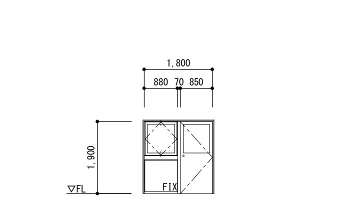
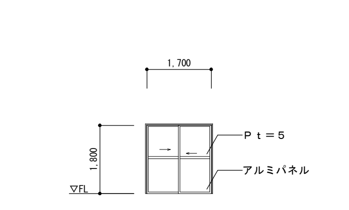
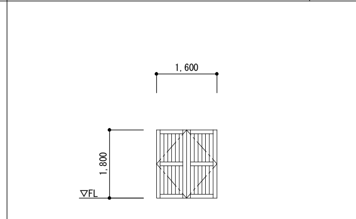
総括	主任	担当

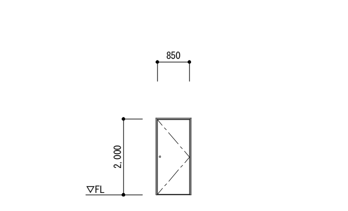
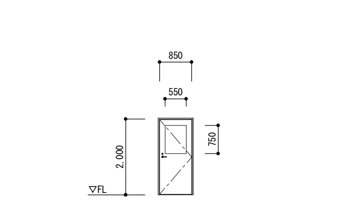
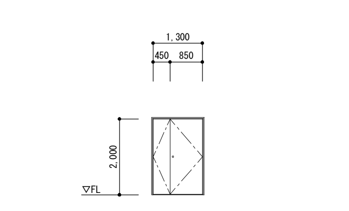
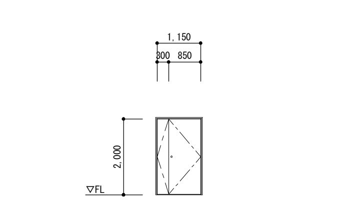
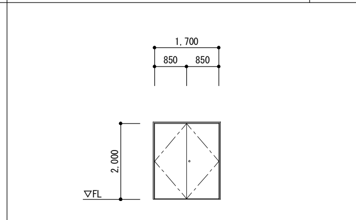
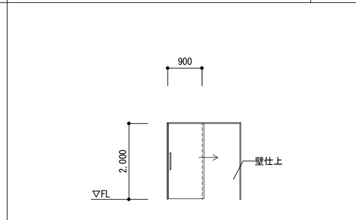
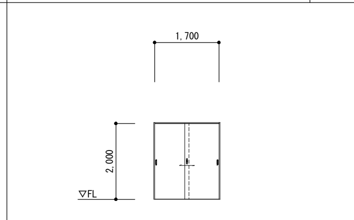
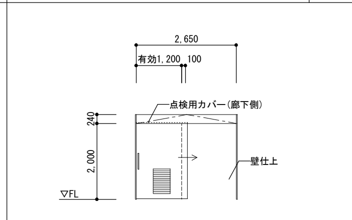
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　R階天井伏図 改修後　R階スラブ裏断熱範囲図	A1　1/100 A3　1/200	A － 22

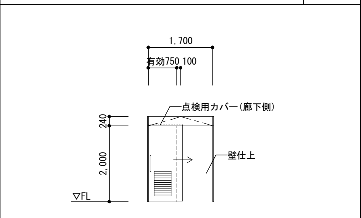
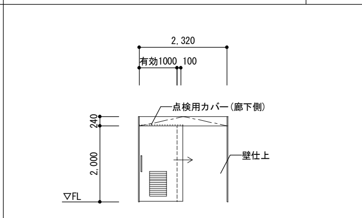
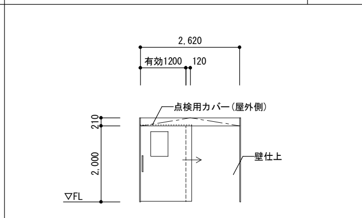
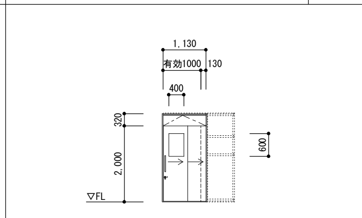
撤去　建具表

※カバー工法の建具は枠以外を撤去とする。　（**-*）：新設建具を示す　（**/*）：改修建具を示す　[**-*]：撤去建具を示す　[╳]：可動網戸を示す

記号・数量	AW-1　カバー工法　4	AW-2　カバー工法　1	AW-3　カバー工法　29	AW-4　カバー工法　1	AW-5　カバー工法　1	AW-6　カバー工法　1	AW-7　カバー工法　1	AW-8　カバー工法　1
形状寸法								
形式	中央はめ殺し窓、引違窓	袖はめ殺し窓、引違窓	中央はめ殺し窓、引違窓	袖はめ殺し窓、引違窓	袖はめ殺し窓、引違窓	引違窓	引違窓	引違窓
枠：材質(仕上)・見込	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０
建具：材質(仕上)・見込	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—
ガラス	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５	ＮＰｔ＝６．８	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５
金物	付属金物一式、アルミ水切L=100	付属金物一式、アルミ水切L=100	付属金物一式、アルミ水切L=250	付属金物一式、アルミ水切L=250	付属金物一式、アルミ水切L=250	付属金物一式、アルミ水切L=130	付属金物一式、アルミ水切L=130	付属金物一式、アルミ水切L=130
ガラリ	—	—	—	—	—	—	—	—
法令関係	—	—	—	—	—	防火設備	—	—
備考	アルミ製額縁：D=30×25、ステンレス製網戸 中間コンクリート方立	アルミ製額縁：D=30×25、ステンレス製網戸	アルミ製額縁：D=30×25、ステンレス製網戸 中間コンクリート方立	アルミ製額縁：D=30×25、ステンレス製網戸	アルミ製額縁：D=30×25、ステンレス製網戸 中間コンクリート方立	アルミ製額縁：D=30×25	アルミ製額縁：D=30×25	アルミ製額縁：D=30×25

記号・数量	AW-9　カバー工法　1	AG-1　1	AD-1　2	AD-2　1	AD-3　1			
形状寸法								
形式	引違窓	ガラリ戸	袖縦軸回転窓、片開き戸	引違戸	両開き格子戸			
枠：材質(仕上)・見込	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０	アルミ（B-1）　７０			
建具：材質(仕上)・見込	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—	アルミ（B-1）　—			
ガラス	ＮＰｔ＝６．８	—	ＮＰｔ＝６．８	Ｐｔ＝５	—			
金物	付属金物一式、アルミ水切L=130	付属金物一式、水切L=100	付属金物一式、ＰＨ、ＤＣ、非常錠、ステンレス水切L=150	付属金物一式、アルミ水切L=130	付属金物一式、ＰＨ、ＤＣ、ＦＤ、非常錠			
ガラリ	—	—	—	—	—			
法令関係	防火設備	—	防火設備	—	—			
備考	アルミ製額縁：D=30×25	1階16s通りＧs通りの柱横にあり(ピット点検用)	くつずり：１、アルミ製額縁：D=30×25	アルミ製額縁：D=30×25	くつずり：１、アルミ格子@75			

記号・数量	LD-1　37	LD-2　1	LD-3　21	LD-4　2	LD-5　1	LD-6　2	LD-7　1	LD-8　2
形状寸法								
形式	片開き戸	片開き戸	親子開き戸	親子開き戸	両開き戸	片引き戸	引違戸	外付枠　自閉式片引きハンガードア
枠：材質(仕上)・見込	スチール：ＳＯＰ　140･170 180･200･220	スチール：ＳＯＰ　１７０	スチール：ＳＯＰ　140･170 180･200･220	スチール：ＳＯＰ　１４０ １７０	スチール：ＳＯＰ　１７０	スチール：ＳＯＰ　１４０ １７０	スチール：ＳＯＰ　１４０ １７０	スチール：ＳＯＰ　８０
建具：材質(仕上)・見込	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３５	スチール：化粧鋼板　４０
ガラス	Ｐｔ＝５	ポリカｔ＝５	Ｐｔ＝５	Ｐｔ＝５	—	—	—	—
金物	付属金物一式、ＰＨ、Ｌ、ＤＣ	付属金物一式、丁番、レバーハンドル錠、ＤＣ	付属金物一式、ＰＨ、Ｌ、ＤＣ、ＦＤ	付属金物一式、ＰＨ、Ｌ、ＤＣ、ＦＤ	付属金物一式、ＰＨ、ＤＣ、ＦＤ、ＭＬ	付属金物一式、ＫＬ、Ｒ、Ｈ	付属金物一式、ＫＬ、Ｒ、Ｈ	付属金物一式、上吊金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引棒(L=450)、シリンダー引き戸錠
ガラリ	—	—	—	—	—	—	—	アルミガラリ：450×650
法令関係	—	—	—	—	—	—	—	—
備考	くつずり：３、※枠見込幅は平面図による。 140＝W12、170＝W15、180=CB、200=EW18、220=EW20 Wは壁厚を示す。	くつずり：３	くつずり：３、※枠見込幅は平面図による。 140＝W12、170＝W15、180=CB、200=EW18、220=EW20 Wは壁厚を示す。	くつずり：３、※枠見込幅は平面図による。 140＝W12、170＝W15 Wは壁厚を示す。	くつずり：３	ステンレスレール	ステンレスレール	くつずり：３、鋼製三方枠W=140～220(枠幅は平面図による)

記号・数量	LD-9　5	LD-10　1	LD-11　1	LD-12　2
形状寸法				
形式	外付枠　自閉式片引きハンガードア	外付枠　自閉式片引きハンガードア	外付枠　自閉式片引きハンガードア	自閉式２連動扉内蔵片引きハンガードア（ＬＧＳ内蔵）
枠：材質(仕上)・見込	スチール：ＳＯＰ　８０	スチール：ＳＯＰ　８０	スチール：ＳＯＰ　８０	スチール：ＳＯＰ　１３０
建具：材質(仕上)・見込	スチール：化粧鋼板　４０	スチール：化粧鋼板　４０	スチール：化粧鋼板　４０	スチール：アクリル樹脂焼付塗装　３２
ガラス	—	—	耐熱ガラスｔ＝５	耐熱ガラスｔ＝５
金物	付属金物一式、上吊金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引棒(L=450)、シリンダー引き戸錠	付属金物一式、上吊金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引棒(L=450)、シリンダー引き戸錠	付属金物一式、上吊金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引棒(L=450)、シリンダー引き戸錠	付属金物一式、上吊金物一式、引棒(ｽﾃﾝﾚｽ製)、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
ガラリ	アルミガラリ：450×650	アルミガラリ：450×650	—	—
法令関係	—	—	防火設備	防火設備
備考	くつずり：３、鋼製三方枠W=140～220(枠幅は平面図による)	くつずり：３、鋼製三方枠W=140～220(枠幅は平面図による)	くつずり：３	くつずり：３

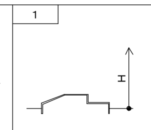
一般共通事項

表示略号

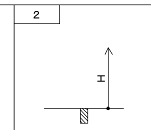
略号	建具	略号	ガラス	略号	建具金物
AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス	Ｒ	底車
AW	アルミ製窓	F	型板ガラス	Ｌ	空錠
AG	アルミ製ガラリ	NF	網入型板ガラス	Ｈ	彫込引手
PD	樹脂製戸	WF	線入型板ガラス	ＭＬ	ロック錠(片面サムターン)
PW	樹脂製窓	NP	網入磨き板ガラス	ＨＬ	非常錠
S	鋼製三方枠	WP	線入磨き板ガラス	ＳＬ	シリンダー本締錠
SD	鋼製戸	HAP	熱線吸収フロート板ガラス	ＫＬ	シリンダー鎌錠
SW	鋼製窓	HANP	熱線吸収網入磨き板ガラス	ＲＬ	差込シリンダー錠
SG	鋼製ガラリ	HAWP	熱線吸収線入磨き板ガラス	ＣＨ	ケースハンドル
SS	重量シャッター	T	強化ガラス	ＧＨ	グレモンハンドル
LD	鋼製軽量戸	IG	複層ガラス	ＰＨ	ピボットヒンジ
LS	軽量シャッター	HR	熱線反射ガラス	ＴＢ	丁番（ステンレス）
SSD	ステンレス製戸	DS	倍強度ガラス	ＦＨ	フロアヒンジ
SSW	ステンレス製窓	L	合わせガラス	ＡＨ	オートヒンジ
SSG	ステンレス製ガラリ			ＬＨ	ラバトリヒンジ
OHD	オーバーヘッドドア	TF	型板強化ガラス	ＳＨ	握棒ステンレス
ACW	アルミ製カーテンウォール			ＤＣ	ドアチェック
WD	木製戸	S	スリガラス	ＦＤ	フランス落し
SWD	スチール枠、木製戸			Ｔ	順位調整器
TB	トイレブース			ＣＨ	ケースハンドル
PT	アルミパーティション			ＰＰ	便所用押板引手

枠・くつずり

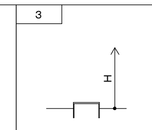
くつずり

1


(4−31−4)

2


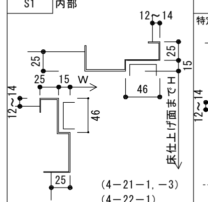
(4−31−2)

3


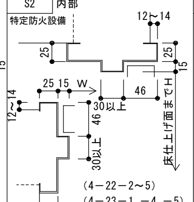
(4−31−1)

4

枠

S1　内部


(4−21−1, −3)
(4−22−1)
(4−23−3)

S2　内部


(4−22−2～5)
(4−23−1, −4, −5)
(4−25−1, −2)

S3

特記事項

姿図凡例
[╳] 可動式網戸を示す。

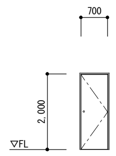
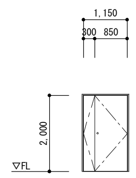
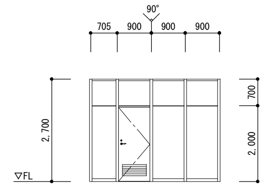
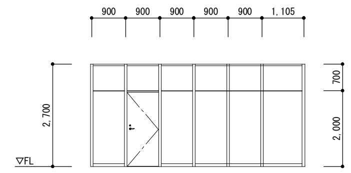
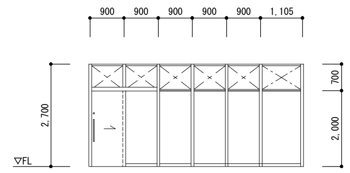
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 30 号	
図面名称	撤去建具表(1)	縮尺 —	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

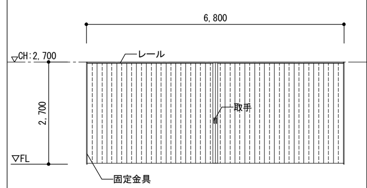
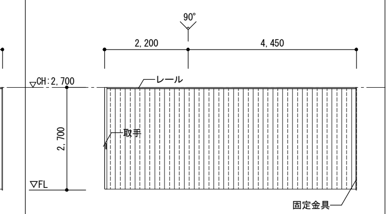
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司 (登録番252129号)
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A − 23
図面名称	撤去建具表(1)		

撤去　建具表

**-* ：新設建具を示す　　**/* ：改修建具を示す　　**-* ：撤去建具を示す　　☒ ：可動網戸を示す

記号・数量	ND-1	1	ND-2	1	PT-1	1	PT-2	1	PT-3	1
形状 寸法										
形式	片開き戸		親子開き戸		スチール製可動間仕切り		スチール製可動間仕切り		スチール製可動間仕切り	
枠：材質(仕上)・見込	スチール：ＳＯＰ	１７０	スチール：ＳＯＰ	１７０	スチール鋼板t=1.0　アクリル系樹脂焼付塗装	７０	スチール鋼板t=1.0　アクリル系樹脂焼付塗装	７０	スチール鋼板t=1.0　アクリル系樹脂焼付塗装	７０
建具：材質(仕上)・見込	スチール：ＳＯＰ	３５	スチール：ＳＯＰ	３５	－	４０	－	４０	－	４０
ガラス	－		－		－		－		－	
金物	付属金物一式、ＰＨ、Ｌ、ＳＬ、ＤＣ		付属金物一式、ＰＨ、Ｌ、ＳＬ、ＤＣ、ＦＤ		付属金物一式、開きドア金物一式		付属金物一式、開きドア金物一式		付属金物一式、引戸金物一式	
ガラリ	－		－		700×300		－		－	
法令関係	－		－		－		－		－	
備考	くつずり：１、鉛１m/m入		くつずり：１、鉛５m/m入							

記号・数量	ACD-1	2	ACD-2	1
形状 寸法				
形式	両引き分けアコーディオンカーテン		片引きアコーディオンカーテン	
枠：材質(仕上)・見込	レール：アルミ押出型材		レール：アルミ押出型材	
建具：材質(仕上)・見込	塩ビレザー		塩ビレザー	
ガラス	－		－	
金物	付属金物一式、取手、レール		付属金物一式、取手、レール	
ガラリ	－		－	
法令関係	－		－	
備考				

記号・数量		
形状 寸法		
形式		
枠：材質(仕上)・見込		
建具：材質(仕上)・見込		
ガラス		
金物		
ガラリ		
法令関係		
備考		

記号・数量		
形状 寸法		
形式		
枠：材質(仕上)・見込		
建具：材質(仕上)・見込		
ガラス		
金物		
ガラリ		
法令関係		
備考		

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 31 号	
図面名称	撤去建具表(2)	縮尺	－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	撤去建具表(2)	A1 1/100 A3 1/200	Ａ－24

一般共通事項　（特記なき限り、以下による）

1）共通事項
・（○－○○－○○）、（○－○○）は建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。
・表記の建具寸法は、特記なき限り枠内法寸法とする。
・建具は付属金物一式を含む。特記なき限り右表とする。
・両開き戸・親子開き戸は、フランス落しを設ける。
・引き戸は、戸当りゴム付とする。
・両開き戸の押引表示は、特記無き限り必要に応じ表示板（ステンレス）を設置する。
・枠が外壁と同面または出ている場合の上枠には水返しを設け、躯体との間はダブルシールを施す。
・防音建具は、特記及び詳細に従った構造、金物を使用し、建具枠及び壁の隙間を、モルタル詰めの上、
指定仕上材とする。又はロックウール(特記なき限り150kg/m3)で充填する。
・非常用進入口（代替進入口）及び避難出入口には外部に開放装置を設ける。
また内部側の開放装置には平常時の開閉を防ぐカバー類をとりつけること。
・フラッシュ戸、ガラス入りフラッシュ戸の巾木高さはＨ１５０を標準とするが、
建具に隣接する壁の巾木がＨ１００以上の場合は、その高さに合わせる。
・簡易気密型扉の気密材との取合い部は、ステンレス鋼板１．５ｍｍとする。

2）建具金物　共通事項
・建具金物は原則としてステンレス製とする。
・錠前は、ＣＰ－Ｃ認定品等の防犯対策を施したものとする。
・マスターキーは２系統、グランドマスターキーは既存合わせとする。
・ＤＣ、ＦＨ、ＰＨ、ハンガードア自閉装置は、ストッパー付きタイプとする。
ただし防火設備または常時閉鎖建具に設置する場合は、ストッパーなしタイプとする。
・開き戸には、全てに戸当たりを床又は壁に設け、壁当りとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を
100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当りを設ける。
戸当りが設置困難な場合は、監督職員と協議の上、アームストッパー等の取り付けを検討する。
また、枠には衝撃防止ゴムを２ヶ所以上取り付ける。（防音型を除く）
・レバーハンドル錠、本締錠等は原則として室内側サムターン、廊下側シリンダー錠の組み合わせとする。
・障害者等が利用する戸のサムターンは、長いハンドルにするなど障害者等の使いやすいものとする。
・箱錠はバックセット６０ｍｍを標準とし６本ピンを標準とする。
・便所建具金物は黄銅製クロームメッキ又はステンレス製とする
・扉の握り玉及びレバーハンドルの取付け位置は床面から１，０００ｍｍとし、押板類は１，１００ｍｍとする。

3）アルミ製建具　共通事項
・サッシと膳板・額縁の隙間には結露防止断熱材を入れる。
・防火設備防火戸仕様－建具枠見込は７０ｍｍ規格品、防火設備防火戸認定届を有するメーカーの製品として
そのメーカーの製品と同一の部材を使用し方立無目については厚さ２ｍｍとする。
~~・換気扇枠のアルミパネルは２．０ｍｍとする。~~
~~・高窓のクレセント位置は手が届く位置となる様サッシュ発注時に十分考慮すること。~~
・アルミ製建具の水切板は既製押出型材を原則とする。止むを得ない場合は
曲げ材（２．０ｍｍ以上）を使用してもよい。
~~・縦・横軸回転窓は、２ハンドル６点締り機構とし、１５度～９０度停止の~~
~~建具サイズに適したアームストッパーを取り付ける。内部側障子角には、安全上のコーナーガードを付ける。~~
~~・内・外開き窓は、１ハンドル３点締り機構とし、１５度～９０度停止の　建具サイズに適したアームストッパー~~
~~を取り付ける。~~
~~・ＡＷ裏面の耐火パネル・ケイカル板は、ＥＰ－Ｇ塗仕上げとする。耐火パネル仕様は、特記による。~~
~~・外開窓・縦軸回転窓・すべりだし窓等には、あおり防止金具を設け、~~
~~開放巾は１５０程度で制限し、清掃時等はその制限をはずせるものとする。~~
・開口部は開口調整・指詰防止ストッパー付を標準とする。
・幅が５ｍを超える連窓サッシ方立の頂部には緩衝材を挿入する。
・はめ殺し窓等で結露水が排出されない窓には、結露水受けを設ける。
・引違い窓の召合せかまち下端は、結露水が下枠に排水できるようにする。
~~・開口部が自然排煙設備としての排煙口の場合は、手動開放装置（オペレーター、クレセント等）の位置は~~
~~床面から８００～１５００ｍｍとする。~~
~~・手動オペレーター（過巻き防止機能付き・ワンタッチ開放・排煙用）の装置ボックスは埋込み式とし、~~
~~サッシュ方立に設置する場合は、サッシュ同材のカバーを設ける。また、原則として押しボタン式とし、~~
~~ハンドルの個数は監督職員の指示による。~~

4）鋼製・ステンレス製建具　共通事項
・くつずりは、ステンレス（ＳＵＳ３０４）ｔ２．０　加工とする。
・外部に面する扉及び水がかり部の扉の支持金物は、ステンレス丁番とする。
・扉の表板上部は、曲げ込みとする。
・点検口表板は、四周曲げ込みとする。
・両開き防火戸は、順位調整器を設ける。
・特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
・常時開放型防火戸のレリーズは、マグネット取り付け補強板までを建具工事とする。

5）鋼製軽量建具　共通事項
・召合せ、縦小口包み板等の材質は、ステンレス製とする。人が当たる部分はゴムクッションを設ける。
・ハンガードア（ＬＧＳ内蔵タイプ）で戸袋側に手摺が取り付く場合には、手摺取付位置の
戸袋部には手摺取付補強材を入れること。

6~~）木製建具　共通事項~~
~~・建具工法は標準仕様書に依る。但しフラッシュ戸以外の建具ほぞ種別は抜きほぞとする。~~
~~・窓及びランマ（引違い）は戸車を使用し、レールはステンレス製角鋼（窓９×９ｍｍビス止メ）とする。~~
~~・かまち及び中骨は集成材とする~~
~~・建具障子桧材（木工事Ａ種）は代用桧使用可　（※桧は米桧を使用できる）~~
~~・木製建具のガラリは、木製とし、ガラス枠は押縁（面取）とする。~~

7）自動ドア開閉装置　共通事項
・安全装置は光検知式建具の縦枠に取付（Ｈ１５０およびＨ６５０）
・オートドアには天井付光線反射スイッチを付け、天井及び庇のない箇所は無目取付けタイプを標準とする。

8~~）シャッター　共通事項~~
~~・化粧座板・マグサ・ガイドレール・スイッチボックスのカバーは、ステンレス３０４ＨＬ仕上とする。~~
~~・エンジン部点検口付とする。~~
~~・防火防煙シャッターの自動開閉装置は本工事とする。~~
~~・煙感連動型は安全装置付とし、手動開閉装置付とする。~~

9）ガラス・ガラリ関係　共通事項
・内外の建具ガラスは特記なき限りシーリングで固定すること。
・SSW・SW・AWは、施工図完成時にガラスの熱割れ検討・耐風圧検討を再度行う。
・ガラリは、内部はⅢ型とし、外部はⅠ型とする。
・外部ガラリは全て水返し（ステンレス）、及び防虫網（ステンレス16～18メッシュ）、落下防止材付とする。
また、ダクト接続用フランジは、溶融亜鉛めっき鋼板厚２．３ｍｍとし、　梁等の障害物がある場合は、
かわす形状とする。

10）その他　共通事項
・

建具金具などの種類・仕様

区分	種類	符号	材質・性能・適用など	備考
カギ			※６本ディスクシリンダー錠 ・ディンプル式リバーシブルシリンダー錠	
錠・締り金物	空錠			
	本締り錠			ゴール　ＥＵ錠同等品
	シリンダー箱錠		バックセット60mm、６本ピンを標準 ・アンチフリクション機構	
	レバーハンドル錠			
	握玉ハンドル錠			
	引戸錠(鎌錠)			
	引戸錠(鎌錠)		表示付、大型サムターン	ゴール　SX-45FL(LXエマーシャル)同等品
	引戸錠(上吊り戸用・ロッドタイプ)			
	本締り付きモノロック(両面錠)		・両面錠　・片面錠	
	グレモン錠		ハンドル材料(※亜鉛合金　・ステンレス)	シブタニV55シリーズ同等品以上
			・ハンドル着脱式(※扉面操作・戸先操作)	戸先操作：シブタニ70シリーズ同等品以上
	点検扉錠(面付け本締り錠)		※黄銅製　・ステンレス製 ・エアタイト対応	ゴール　MHJ同等品以上 エアタイト:美和NDR-AT同等品以上
	ホテル錠(レバーハンドル錠)		・レバーハンドル錠　・カード錠	
	上げ落し(フランス落し)			
	自動上げ落し			
付加機構	非常開装置付錠		※一般型　・自動施錠錠	ゴール　シリンダー型非常解除装置同等品
	電気錠(シリンダー錠)			美和ALRシリーズ程度
	非常開錠装置表示付き			
	耐震受座付き		戸は目板加工とする	
支持金物	丁番		室内の丁番の軸：・ステンレス製	
	ピボットヒンジ(枠付け)	PH	ステンレス製(ロストワックスまたは削出し加工)扉枠同面タイプ	リョービGP-12程度
	連続丁番			東京萬ロートンロングヒンジ程度
	耐震丁番			美和ロックFHシリーズ程度
	軸吊りヒンジ		点検扉用	リョービTKP程度
自閉装置付き支持金物	フロアヒンジ	FH	形式:浅型 防水仕様 カバー材質(ステンレス)	
	ヒンジクローザー(中心吊)	HC-1	扉の大きさに合わせ選択	日東工器オートヒンジ程度
	ヒンジクローザー(丁番型)	HC-2	扉の大きさに合わせ選択	日東工器オートヒンジ程度
	上吊引戸用クローザ		直動ベアリング方式、トルク調整機能付 駆動装置、速度調整機構付き制動装置	リョービSL-2HGシリーズ程度 特記なき限り室内側取り付け
	上吊引戸用クローザ		引分け連動式	
	上吊引戸用クローザ		二連式	
	ラバトリーヒンジ	LH		
	グラビティヒンジ	GH		
自閉装置	ドアクローザー	DC-1	角型（取付ビス隠ぺイタイプ）・バックチェック機能、 ラッチング機能、ディレイドアクション機能、トルク調整機能	リョービ1000シリーズ程度
	ドアクローザー(コンシールド)	DC-2	・バックチェック機能、ディレイドアクション機能、ラッチング機能、トルク調整機能	
	点検口用簡易ドアクローザー	DC-3		日本ドアーチェック製造TH2程度
	エンドストッパー	DC-4	停止保持機能付自閉装置	
ハンドル把手類	レバーハンドル	※LH-1	ステンレスヘアライン	ユニオンUL840-001S同等品以上
		・LH-2	ステンレス＋強化木	ユニオンUL750-004S同等品以上
		・LH-3	アルミ塗装	ユニオンUL1039-003S同等品以上
	ドアハンドル	※DH-1	ステンレス(※HL・鏡面)※L=450　・L=600	
		・DH-2	ステンレス＋強化木　※L=450　・L=600	
		・DH-3	ステンレス＋強化木(軸回転)※L=450　・L=600	ユニオンH2154-83-077同等品以上
		・DH-4	ナイロン製　※L=450　・L=600	ユニオンH500-57-076同等品以上
	握玉		チューリップ型ステンレスＨＬ	
	ケースハンドル(空錠)		形状：球形　材質：・ステンレス製・木製	ユニオンUCH1110-001同等品以上
	プッシュつまみ		ステンレス製 (SUS316) 32φ	スガツネZL-1908同等品以上
	掘込引手			ユニオンT-108同等品以上
	押引手バー			ユニオンT5111-53-076同等品以上
その他	順位調整器		※上枠内臓形　・上枠外付型 ※材質：ステンレス	リョービJCN-250C･350C程度
	戸当り	DS-1	床付けタイプ アルミ＋ゴム（ブラック）45φH=53	ユニオンUT-260-53-ALS同等品以上
		DS-2	床埋込式 丸型75φコイン式ロック機構付き	ユニオンUT-64程度
	レバーストッパー	LS	※鋼(クロームめっき)　・ステンレス ・面付型　・高受型　・埋込型	
	AT用気密材		※EPDMゴム　・シリコーン発泡ゴム	
	PAT用気密材		シリコーン発泡ゴム	
	タイト・シール金物			東京萬ゼロオートマチックタイト程度
	排煙及び換気窓開閉装置		※隠蔽式　・露出式	豊和マドコンシステムNH23A程度
フィルムその他	飛散防止フィルム			住友3M　SH4CLAR同等品
	視線制御フィルム			住友3M　ロンターノ同等品
	ガラス衝突防止		・図示 ※ｽﾃﾝﾚｽ製　φ30(両面)　@300程度	
	押引表示		図示なき限り両開き戸全て	ユニオンDS7程度

扉見込み寸法（mm）		
	ＳＤ及びＳＳＤ	40（H＝2,400未満、扉1枚の幅＝1,050以下）
		50（H＝2,400以上、扉1枚の幅＝1,600以下）
		50（H＝2,700以上、扉1枚の幅＝1,500以下）
		60（H＝3,200以上、扉1枚の幅＝2,000以下）
	ＬＤ	36
	ＷＤ	30（H＝1,000未満、扉1枚の幅＝950以下）
		36（H＝2,000未満、扉1枚の幅＝950以下）
		40（H＝2,400未満、扉1枚の幅＝950以下）
	Ｈ	19.5（戸ぶすまは30）
	Ｐ	30

アルミパネル仕様：断熱サンドイッチパネル　表面材アルミ平板t=3＋断熱材芯材硬質ウレタンフォーム断熱ボードt=12＋表面材アルミ平板t=3

可動部分の気密性と符号

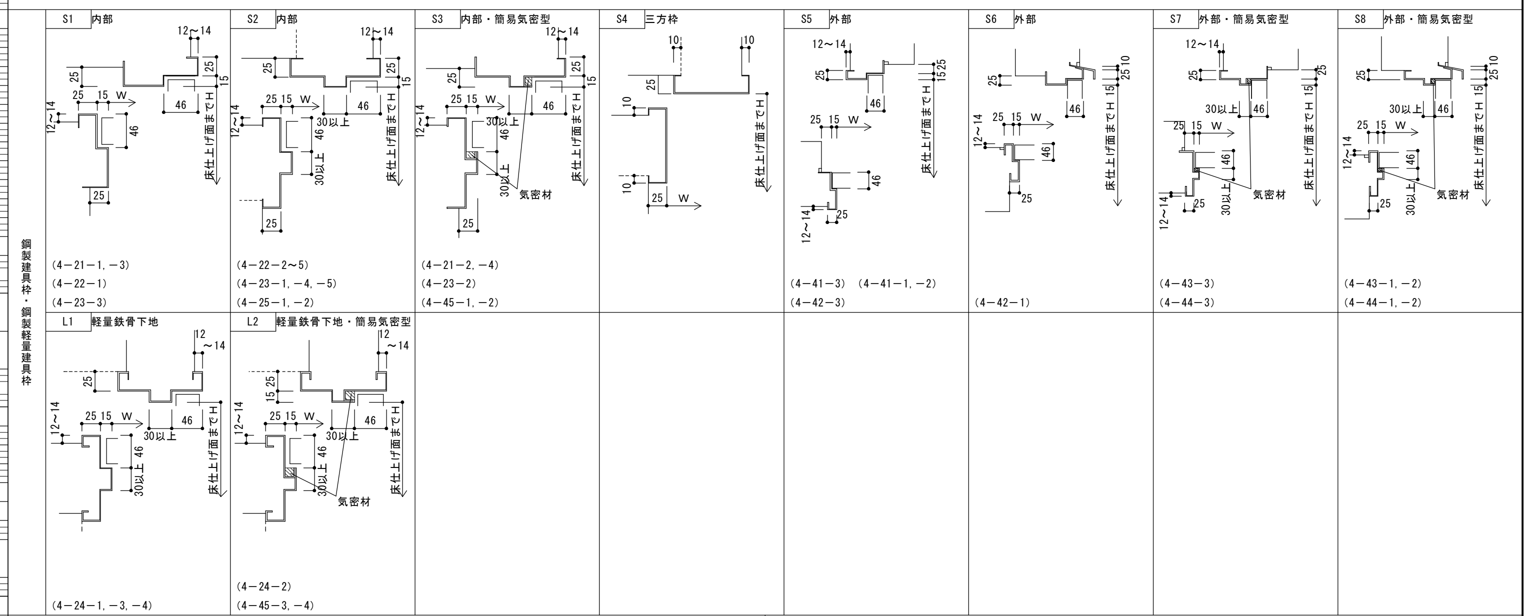
符号	通気量	ＪＩＳ等級
――	３０以上　１２０未満	Ａ－１　Ｔ－１
ＳＡＴ	８以上　３０未満	Ａ－２　Ｔ－２
ＡＴ	２以上　８未満	Ａ－３　Ｔ－３
ＰＡＴ	１以上　２未満	Ａ－４
ＰＰＡＴ	０．４以上　１未満	

特記事項

鋼製軽量戸	扉仕上げ	※指定色焼付　・標準色焼付　・標準色塗装	文化シャッター　カームスライダー　同等以上
	枠仕上げ	※図示　・指定色焼付　・塗装	
	窓枠・戸先	※額縁タイプ　⊙エッジレスタイプ	
自動扉	センサー位置	※無目面付　・天井　⊙無目埋込	
	非常時開閉動作	図示なき限り以下による	
	パニックオープン	自火報連動かつ停電時自動開放し開放状態維持 停電時の開放電源　※内臓バッテリー　・非常用電源回路	
	パニッククローズ	自火報連動かつ停電時、人力での開放、定時間後自動閉鎖 閉鎖動作の電源　※内臓バッテリー　・非常用電源回路　・バネ機構	

表示略号

略号	建具	略号	建具	略号	機能性	略号	ガラス
ＡＤ	アルミ製戸	ＳＳＤ	ステンレス製戸	㊕	特定防火設備	Ｐ	フロート板ガラス
ＡＷ	アルミ製窓	ＳＳＷ	ステンレス製窓	(防)	防火設備	Ｆ	型板ガラス
ＡＧ	アルミ製がらり	ＳＳＧ	ステンレス製がらり	Ⓔ	テンキー：電気錠	ＮＦ	網入型板ガラス
ＰＤ	樹脂製戸	ＳＳＫ	ステンレス製三方枠	(セ)	セキュリティ：電気錠	ＷＦ	線入型板ガラス
ＰＷ	樹脂製窓	ＳＳＨ	ステンレス製シャッター	(※)	常時閉鎖式	ＮＰ	網入磨き板ガラス
ＳＫ	鋼製三方枠	ＯＨＤ	オーバーヘッドドア	(※)S	煙感連動随時閉鎖式	ＷＰ	線入磨き板ガラス
ＳＤ	鋼製戸	ＡＣＷ	アルミ製カーテンウォール			ＨＡＰ	熱線吸収フロート板ガラス
ＳＰ	鋼製点検扉	ＷＤ	木製戸			ＨＡＮＰ	熱線吸収網入磨き板ガラス
ＳＷ	鋼製窓	ＷＷ	木製窓			ＨＡＷＰ	熱線吸収線入磨き板ガラス
ＳＧ	鋼製がらり	ＷＫ	木製三方枠		沓摺記号	Ｔ	強化ガラス
ＳＨ	重量シャッター	Ｆ	ふすま	Ａ	目地棒　ＳＵＳ３０４　ｔ４	ＳＴ	学校用強化ガラス（特記なきは透明）
ＬＤ	鋼製軽量戸	ＦＤ	戸ふすま	Ｂ	─ＳＵＳ３０４　ｔ２　Ｗ２０	ＩＧ	複層ガラス
ＬＳ	軽量シャッター	Ｓ	紙障子	Ｃ	─ＳＵＳ３０４　ｔ２	ＨＲ	熱線反射ガラス
ＰＴ	移動間仕切（パーティション）			Ｄ	─ＳＵＳ３０４　ｔ２（ゴム付）	ＤＳ	倍強度ガラス
ＳＬＷ	可動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ）			Ｅ	─ＳＵＳ３０４　ｔ２	ＬＧ	合わせガラス
ＣＳＳ	耐火スクリーン			Ｆ	─ＳＵＳ３０４　ｔ２（ゴム付）	ＬＥ	Ｌｏｗ－Ｅガラス
						ＨＴ	断熱強化ガラス
						ＧＢ	ガラスブロック



窓の形式

	FIX(固定)	引違い	内倒し	外倒し	突き出し
形式	FIX	←→	内	外	

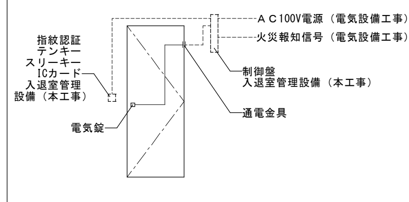
がらりの形式

	Ⅰ型	Ⅱ型	Ⅲ型	姿図
形式				H / W W=1,500以上は方立を設ける
扉	開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%	
窓	開口率約30%	開口率約50%	開口率約30%	

開閉方法	枠の有効内のり幅 W	枠の有効内のり高さ H
片開き	900	
	950	
親子開き	1,200	2,000
	1,250	2,100
両開き	1,800	
	1,900	
片開き	600	1,900

備考
1）標準寸法の変更は最小限に抑える事。但し、身障者の利用する部分は枠の有効内のり幅900以上とする。
2）枠の内のり高さHは床面からの高さを示し、扉の前後で段差がある場合は一般床（廊下など）からの高さとする。
3）扉の見込み寸法は木製及び鋼製建具の場合40mm 鋼製軽量建具の場合35～40mm
4）親子開きの子扉の幅は300mmとする。
5）点検用扉等で．W×Hの小さなものは見込み30mm程度とする。

電気錠・入退室管理システム等の工事区分等



電気錠　工事区分リスト

項目	建具工事	電気設備工事	入退室管理設備(本工事)
電気錠取付			○
電気錠切欠工事			○
通電金具取付			○
通電金具切欠工事			○
扉内配管	○		
扉内配線			○
配管・配線			○
屋外防滴ボックス取付			○
電気錠結線			○
１次側配線・配管工事		○	

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 32 号	株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士　神先 誠司 (登録番号252129号) 一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
図面名称	建具共通事項	縮尺　－	総括　主任　担当
課長　副課長　係長　係員		作成　令和4年　7 月	
滋賀大学施設管理課			

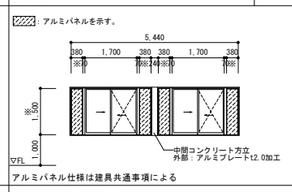
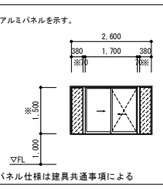
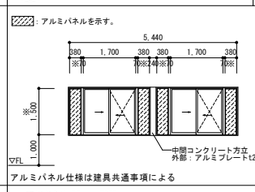
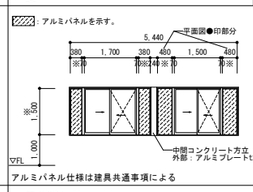
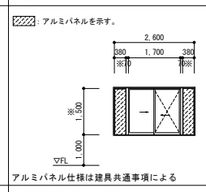
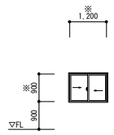
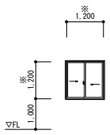
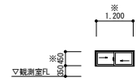
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1　1/100 A3　1/200	図面番号 Ａ－25
図面名称	建具共通事項		

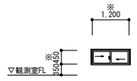
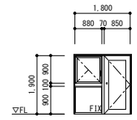
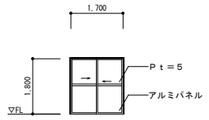
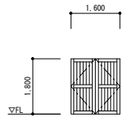
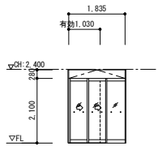
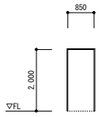
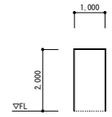
新設　建具表

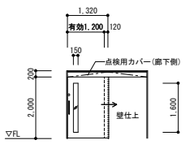
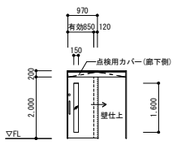
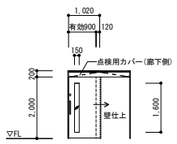
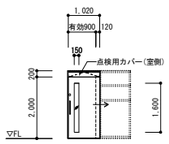
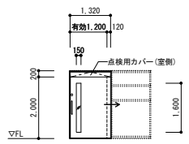
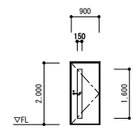
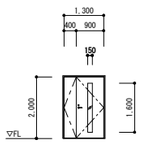
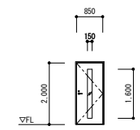
※改修後に取り付く、パネルについては設備との取合いを調整の上、孔開けを行うこと。

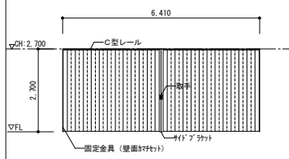
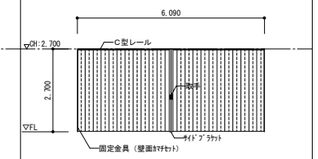
※カバー工法の建具は記載寸法を各社の納まりに読み替えること。（図中の※印寸法を読み替える）

**-* ：新設建具を示す　**/* ：改修建具を示す　**-* ：撤去建具を示す　：可動網戸を示す

記号・数量	AW-1 カバー工法	4	AW-2 カバー工法	1	AW-3 カバー工法	25	AW-4 カバー工法	5	AW-5 カバー工法	1	AW-6 カバー工法	1	AW-7 カバー工法	1	AW-8 カバー工法	1
形状寸法																
	アルミパネル仕様は建具共通事項による		アルミパネル仕様は建具共通事項による		アルミパネル仕様は建具共通事項による		アルミパネル仕様は建具共通事項による		アルミパネル仕様は建具共通事項による							
形式	両袖はめ殺し窓、引違窓		両袖はめ殺し窓、引違窓		両袖はめ殺し窓、引違窓		両袖はめ殺し窓、引違窓		両袖はめ殺し窓、引違窓		引違窓		引違窓		引違窓	
枠：材質(仕上)・見込	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０
建具：材質(仕上)・見込	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－
ガラス	ＩＧ：Ｐｔ＝５＋Ａ６＋Ｐｔ＝５		ＩＧ：Ｐｔ＝５＋Ａ６＋Ｐｔ＝５		ＩＧ：Ｐｔ＝５＋Ａ６＋Ｐｔ＝５		ＩＧ：Ｐｔ＝５＋Ａ６＋Ｐｔ＝５		ＩＧ：Ｐｔ＝５＋Ａ６＋Ｐｔ＝５		ＮＰｔ＝６．８		Ｐｔ＝５		Ｐｔ＝５	
金物	付属金物一式、アルミ水切L=100		付属金物一式、アルミ水切L=100		付属金物一式、アルミ水切L=250		付属金物一式、アルミ水切L=250		付属金物一式、アルミ水切L=250		付属金物一式、アルミ水切L=130		付属金物一式、アルミ水切L=130		付属金物一式、アルミ水切L=130	
ガラリ	－		－		－		－		－		－		－		－	
法令関係	－		－		－		－		－		防火設備		－		－	
備考	アルミ製額縁：D30×25、ステンレス製網戸		アルミ製額縁：D30×25、ステンレス製網戸		アルミ製額縁：D30×25、ステンレス製網戸		アルミ製額縁：D30×25、ステンレス製網戸		アルミ製額縁：D30×25、ステンレス製網戸		アルミ製額縁：D=30×25		アルミ製額縁：D=30×25		アルミ製額縁：D=30×25	

記号・数量	AW-9 カバー工法	1	AG-1 新設	1	AD-1 新設	2	AD-2 新設	1	AD-3 新設	1	SSD-1	3	SK-1	1	SK-2	1
形状寸法																
形式	引違窓		ガラリ戸		袖縦にり出し窓、片開き框戸		引違戸		両開き格子戸		２重片引きドア(自閉式)		三方枠		三方枠	
枠：材質(仕上)・見込	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	アルミ（BB-1）	７０	ステンレス(SUSU304)：ヘアライ仕上	２００	スチール：アクリル焼付	１７０	スチール：アクリル焼付	１３５
建具：材質(仕上)・見込	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	アルミ（BB-1）	－	ステンレス(SUSU304)：ヘアライ仕上		－		－	
ガラス	ＮＰｔ＝６．８		－		ＮＰｔ＝６．８		Ｐｔ＝５		－		ＮＰｔ＝６．８		－		－	
金物	付属金物一式、アルミ水切L=130		付属金物一式、水切L=100、シリンダー錠		付属金物一式、丁番、ＤＣ、非常錠、アルミ水切L=150		付属金物一式、アルミ水切L=130		付属金物一式、ＰＨ、ＤＣ、ＦＤ、非常錠		付属金物一式、上吊金物一式、ガイドローラー、非常錠		付属金物一式		付属金物一式	
ガラリ	－		－		－		－		－		－					
法令関係	防火設備		－		防火設備		－		－		防火設備		－		－	
備考	アルミ製額縁：D=30×25		1階16s通りＧs通りの柱横にあり(ピット点検用)		くつずり：Ｃ、アルミ製額縁：D=30×25		アルミ製額縁：D=30×25		くつずり：Ｃ、アルミ格子@75		飛散防止フィルム、衝突防止表示（６ヶ所）					

記号・数量	LD-1	29	LD-2	2	LD-3	1	LD-4	2	LD-5	1	LD-6	1	LD-7	7	LD-8	13
形状寸法																
形式	自閉式片引きハンガードア(外付枠タイプ)		自閉式片引きハンガードア(外付枠タイプ)		自閉式片引きハンガードア(外付枠タイプ)		自閉式片引きハンガードア(ＬＧＳ内蔵)		自閉式片引きハンガードア(ＬＧＳ内蔵)		片開きフラッシュ戸（セミエアタイト仕様）		親子開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸	
枠：材質(仕上)・見込	スチール：アクリル焼付	１００	スチール：アクリル焼付	１００	スチール：アクリル焼付	１００	スチール：アクリル焼付	１３５	スチール：アクリル焼付	１３５	スチール：アクリル焼付	１７０	スチール：アクリル焼付	140･170 180･200･220	スチール：アクリル焼付	140･170 180･200･220
建具：材質(仕上)・見込	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル樹脂焼付塗装	３６	スチール：アクリル焼付	３６	スチール：アクリル焼付	３６
ガラス	Ｐｔ＝５またはＦｔ＝４		Ｐｔ＝５またはＦｔ＝４		Ｐｔ＝５		Ｐｔ＝５		Ｆｔ＝４		ＬＧ：Ｆｔ＝３＋Ｆｔ＝３		Ｐｔ＝５またはＦｔ＝４		Ｆｔ＝４	
金物	付属金物一式、上吊金物一式、シリンダー錠錠、ガイドローラー、引手、自閉装置、戸車、当りゴム、ダンパー		付属金物一式、上吊金物一式、シリンダー錠錠、ガイドローラー、引手、自閉装置、戸車、当りゴム、ダンパー		付属金物一式、上吊金物一式、シリンダー錠錠、ガイドローラー、引手、自閉装置、戸車、当りゴム、ダンパー		付属金物一式、上吊金物一式、シリンダー錠錠、ガイドローラー、引手、自閉装置、戸車、当りゴム、ダンパー		付属金物一式、上吊金物一式、シリンダー錠錠、ガイドローラー、引手、自閉装置、戸車、当りゴム、ダンパー		付属金物一式、丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、ドアクローザ、戸当り、ドアボトム		付属金物一式、シリンダー錠、丁番、ＤＣ、レバーハンドル フランス落し、戸当り		付属金物一式、シリンダー錠、丁番、ＤＣ、レバーハンドル 戸当り	
ガラリ	－		－		－		－		－		－		－		－	
法令関係	－		－		－		－		－		－		－		－	
備考	くつずり：Ｂ、※壁厚は平面図による。 既存ＲＣ壁部分スチール三方枠：D壁厚+10×25(ＥＰ－Ｇ塗装)		くつずり：Ｂ、※壁厚は平面図による。 既存ＲＣ壁部分スチール三方枠：D壁厚+10×25(ＥＰ－Ｇ塗装)		くつずり：Ｂ、※壁厚は平面図による。 既存ＲＣ壁部分スチール三方枠：D壁厚+10×25(ＥＰ－Ｇ塗装)		くつずり：Ｂ		くつずり：Ｂ		くつずり：Ｂ		くつずり：Ｂ、※枠見込幅は平面図による。 140＝W12、170＝W15、180=CB、200=EW18、220=EW20 Wは壁厚を示す。		くつずり：Ｂ、※枠見込幅は平面図による。 140＝W12、170＝W15、180=CB、200=EW18、220=EW20 Wは壁厚を示す。	

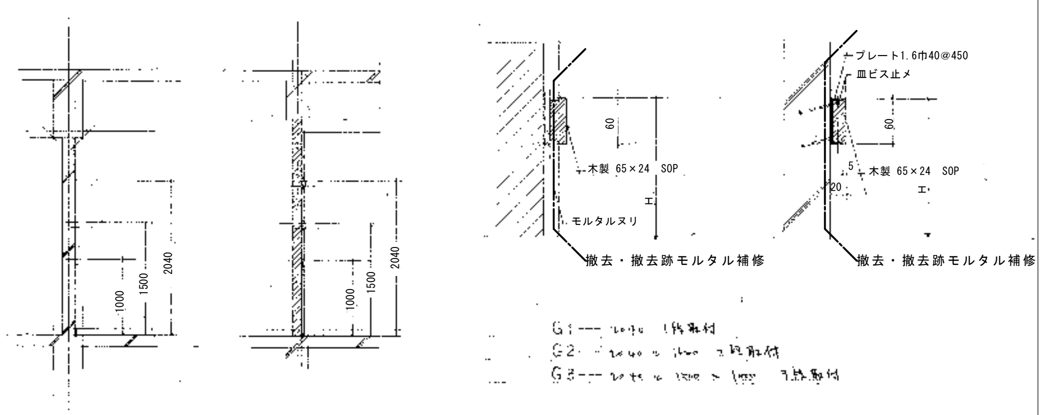
記号・数量	ACD-1	1	ACD-2	1			LD a	1	LD a	1						
形状寸法							改修前（現況） ➡ 改修後（改修内容） 既存のまま 建具・枠　塗替									
形式	両引き分けアコーディオンカーテン		両引き分けアコーディオンカーテン				片開き戸		既存のまま							
枠：材質(仕上)・見込	レール：アルミ押出型材		レール：アルミ押出型材				スチール：ＳＯＰ	１００	ＳＯＰ塗替							
建具：材質(仕上)・見込	塩ビレザー(防炎、防汚、抗菌)		塩ビレザー(防炎、防汚、抗菌)				スチール：ＳＯＰ	４０	ＳＯＰ塗替							
ガラス							－		－							
金物	付属金物一式、取手、レール、サイドブラケット(両端) 壁面カマチセット、戻り止め装置付		付属金物一式、取手、レール、サイドブラケット(両端) 壁面カマチセット、戻り止め装置付				付属金物一式、ＰＨ、ＭＬ		既存のまま							
ガラリ							－		－							
法令関係							－		－							
備考							くつずり：３		既存のまま							

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 33 号	
図面名称	新設建具表	縮尺	－
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7月
滋賀大学施設管理課			

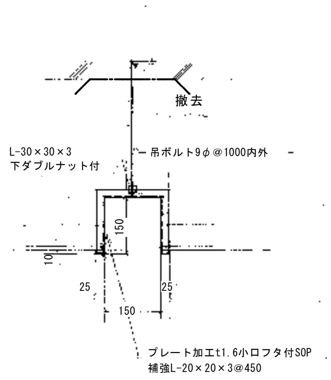
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士 神矢 国男 登録第311118号
一級建築士事務所 京都知事登録 (5)A)第2031号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	新設建具表	A1 1/100 A3 1/200	A － 26

G	画桟撤去	S=1/5、1/50

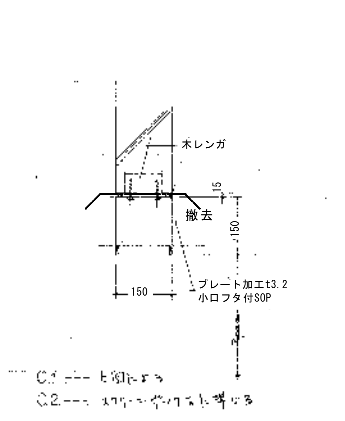


SB	スクリーンボックス撤去	S=1/10

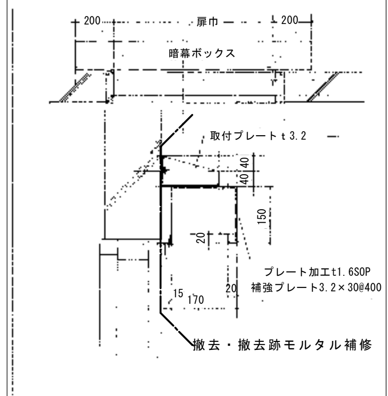


L寸法は図示による

C.B-1	カーテンボックス撤去	S=1/10

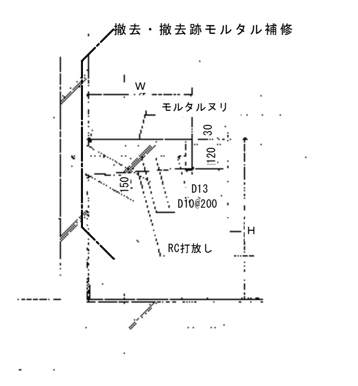


A.B	暗幕ボックス撤去	S=1/10



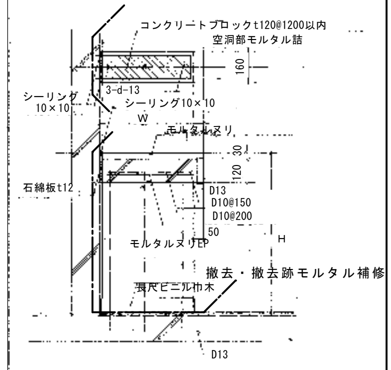
片側袖のない場合は300とする

CT	コンクリート製実験台撤去	S=1/20

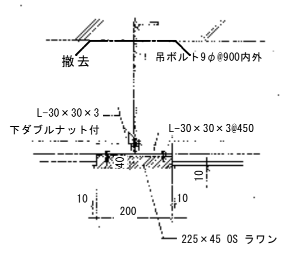


H及びWは図示による

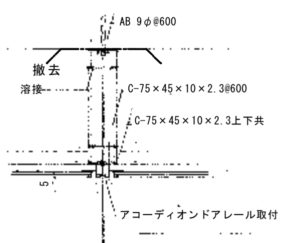
CTT	コンクリート製天秤撤去	S=1/20



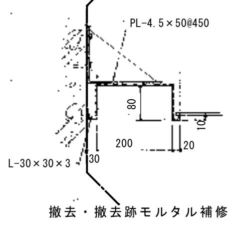
W	天井付木製帯板撤去	S=1/10



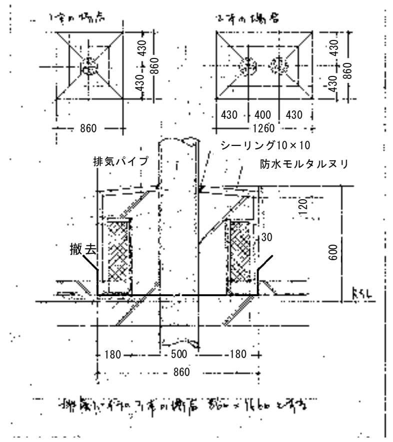
	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ取付レール撤去	S=1/10



B.B-1	ブラインドボックス撤去	S=1/10



	屋上ドラフト排気撤去	S=1/20、1/50



什器等撤去リスト

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
1	155	流し台		1	900	600	104
1	155	ｻｲﾄﾞ実験台		1	3000	750	1750
1	156	流し台		1	1200	600	1000
1	156	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1200	800	800
1	156	洗面台		1	500	400	750
1	157	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	900	100	600
1	157	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	100	1200
1	157	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	600	30	900
1	157	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1350	750	760
1	158	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	110	900
1	177	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	100	900
2	256	ｻｲﾄﾞ実験台		1	900	750	800
2	256	流し台		1	900	600	1000
2	256	流し台		1	600	600	1000
2	256	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1500	570	800
2	256	ｻｲﾄﾞ実験台	試薬棚付	1	1800	750	1680
2	256	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	750
2	256	中央実験台		1	3700	1200	800
2	256	中央実験台		1	3700	1200	800
2	256	中央実験台		1	3540	910	750
2	257	吊戸棚	壁付	1	1700	380	500

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
2	258	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	810
2	258	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	100	900
2	258	掲示板	壁付	1	900	40	900
2	258	流し台		1	600	600	900
2	258	流し台		1	600	600	900
2	258	流し台		1	900	600	900
2	258	吊戸棚	壁付	1	1000	210	1200
2	258	中央実験台		1	3520	1200	760
2	258	中央実験台		1	3520	1200	760
2	258前	掲示板	壁付	1	1800	40	900
2	259	黒板	壁付	1	2700	100	900
2	259	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ		1	1200	80	900
2	259	SUS流し台	蛇口壁付	1	1200	600	900
2	259	掲示板	壁付	1	900	30	900
2	259	調理台		1	2100	900	900
2	259	調理台		1	2100	900	900
2	259	調理台		1	2100	900	900
2	259	調理台		1	2100	900	900
2	259	調理台		1	2100	900	900
2	275	洗面台		1	500	390	800
2	276	流し台		1	1200	600	960

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
2	276	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	750
2	276	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1500	750	750
2	276	ｻｲﾄﾞ実験台	試薬棚付	1	2400	750	1650
2	278	流し台		1	1200	600	960
2	278	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	750
2	278	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	750
2	278	吊戸棚	壁付	1	900	300	610
2	278	吊戸棚	壁付	1	900	300	610
2	278	吊戸棚	壁付	1	900	300	610
2	278	吊戸棚	壁付	1	900	300	610
2	278	吊戸棚	壁付	1	900	300	610
2	278	吊戸棚	壁付	1	600	300	400
2	279	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1800	750	750
2	279	吊戸棚	壁付	1	600	350	900
2	279	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ		1	900	100	900
2	280	ｻｲﾄﾞ実験台		1	600	750	750
2	280	吊戸棚	壁付	1	600	330	900
2	280	流し台		1	1200	600	900
2	280	ｻｲﾄﾞ実験台	試薬棚付	1	2400	750	1650
2	280	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1200	750	750
3	356	黒板	壁付	1	2700	120	1200

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
3	356	掲示板	壁付	1	1800	40	1200
3	356前	掲示板	壁付	1	4500	40	900
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1800	750	750
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1500	750	780
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1800	750	750
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1500	750	750
3	357	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	2700	100	1200
3	357	中央実験台		1	2330	900	760
3	357前	掲示板	壁付	1	2700	40	900
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1000	570	480
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	750	550	750
3	357	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1800	750	750
3	374左	流し台	蛇口壁付	1	1060	620	960
3	374左	黒板	壁付	1	2700	100	1200
3	375	吊戸棚	壁付	1	600	380	1000
3	376	吊戸棚	壁付	1	600	380	1000
3	378	流し台	蛇口壁付	1	1000	560	900
3	378	吊戸棚	壁付	1	600	250	400
3	378	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1240	60	900
3	379	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1200	20	900
4	455	ｻｲﾄﾞ実験台	試薬棚付	1	1500	750	1800

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
4	455	ｻｲﾄﾞ実験台	試薬棚付	1	1500	750	1800
4	455	流し台		1	1200	600	1050
4	455	中央実験台		1	2400	1200	1800
4	455	中央実験台		1	2400	1200	1800
4	455前	掲示板	壁付	1	900	40	910
4	457	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1500	750	800
4	457	中央実験台	試薬棚付	1	3000	1500	1700
4	458	黒板	壁付	1	3600	100	1200
4	458	教卓実験台		1	1800	750	850
4	458	実験台		10	2100	600	750
4	474	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1820	100	910
4	475	吊戸棚	壁付	1	900	400	900
4	475	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1200	140	900
4	475	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1200	140	900
4	475前	掲示板	壁付	1	900	40	900
4	476	流し台		1	900	600	1280
4	479	流し台		1	1200	600	1420
5	556	ｻｲﾄﾞ実験台		1	2400	750	750
5	556	流し台		1	1500	750	960
5	556	中央実験台	試薬棚付	1	3600	1500	1700
5	556前	掲示板	壁付	1	900	40	900

階数	部屋番号	品名	特記事項（その他）	数量	サイズ		
					W	D	H
5	557	流し台		1	900	600	930
5	557	ｻｲﾄﾞ実験台		1	750	600	850
5	557	実験台		1	1500	900	800
5	557	実験台		1	1500	900	800
5	557	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1200	750	750
5	557前	掲示板	壁付	1	2700	40	900
5	558	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	70	900
5	558前	掲示板	壁付	1	1800	40	900
5	560	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	80	90
5	560	ｻｲﾄﾞ実験台		1	600	600	800
5	560	流し台		1	600	600	1000
5	560	吊戸棚	壁付	1	900	250	400
5	576	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ		1	1770	70	920
5	577	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1800	100	900
5	578	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1200	100	900
5	578	ｻｲﾄﾞ実験台		1	750	600	850
5	578	流し台		1	600	600	1000
5	579	ｻｲﾄﾞ実験台		1	1800	750	800
5	582	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	壁付	1	1200	100	900
5	582	洗面鏡	壁付	1	440	120	670
5	582	吊戸棚		1	900	250	400

※実験台天板はアスベスト含有建材である。
非飛散性石綿含有物として適切に処分すること。

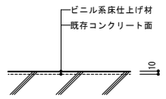
※撤去共通事項　撤去跡の鉄筋やボルト等の鉄部切断面は、錆止め塗装をすること。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 34 号
図面名称	撤去詳細図	縮尺 —
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課		

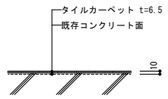
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	撤去詳細図	A1 図示 / A3 図示/2	A－27

床：ビニル系床仕上材 S=1/10

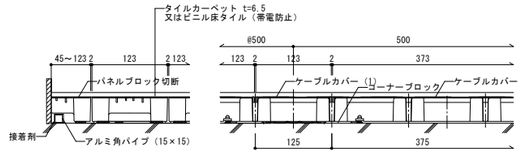


床：タイルカーペット S=1/10

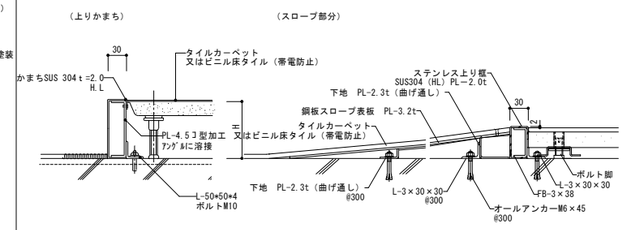


フリーアクセスフロアー（H=50） S=1/5

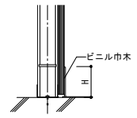
仕　様　置敷タイプ　H-50
●床パネル
375×375mm
（パネルブロック125×125mm-9枚）
材質：PP樹脂
●ケーブルカバー
(1)　125×125mm
(2)　375×125mm
鋼板　t=2.0　カチオン電着塗装
●システム重量
約　20kg/㎡
●中央集中荷重（加圧板φ50）
3,000N(300kgf)
たわみ2.5mm以内



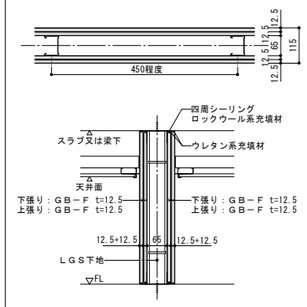
フリーアクセスフロア（上がりかまち、スロープ） S=1/5



幅木：ビニル巾木 S=1/10

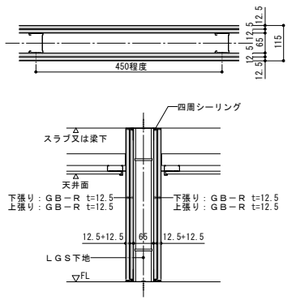


壁：ＷＴ１（耐火） S=1/10

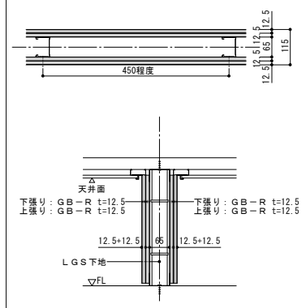


耐火認定番号
ＦＰ０６０ＮＰ－０１７４
ＦＰ０６０ＮＰ－０１７５（吸音材を挿入した場合）

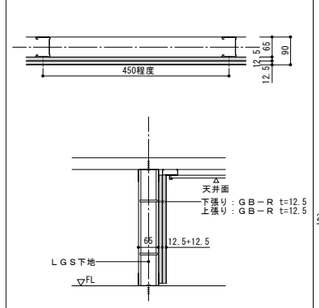
壁：Ｌ１ S=1/10



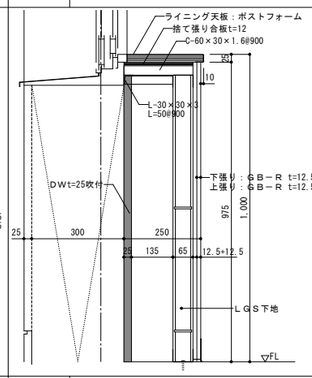
壁：Ｌ２ S=1/10



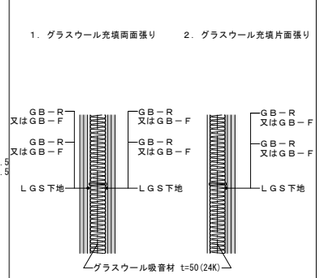
壁：Ｌ３ S=1/10



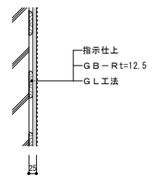
壁：Ｌ窓 S=1/10



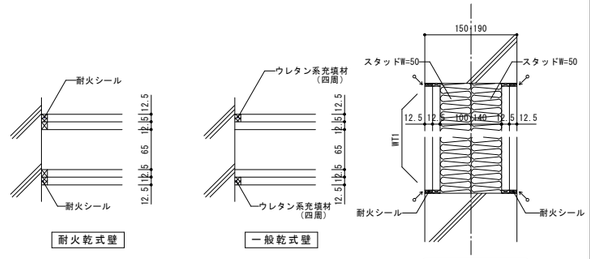
壁：グラスウール S=1/10



壁：ＧＬ工法 S=1/10



壁・柱・開口閉鎖部取合い詳細図 S=1/5



※開口閉鎖部分はグラスウール充填とする。

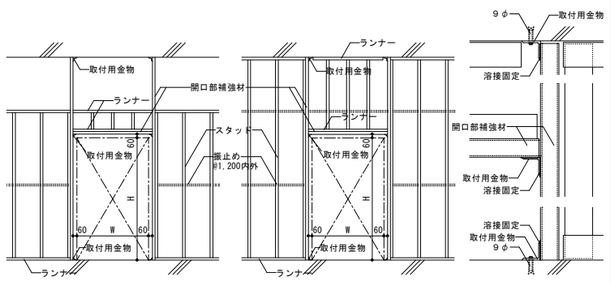
※１時間耐火壁（FP060NP-0175）：LGS下地　巾50（ダブル配置）　GW 50 24K充填
耐火シールはメーカー指定のものを使用すること。

内壁　開口補強ＬＧＳ下地 S=1/5、1/50

開口補強材・ＬＧＳ下地部材の形状・寸法（mm）

部材 / 種別	スタッド	ランナー	振れ止め	出入口及びこれに準ずる開口部の補強材	補強材取付用金物	スタッドの高さによる適用
５０形	50x45x0.8	52x40x0.8	19x10x1.2	□-40x20x 2.3 / 1.6	L-30x30x3	高さ2.7　m以下
６５形	65x45x0.8	67x40x0.8	25x10x1.2	□-60x30x10x2.3		高さ4.0　m以下
９０形	90x45x0.8	92x40x0.8		□-75x45x15x2.3	L-50x50x4	高さ4.5　m以下
１００形	100x45x0.8	102x40x0.8		2□-75x45x15x2.3		高さ5.0　m以下

（注）１．設備の開口補強材についても、上表に準ずる
２．スタッドの高さに高低がある場合は、高い方を適用する
３．開口部補強材及び補強材取付用金物は、亜鉛めっき又はさび止め塗装を行ったものとする



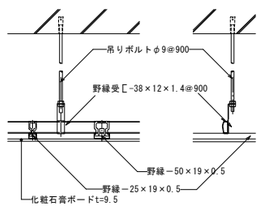
天井下ボード張り　S=1/50

スラブ下ボード張り　S=1/50

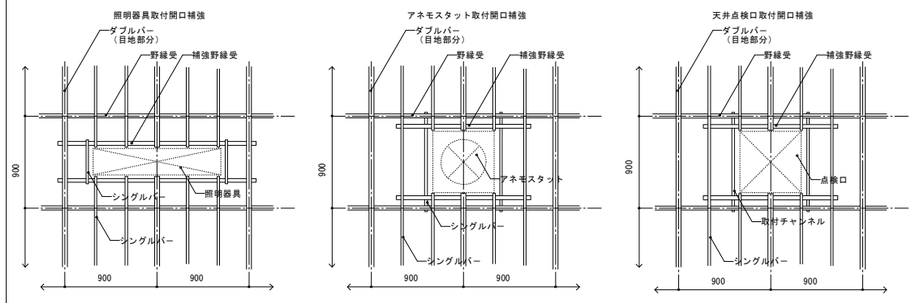
開口補強材取付詳細図　S=1/5

※　開口部補強材にはボードを留めない
※　スタッドピッチは、一重張りの場合３００内外、二重張りの場合４５０内外とする

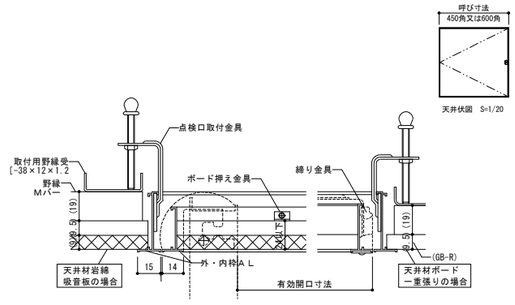
天井：化粧石膏ボード S=1/10



天井　開口補強 S=1/30

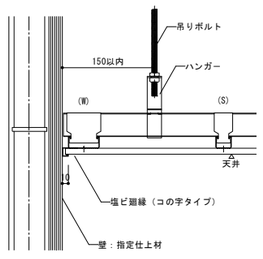


天井点検口 S=1/20

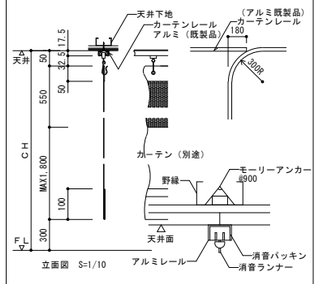


※落下防止ワイヤー付きとする。

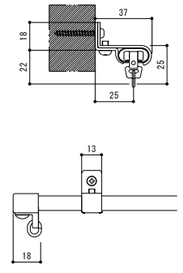
廻縁：塩ビ製 S=1/5



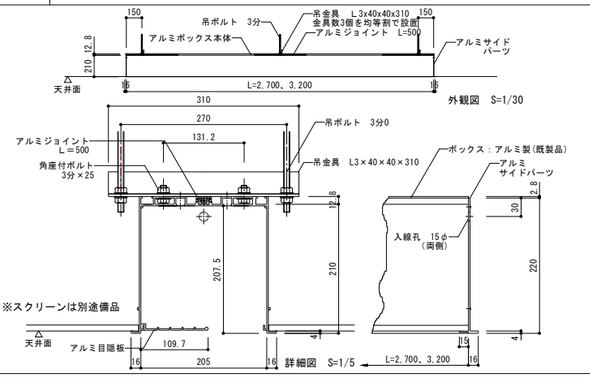
CR(直)　カーテンレール（天井直付）S=1/3、1/10



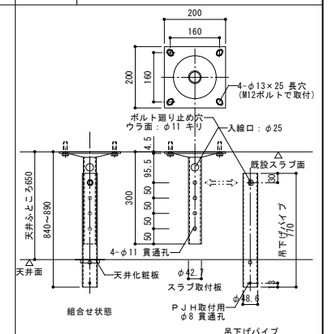
CR(壁)　カーテンレール S=1/2



ＳＢ　スクリーンボックス S=1/5、1/30



ＰＪ　プロジェクター吊金物（既製品） S=1/10



※プロジェクター本体取付は別途備品

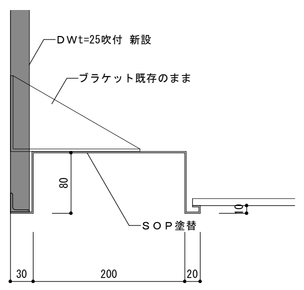
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 35 号	
図面名称	部分詳細図(1)	縮尺	—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

㈱ウチダ 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士　神先 鎮司　登録第 [illegible] 号
一級建築士事務所　京都知事登録（い）第[illegible]号

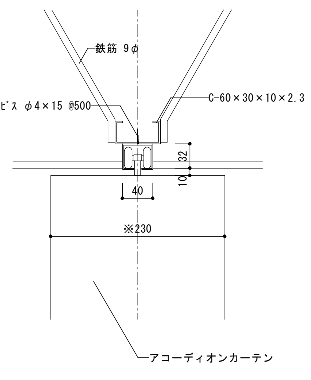
総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	部分詳細図(1)	A1　図示 A3　図示/2	A － 28

既B.B　既存ブラインドボックス塗替　S=1/5

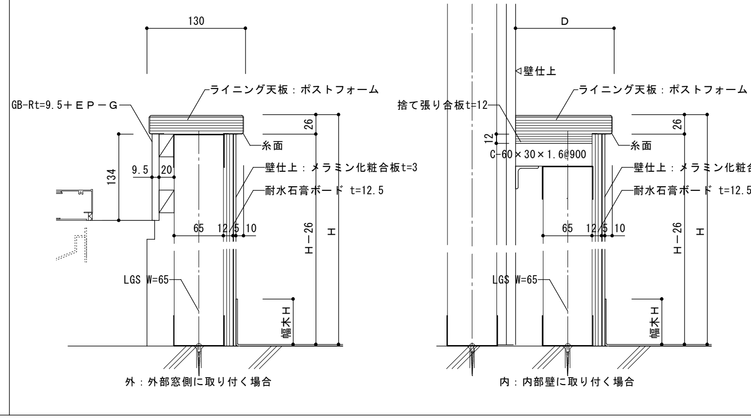


ACD　ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ天井下地補強　S=1/5



ＨＢ　配管バック　S=1/5

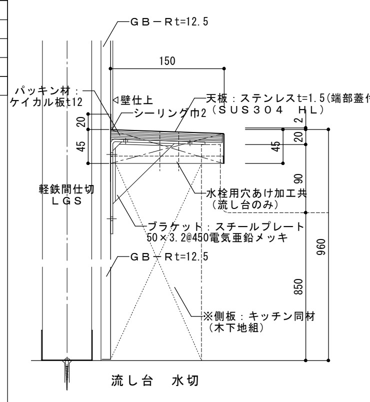
※Ｄは特記なき限り130とする



内外	D	L	H	1階	2階	3階	4階	5階	R階	計	側面仕上
内	D130	L=720	H=1100	1	3	1	5	－	1	11	両面
内	D130	L=720	H=1100	2	2	4	2	4	－	14	片面
外	D130	L=1520	H=1200	－	－	1	－	－	－	1	両面

※　配管バック側面に壁がない場合は、天板：ﾒﾗﾐﾝ小口ﾌｻｷﾞ、側面壁：配管バック壁同材にて仕上とする。

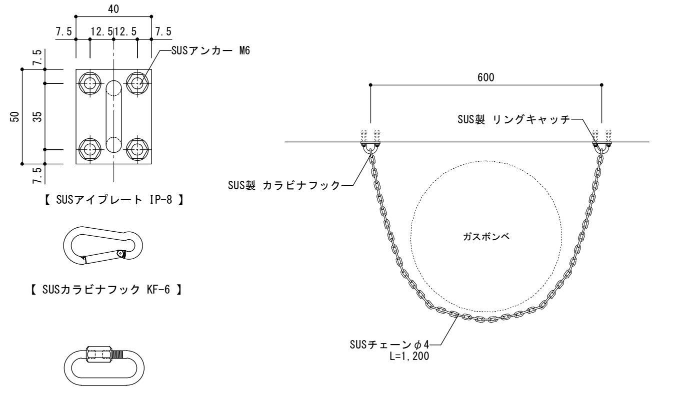
流し台　水切り　S=1/5



流し台　水切

※流し台側の水切りに際し、水栓用穴あけ位置は設備側と十分調整協議を行うこと。

転倒防止チェーン　2階：計1ヶ所　S=1/5、1/10



屋外階段　格子　S=1/10、1/30

※格子：アルミ押出形材　木目調焼付塗装
※鉄部：溶融亜鉛メッキ仕上

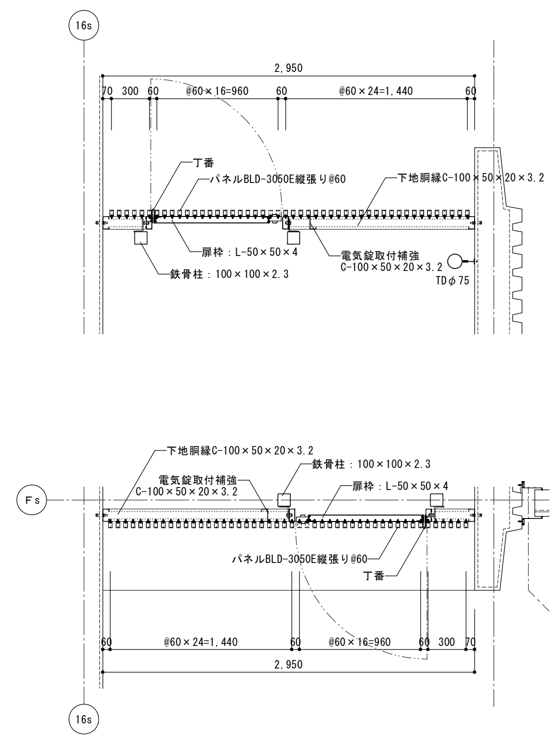
格子　工事区分リスト

項　目	金物工事	格子工事
鉄骨下地、胴縁等、躯体への取付	○	
扉枠アングルフレーム	○	
ドアハンドル、丁番等建具金物一式	○	
縦格子取付		○

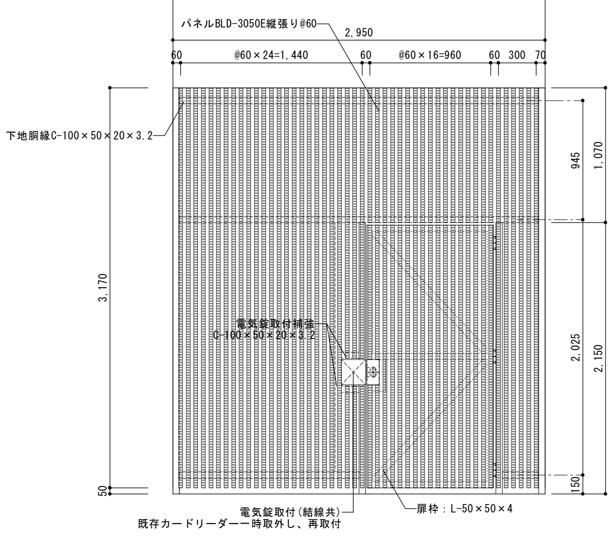
電気錠　工事区分リスト

項　目	金物工事	入退室管理設備工事
電気錠本体取付工事	○	
１次・２次側配線・配管工事		○
電源の供給		○
電気錠部分・スイッチ部分　結線工事	○	○
器具(スイッチ等)ボックスの設置		○
器具(スイッチ等)取付		○

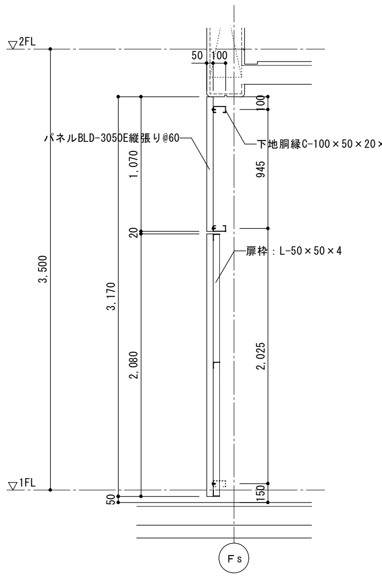
※入退室管理設備工事）は本工事に含む



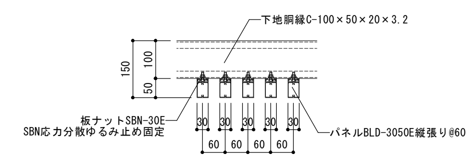
平面図　S=1/30



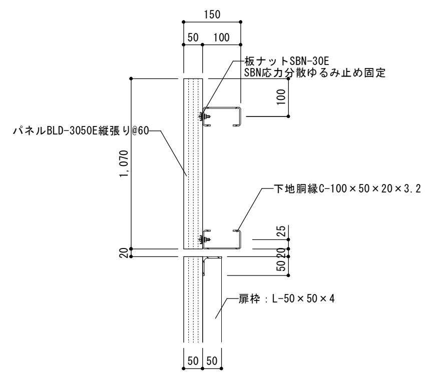
姿図　S=1/30



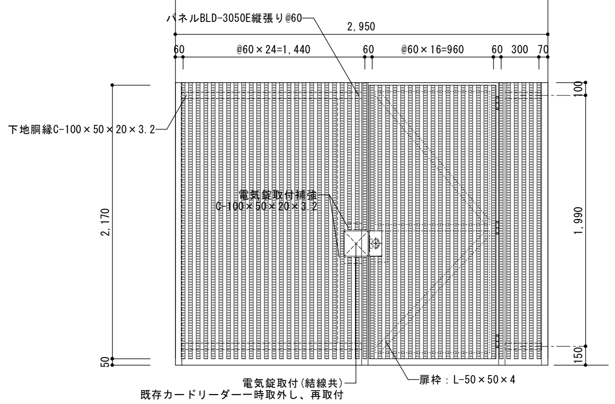
断面図　S=1/30



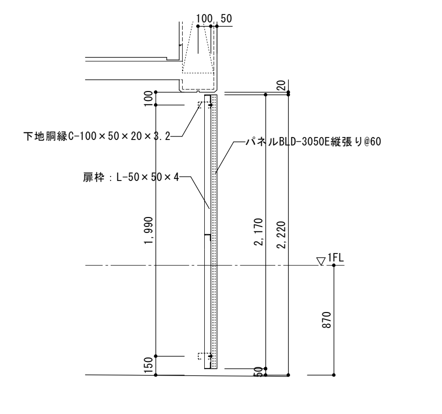
格子詳細図　S=1/10



格子断面図　S=1/10



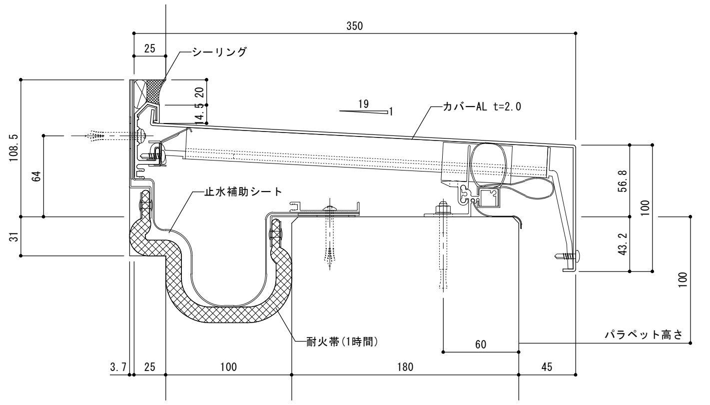
姿図　S=1/30



断面図　S=1/30

アルミ　屋根＋屋根(耐火1時間)　S=1/3

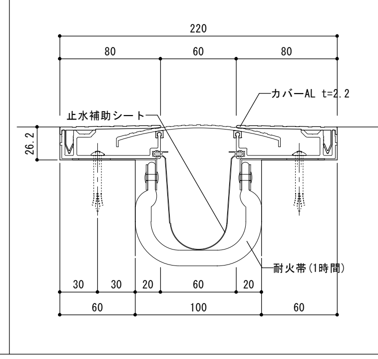
ＥＸＰ・Ｊ金物はすべて撤去・新設



アルミ　床＋床(耐火1時間)　S=1/3

ＥＸＰ・Ｊ金物はすべて撤去・新設

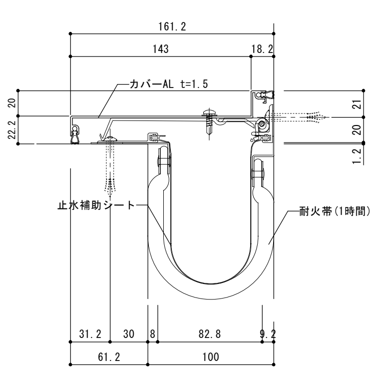
［床+床］ S10-AFX（内外共通） 耐火12.5mm《遮炎性能》



アルミ　外壁コーナー(耐火1時間)　S=1/3

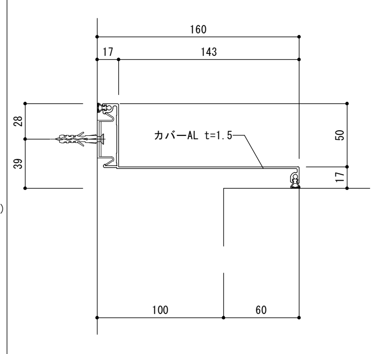
ＥＸＰ・Ｊ金物はすべて撤去・新設

［外壁+外壁］ S10-AEW 耐火12.5mm《遮炎性能》
※落下防止システム（セーフティワイヤー）付き



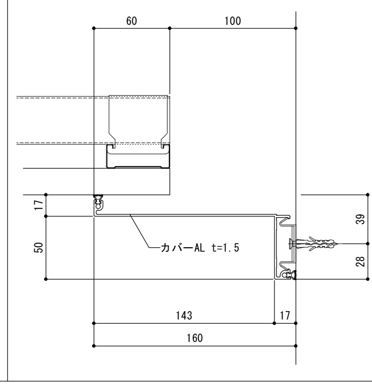
アルミ　内壁コーナー　S=1/3

ＥＸＰ・Ｊ金物はすべて撤去・新設



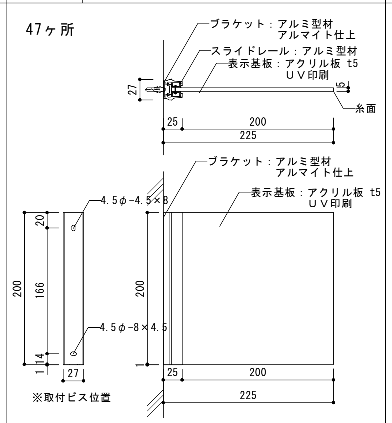
アルミ　天井コーナー　S=1/3

ＥＸＰ・Ｊ金物はすべて撤去・新設



△1　室名サイン2　S=1/5

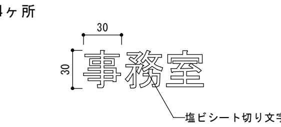
47ヶ所



※下記特記事項参照のこと

△2　室名サイン1　S=1/3、1/30

4ヶ所



室名

生化学分析室	×1
実験室B	×2
実験室C	×1

※表示内容・W寸法は打ち合わせにより決定とする。
※下記特記事項参照のこと

【サイン特記事項】
・サイン工事に用いる材料は、所定のものとする。
・サインは、所定の形状及び寸法を有し、監督職員指示の位置に強固に取付けること。
・サインに記載する文字などは、所定の大きさ及びデザインを有し、ゆがみなく、またバランスよく配置すること。
・設計図書に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督職員の承諾を受けること。
・サインの取付高さについては、建具枠天端合わせに統一するなど、バラツキのないようにすること。
・表示内容及びW寸法は打ち合わせにより最終決定とする。建物の用途上、英語表記を行う場合があるため留意すること。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）
図面名称	部分詳細図(2)
課長 / 副課長 / 係長 / 係員	
	滋賀大学施設管理課

69 枚のうち 36 号
縮尺　－
作成　令和4年　7 月

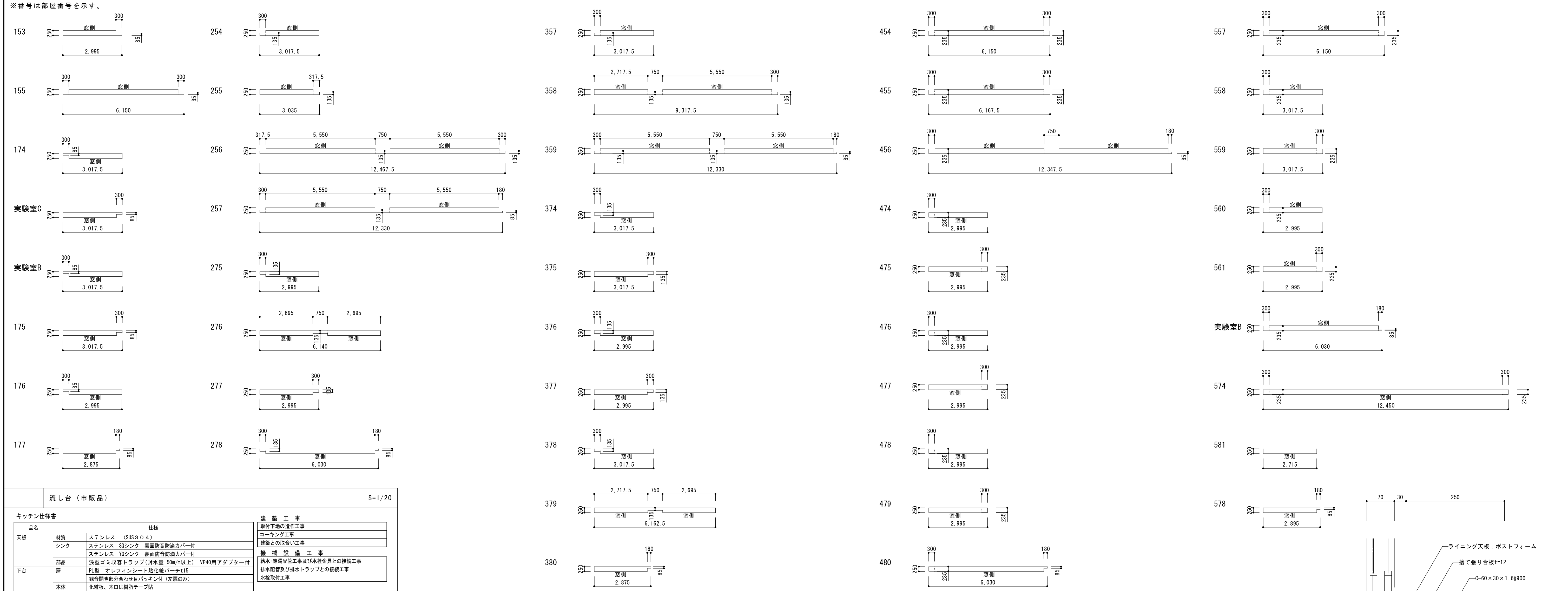
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A)第02291号
総括　主任　担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	部分詳細図(2)
縮尺	A1　図示 / A3　図示/2
図面番号	Ａ－29

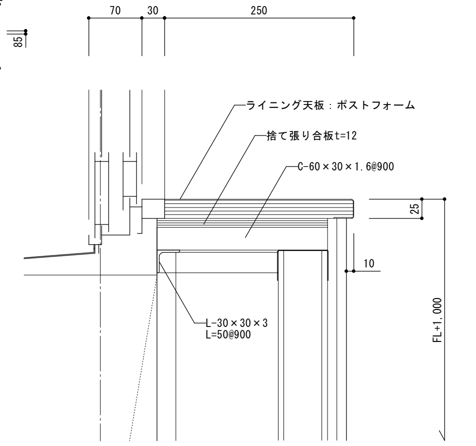
天板詳細図

S=1/5、1/100

※番号は部屋番号を示す。



※天板が長いものは、メーカー仕様の定尺長さで割り付けること。



断面図　S=1/5

流し台（市販品）

S=1/20

キッチン仕様書

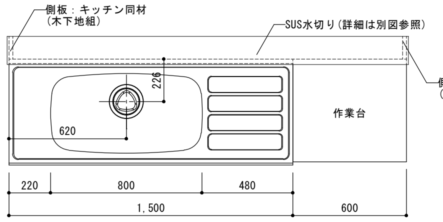
品名		仕様
天板	材質	ステンレス　（SUS３０４）
	シンク	ステンレス　SQシンク　裏面防音防滴カバー付
		ステンレス　YQシンク　裏面防音防滴カバー付
	部品	浅型ゴミ収容トラップ（封水量 50m/m以上）　VP40用アダプター付
下台	扉	PL型　オレフィンシート貼化粧パーチt15
		観音開き部分合わせ目パッキン付（左扉のみ）
	本体	化粧板、木口は樹脂テープ貼
		巾木（ダークブラウン
		丁番：スライド丁番
	底板	化粧板
	部品	本体パッキン　　包丁差し
		棚板
		側面版：ＳＵＳ３０４（t0.6）
水栓		（別途）（設備工事）
側板		化粧板（ホワイト（ＴＷ色））

建　築　工　事

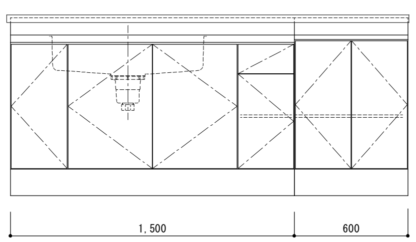
取付下地の造作工事
コーキング工事
建築との取合い工事

機　械　設　備　工　事

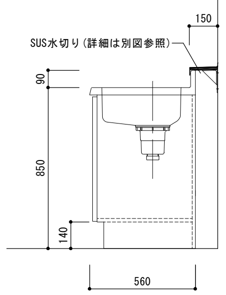
給水・給湯配管工事及び水栓金具との接続工事
排水配管及び排水トラップとの接続工事
水栓取付工事



流し台・作業台　平面図



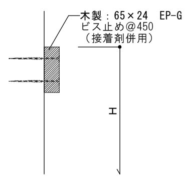
流し台・作業台　姿図



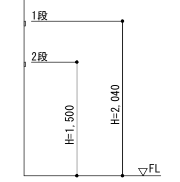
流し台　断面図

画2　画桟2段

S=1/5、1/50



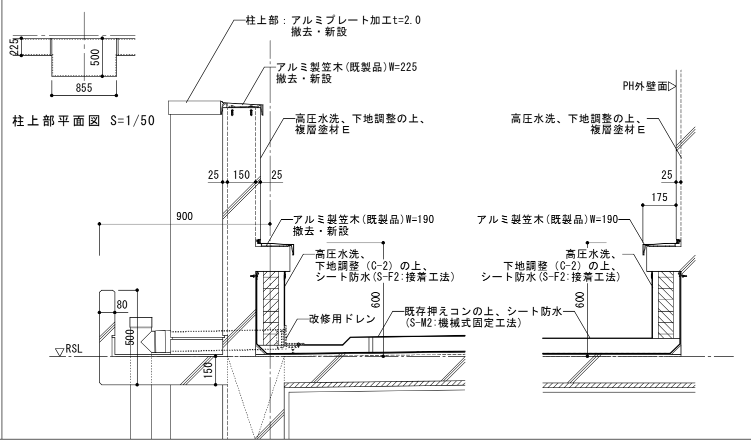
詳細図　S=1/5



取付高さ断面図　S=1/50

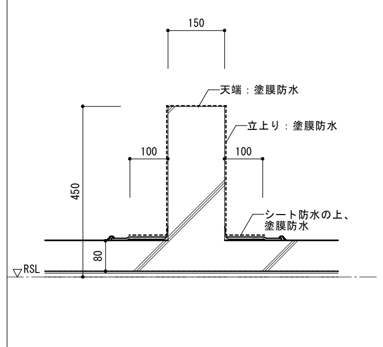
屋上パラペット

S=1/20、1/50



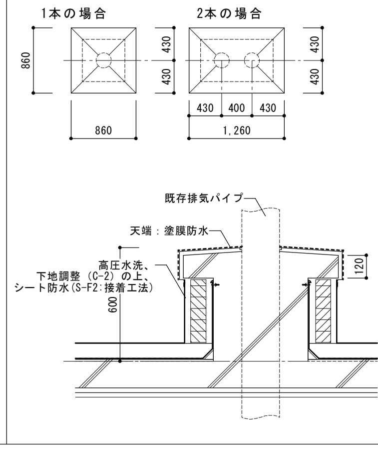
既存太陽望遠鏡基礎

S=1/10



既存ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ排気

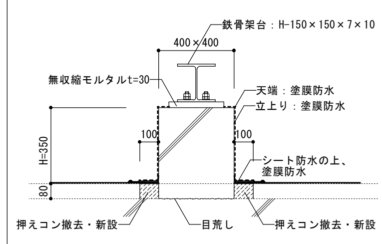
S=1/20



屋上機械基礎

S=1/20

※基礎配筋、アンカー等については構造図による
※鉄骨架台は溶融亜鉛メッキ仕上とする



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）		69 枚のうち 37 号
図面名称	部分詳細図(3)		縮尺　–
課　長	副課長	係　長	係　員
			作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号

総括	主任	担当

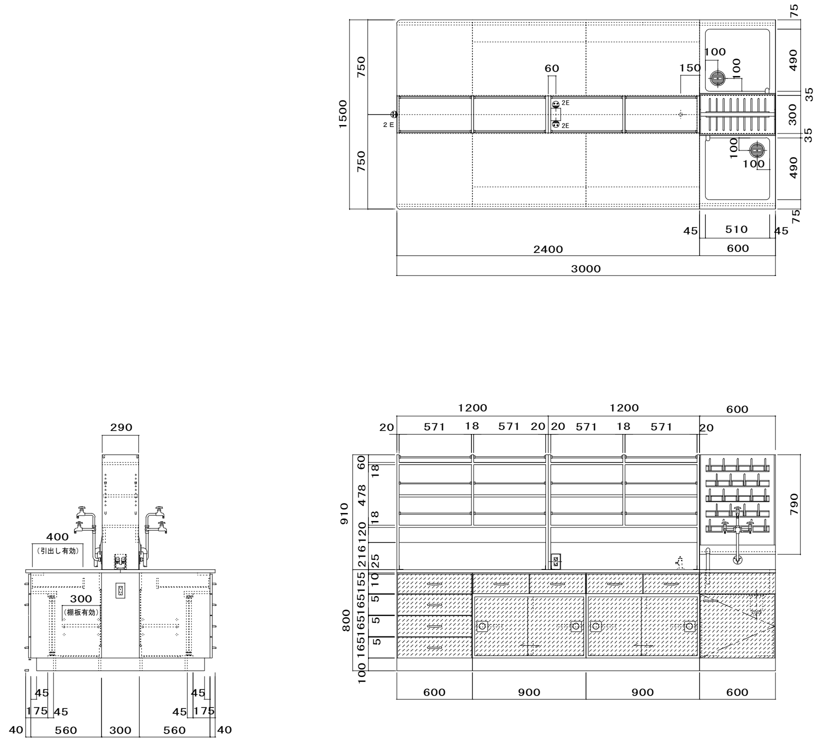
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	部分詳細図(3)	A1　図示 A3　図示/2	Ａ – 30

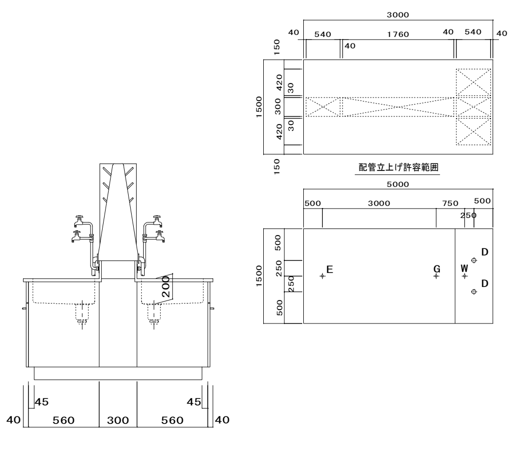
① 準備室実験台 ｜ 153　生化学実験室 ｜ 1台

配管立上り　S＝1／60	
W：給水	２０A
D：排水	４０A
E：電気	１φ１００Vアース付
G：ガス	２０A

天板	ラグスG天板　ｔ２５仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　ｔ２０（F☆☆☆☆）
	（３段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
引違戸把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
流し	ステンレス　SUS－３０４　ｔ１．０
	深さ　２００mm　　ステンレストラップ付
試薬棚	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８／ｔ２０（F☆☆☆☆）
	セーフティーパイプ付
附属品	水栓　　壁付先端着脱式化学水栓　３方口　２ケ
	（段付ノズルDLS１x４ケ　泡沫ノズルDLS３x２ケ）
	ガスコック　卓上２方口　　１ケ（別途）
	コンセント　AC１００V１５Aアース付　２口x１ケ
	卓上抜け止めコンセント（両面）100V15Aアース付 2口×1ケ
	ビーカー掛　両面式　　１台

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引き違い戸・引出し　ソフトクローザー機構付





② 準備室実験台 ｜ 153　生化学実験室 ｜ 2台

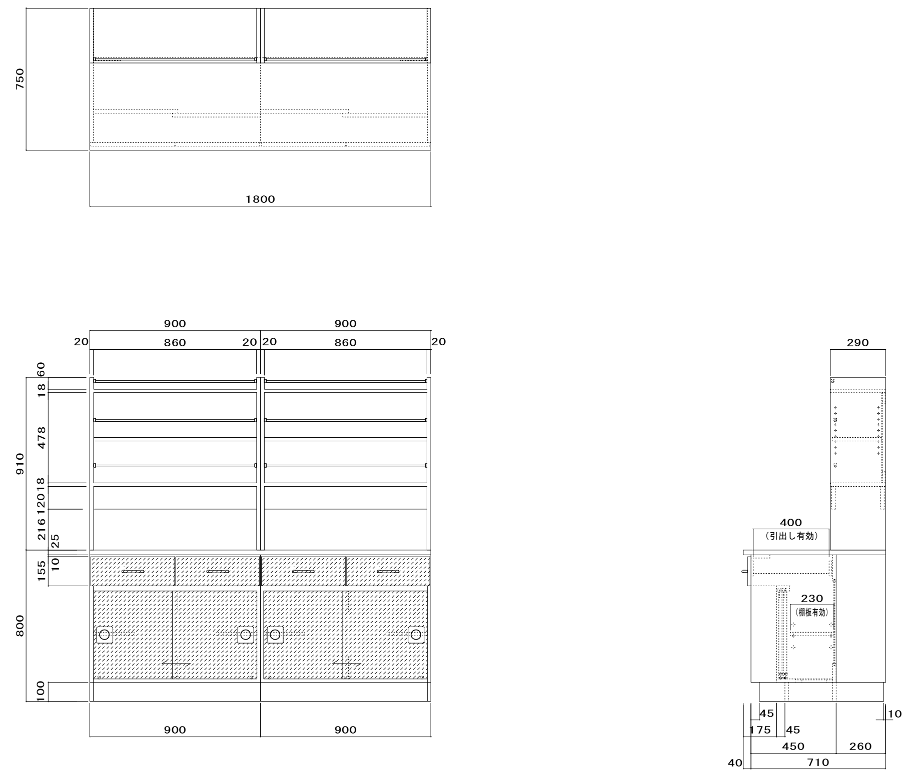
準備室実験台　1台

天板	ラグスG天板　ｔ２５仕上げ　PPエッジ付
	（色：ライトグレーDT６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　ｔ２０（F☆☆☆☆）
	（３段上下可）
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
引違戸把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）

本体色：ホワイト DW9
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
引き違い戸・引出し　ソフトクローザー機構付

木製シェルフ　2台

名称	数量	備考
本体主材	＿	両面化粧パーチクルボードt18／t20
		（色：ホワイトDW9）
	6	セーフティパイプ：ステンレス　φ9.5

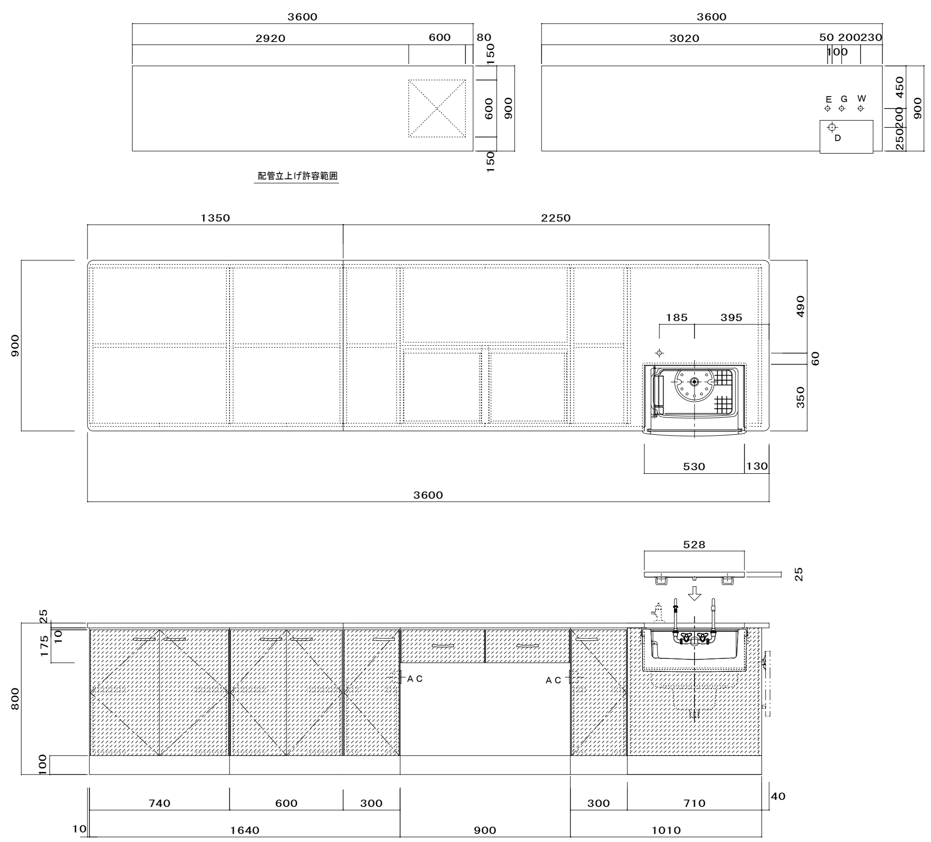


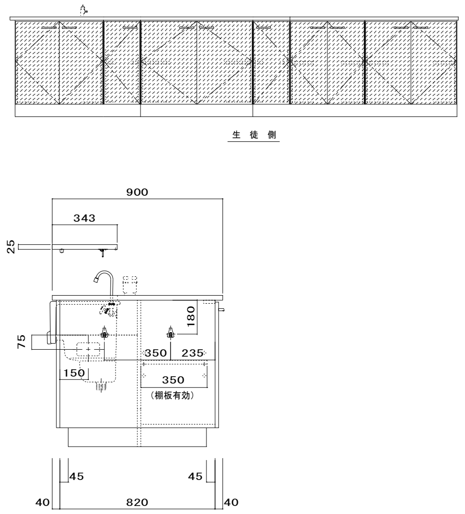
③ 教師用実験台 ｜ 256　理科教育・化学・生物大実験室 ｜ 1台

配管立上り　S＝1／40	
W：給水	２０A
D：排水	４０A
E：電気	１φ１００Vアース付
G：ガス	２０A

天板	ラグスG天板　ｔ２５仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT６）
流し用天板	ラグス天板 両面式　ｔ２５仕上げ　PPエッジ付
	（色：ライトグレーDT６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　ｔ２０（F☆☆☆☆）
	（３段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	流し　　陶器流し　S-１４　　１ケ
	水栓　　折りたたみ先端着脱式化学水栓　２方口　１ケ
	（段付ノズルDLS１x１ケ　泡沫ノズルDLS３x１ケ）
	ガスコック　卓上２方口　　１ケ（別途）
	コンセント　AC１００V１５Aアース付　２口x２ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し　ソフトクローザー機構付





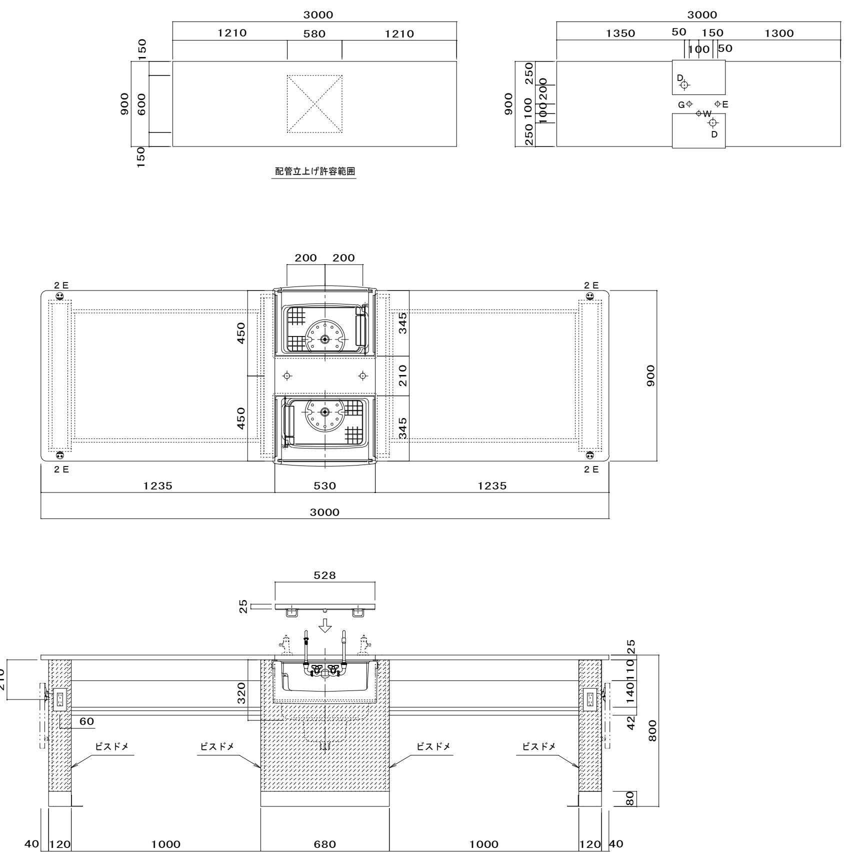
④ 生徒用実験台 ｜ 256　理科教育・化学・生物大実験室 ｜ 2台

配管立上り　S＝1／40	
W：給水	２０A
D：排水	４０A
E：電気	１φ１００Vアース付
G：ガス	２０A

天板	ラグスG天板　ｔ２５仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT６）
流し用天板	ラグスG天板 両面式　ｔ２５仕上げ　PPエッジ付
	（色：ライトグレーDT６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（F☆☆☆☆）
棚　板	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　ｔ１８（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	流し　　陶器流し　S-１４　　２ケ
	水栓　　折りたたみ先端着脱式化学水栓　２方口　２ケ
	（段付ノズルDLS１x２ケ　泡沫ノズルDLS３x２ケ）
	ガスコック　卓上２方口　　２ケ（別途）
	コンセント　AC１００V１５Aアース付　２口x４ケ
	床固定金具　　４ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）

※2台の内1台はコンセントなし

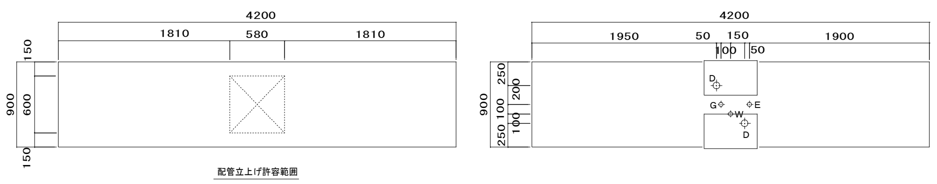


工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 38 号	
図面名称	家具詳細図(1)	縮尺　—	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/20　A3 1/40	図面番号 A－31
図面名称	家具詳細図(1)		

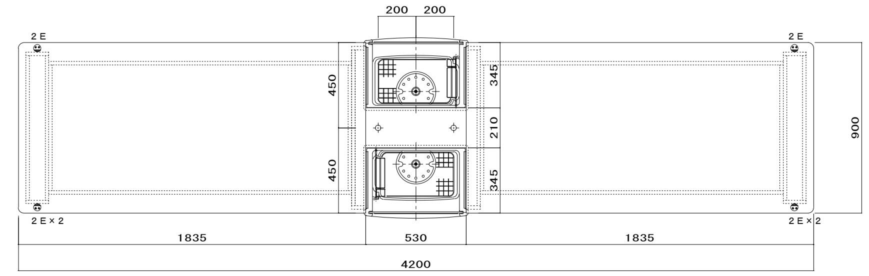
⑤	生徒用実験台	256　理科教育・化学・生物大実験室	2台

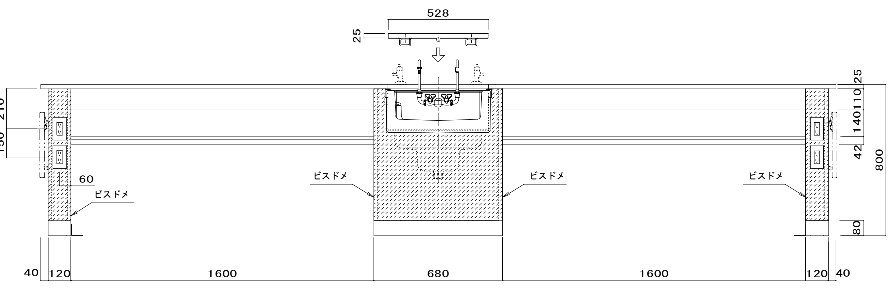


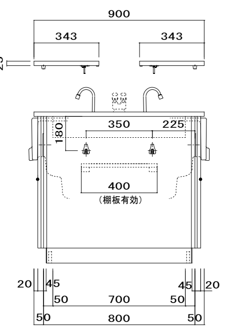
配管立上り　S＝1／40	
W：給水	２０Ａ
D：排水	４０Ａ
E：電気	１φ１００Ｖアース付
G：ガス	２０Ａ

天板	ラグスＧ天板　ｔ２５仕上げ　ＰＰエッジ（コーナーＲ）付
	（色：ライトグレーＤＴ６）
流し用天板	ラグスＧ天板 両面式　ｔ２５仕上げ　ＰＰエッジ付
	（色：ライトグレーＤＴ６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
棚　　板	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	流し　　　陶器流し　Ｓ-１４　　　　　　２ケ
	水栓　　　折りたたみ先端着脱式化学水栓　２方口　　２ケ
	（段付ノズルＤＬＳ１ｘ２ケ　泡沫ノズルＤＬＳ３ｘ２ケ）
	ガスコック　卓上２方口　　　　　　　　２ケ（別途）
	コンセント　ＡＣ１００Ｖ１５Ａアース付　２口ｘ６ケ
	床固定金具　　　　　　　　　　　　　　４ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）



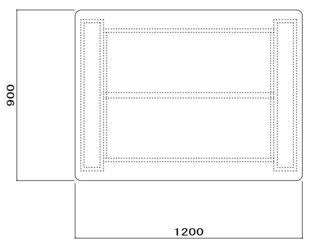


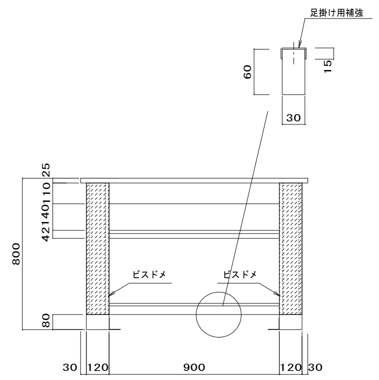


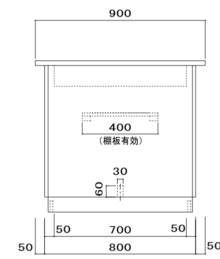
⑥	生徒用実験台	257　物理大実験室	3台

天板	ラグスＧ天板　ｔ２５仕上げ　ＰＰエッジ（コーナーＲ）付
	（色：ライトグレーＤＴ６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
棚　　板	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	床固定金具　　　　　　　　　　　　　　４ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）



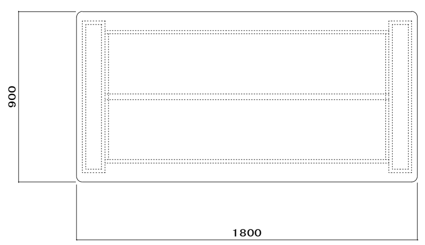


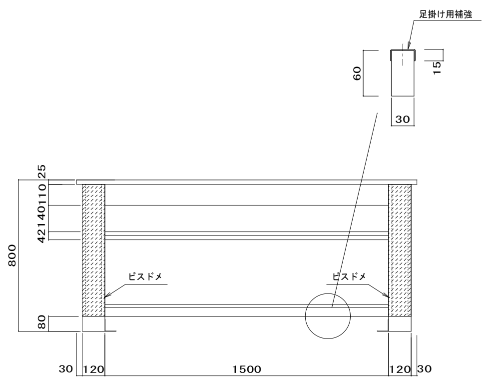


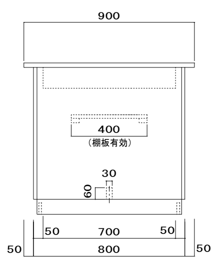
⑦	生徒用実験台	257　物理大実験室	5台

天板	ラグスＧ天板　ｔ２５仕上げ　ＰＰエッジ（コーナーＲ）付
	（色：ライトグレーＤＴ６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
棚　　板	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	床固定金具　　　　　　　　　　　　　　４ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）



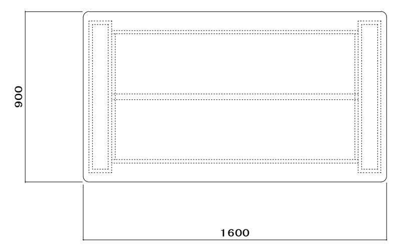


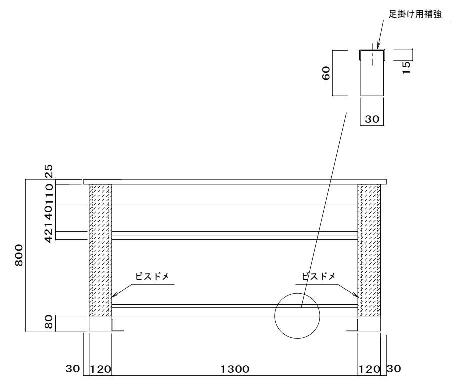


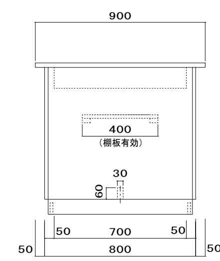
⑧	生徒用実験台	257　物理大実験室	9台

天板	ラグスＧ天板　ｔ２５仕上げ　ＰＰエッジ（コーナーＲ）付
	（色：ライトグレーＤＴ６）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
棚　　板	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　　ｔ１８（Ｆ☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	床固定金具　　　　　　　　　　　　　　４ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）







工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 39 号
図面名称	家具詳細図(2)	縮尺　―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 諭司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号

総括	主任	担当

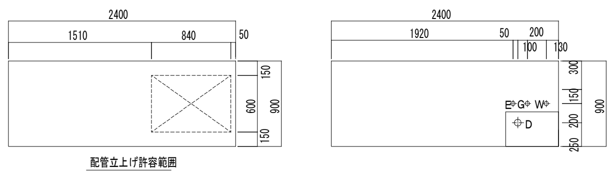
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	家具詳細図(2)	A1　1/20 A3　1/40	Ａ － 32

⑨ 準備室実験台 | 357 被服実験室 | 1台

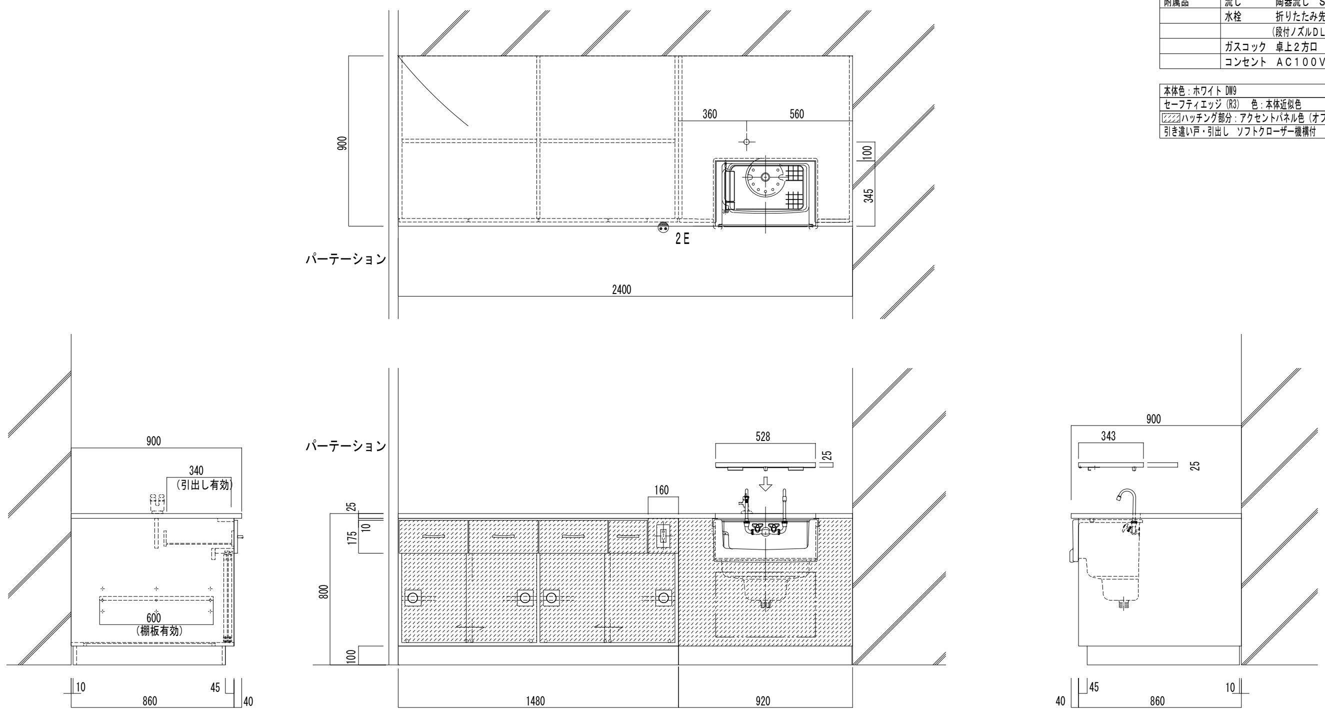
配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付
G：ガス	20A

天板	ラグスG天板 t25仕上げ PPエッジ付
	(色：ライトグレーDT6)
流し用天板	ラグスG天板 両面式 t25仕上げ PPエッジ付
	(色：ライトグレーDT6)
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード t20（F☆☆☆☆）
	(3段上下可)
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
引違戸把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	(色：グレー)
附属品	流し　陶器流し S-14　1ケ
	水栓　折りたたみ先端着脱式化学水栓 2方口　1ケ
	(段付ノズルDLS1x1ケ 泡沫ノズルDLS3x1ケ)
	ガスコック 卓上2方口　1ケ（別途）
	コンセント AC100V15Aアース付 2口x1ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
引き違い戸・引出し ソフトクローザー機構付



配管立上げ許容範囲

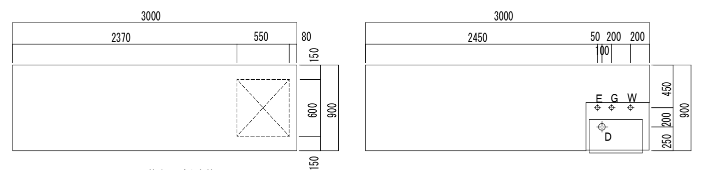


⑩ 教師用実験台 | 358 被服実験室 | 1台

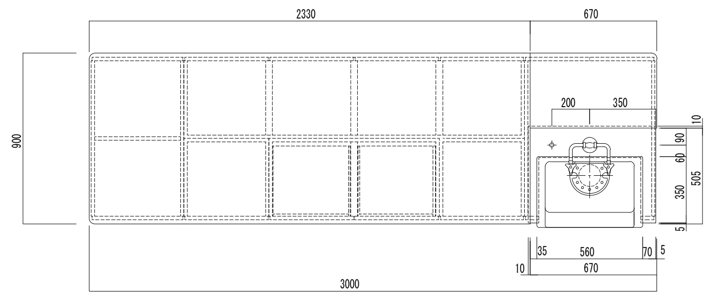
配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付
G：ガス	20A

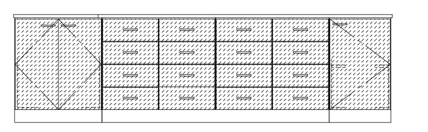
天板	ラグスG天板 t25仕上げ PPエッジ（コーナーR）付
	(色：ライトグレーDT6)
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード t20（F☆☆☆☆）
	(3段上下可)
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	(色：グレー)
流し台	ステンレス SUS−304 t1.0（天板方式）
附属品	流し　陶器流し S−13　1ケ
	水栓　卓上先端着脱式化学水栓 2方口　1ケ
	(段付ノズルDLS1x1ケ 泡沫ノズルDLS3x1ケ)
	ガスコック　卓上2方口　1ケ（別途）
	コンセント　AC100V15Aアース付 2口x2ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し ソフトクローザー機構付

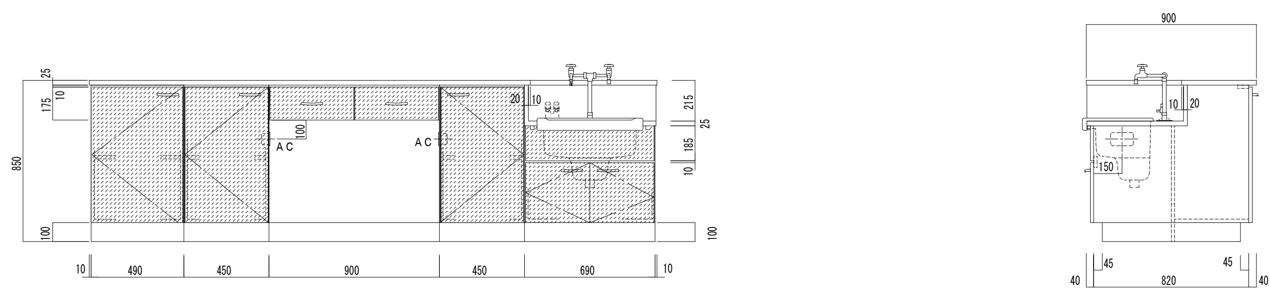


配管立上げ許容範囲





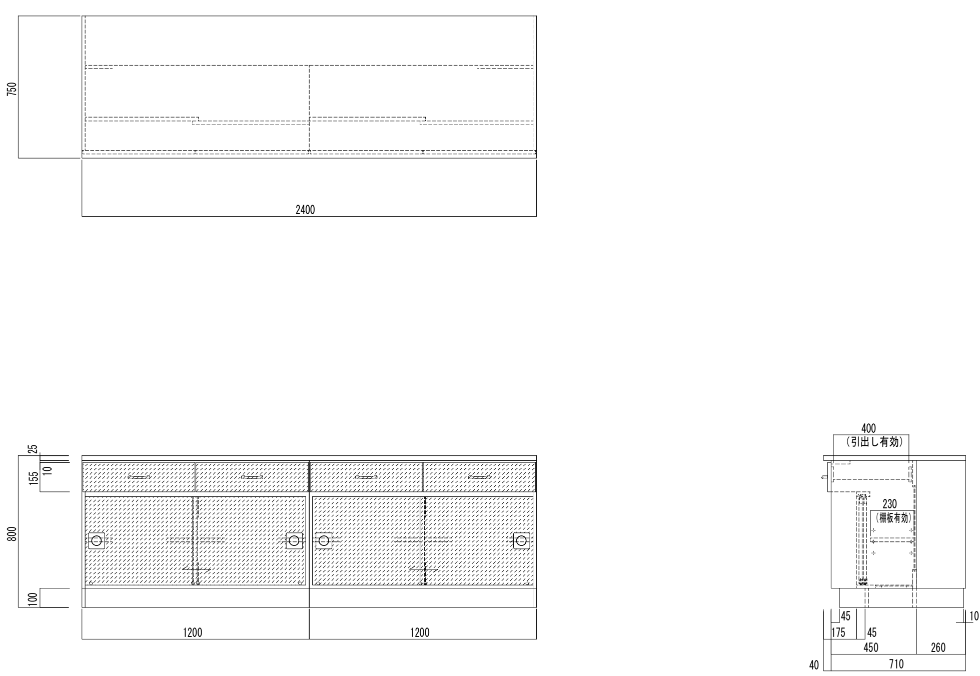
生 徒 側 (S=1／30)



⑪ 準備室実験台 | 358 被服実験室 | 1台

天板	ラグスG天板 t25仕上げ PPエッジ付
	(色：ライトグレーDT6)
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード t20（F☆☆☆☆）
	(3段上下可)
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
引違戸把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	(色：グレー)

本体色：ホワイト DW9
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
引き違い戸・引出し ソフトクローザー機構付

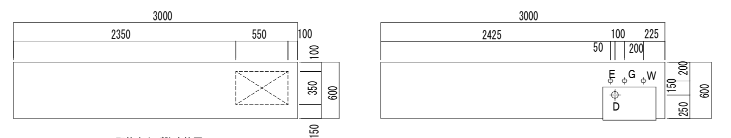


⑫ 生徒用実験台 | 358 被服実験室 | 1台

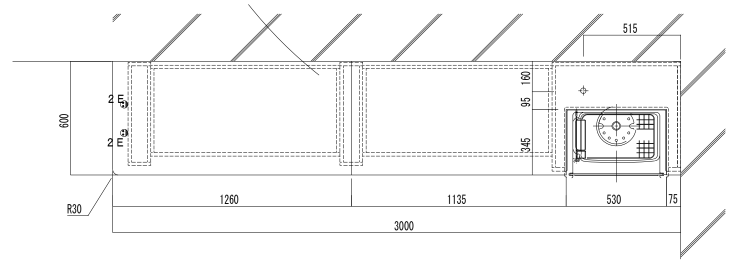
配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付
G：ガス	20A

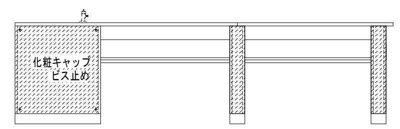
天板	ラグスG天板 t25仕上げ PPエッジ（コーナーR）付
	(色：ライトグレーDT6)
流し用天板	ラグスG天板 両面式 t25仕上げ PPエッジ付
	(色：ライトグレーDT6)
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
棚　板	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	(色：グレー)
附属品	流し　陶器流し S-14　1ケ
	水栓　折りたたみ先端着脱式化学水栓 2方口　1ケ
	(段付ノズルDLS1x1ケ 泡沫ノズルDLS3x1ケ)
	ガスコック 卓上2方口　1ケ（別途）
	コンセント AC100V15Aアース付 2口x2ケ
	床固定金具　6ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）

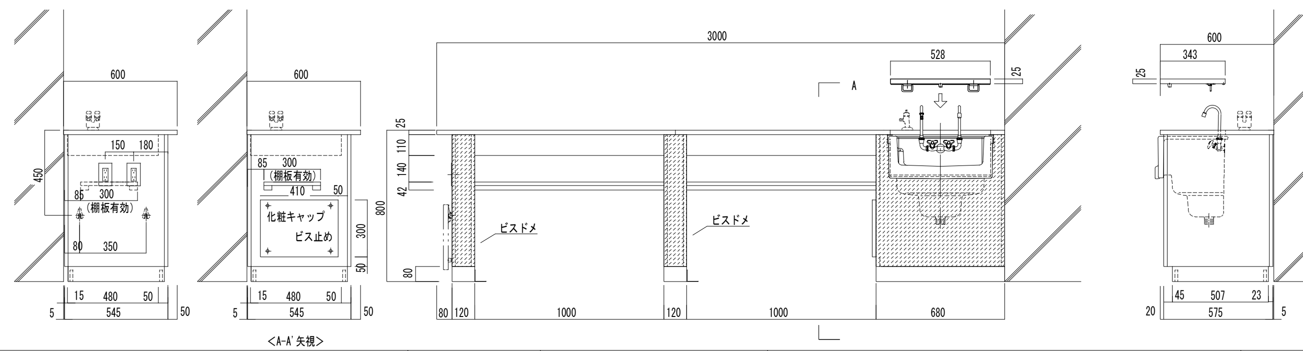


配管立上げ許容範囲





教師側S＝1／30



<A-A' 矢視>

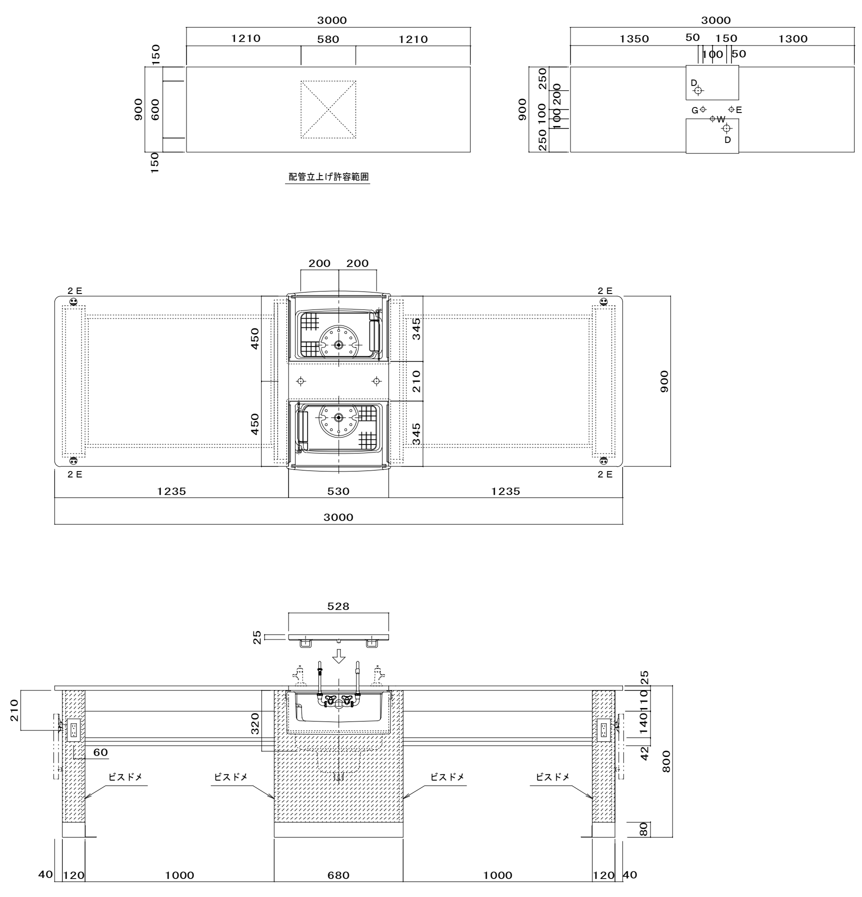
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 40 号	
図面名称	家具詳細図(3)	縮尺	—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町182
一級建築士 神先 誠司 (登録番号252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/20 A3 1/40	図面番号 A − 33
図面名称	家具詳細図(3)		

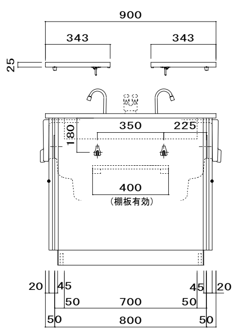
⑬ 生徒用実験台 ｜ 358 被服実験室 ｜ 2台



配管立上り	S＝1／40
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付
G：ガス	20A

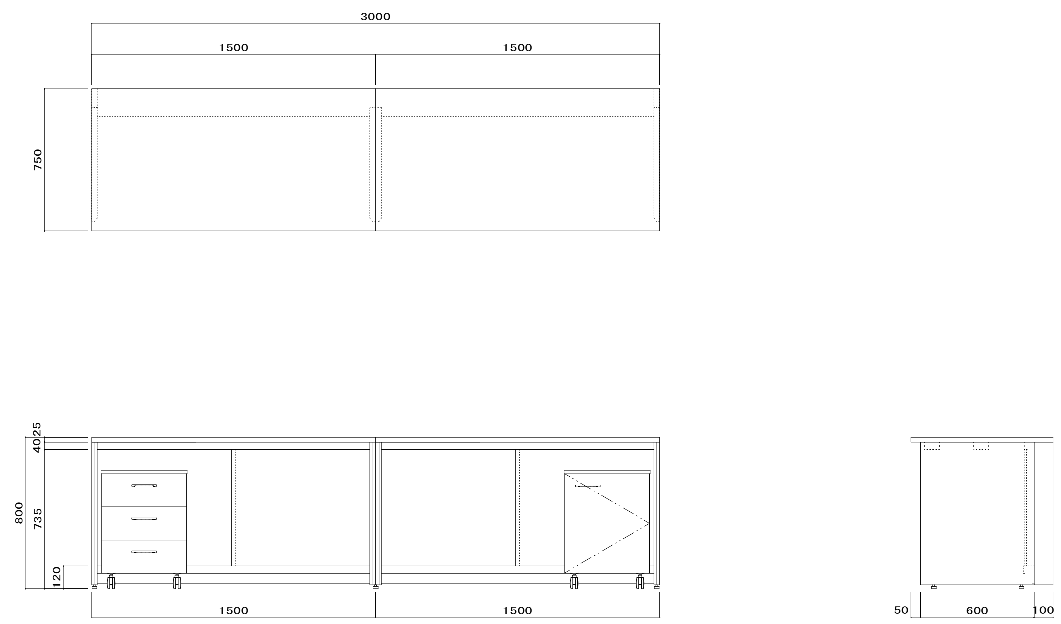
天板	ラグスG天板 t25仕上げ PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT6）
流し用天板	ラグスG天板 両面式 t25仕上げ PPエッジ付
	（色：ライトグレーDT6）
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
棚 板	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	流し 陶器流し S-14 2ケ
	水栓 折りたたみ先端着脱式化学水栓 2方口 2ケ
	（段付ノズルDLS1x2ケ 泡沫ノズルDLS3x2ケ）
	ガスコック 卓上2方口 2ケ（別途）
	コンセント AC100V15Aアース付 2口x4ケ
	床固定金具 4ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）



⑭ サイド実験台 ｜ 359 食物実習室 ｜ 2台

名称	数量	備考
天板	2	ラグス天板 t25仕上げ PPエッジ付
		（色：ライトグレーDT6）
フレーム	－	スチール製（色：ホワイトDW9）
塗装	－	耐薬品性焼付塗装仕上げ
幕板	－	VOC低減・消臭化粧板
ワゴン	1	開き戸 （MM1A） 寸法：W454×D480×H626
	1	3段引出（MM1B） 寸法：W454×D480×H626
耐震対策	－	耐震ラッチ付



⑮ 生徒用調理台 ｜ 359 食物実習室 ｜ 4台

ガス消費量 DG32Q2VQ1 9.88KW（8500Kcal／h）（13A）
9.88KW（0.708Kg／h）（LPG）
DR320EK 5.0KW（4300Kcal／h）（13A）
5.02KW（0.36Kg／h）（LPG）

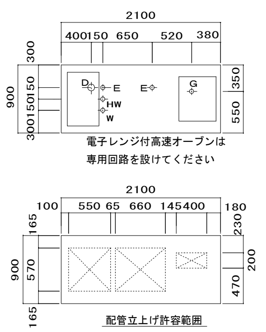
最大消費電力量 1170W

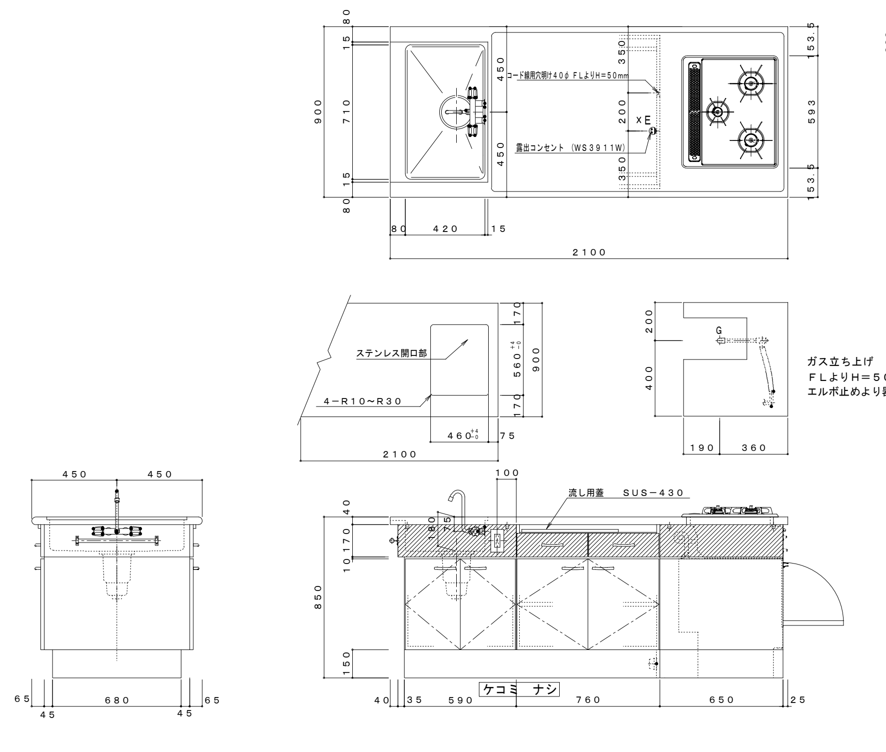
ガス消費量に応じた換気設備をご用意下さい。
個々の機器の全ガス消費量が12kWを超える場合は排気筒（フード）が必要です。

配管立上り	S＝1／50
W：給水	20A
HW：給湯	20A
D：排水	40A
G：ガス	20A
E：電気	1φ100Vアース付

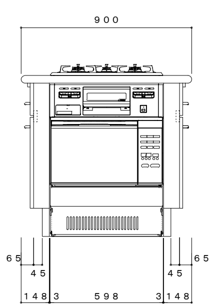
天板	ステンレス SUS-430 t1.0（天板方式）
流し	ステンレス SUS-304 t1.0
	深さ 180mm 大型排水トラップ SA-300
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード t20（F☆☆☆☆）
	（3段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	水栓 折りたたみ式壁付温水混合栓（JK-330F1） 1ケ
	調理器具 ビルトインガスコンロ 3口、電子レンジ付高速オーブン 1台
	コンセント 露出AC100V15Aアース付 2口x1ケ
	コンセント AC100V15Aアース付 2口x2ケ
	フキン掛け 1ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し ソフトクローザー機構付





ガス立ち上げ
FLよりH＝50mmでエルボ止め
エルボ止めより器具の接続工事は別途



⑯ 教師用調理台 ｜ 359 食物実習室 ｜ 1台

ガス消費量 DG32Q2VQ1 9.88KW（8500Kcal／h）（13A）
9.88KW（0.708Kg／h）（LPG）
DR320EK 5.0KW（4300Kcal／h）（13A）
5.02KW（0.36Kg／h）（LPG）

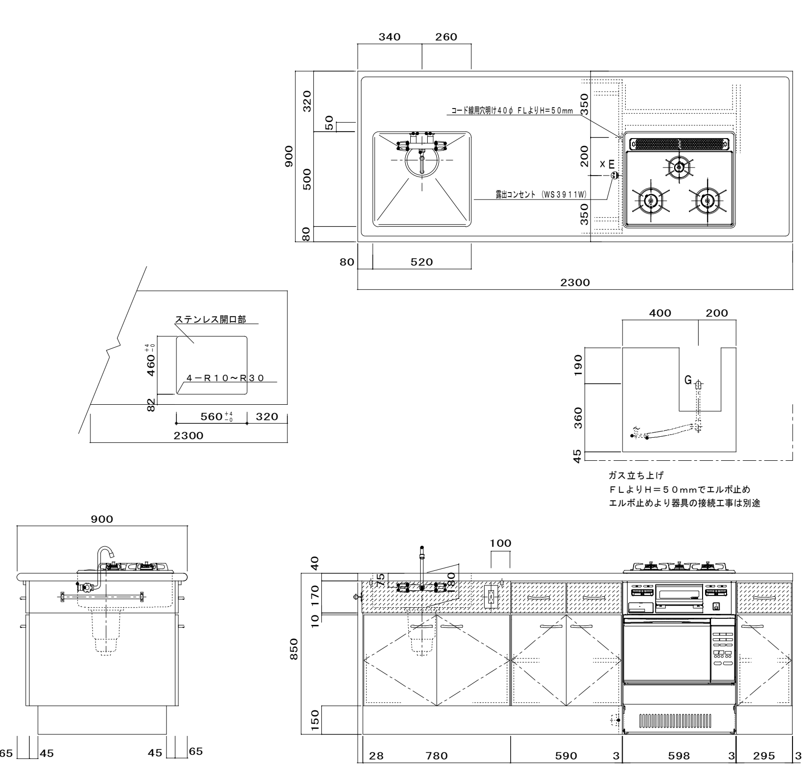
最大消費電力量 1170W

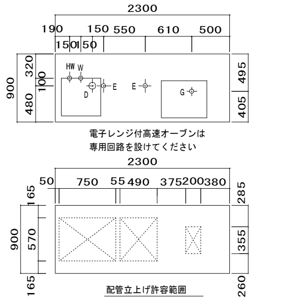
ガス消費量に応じた換気設備をご用意下さい。
個々の機器の全ガス消費量が12kWを超える場合は排気筒（フード）が必要です。

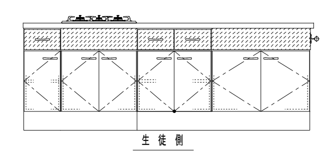
配管立上り	S＝1／50
W：給水	20A
HW：給湯	20A
D：排水	40A
G：ガス	20A
E：電気	1φ100Vアース付

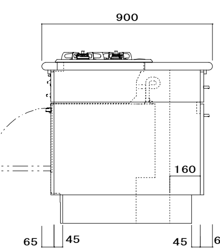
天板	ステンレス SUS－430 t1.0（天板方式）
流し	ステンレス SUS－304 t1.0
	深さ 180mm 大型排水トラップ SA－300
本体主材	両面化粧パーチクルボード t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード t20（F☆☆☆☆）
	（3段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	水栓 折りたたみ式壁付温水混合栓（JK-330F1） 1ケ
	調理器具 ビルトインガスコンロ 3口、電子レンジ付高速オーブン 1台
	コンセント 露出AC100V15Aアース付 2口x1ケ
	コンセント AC100V15Aアース付 2口x1ケ
	フキン掛け 1ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3） 色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し ソフトクローザー機構付





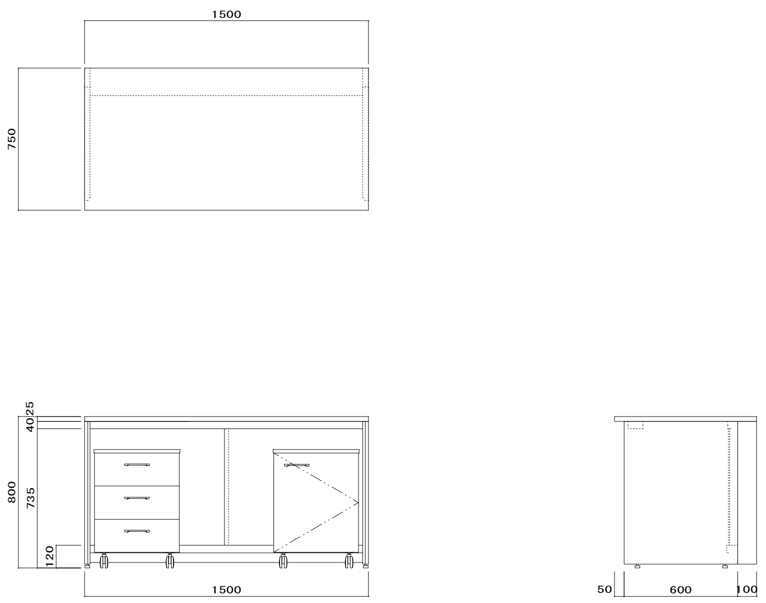




工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 41 号	業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	家具詳細図(4)	縮尺 －	図面名称	家具詳細図(4)
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7月	縮尺	A1 1/20 A3 1/40
滋賀大学施設管理課		株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町182 一級建築士 神先 誠司 総括 / 主任 / 担当	図面番号	A－34

17 サイド実験台 | 359 食物実習室 | 1台

名称	数量	備考
天板	1	ラグス天板 t25仕上げ PPエッジ付
		(色：ライトグレーDT6)
フレーム	―	スチール製（色：ホワイトDW9）
塗装	―	耐薬品性焼付塗装仕上げ
幕板	―	VOC低減・消臭化粧板
ワゴン	1	開き戸 (MM1A) 寸法：W454×D480×H626
	1	3段引出 (MM1B) 寸法：W454×D480×H626
耐震対策	―	耐震ラッチ付



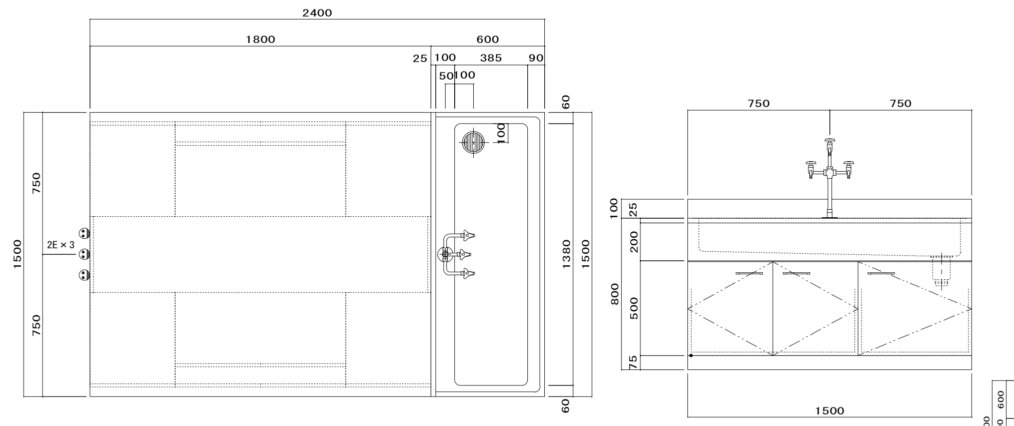
18 中央実験台 | 379 食物実験室 | 1台

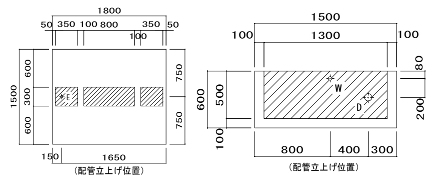
中央実験台 GM1A-AA6M-AC00 1台

名称	数量	備考
天板	2	ラグス天板 t25仕上げ PPエッジ付
		(色：ライトグレーDT6)
本体主材	―	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		(色：ホワイトDW9)
台輪	―	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		(色：ライトグレーDT6)
補助材	―	VOC低減・消臭化粧板
附属品	3	抜け止めコンセント100V15A2口アース付
耐震対策	―	耐震ラッチ付

流し台 NM1A-AS5M-AA00 1台

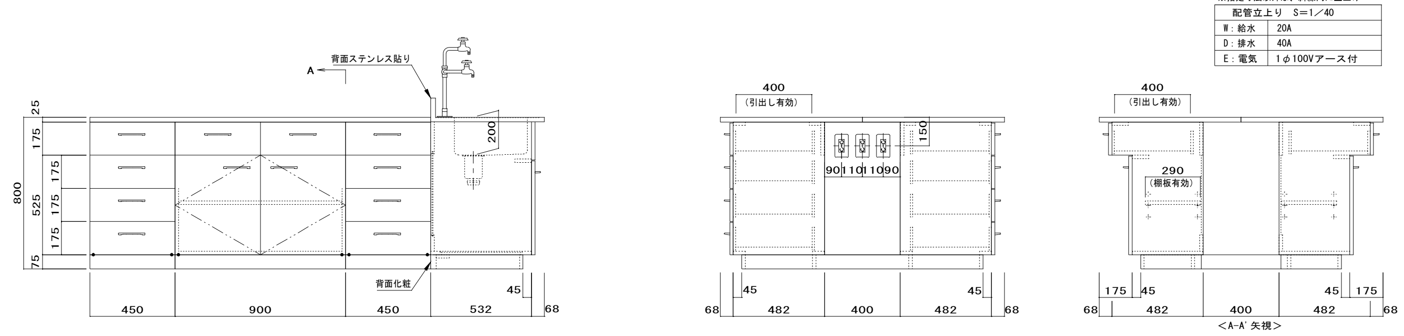
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	―	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		(色：ホワイトDW9)
台輪	―	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		(色：ライトグレーDT6)
補助材	―	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	―	耐震ラッチ付





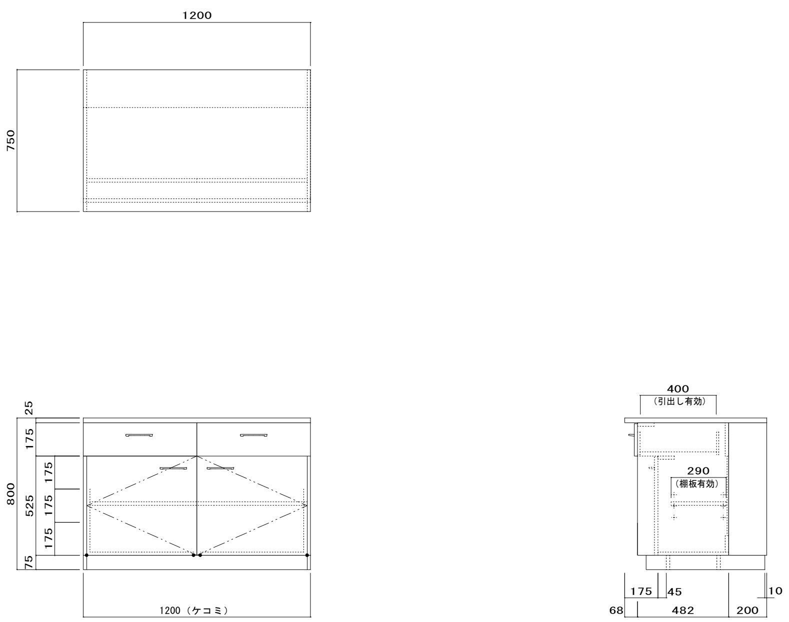
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付



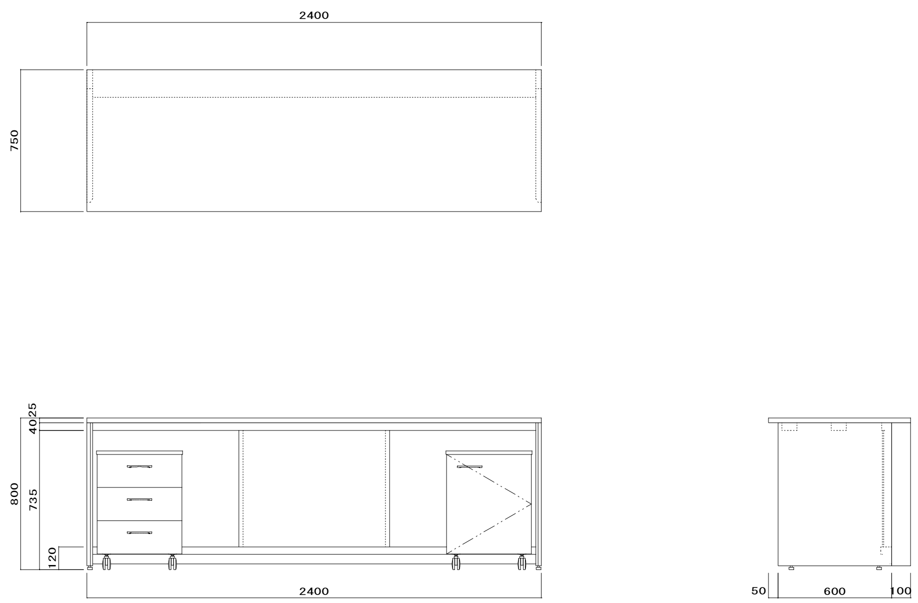
19 サイド実験台 | 379 食物実験室 | 2台

名称	数量	備考
天板	1	ラグス天板 t25仕上げ PPエッジ付
		(色：ライトグレーDT6)
本体主材	―	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		(色：ホワイトDW9)
台輪	―	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		(色：ライトグレーDT6)
補助材	―	VOC低減・消臭化粧板
耐震対策	―	耐震ラッチ付



20 サイド実験台 | 379 食物実験室 | 1台

名称	数量	備考
天板	1	ラグス天板 t25仕上げ PPエッジ付
		(色：ライトグレーDT6)
フレーム	―	スチール製（色：ホワイトDW9）
塗装	―	耐薬品性焼付塗装仕上げ
幕板	―	VOC低減・消臭化粧板
ワゴン	1	開き戸 (MM1A) 寸法：W454×D480×H626
	1	3段引出 (MM1B) 寸法：W454×D480×H626
耐震対策	―	耐震ラッチ付



A'

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 42 号	
図面名称	家具詳細図(5)	縮尺 ―	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

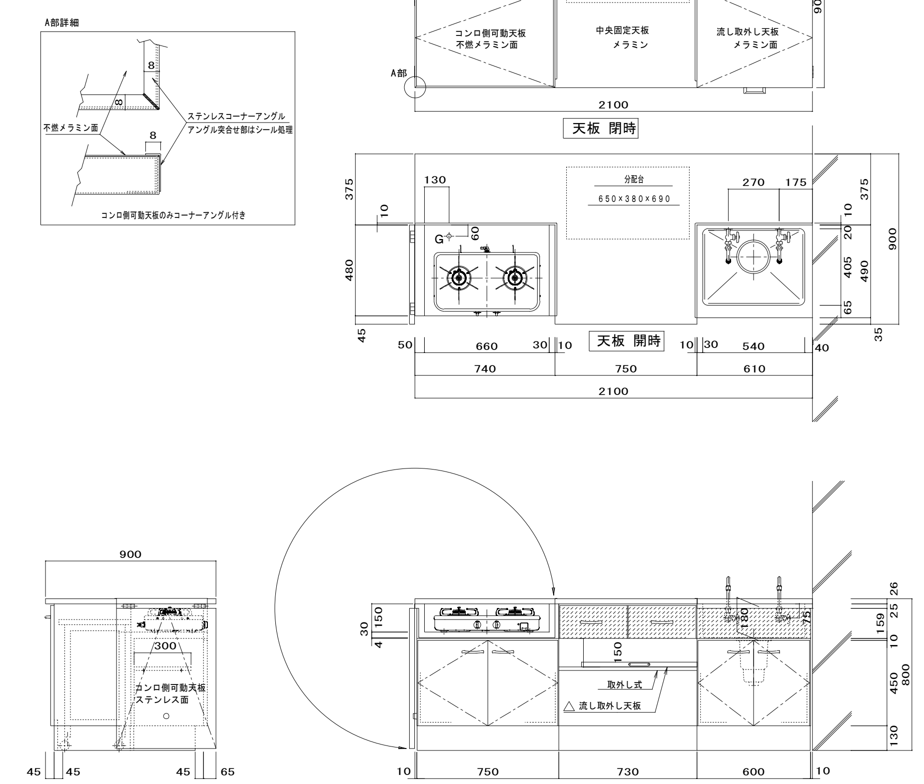
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	家具詳細図(5)
縮尺	A1 1/20 A3 1/40
図面番号	A － 35

21	教師用調理台	380　食物準備室	1台

ガス消費量　PA−29B　5．80KW（13A）
5．75KW（LPG）

ガス消費量に応じた換気設備をご用意下さい。
個々の機器の全ガス消費量が12kWを超える場合は排気筒（フード）が必要です。

A部詳細

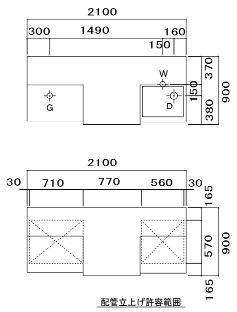


コンロ側可動天板のみコーナーアングル付き

天板 閉時

天板 開時

配管立上り　S＝1／50	
W：給水	20A
D：排水	40A
G：ガス	20A

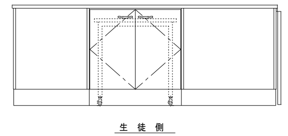


配管立上げ許容範囲

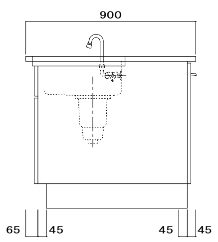
コンロ側可動天板	表：不燃メラミン化粧板貼り（色:ホワイト）
	裏：ステンレス　SUS−430　0．8t　内部：ステンレス
流し取外し天板	表：メラミン化粧板貼り（色:ホワイト）
	裏：ステンレス　SUS−430　1．0t　内部：合板・ペーパーハニカム
中央固定天板	メラミン化粧板貼り（色：ホワイト）　内部：合板
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　t20（F☆☆☆☆）
	（取外し可）
流し	ステンレス　SUS−304　t1．0
	深さ　180mm　大型排水トラップ　SA−300
ガステーブル台	ステンレス　SUS−430　t1．0
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	水栓　壁付折りたたみ水栓　1方口（吐水口回転角度 360°）　2ケ
	調理器具　ガステーブル　2口　1台
	ガスコック　卓上1方口　1ケ（別途）
	ふた当たり止め　アイボリー　2ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
▨ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し　ソフトクローザー機構付

	スチール（耐薬品性焼付塗装仕上げ）
分配台	（色：DW9）　1台
天　板	メラミン化粧板貼り（ホワイト）26t
本　体	角パイプ　32　×1．6t
キャスター	50φ　4ケ（内2ケはストッパー付）

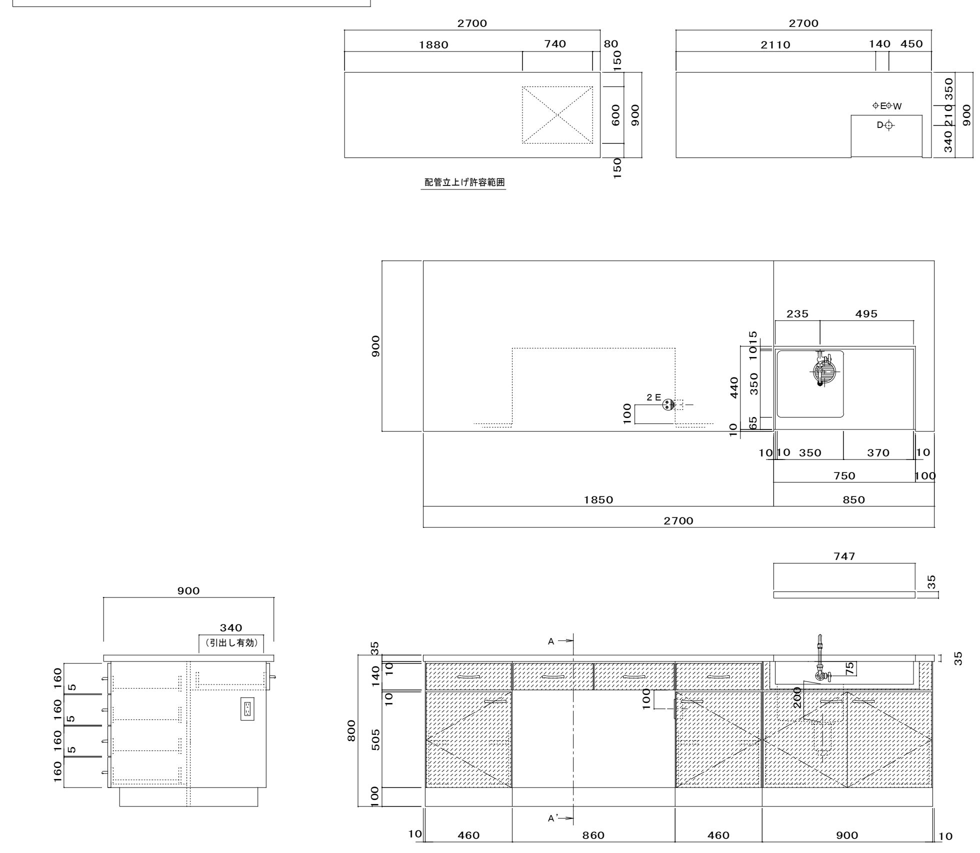


生徒側



22	教師用被服台	456　被服実習・家庭科演習室	1台

ガス消費量に応じた換気設備をご用意下さい。
個々の機器の全ガス消費量が12kWを超える場合は排気筒（フード）が必要です。



配管立上げ許容範囲

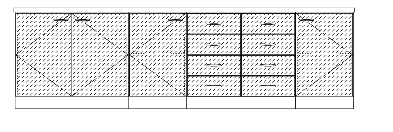
A−A' 矢視図

教師側

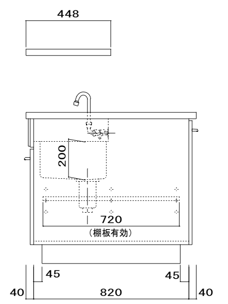
配管立上り　S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A
E：電気	1φ100Vアース付

天板	メラミン化粧板貼り　t35仕上げ
	色：アイボリー
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　t20（F☆☆☆☆）
	（3段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
流し	ステンレス　SUS−304　t1．0
	深さ　200mm　ステンレストラップ　目皿付
附属品	水栓　壁付折りたたみ水栓　1方口（吐水口回転角度 360°）　1ケ
	コンセント　AC100V15Aアース付　2口x1ケ

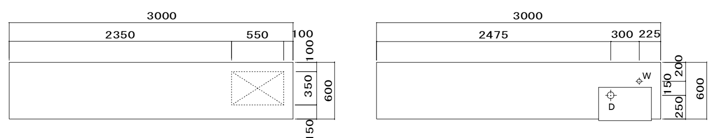
本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
▨ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し　ソフトクローザー機構付



生　徒　側　（S=1／30）



23	生徒用実験台	456　被服実習・家庭科演習室	2台

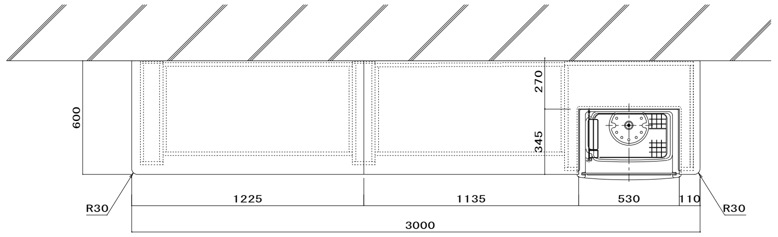


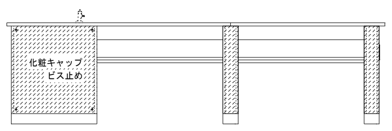
配管立上げ許容範囲

配管立上り　S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

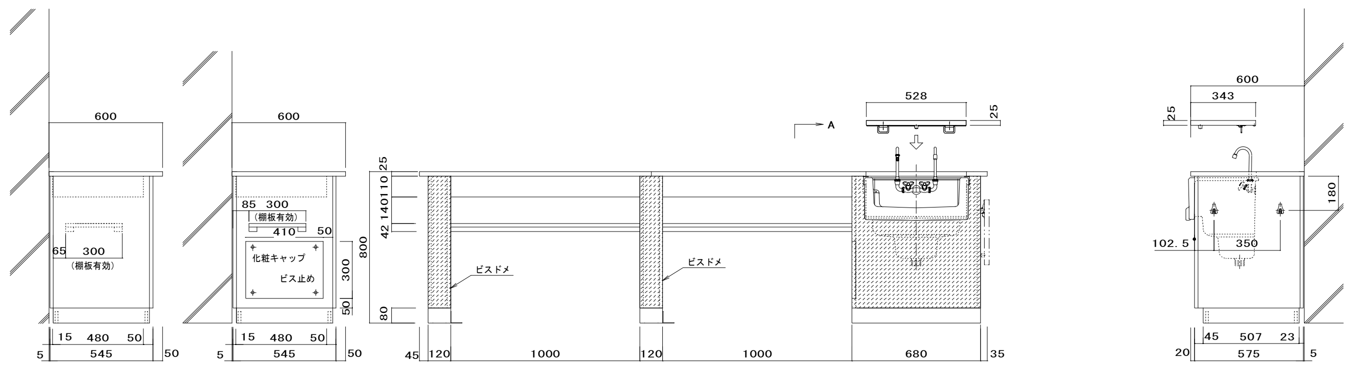
天板	ラグスG天板　t25仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT6）
流し用天板	ラグスG天板 両面式　t25仕上げ　PPエッジ付
	（色：ライトグレーDT6）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
棚　板	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	流し　陶器流し　S−14　1ケ
	水栓　折りたたみ先端着脱式化学水栓　2方口　1ケ
	（段付ノズルDLS1x1ケ　泡沫ノズルDLS3x1ケ）
	床固定金具　6ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
▨ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）



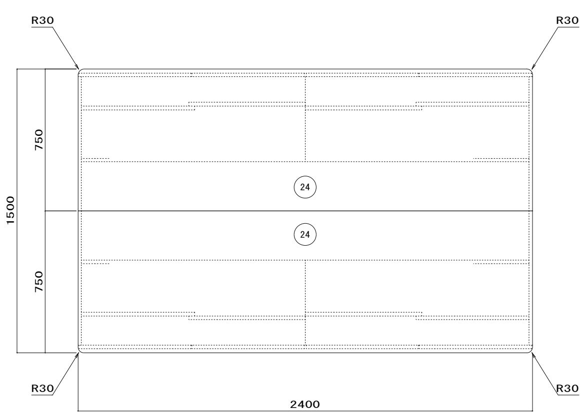


教師側S＝1／30



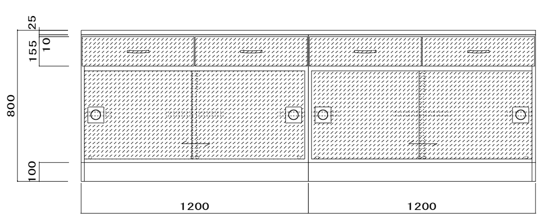
＜A-A' 矢視＞

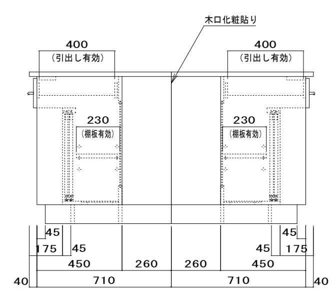
24	準備室実験台	557　実験室	2式



天板	ラグスG天板　t25仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT6）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
棚板	両面化粧パーチクルボード　t20（F☆☆☆☆）
	（3段上下可）
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
引違戸把手	オレフィン系樹脂成型品
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）

本体色：ホワイト DW9
▨ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
引き違い戸・引出し　ソフトクローザー機構付





工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 43 号
図面名称	家具詳細図(6)	縮尺　—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町182
一級建築士　神先誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　（31A）第02291号
総括 / 主任 / 担当

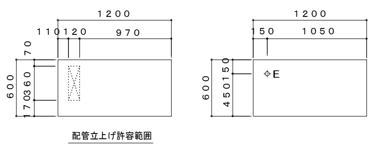
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/20　A3 1/40	図面番号 A − 36
図面名称	家具詳細図(6)		

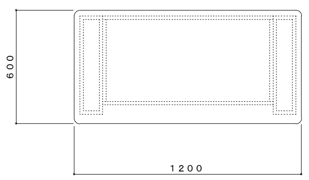
25 生徒用実験台 | 574　地学実験室 | 5台

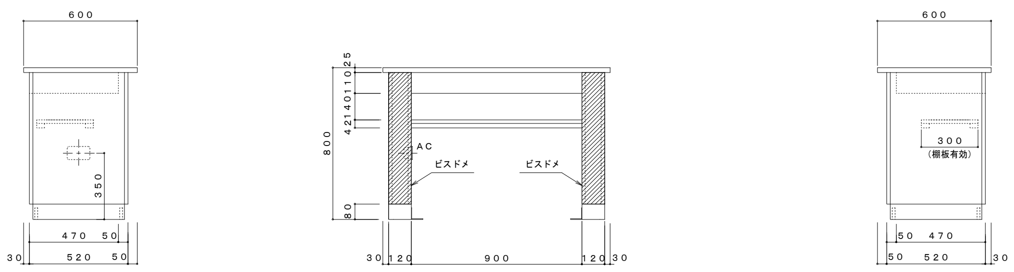
配管立上り　S＝1／40	
E：電気	1φ100Vアース付

天板	ラグスG天板　t25仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT6）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
棚　板	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	床固定金具　4ケ
	コンセント　AC100V15Aアース付　2口x1ケ

本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）





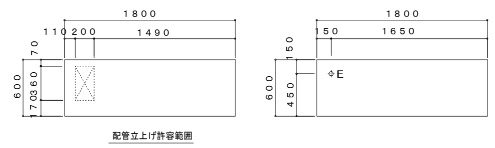


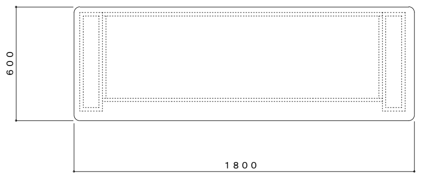
26 生徒用実験台 | 574　地学実験室 | 5台

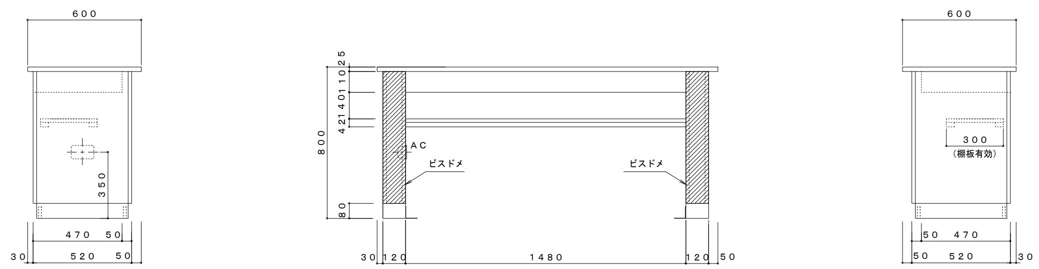
配管立上り　S＝1／40	
E：電気	1φ100Vアース付

天板	ラグスG天板　t25仕上げ　PPエッジ（コーナーR）付
	（色：ライトグレーDT6）
本体主材	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
棚　板	両面化粧パーチクルボード　t18（F☆☆☆☆）
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　t18（F☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	床固定金具　4ケ
	コンセント　AC100V15Aアース付　2口x1ケ

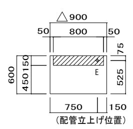
本体色：ホワイト DW9
セーフティエッジ（R3）　色：本体近似色
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）







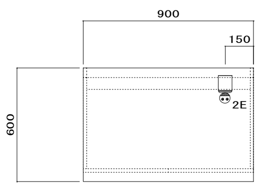
27 サイド実験台 | 574　地学実験室 | 1台

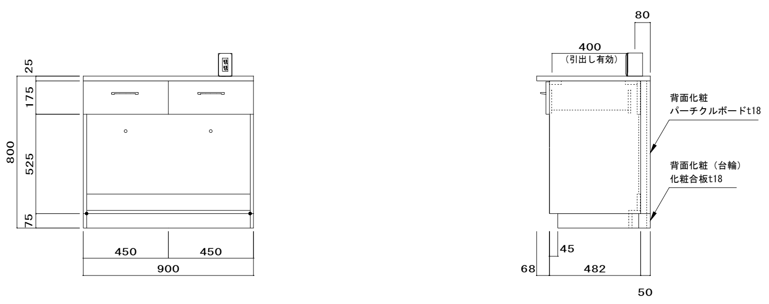


※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り　S＝1／60	
E：電気	1φ100Vアース付

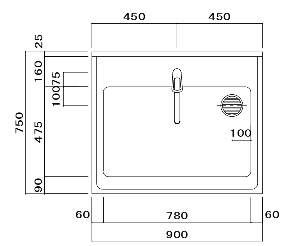
名称	数量	備考
天板	1	ラグス天板 t25仕上げ　PPエッジ付
		（色：ライトグレーDT6）
本体主材	―	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	―	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	―	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	卓上抜け止めコンセント100V15A2口アース付（片面）
耐震対策	―	耐震ラッチ付

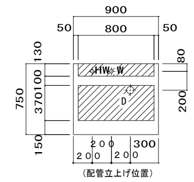




28 流し台 | 153　生化学実験室 | 2台

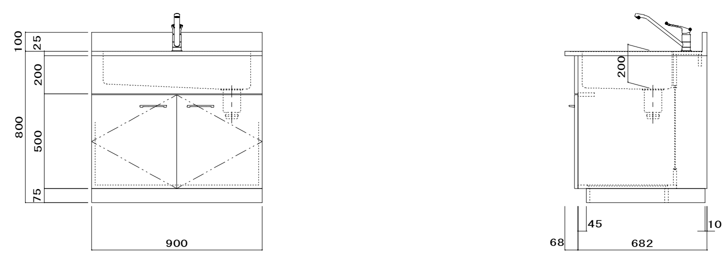
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス　SUS-304 t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	―	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	―	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	―	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	シングルレバー混合栓<D61A1>
耐震対策	―	耐震ラッチ付





※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り　S＝1／40	
W：給水	20A
HW：給湯	20A
D：排水	40A



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 44 号	
図面名称	家具詳細図(7)	縮尺	―
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

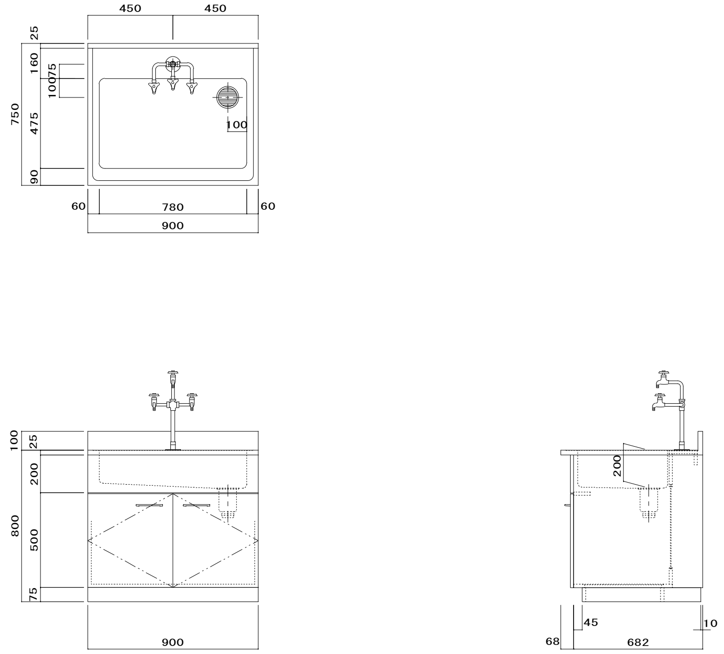
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司 （登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録 （31A）第02291号

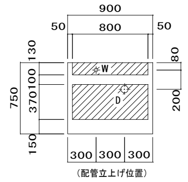
総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	家具詳細図(7)	A1　1/20 A3　1/40	A － 37

29	流し台	155　実験室	1台

名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）＜D42C1＞
耐震対策	−	耐震ラッチ付





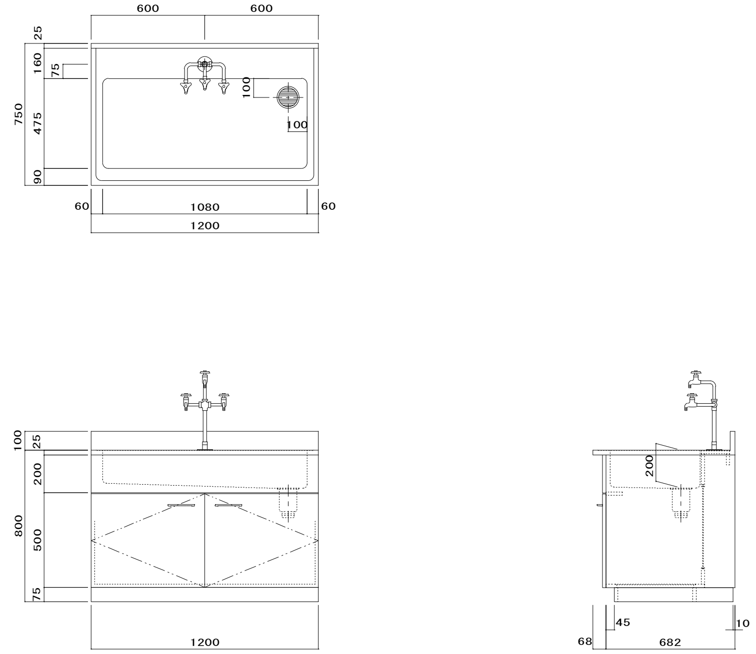
（配管立上げ位置）

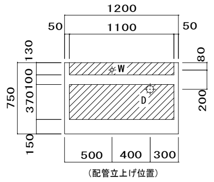
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

30	流し台	175　実験室C	1台

名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）＜D42C1＞
耐震対策	−	耐震ラッチ付





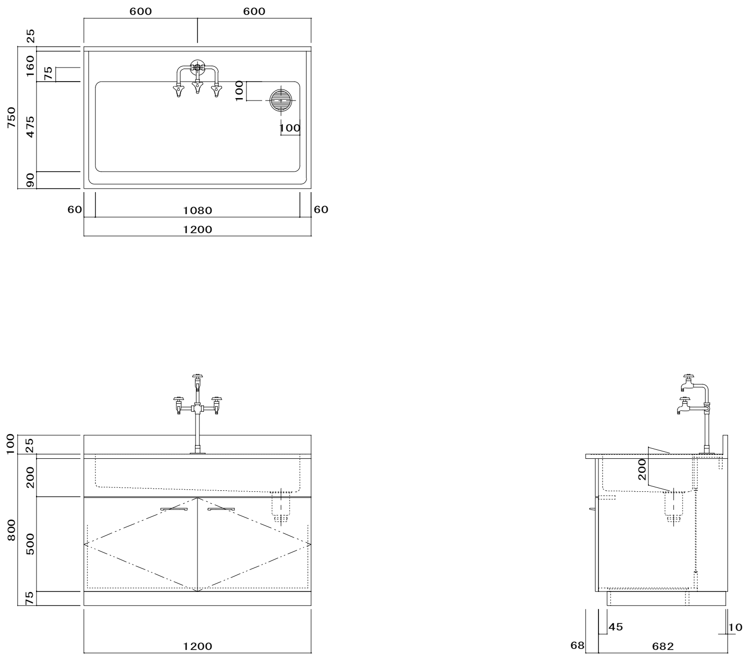
（配管立上げ位置）

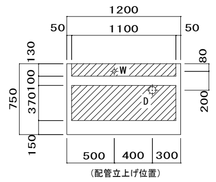
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

31	流し台	175　実験室B	1台

名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）＜D42C1＞
耐震対策	−	耐震ラッチ付





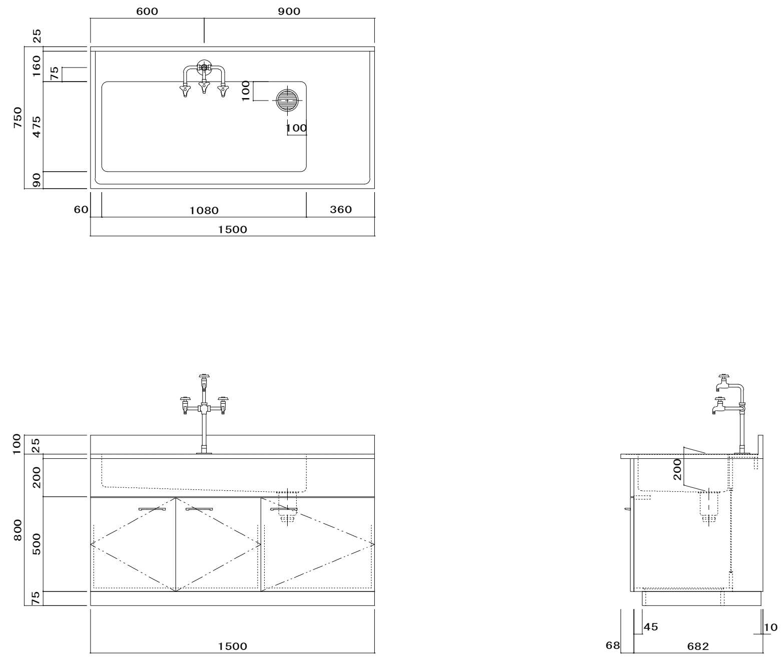
（配管立上げ位置）

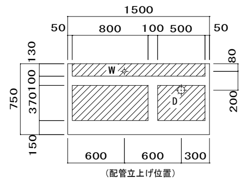
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

32	流し台	175　実験室A	1台

名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）＜D42C1＞
耐震対策	−	耐震ラッチ付





（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S＝1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 45 号
図面名称	家具詳細図(8)	縮尺 −
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町182
一級建築士 神先 誠司 (登録番号252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号

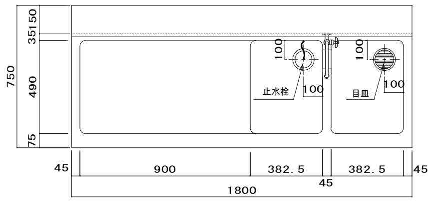
総括	主任	担当

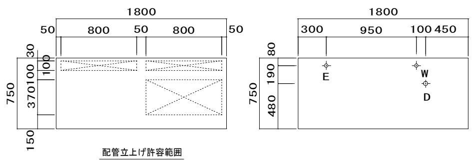
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	家具詳細図(8)	A1 1/20 A3 1/40	A − 38

33　窓下流し台　　256　理科教育・化学・生物大実験室　　3台

本体主材	両面化粧パーチクルボード　ｔ１８　（Ｆ☆☆☆☆）
	スライドレール式引出し
流し	ステンレス　ＳＵＳ－３１６　ｔ１．０
	深さ　２００ｍｍ　　ステンレストラップ、目皿付
棚板	両面化粧パーチクルボード　ｔ２０　（Ｆ☆☆☆☆）
	（３段上下可）
開戸把手	オレフィン系樹脂成型品
引出把手	オレフィン系樹脂成型品
補助天板	ステンレス　（ＳＵＳ４３０　ｔ１．０　）　下地無
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板　ｔ１８　（Ｆ☆☆☆☆）
	（色：グレー）
附属品	水栓　壁付１方口　１ケ
	コンセント　ＡＣ１００Ｖ１５Ａアース付　２口ｘ１ケ（防滴プレート）

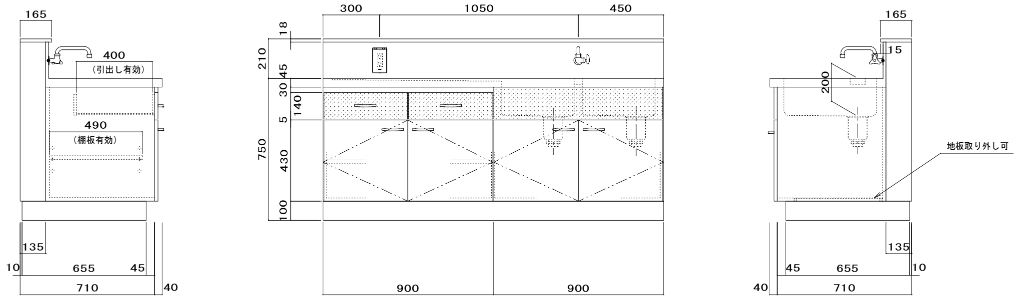
本体色：ホワイト DW9
ハッチング部分：アクセントパネル色（オプション）
開き戸・引出し　ソフトクローザー機構付





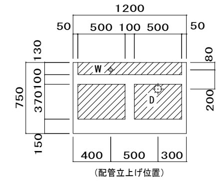
配管立上り　Ｓ＝１／40	
Ｗ：給水	２０Ａ
Ｄ：排水	４０Ａ
Ｅ：電気	1φ１００ＶＥ付

※3台のうち2台はコンセントなし



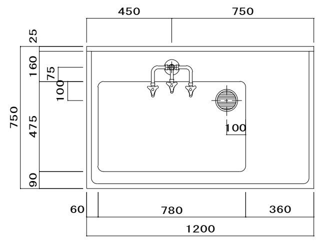
34　流し台　　358　被服実験室　　1台

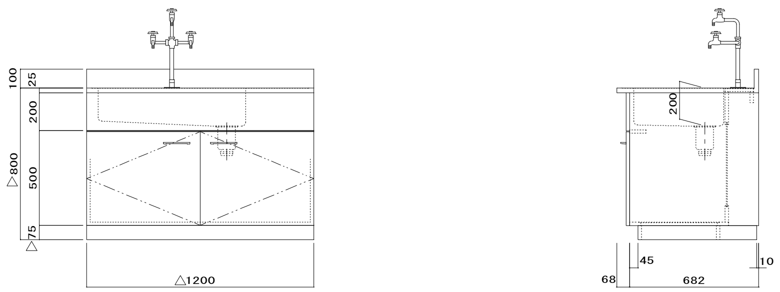
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス　SUS-304　t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	－	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	－	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	－	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	－	耐震ラッチ付



※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

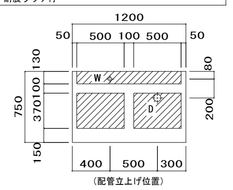
配管立上り　S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A





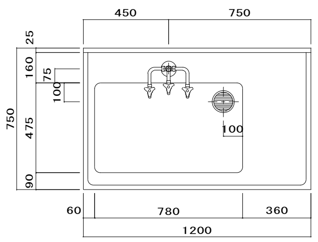
35　流し台　　359　食物実習室　　1台

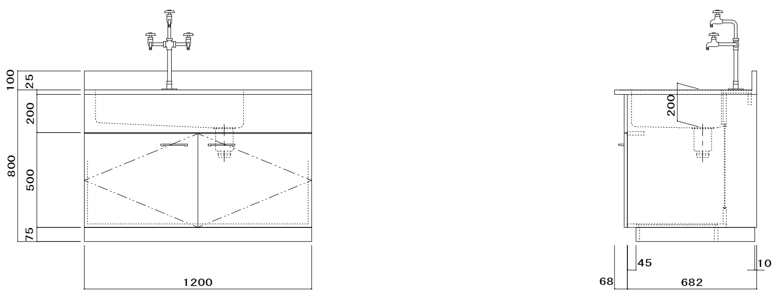
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス　SUS-304　t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	－	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	－	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	－	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	－	耐震ラッチ付



※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

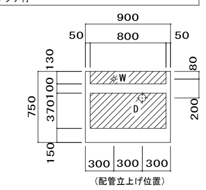
配管立上り　S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A





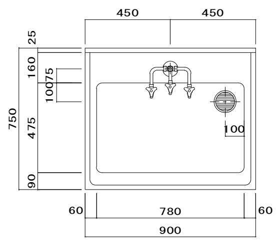
36　流し台　　379　食物実験室　　1台

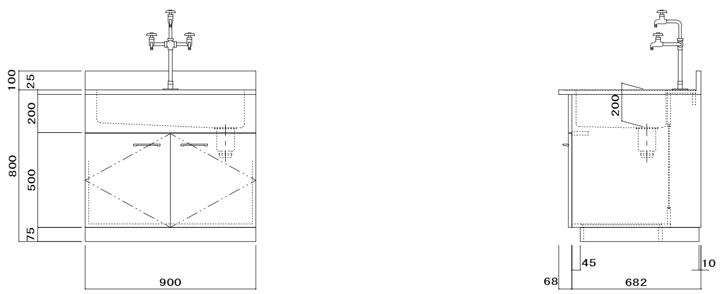
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス　SUS-304　t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	－	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	－	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	－	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	－	耐震ラッチ付



※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り　S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A





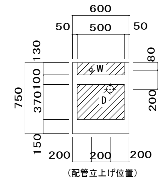
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）
図面名称	家具詳細図(9)
課長 / 副課長 / 係長 / 係員	
滋賀大学施設管理課	
69 枚のうち 46 号	
縮尺	－
作成	令和4年　7 月

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	家具詳細図(9)
縮尺	A1　1/20　A3　1/40
図面番号	A － 39

(37) 流し台 | 455 実験室 | 1台

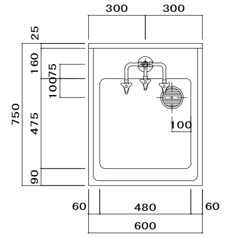
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

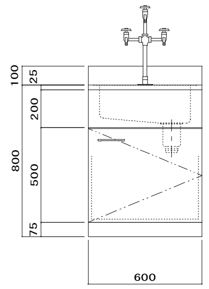


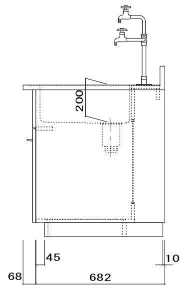
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

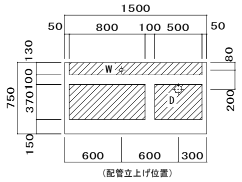






(38) 流し台 | 456 被服実習・家庭科演習室 | 1台

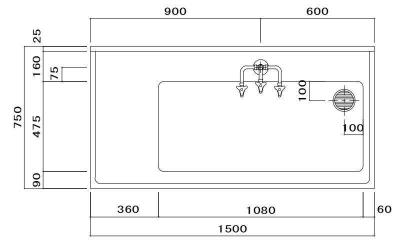
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

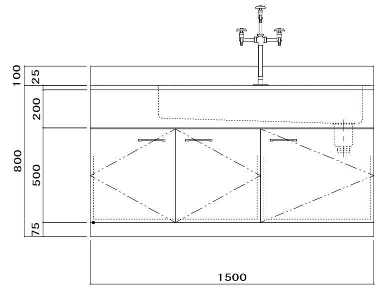


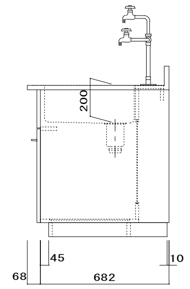
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

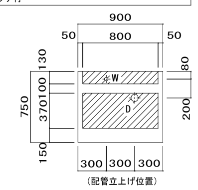






(39) 流し台 | 475 実験室 | 1台

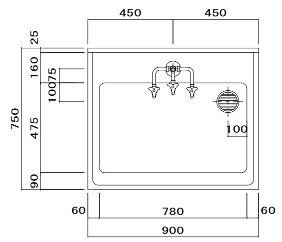
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

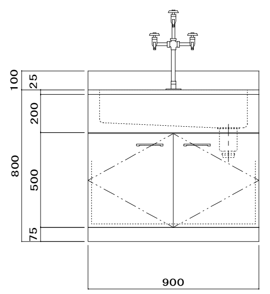


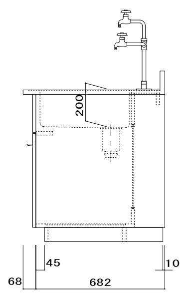
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

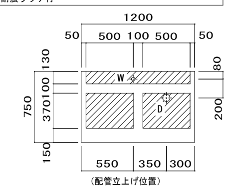






(40) 流し台 | 557 実験室 | 1台

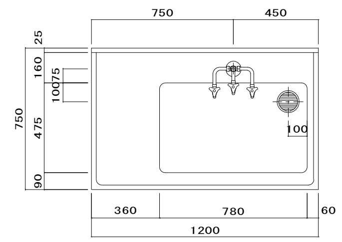
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
		排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

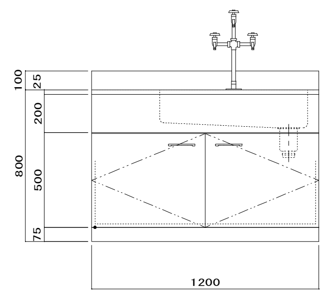


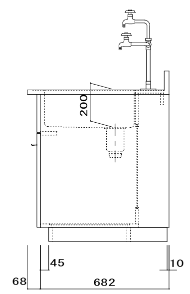
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A







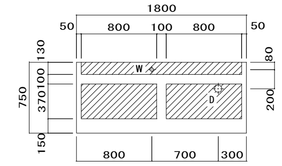
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 47 号	
図面名称	家具詳細図(10)	縮尺	−
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 （登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （31A）第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	家具詳細図(10)	A1 1/20 A3 1/40	A − 40

41	流し台	574　地学実験室	1台

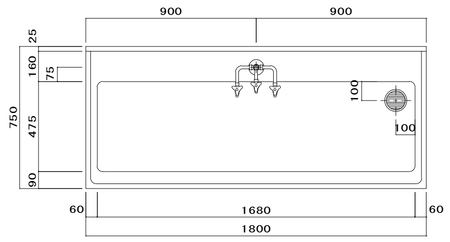
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

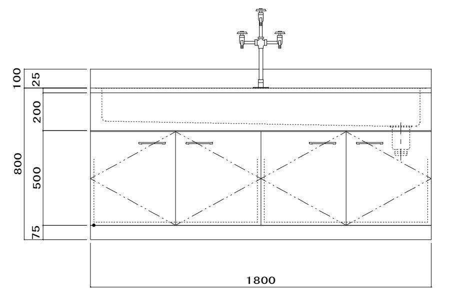


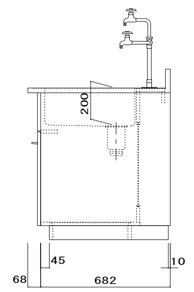
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り　S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

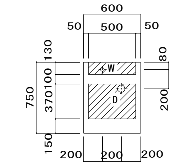






42	流し台	579　第1暗室	1台

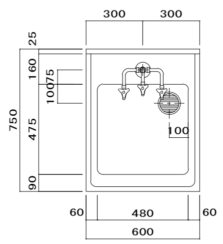
名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0　深さ200mm
		排水口　ステンレス製トラップ　40A　目皿付
本体主材	−	両面化粧パーチクルボードt18
		木口：オレフィン系樹脂シート貼り
		（色：ホワイトDW9）
台輪	−	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
		（色：ライトグレーDT6）
補助材	−	VOC低減・消臭化粧板
附属品	1	化学水栓（3方口）<D42C1>
耐震対策	−	耐震ラッチ付

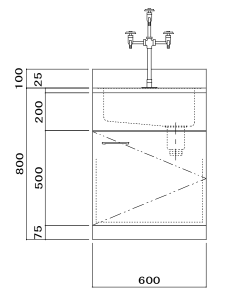


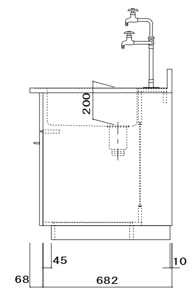
（配管立上げ位置）

※指定寸法以外は、斜線内に立上げ

配管立上り　S=1／40	
W：給水	20A
D：排水	40A

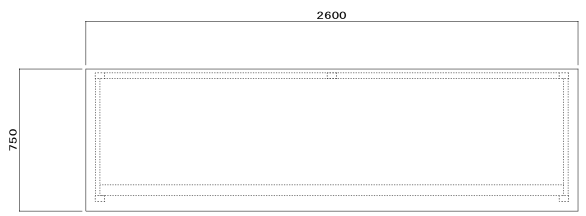


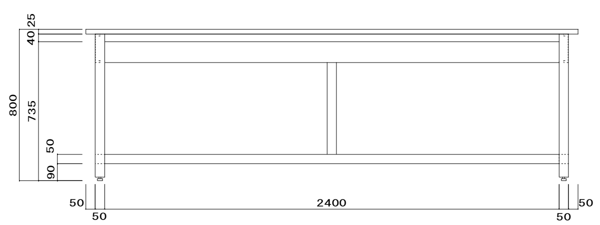


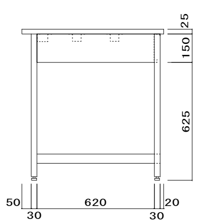


43	分析機器台	155　実験室	2台

名称	数量	備考
天板	1	ラグスS天板 t25仕上げ　PPエッジ付
		（色：ライトグレーDT6）
フレーム	−	スチール製（色：ホワイトDW9）
塗装	−	耐薬品性焼付塗装仕上げ
耐荷重：130kg		







工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 48 号
図面名称	家具詳細図(11)	縮尺　−
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成　令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先諭司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号

総括	主任	担当

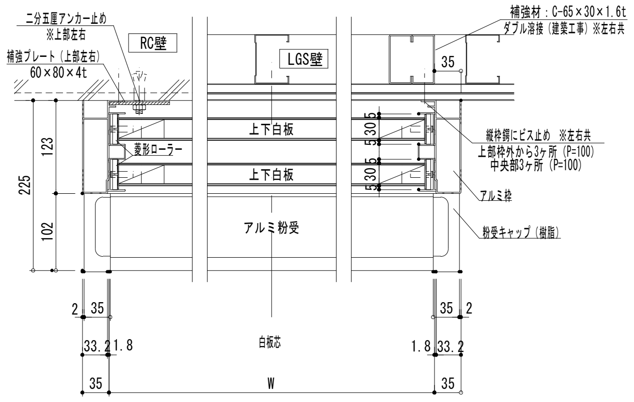
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	家具詳細図(11)

縮尺	図面番号
A1　1/20 A3　1/40	A − 41

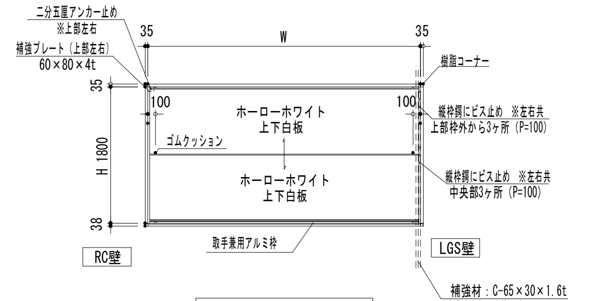
BB (上下) アルミ枠 ホーローホワイト 上下白板

S=1／5

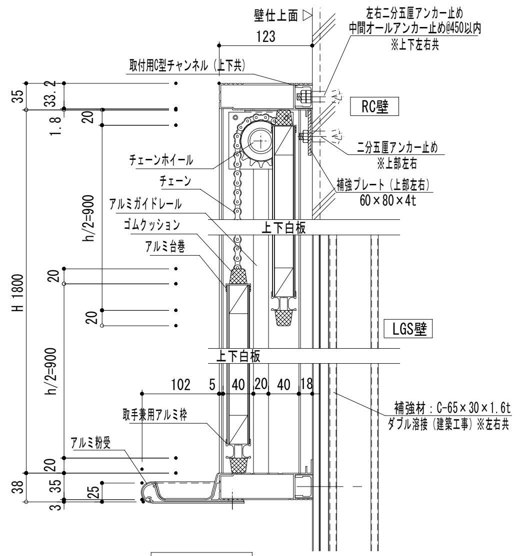
F	室 名	部屋番号	寸 法 (W×H)	数 量	表面材仕様 無地	表面材仕様 暗線	表面材仕様 罫線
3	食物実習室	359	W1800×H1800	1	○		
5	地学実験室	574	W3600×H1800	1	○		



横断面図



展開図 s=1／50

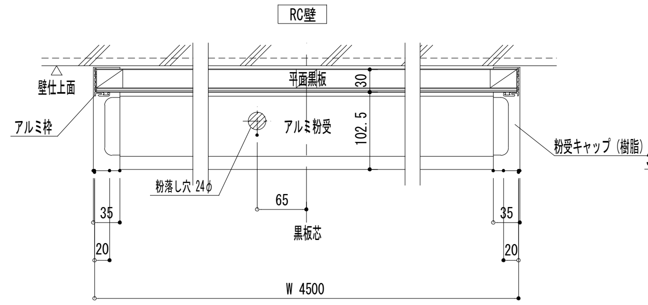


縦断面図

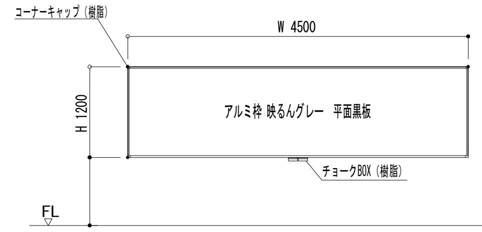
BB アルミ枠 映るんグレー 平面黒板 (チョークBOX付)

S=1／5

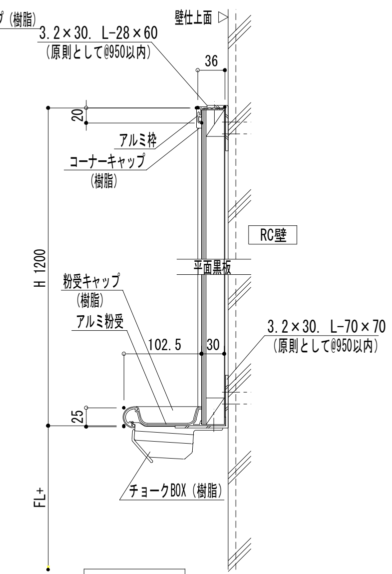
F	室 名	部屋番号	寸 法 (W×H)	数 量	表面材仕様 無地	表面材仕様 暗線	表面材仕様 罫線
2	理科教育・化学 生物 大実験室	256	W4500×H1200	1	○		



横断面図



展開図 s=1／50

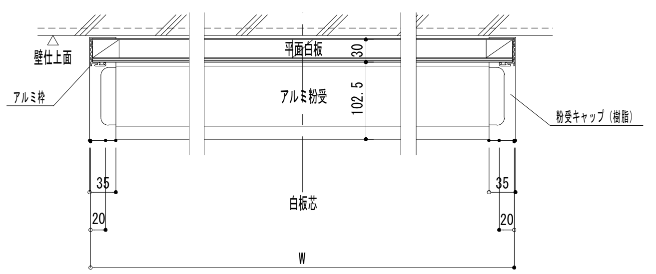


縦断面図

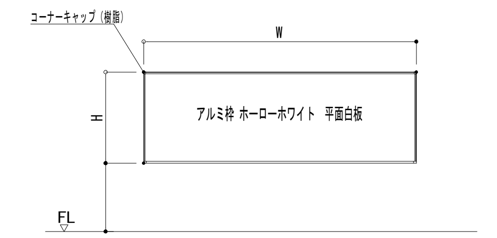
WB アルミ枠 ホーローホワイト 平面白板

S=1／5

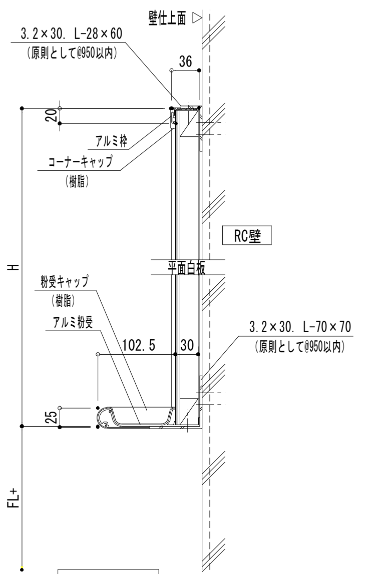
F	室 名	部屋番号	寸 法 (W×H)	数 量	表面材仕様 無地	表面材仕様 暗線	表面材仕様 罫線
1	実験室	155	W2400×H1500	1	○		
	実験室	156	W1800×H900	1	○		
	研究室	176	W2400×H1500	1	○		
2	物理大実験室	257	W2400×H1200	1	○		
4	実験室	454	W1500×H900	2	○		
	被服実習 家庭科演習室	456	W3600×H1500	1	○		
	研究室	478	W1500×H900	2	○		
	実験室	479	W1500×H900	1	○		
5	研究室	578	W1200×H900	1	○		



横断面図



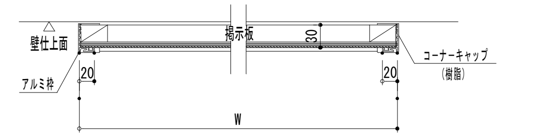
展開図 s=1／50



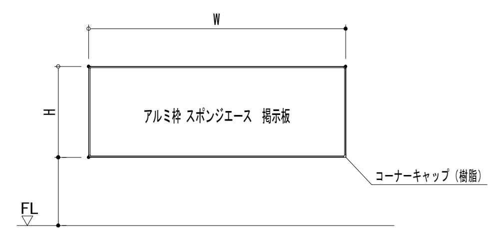
縦断面図

KB アルミ枠 スポンジエース 掲示板

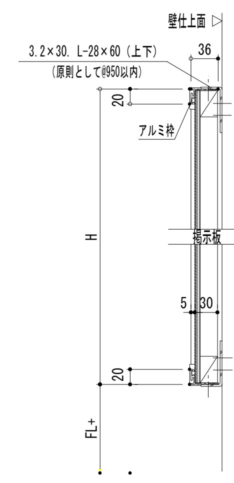
F	室 名	部屋番号	寸 法 (W×H)	数 量	表面材仕様
1	廊下	–	W2400×H1200	2	–
2	廊下	–	W2400×H1200	2	–
3	廊下	–	W2400×H1200	2	–
4	廊下	–	W2400×H1200	2	–
5	廊下	–	W2400×H1200	2	–



横断面図



展開図 s=1／50



縦断面図

工事名称 滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）
69 枚のうち 49 号
図面名称 黒板・白板・掲示板 詳細図
縮尺 –
課長 | 副課長 | 係長 | 係員
作成 令和4年 7月
滋賀大学施設管理課
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 諒司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総括 | 主任 | 担当
業務名称 滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称 黒板・白板・掲示板 詳細図
縮尺 A1 1/5 A3 1/10
図面番号 A－42

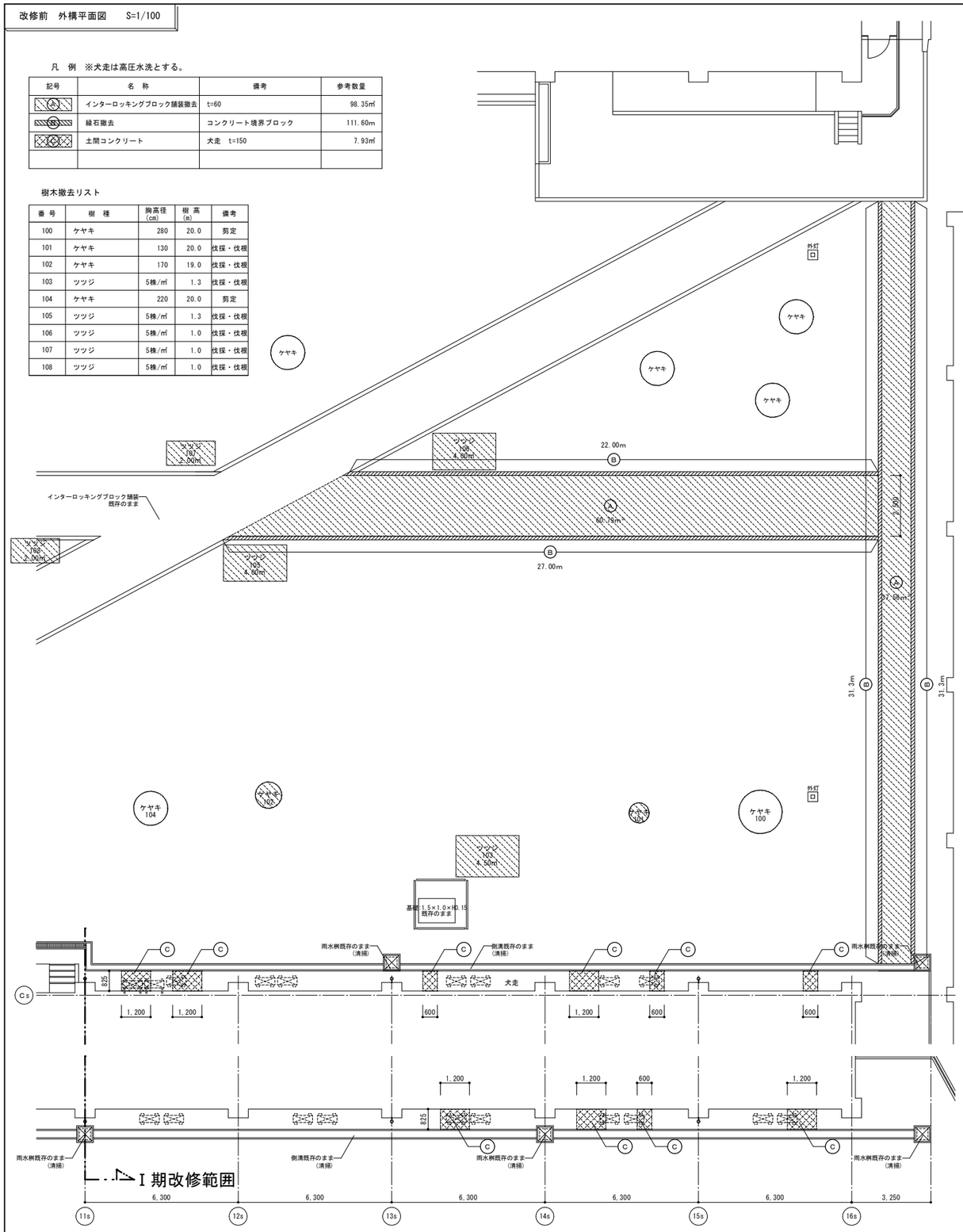
改修前　外構平面図　S=1/100

凡　例　※犬走は高圧水洗とする。

記号	名　称	備考	参考数量
Ⓐ	インターロッキングブロック舗装撤去	t=60	98.35㎡
Ⓑ	縁石撤去	コンクリート境界ブロック	111.60m
Ⓒ	土間コンクリート	犬走　t=150	7.93㎡

樹木撤去リスト

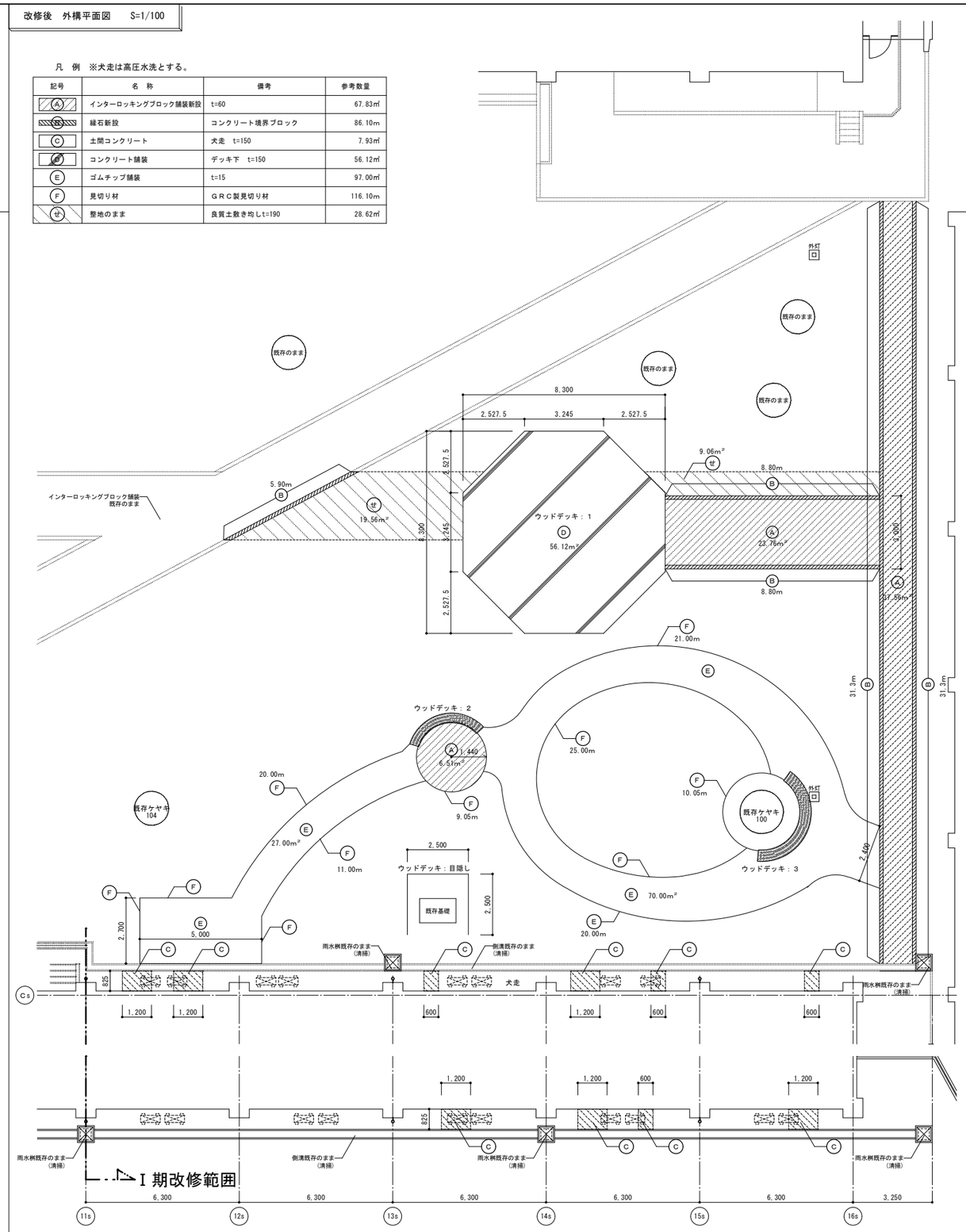
番 号	樹　種	胸高径 (cm)	樹 高 (m)	備考
100	ケヤキ	280	20.0	剪定
101	ケヤキ	130	20.0	伐採・伐根
102	ケヤキ	170	19.0	伐採・伐根
103	ツツジ	5株/㎡	1.3	伐採・伐根
104	ケヤキ	220	20.0	剪定
105	ツツジ	5株/㎡	1.3	伐採・伐根
106	ツツジ	5株/㎡	1.0	伐採・伐根
107	ツツジ	5株/㎡	1.0	伐採・伐根
108	ツツジ	5株/㎡	1.0	伐採・伐根



改修後　外構平面図　S=1/100

凡　例　※犬走は高圧水洗とする。

記号	名　称	備考	参考数量
Ⓐ	インターロッキングブロック舗装新設	t=60	67.83㎡
Ⓑ	縁石新設	コンクリート境界ブロック	86.10m
Ⓒ	土間コンクリート	犬走　t=150	7.93㎡
Ⓓ	コンクリート舗装	デッキ下　t=150	56.12㎡
Ⓔ	ゴムチップ舗装	t=15	97.00㎡
Ⓕ	見切り材	ＧＲＣ製見切り材	116.10m
せ	整地のまま	良質土敷き均しt=190	28.62㎡

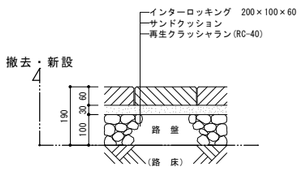


工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 50 号	
図面名称	改修前・改修後　外構平面図	縮尺	—
課　長 / 副課長	係　長 / 係　員	作成	令和4年　7月
滋賀大学施設管理課			

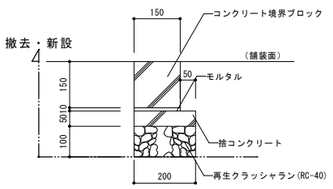
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士　神先 鎮司　登録第311118号
一級建築士事務所　京都府知事　第(2)12223号
総括　主任　担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　外構平面図	A1　図示 A3　図示/2	A － 43

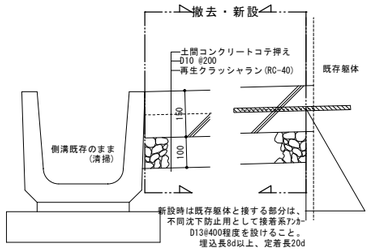
Ⓐ インターロッキングブロック舗装　撤去・新設　S=1/10



Ⓑ 縁石　撤去・新設　S=1/10

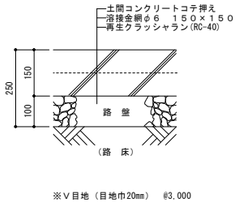


Ⓒ 犬走　土間コンクリート　撤去・新設　S=1/10



コンクリート強度　Fc18
スランプ　15

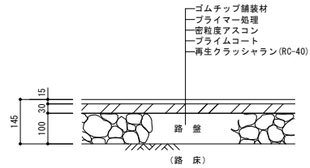
Ⓓ コンクリート舗装　新設　S=1/10



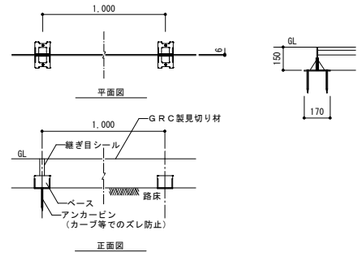
※Ｖ目地（目地巾20mm）　@3,000

コンクリート強度　Fc18
スランプ　15

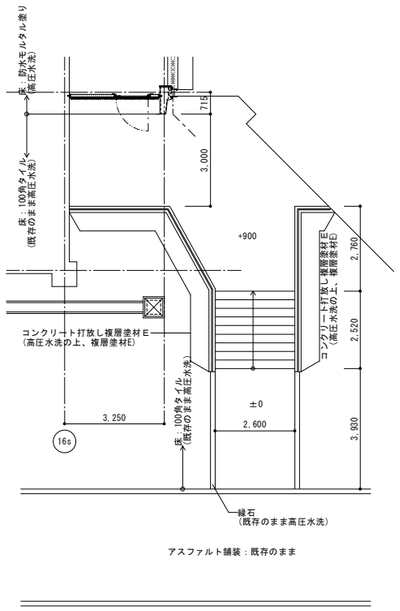
Ⓔ ゴムチップ舗装　新設　S=1/10



Ⓕ 見切り材　S=1/20

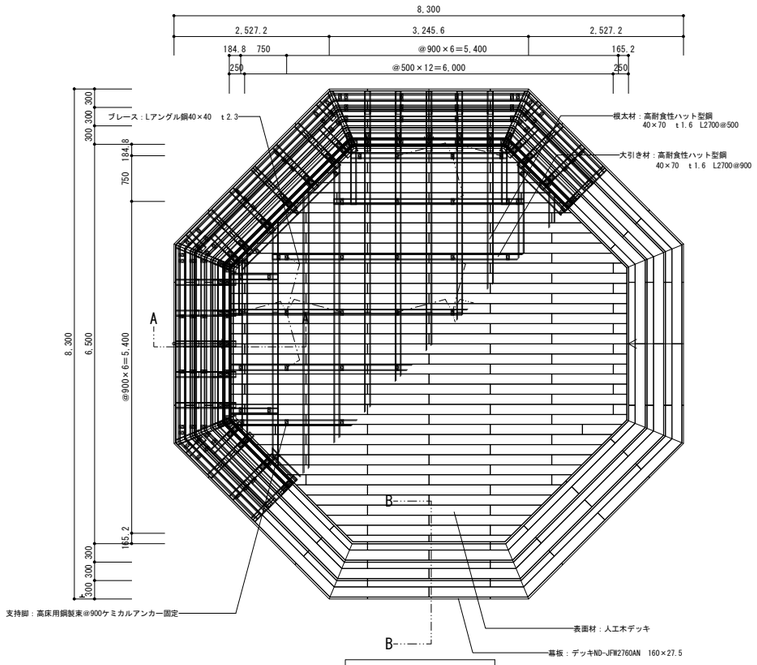


屋外階段前高圧水洗範囲　S=1/100

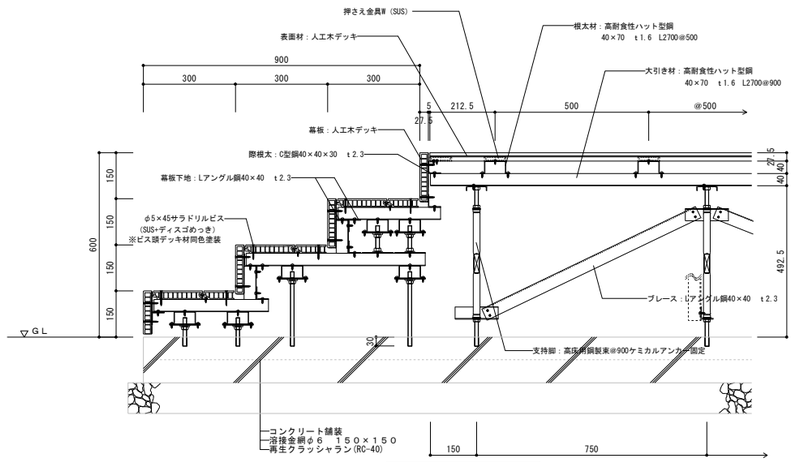


アスファルト舗装：既存のまま

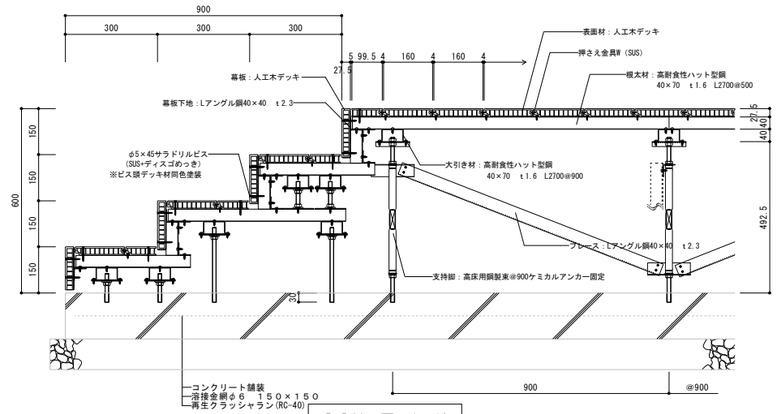
ウッドデッキ：1　S=1/10、1/50



平面図　1：50



A-A断面図　1：10



B-B断面図　1：10

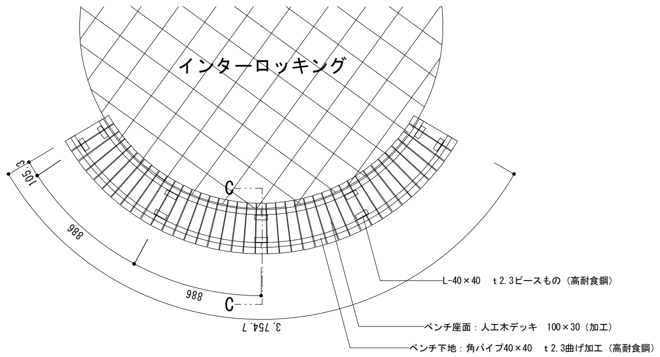
※デッキ部分の耐荷重は500kgf/㎡とする。

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）			69 枚のうち 51 号	
図面名称	外構詳細図(1)			縮尺	—
課　長	副課長	係　長	係　員	作成	令和4年　7 月
				総括	主任 / 担当
滋賀大学施設管理課					

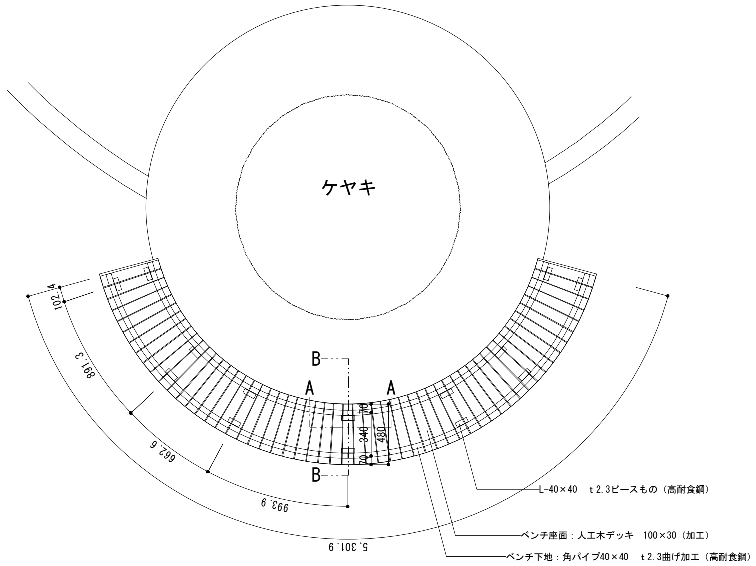
株式会社 内藤建築事務所
京都市北区紫野中大路町１８３
一級建築士　神谷 義男　登録第111198
一級建築士事務所　京都府知事登録　(ロ)第3233号

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	外構詳細図(1)	A1　図示 A3　図示/2	A － 44

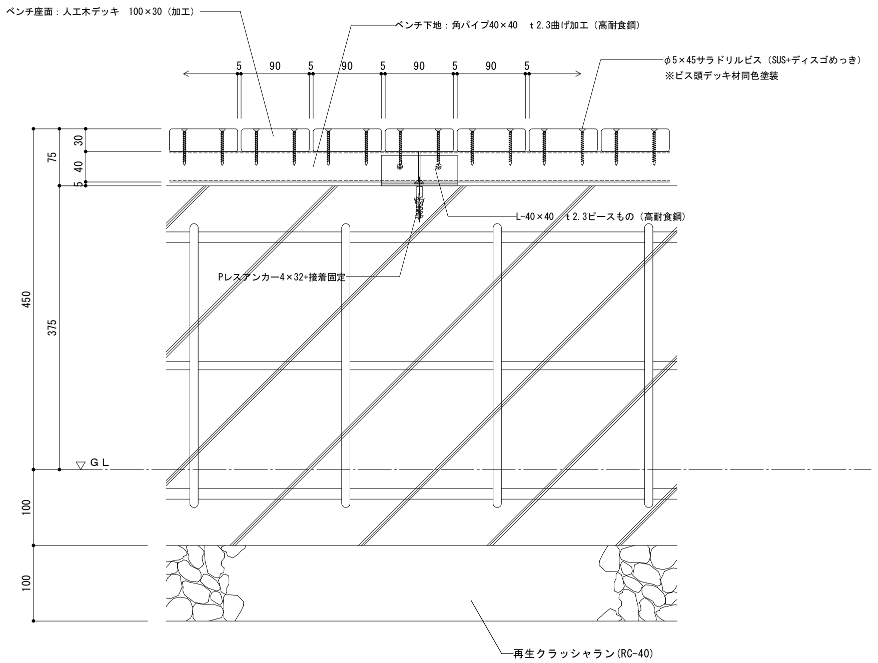
ウッドデッキ：２、３　　S=1/5、1/30



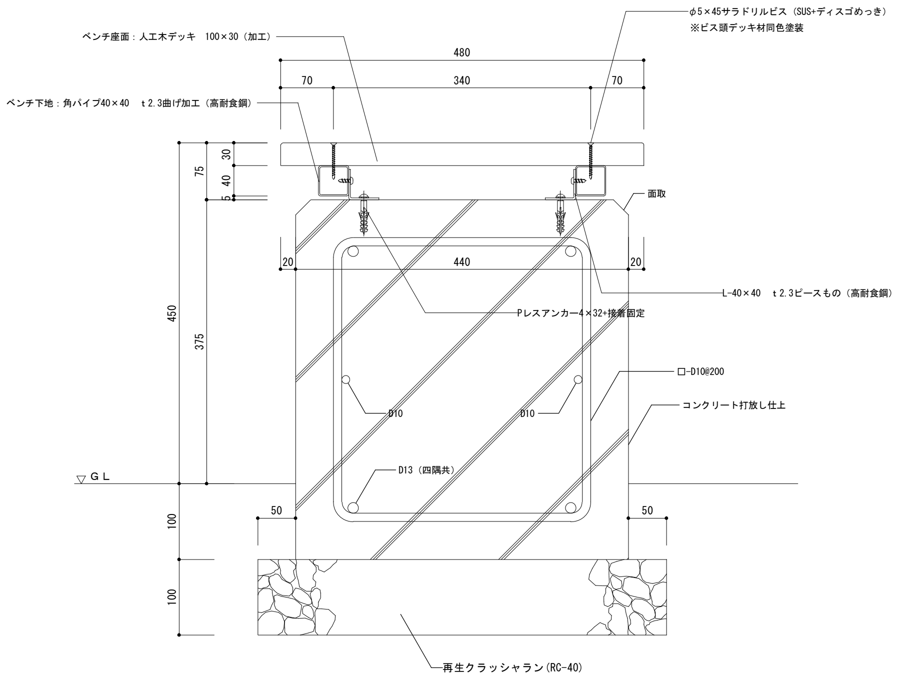
ウッドデッキ２平面図　1：30



ウッドデッキ３平面図　1：30



A-A断面図　1：5

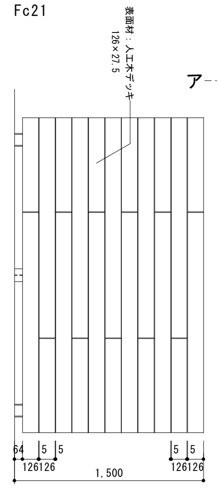


B-B断面図　1：5

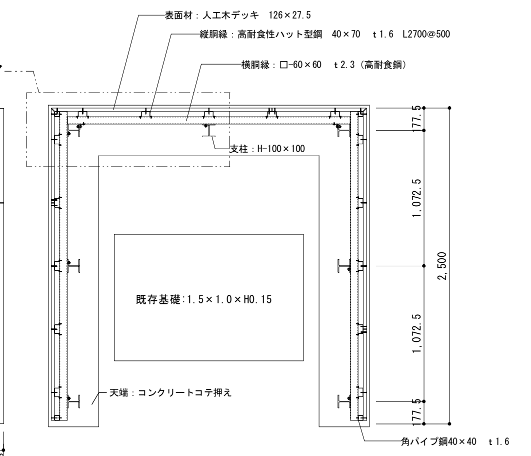
コンクリート強度　Fc21
スランプ　15

ウッドデッキ：目隠し　　S=1/10、1/30

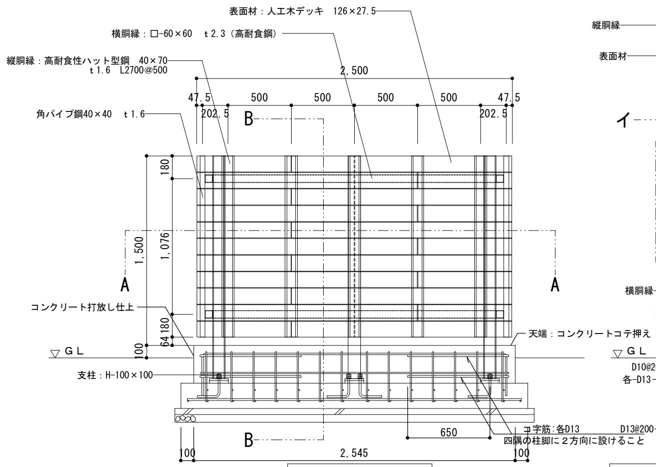
コンクリート強度　Fc21
スランプ　15



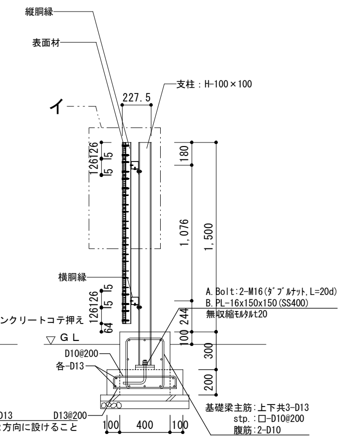
立面図　1：30



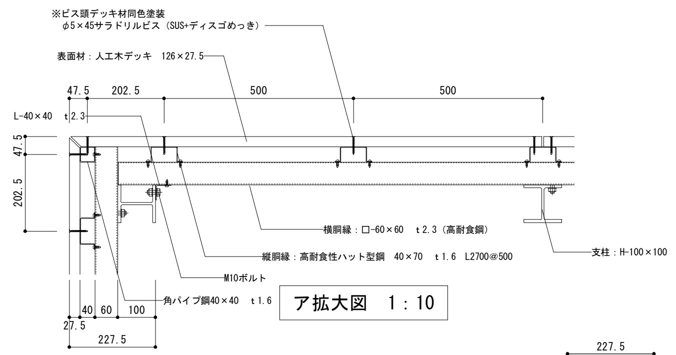
A-A断面図　1：30



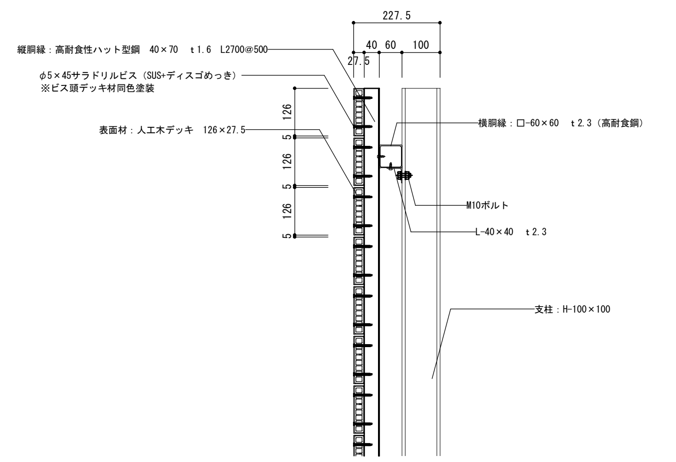
立面図　1：30



B-B断面図　1：30



ア拡大図　1：10

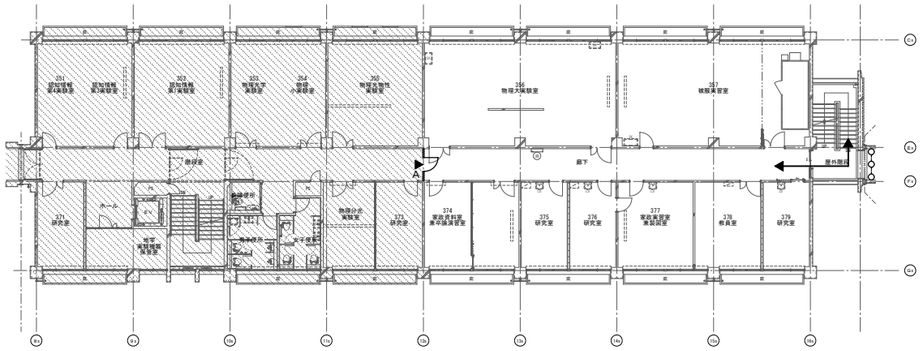


イ拡大図　1：10

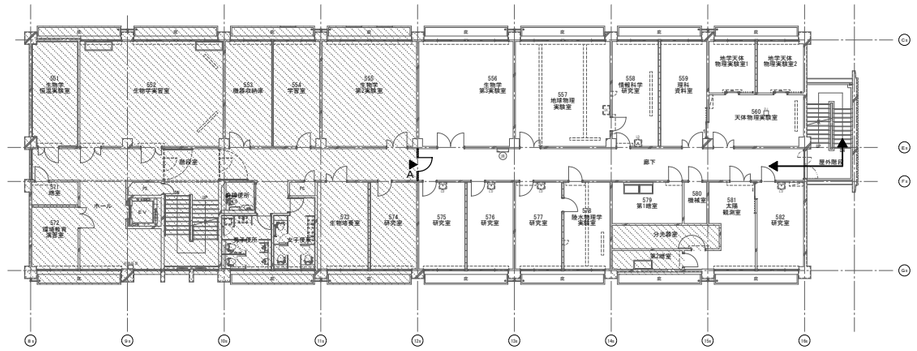
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）
図面名称	外構詳細図(2)
課　長 / 副課長 / 係　長 / 係　員	
	滋賀大学施設管理課
69 枚のうち 52 号	
縮尺	－
作成	令和4年　7 月

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(31A)第02291号
総　括 / 主　任 / 担　当

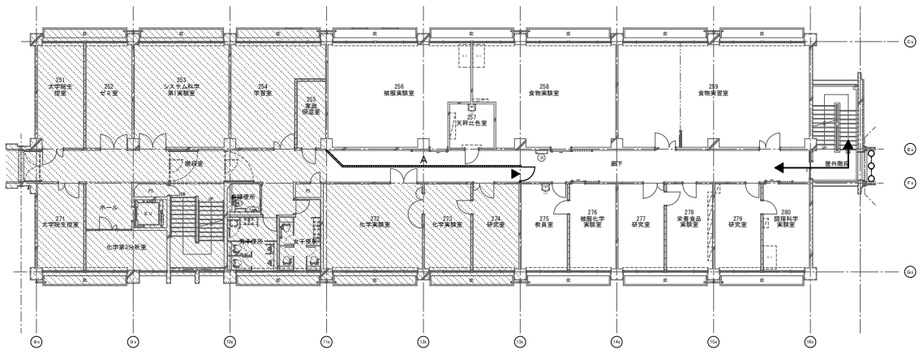
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称	外構詳細図(2)
縮尺	A1　図示 / A3　図示/2
図面番号	A － 45



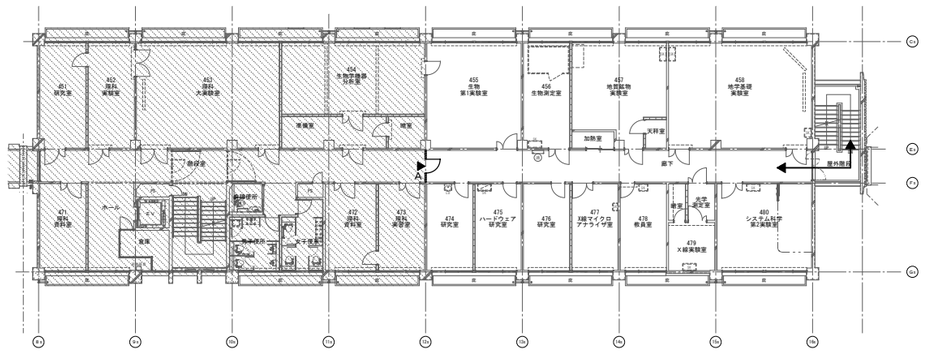
3階平面図



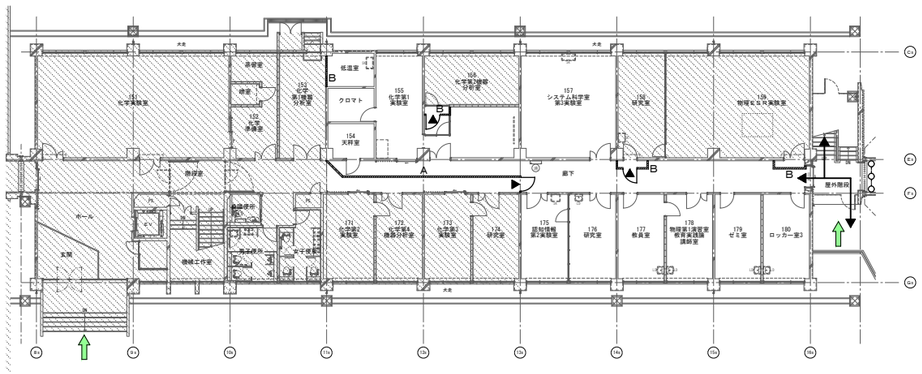
5階平面図



2階平面図



4階平面図



1階平面図

凡例：

- 仮設間仕切りＡ種（ＬＧＳ＋石膏ボード両面張りｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填）＋隙間テープ（スラブ下まで）
- 仮設間仕切りＢ種（ＬＧＳ＋石膏ボード片面張り）＋隙間テープ（スラブ下まで）
- 仮設出入口：アルミ製片開き戸W900×H2000（鍵付）
- カラーコーンバー
- 資材等搬出入経路（自然科学棟エレベーター利用可能。利用については大学との協議による）
- 作業員経路
- 工事領域

※仮設間仕切り、閉鎖する扉は
コンクリート解体時粉塵が漏れないよう全て4周目張りすること

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 53 号	
図面名称	仮設計画図	縮尺	—
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８３
一級建築士 神先鉄司 登録第45111号
一級建築士事務所 京都府知事登録 (C)(2)第8241号

総括	主任	担当	

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	仮設計画図	A1 1/200 A3 1/400	仮－1

建築物の構造概要

（１）工事名称　滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）
（２）建築場所　滋賀県大津市
（３）改修年月　令和 4年 9月
（４）主要用途　大学

棟名	竣工年月	構造種別	構造形式	基礎形式	階数		
					地上	地下	塔屋
自然科学棟	昭和58年 2月	RC造	耐震壁付きラーメン構造	杭基礎	5	－	1

特記仕様書の適用

１．標準仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の
「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、改修標仕という。）
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、標仕という。）による。

２．特記仕様

(1) 項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
特記事項は、◯ 印の付いたものを適用する。
◯ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◯ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
(2) 各章の章、節、項の番号は、標仕の当該番号に対応する。
(3) ［表　　］［図　　］の番号は改修標仕の当該表または図の番号を表す。
(4) （表　　）（図　　）の番号は標仕の当該表または図の番号を表す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。
(6) 図中の「付加」は、改修標仕・標仕にない特記事項を示す。

８章　耐震改修工事

１節　共通事項

⊙8.1.3 コンクリートの種類

(1) レディーミクストコンクリートの種別
※ Ｉ類(JIS Q 1001 及び JIS Q 1011 に基づき、JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・ Ⅱ類(Ｉ類以外のJIS A 5308に適合したコンクリート)
建築基準法第37条第二号に規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリートの使用　※ 無　・ 有

特殊な要求性能	適用範囲	措　置

(2) 普通コンクリートの気乾単位容積質量
※ ２．３ t/m³　・（　　）t/m³

⊙8.1.4 コンクリートの品質

(1) コンクリートの強度　(2)ワーカビリティー及びスランプ

番号	コンクリート 種　別	設計基準強度 Ｆｃ (N/mm²)	所要スランプ (ｃｍ)	単位水量の上限値(kg/m³)	構造体強度補正値の有無	使用箇所
1	普通コンクリート	Ｆｃ２４	１８	１８５	有	壁増打ち部、開口閉鎖部
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
１０						

(3) 構造体コンクリートの仕上り
※ 建築改修工事特記仕様書による。

・ 8.1.5 鉄骨製作工場

(1) 鉄骨製作工場の加工能力
※ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた
（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める
（　）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ 8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者

(1) 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置
※ 適用する　・ 適用しない

２節　材料

⊙8.2.1 鉄　筋

異形鉄筋ＳＤはＤ３８以下、丸鋼ＳＲ２３５及びＳＲ２９５は１３mm以下に適用する。
鉄筋の種類

規格名称	種類の記号	使用箇所	呼び径 (mm)	備　考
異形鉄筋	⊙ＳＤ２９５Ａ	設計図による	D10 ～ D16	
(鉄筋コンクリート用棒鋼)	⊙ＳＤ３４５	設計図による	D19 ～ D22	
JIS G 3112	・ＳＤ３９０	設計図による		
	・ＳＤ４９０			
溶接閉鎖型せん断補強筋	・ＳＤ２９５Ａ			
(大臣認定品または性能評価取得品)	・ＳＤ２９５Ｂ			
高強度せん断補強筋	・ＫＳＳ７８５			
(大臣認定品または性能評価取得品)	・			

付加　閉鎖型補強筋及び高強度せん断補強筋は材料の品質・加工方法ともに建築基準法に基づく性能評価の条件を満足するものとする。

・ 8.2.2 溶接金網

(1) 溶接金網、鉄筋格子の寸法、径　　JIS G 3551

種　類	記　号	使用箇所	呼び径・寸法・形状	備　考
・ 溶接金網	ＷＦＰ	鉄骨階段踏面	φ6－１００x１００	ＪＩＳ規格品
		防水層保護コンクリート		
		配管埋設用コンクリート		
		スラブ内埋設管の集密部分		
・ 鉄筋格子	ＳＤ２９５Ａ	壁・スラブ開口補強	Ｄ１０、Ｄ１３	

⊙8.2.4 あと施工アンカー

(1) あと施工アンカーの材料
・ 金属系アンカー　※ 接着系アンカー（※ 有機系　・ 無機系 ）
(2) 金属系アンカー
(ｱ) 引張耐力・せん断耐力

アンカー径	引張耐力(kN)	せん断耐力(kN)	使 用 箇 所

(ｲ) 径及び埋込長さ　※ 設計図による
(ｳ) アンカーのセット方式
※ 本体打込み式改良型　・（　　）
(3) 接着系アンカー
(ｱ) 引張耐力・せん断耐力

アンカー径	引張耐力(kN)	せん断耐力(kN)	使 用 箇 所
D10			設計図による
D13			
D16			
D19			
D22			

(ｴ) アンカーの種類
※ カプセル方式の回転・打撃式　・（　　）
(4) 性能確認試験の適用
※ 適用しない　・ 適用する

⊙8.2.5 コンクリートの材料及び調合

(1) セメントの種類

種　類	使用箇所（ 8.1.4のコンクリート番号 ）
※ 普通ポルトランドセメント	1
・ 高炉セメントＢ種	

(2) 骨材
(ｱ) 細骨材及び混合細骨材
・ フェロニッケルスラグ細骨材 G 使用部位（　　）
・ 銅スラグ細骨材 G 使用部位（　　）
・ 電気炉酸化スラグ細骨材 G 使用部位（　　）
(ｲ)砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分　※ Ａ　・ Ｂ
砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分　※ Ａ　・ Ｂ
(4) 混和材料
(a) 混和剤の種類及び適用（下記のものを使用可とする）

種　類	備　考
・ ＡＥ剤	
・ 高性能減水剤	
・ 減水剤	
⊙ ＡＥ減水剤	
・ 高性能ＡＥ減水剤	
・ 流動化剤	

付加　促進型のものは原則として使用しない。
付加　現場にて使用する流動化剤については、施工性及び品質を考慮の上、決定すること。
(b) 混和材の種類及び適用（下記のものを使用可とする）

種　類	備　考
・ 高炉スラグ	
・ 防水材	
⊙ 膨張剤	増設壁

付加　上記の混和材を用いる場合には、品質及び供給の安定性を確認すること。
(5) コンクリートの調合
(a) 調合管理強度は、設計基準強度Ｆｃに、下表に示す構造体強度補正値（Ｓ）を加えた値以上、かつ、品質に関する規定を満たすものとする。
構造体強度補正値（Ｓ）は下表により、セメントの種類及びコンクリートの打ち込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。

［表8.2.4］構造体強度補正値（Ｓ）の標準値

セメントの種類	コンクリートの打込みから材齢28日までの期間の予想平均気温θの範囲（℃）	
普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種 フライアッシュセメントA種	0≦θ＜ 8	8≦θ
早強ポルトランドセメント	0≦θ＜ 5	5≦θ
中庸熱ポルトランドセメント	0≦θ＜11	11≦θ
低熱ポルトランドセメント	0≦θ＜14	14≦θ
高炉セメントB種	0≦θ＜13	13≦θ
フライアッシュセメントB種	0≦θ＜ 9	9≦θ
普通エコセメント	0≦θ＜ 6	6≦θ
構造体強度補正値(S) (N/mm²)	6	3

⊙8.2.6 構造体用モルタル材料及び調合

(1) 圧縮強度は既存コンクリートの設計基準強度同等以上とする。
フロー値は、下表の程度とし、作業に適する範囲でできるだけ小さい値とする。

打込み方法	打込み箇所の断面最小寸法(cm)	フロー値(mm)
上から流し込み	6cm未満	250～280
上から流し込み	6cm以上	220～250
圧入	－	200～240
吹付け	－	140～160

(2) 調合はJIS R 5201（セメントの物理試験方法)のフロー試験によるモルタルフロー値に応じ、［表8.2.5］を標準とする。

⊙8.2.7 型枠の材料

(1) せき板の材料
※ 建築改修工事特記仕様書による。
(2) 合板の厚さ
※ １２mm　・ １５mm（使用箇所：　　）

・ 8.2.8 鋼　材

［表8.2.7］鋼材の種類等

適用	規格番号	種類の記号	規格名称等
	JIS G 3101	SS400、SS490、SS540	一般構造用圧延鋼材
	JIS G 3106	SM400、SM490、SM520	溶接構造用圧延鋼材
	JIS G 3114	SMA400、SMA490	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材
	JIS G 3136	SN400、SN490	建築構造用圧延鋼材
	JIS G 3138	SNR400、SNR490	建築構造用圧延棒鋼
	JIS G 3350	SSC400	一般構造用軽量形鋼
	JIS G 3353	SWH400	一般構造用溶接軽量H形鋼
	JIS G 3444	STK400、STK490	一般構造用炭素鋼鋼管
	JIS G 3466	STKR400、STKR490	一般構造用角形鋼管
	JIS G 3475	STKN400、STKN490	建築構造用炭素鋼鋼管
	国土交通大臣認定	BCR295	－
	国土交通大臣認定	BCP235	－
	国土交通大臣認定	BCP325	－

付加　※ 炭素当量などによる鋼材の区分は特記による。
付加　※ 鋼材は原則として高炉材を使用する。電炉材を用いる場合は監督職員の承諾を得る。

・ 8.2.9 高力ボルト

(1) 高力ボルト　※ トルシア形高力ボルト　Ｓ１０Ｔ(国土交通大臣認定)
・ JIS形高力ボルト　Ｆ１０Ｔ　２種
※ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　Ｆ８Ｔ　１種

・ 8.2.11 スタッド

(1) 頭付きスタッド(JIS B 1198)の呼び名等

呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所
・ 16	100	設計図による
・ 19	100	設計図による
・ 22		

・ 8.2.12 柱底均しモルタル及びグラウト材

(1) 柱底均しモルタル　※ 無収縮モルタル　・（　　）
(2) グラウト材
プレミックスタイプの早強型特殊セメント系無収縮モルタルとし、実績等の資料を監督職員に提出する。
※ Ｆｍ＝４５ N/mm²　・ Ｆｍ＝（　　）N/mm²

・ 8.2.13 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等

(1) 材料
・ 炭素繊維/エポキシ樹脂工法　・ 炭素繊維/メタクリル樹脂工法
・ アラミド繊維/エポキシ樹脂工法　・（　　）
工法
・（　　工法）
引張強度(含浸接着樹脂を含浸・硬化後)
・ ３、４００ N/mm²　・（　　）N/mm²
ヤング係数(含浸接着樹脂を含浸・硬化後)
・ ２．３０×１０⁵N/mm²　・（　　）N/mm²

・ 8.2.15 基礎工事に用いる材料

(1) 砂利地業の材料　※ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石

３節　鉄筋の加工及び組立

⊙8.3.4 継手及び定着

(1) 継手の工法　（設計図による）

部位など	継手工法と適用径の範囲	
柱主筋	※ 重ね継手（　　） ・ 溶接継手（　　）	※ ガス圧接（　　） ・ 機械式継手（　　）
梁主筋	※ 重ね継手（　　） ・ 溶接継手（　　）	※ ガス圧接（　　） ・ 機械式継手（　　）
スラブ、壁筋	⊗ 重ね継手（　Ｄ１０～Ｄ２２　） ・ 溶接継手（　　）	・ ガス圧接（　　） ・ 機械式継手（　　）

・ 8.3.8 ガス圧接

付加　検査及び試験の要領は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書　ガス圧接継手工事」による。
(10) 抜取試験の方法
※ 超音波探傷試験　・ 引張試験
付加　引張試験の試験機関は原則として公的試験所とする。
付加　超音波探傷試験の試験従事者は当該工事のガス圧接作業に従事しない者とし、技量及び経験の証明となる資料により監督職員の承諾をうける。超音波試験の検査ロットは引張試験と同様とする。試験方法・判定基準は、JIS Z 3062によるものとし、試験の要領は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書　ガス圧接継手工事」による。
付加　超音波探傷試験の試験技術者は（公社）日本鉄筋継手協会による鉄筋継手部検査技術資格者1G種、2種あるいは3種とする。
圧接完了後の試験の抜取率及び判定基準

試験方法	ロット区分及び試料数	ロット当たりの抜取本数及び抜取り率	判定基準
引張試験	同一作業班が一日に施工した圧接個所かつ２００ヵ所程度以下を１ロットとする	引張試験抜取本数 （※ ３本　・　　）	引張試験では試料のすべてが、「最大引張強さが母材規格強度以上」を満足すること。 超音波探傷試験ではJIS Z 3062に示す判定基準にてすべての個所が合格すること。 不合格の場合は、8.3.8(11)による。
超音波探傷試験		超音波探傷試験の抜取率 （※ ３０本　・　　）	

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 54 号	株式会社 内藤建築事務所	業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	構造改修特記仕様書(1)	縮尺 N.S.	京都市左京区田中大堰町１８２	図面名称	構造改修特記仕様書(1)	A1 N.S. A3 N.S.	S-1
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	総括 / 主任 / 担当				
滋賀大学施設管理課							

４節　鉄筋の機械式継手及び溶接継手

・8.4.2 機械式継手
特殊な機械式継手の使用については、設計図にない場合は監督職員に相談の上、設計者の了解を得ること。
告示１４６３号に示す（※ Ａ級　・　）工法：（　）

・8.4.3 溶接継手
特殊な溶接継手の使用については、設計図にない場合は監督職員に相談の上、設計者の了解を得ること。
告示１４６３号に示す（※ Ａ級　・　）工法：（　）

７節　コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め

⊙8.7.8 型枠工事
(1) 外部に面するコンクリートの打増し厚さ
※ 建築改修工事特記仕様書による。

８節　コンクリートの試験等

⊙8.8.3 コンクリートの強度試験
(1) 試験体の養生方法
・標準養生　※ 工事現場における水中養生　・工事現場における封かん養生

９節　軽量コンクリート

・8.9.1 付加 一般事項
常時土あるいは水に直接接する部分
※ 使用しない　・使用する（使用箇所：　）

・8.9.2 種類及び品質
(1) 軽量コンクリートの種別
・１種　気乾単位容積質量　（　）　t/m³
・２種　気乾単位容積質量　（　）　t/m³
(2) スランプ　※ ２１ｃｍ　・（　）

１０節　暑中コンクリート

・8.10.2 材料及び調合
(3) 構造体強度補正値（S）は、６（N/mm²）とする。

１１節　無筋コンクリート

・8.11.1 一般事項
(2) コンクリートの種類

コンクリート種別	設計基準強度 Ｆｃ（N/mm²）	所要スランプ（ｃｍ）	粗骨材の最大寸法（mm）	使用箇所
※ 普通コンクリート	※ Ｆｃ１８	※ １５・１８	※ ２５ ⊙２０	捨コンクリート
※ 軽量コンクリート	※ Ｆｃ１８	※ １８・２１	・２０	

付加 セメントの種類
※ 普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G（捨コンクリート）
付加 呼び強度は設計基準強度以上とする。（構造体強度補正は行わない）

１２節　あと施工アンカー工事

⊙8.12.4 穿孔
(2) 埋込み配管等の探査
適用範囲
※ 穿孔範囲すべて　・（　）
探査方法
※ 穿孔前に電磁波レーダー法又は電磁波誘導法による既存鉄筋および埋設配管・配線等の探査を行い、位置の墨出を行う。
・（　）

⊙8.12.7 施工確認試験
あと施工アンカーの施工後の確認試験
※ 引張試験　・（　）
(ｱ)引張試験における、1ロットは、1日に施工されたものの径及び仕様ごととする。
(ｲ)試験の箇所数は１ロットに対して3本とし、ロットから無作為に抜き取る。
(ｳ)確認強度は引張耐力の２/３とし、この荷重に対してアンカーが抜け出し等の過大な変形が起こらないことを確認する。
付加 ※ 打音試験
適正に固着されているか否かを、全数に対して打音検査によりその固着度を確認する。

１３節　鉄骨工作

・8.13.10 仮組
(1) 仮組の実施　※ 行わない　・行う

１４節　高力ボルト接合

・8.14.2 摩擦面の性能及び処理
(3) すべり係数試験
※ 行わない　・行う（試験方法等：　）

１５節　溶接接合

・8.15.3 付加 溶接作業を行う技能資格者
技量付加試験
※ 否　ただし、溶接技能者は、溶接条件に応じた JIS Z 3801及び JIS Z 3841 の資格者であること。
・要　ただし、建築鉄骨溶接技量検定の合格者、又は、同等の技量を有すると監督職員が認めた者は免除する。

・8.15.4 溶接の準備
(1) 開先の形状
※ 鉄骨構造標準図による　・その他（　）

・8.15.7 溶接施工
(1) (ｶ) 鋼製エンドタブの切除　※ 行わない　・行う
(2) (ｴ) スカラップの形状
※ 鉄骨構造標準図による　・その他（　）
ノンスカラップ工法を採用する場合、監督職員の承諾を得る。

・8.15.12 溶接部の試験
(1)(ｲ) 超音波探傷試験　※ 行う　・行わない
工場溶接の場合 AOQL（%）　※ 4.0　・2.0

節	※ すべて			
検査水準	※ 第6水準			

１７節　鉄骨の錆止め塗装

・8.17.1 一般事項
塗料の種別
※ 建築改修工事特記仕様書による。

・8.17.2 塗装の範囲
(1) 耐火被覆面への錆止め塗装　※ 行わない　・行う（適用箇所：　）
耐火被覆面以外への錆止め塗装は次の部分以外の範囲を塗装する。
(ｱ) コンクリートに密着する部分及び埋め込まれる部分
(ｲ) 高力ボルト摩擦接合部の摩擦面
(ｳ) 密閉される閉鎖型断面の内面
(ｴ) ピン、ローラー等密着する部分及び回転又は摺動面で削り仕上げした部分
(ｵ) 組立によって肌合せとなる部分

２０節　溶融亜鉛めっき工法

・8.20.5 付加 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合
溶融亜鉛めっき処理　※ 有（設計図による）　・無
(1) 摩擦面の処理
※ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法　・すべり耐力試験方法等　・図示
付加 すべり係数試験
※ 行わない　・行う（試験方法等：　）

２１節　現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

⊙8.21.2 既存部分の撤去等
(1) 既存仕上げ等の撤去
改修工事に先立ち、内装材及びコンクリート部材表面のプラスター・モルタルなどの仕上げ材を除去する。
補強工事に支障がないように、工事の範囲近傍の内装、建具、設備配管などを必要かつ十分なだけ撤去する。また、撤去しないものについては養生する。
騒音・振動・埃の発生に対し、対策をとること。
(2) 既存構造体の撤去
斫りだした鉄筋及び鉄骨は補強作業に支障をきたさない範囲まで、塗料・コンクリート・耐火被覆その他異物を除去し、異常がないことを確認する。
斫りは他の部分にひび割れを生じさせないように、かつ、鉄筋を傷めないように慎重に行う。
既設コンクリートを穿孔するときは、鉄筋を痛めないように慎重に行う。穿孔途中で鉄筋にあたった場合は、別の場所を穿孔し、穿孔途中の孔は適切に補修すること。
(3) 既存構造体の寸法を実測し、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。

⊙8.21.3 既存部分の処理
(2) 打継ぎ面の目荒しの程度
増打壁の壁面　※ 10～15%　・（　）
増設壁周辺　※ 15～30%　・（　）

⊙8.21.6 鉄筋の加工及び組立
(1) 割裂補強筋の仕様
※ 設計図による。

⊙8.21.8 コンクリートの打込み
(1) コンクリートの打込み工法
※ 流込み工法　・圧入工法

２２節　鉄骨ブレースの設置工事

・8.22.2 既存部分の撤去等
8.21.2による。

・8.22.3 既存部分の処理
(2) 打継ぎ面の目荒しの程度
鉄骨ブレース周辺　※ 15～30%　・（　）
外付け補強　※ 30～50%　・（　）

・8.22.7 既存構造体との取合い
(1) 割裂補強筋の仕様
※ 設計図による。

２３節　柱補強工事

・8.23.1 一般事項
工法
・溶接金網巻き工法
・溶接閉鎖フープ巻き工法
・鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法

・8.23.2 既存部分の撤去等
8.21.2による。

・8.23.3 既存部分の処理
(2) 打継ぎ面の目荒しの程度
柱のせん断補強（炭素繊維補強以外）　※ 15～30%　・（　）
柱の曲げ補強　※ 30～50%　・（　）

・8.23.5 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法
(3) コンクリート及び構造体用モルタルの打込み工法
※ 流込み工法　・圧入工法

２４節　連続繊維補強工事

・8.24.4 既存部分の撤去等
8.21.2による。

・8.24.6 施工
(1)(ｲ) ひび割れ部の改修工法(樹脂注入工法)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
(6) 連続繊維補強材の強度試験
※ 引張強度試験　・付着強度試験

２５節　耐震スリット新設工事

・8.25.2 施工
(2) 既存部分の撤去等
8.21.2による。
(4) 充填剤の挿入及び周囲補修等
(ｱ) 耐火性を要する箇所は耐火材を配して、耐火性能を確保すること。
(ｲ) 遮音性を要する箇所は遮音材を配して、遮音性能を確保すること。
(ｴ) 既存撤去部の補修は撤去材と同一材で補修する。

２８節　土工事及び地業工事

・8.28.2 既存杭の撤去等
(1) 既存杭の撤去範囲
※ 設計図による　・本工事に支障となる最小限の範囲
既存杭の撤去方法
※ 引抜き工法　・破砕による解体
(3) 既存杭の杭頭部等を処理
※ 行わない　・行う（GL-　の範囲）
(4) 既存杭の補強
※ 行わない　・行う（設計図による）
(5) 既存杭の健全性を確認する試験
※ 行わない　・行う（試験方法等：　）
付加 杭撤去後は空洞等による問題が生じないように適切に埋戻しを行うこと。
・砂　※ 流動化処理土　・（　）

・8.28.3 土工事
(2)(ｳ)(b) 埋戻し及び盛土の種別

［表8.28.1］埋戻し及び盛土の種別

種別	材料	工法
・A種	山砂の類	水締め、機器による締固め
※ B種	根切り土の中の良質土	機器による締固め
・C種	他現場の建設発生土の中の良質土	機器による締固め
・D種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締固め

C種の場合:　土質（　）　受渡場所（　）
(ｴ) 建設発生残土の処理
・現場説明書による　※ 構外搬出適切処理　・図示
・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し
(3)(ｳ) 山留めの撤去
・存置範囲（ ※ 図示　・　）

・8.28.4 地業工事
(2)(ｲ) 試験杭
試験杭の位置及び本数　※ 最初の１本　・設計図による
試験杭の杭長は本杭と同じとする。
(ｳ)(a) 杭の載荷試験
鉛直載荷試験　※ 行わない　・行う（次による）
水平載荷試験　※ 行わない　・行う（次による）
鉛直載荷試験：杭径（　φ）　個所数（　ヵ所）　最大載荷荷重（　ｋＮ）
水平載荷試験：杭径（　φ）　個所数（　ヵ所）　最大載荷荷重（　ｋＮ）
試験位置・試験方法及び報告書の記載事項は設計図による。
(ｳ)(b) 地盤の載荷試験
平板載荷試験　※ 行わない　・行う（次による）
個所数（　ヵ所）　試験深さ（ＳＧＬ-　m）
対象地盤（　）　最大載荷荷重（　ｋＮ/m²）
試験位置・試験方法及び報告書の記載事項は設計図による。
(3)(a) 杭地業の工法
・既製コンクリート杭地業　・プレボーリング根固め工法　・中堀拡大根固め工法　・その他（　）
・鋼杭地業　・打込み工法　・その他（　）
・場所打ちコンクリート杭地業　・アースドリル工法　・オールケーシング工法　・リバース工法　・その他（　）
(g) 杭頭処理　※ 切断しない　・切断する

(4)(ｱ) 砂利及び砂地業
・直接基礎床版下　※ ６０mm　・１００mm　・１５０mm
・杭基礎床版下　※ ６０mm　・（　）mm
・基礎梁下　※ ６０mm　・（　）mm
・土間スラブ下 注)　※ １５０mm　・（　）mm
注)「土間スラブ」は、土に接する構造スラブのことをいう。
・土間コンクリート下　・１５０mm　・（　）mm
(ｲ) 捨コンクリート地業
(a) 厚さ　※ ５０mm　・その他（　）
(b) (a)以外の項目は８章１１節による。
・土間スラブ下 注)　（　mm）　・土間コンクリート下　（　mm）
注)「土間スラブ」は、土に接する構造スラブのことをいう。

付加 置換コンクリート地業
コンクリートの種別　※ 普通コンクリート
※ 設計基準強度　１８N/mm²（構造体強度補正は行わない）

付加 地盤改良地業
工法　工法名：（　）
・浅層混合処理工法　適用範囲、仕様及び計測、試験は設計図による
・深層混合処理工法　適用範囲、仕様及び計測、試験は設計図による
六価クロム溶出試験　※ 行う　・行わない

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 55 号	
図面名称	構造改修特記仕様書(2)	縮尺 N.S.	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A）第02291号
総括　主任　担当

業務名称：滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称：構造改修特記仕様書(2)
縮尺：A1 N.S.　A3 N.S.
図面番号：S-2

共　通　事　項

1．注意事項

1）あと施工アンカー　　＜接着系アンカー＞

事前に鉄筋探査を行い、既存躯体鉄筋を避けた位置を孔削する事。
施工後に確認引張試験を行う事。

本　体　：　カプセル型接着系アンカー（ガラス管、有機系）
（財）日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説」に示された算定式によって設計耐力を安全側に評価できるものを使用。

アンカー筋　：　JIS G 3112　SD295A　（規格品）（D10～D16　）
JIS G 3112　SD345　（規格品）（D19～D25　）

打音検査　：　アンカーが適切に固着されているか否か、監督職員立合いのもとに全数の打音検査を行い、その固着度を確認する。

固着力の検査　：　接着系樹脂アンカーのみに実施
（非破壊検査）　非破壊検査は各補強面１箇所につき、全本数の３％（最低３本）以上を対象として引張加力試験を行う。
試験方法などについては、監理者と協議し実施すること。
不合格の場合には、その補強構面の全数を試験する。

σB：　既存部のコンクリート圧縮強度

接着系アンカーの引張試験値

階	コンクリート強度 σB [N/mm²]	引張試験値 [kN] D10	D13	D16	D22	
各階	20.6	10.5	52.5	35.3※	107.1	

※ 開口補強筋の場合 79.5

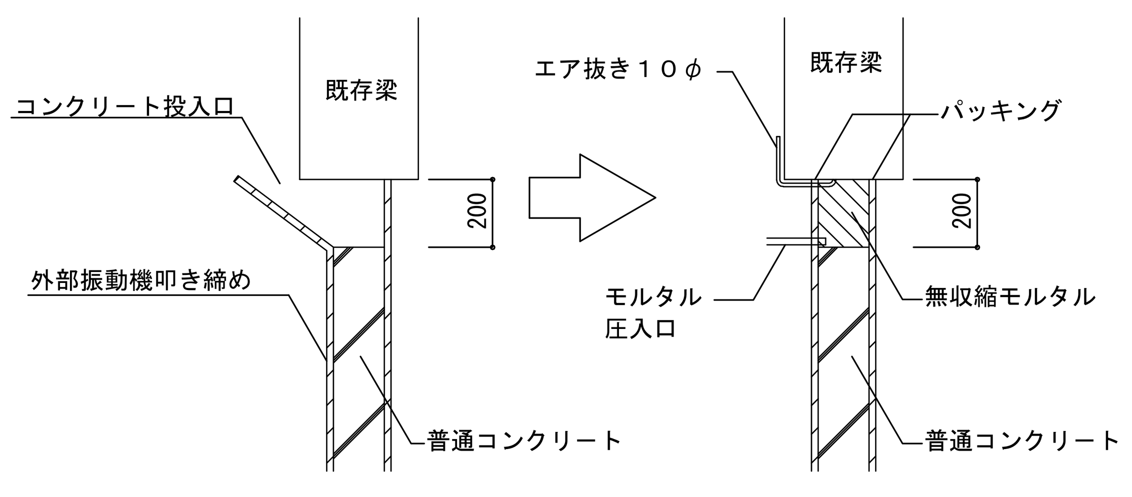
検査の結果、不合格となったものは、切断等の処置をし、その付近の位置に再施工すること。再施工を行ったアンカーは、上記の試験を行い、正しく施工されていることを確認する。

2）スパイラル筋　　JIS G 3532　SWM-B　（規格品）

2．注意事項

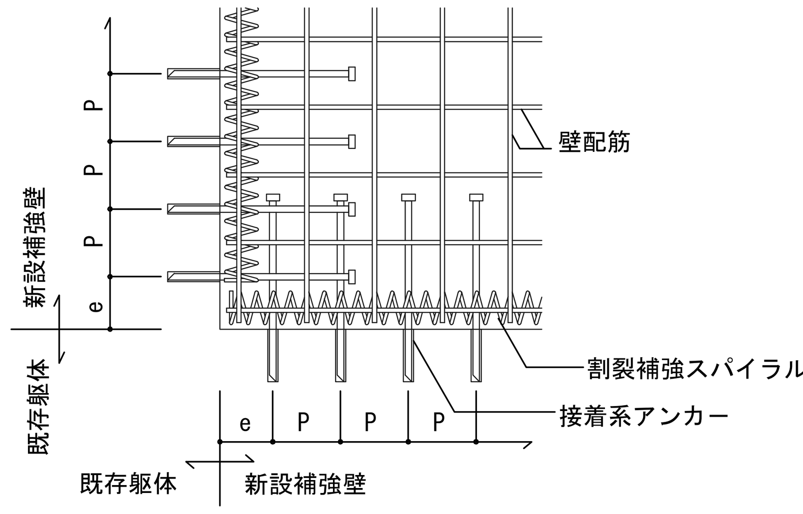
1）壁配筋等の材料の加工に先立ち駆体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状にあった寸法に加工する。
2）増設部材と既存コンクリート躯体との接触面全体については既存コンクリート躯体面の目荒らし平均深さで１０mm 程度を行い十分に清掃する。
3）コンクリート打ち込み前には、せき板・既設コンクリート表面などを充分に水湿しを行う。
4）コンクリートの打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように充分な施工計画を立てる。
5）コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。
また養生期間中は振動を与えないように注意する。
6）図面寸法については、現地再検査を行う事。
7）Φ100以下の小開口を新設する場合は、該当位置にクラック等の劣化症状が無いことを確認し、RCレーダーで鉄筋探査を行い鉄筋の切断が無いようにコアを抜く事。
8）穿孔工事等の騒音・振動の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
9）ハンドクラッシャー（ウォールクラッシャー）等でコンクリート壁・スラブは、撤去すること。
10）コンクリート壁解体の際は、コンクリートカッターによる躯体縁切り、コア削孔+ハンドクラッシャー等による低騒音解体とすること。

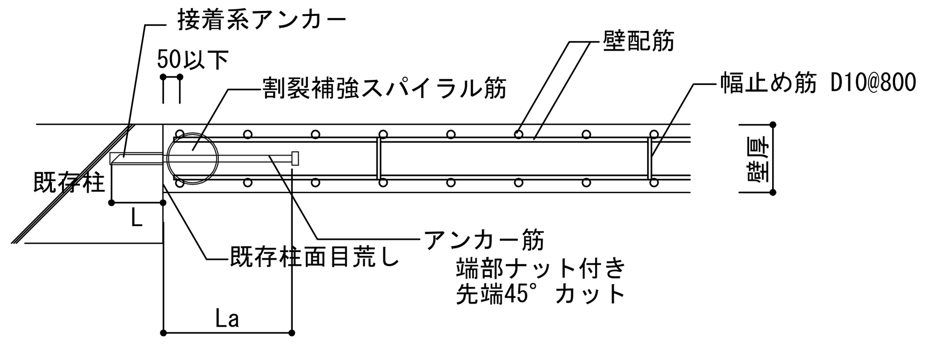
コンクリート打設要領図

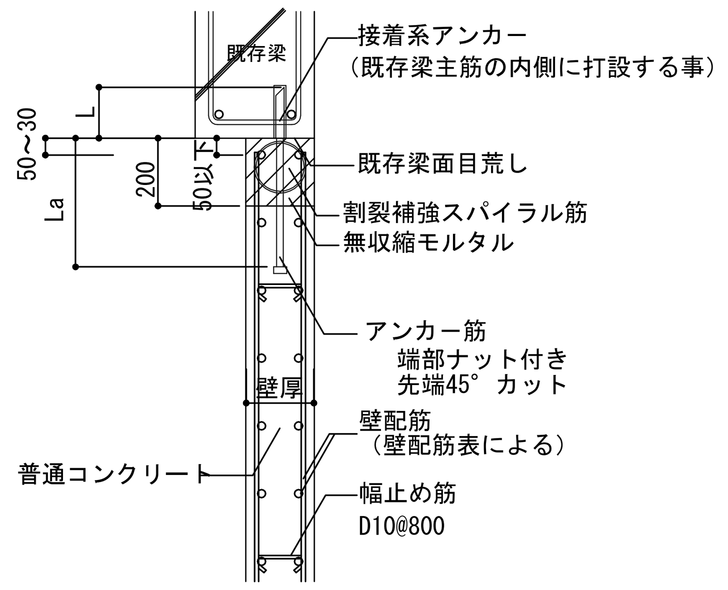


新設壁コンクリートの打設　　無収縮モルタルの圧入

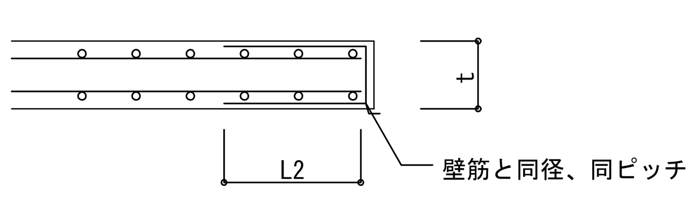
新設壁納まり標準詳細







壁開口端部補強筋（壁厚ｔ≧150の場合）



接着系アンカー及びアンカー筋Ｌｎ表

アンカー筋	L	La
D10	80 mm以上	S-13～15による
D13	104 mm以上	260 mm
D16	128 mm以上	320 mm
D19	152 mm以上	380 mm
D22	176 mm以上	440 mm

※ La は首下長さとする。

開口端部補強筋用接着系アンカー

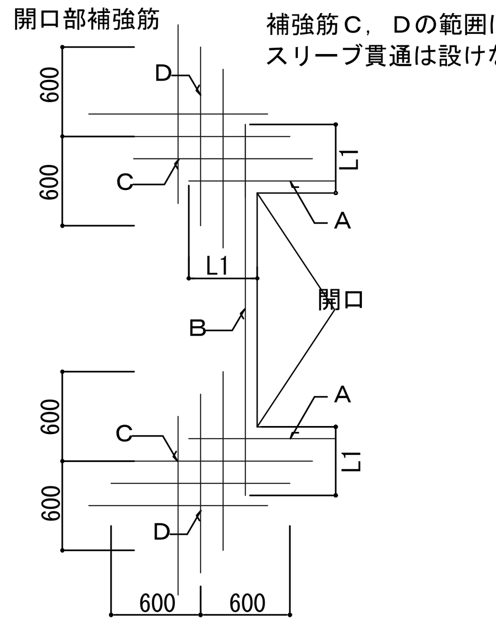
アンカー筋	L	La
D13		
D16		
D19	S-13～15による	
D22		
D25		

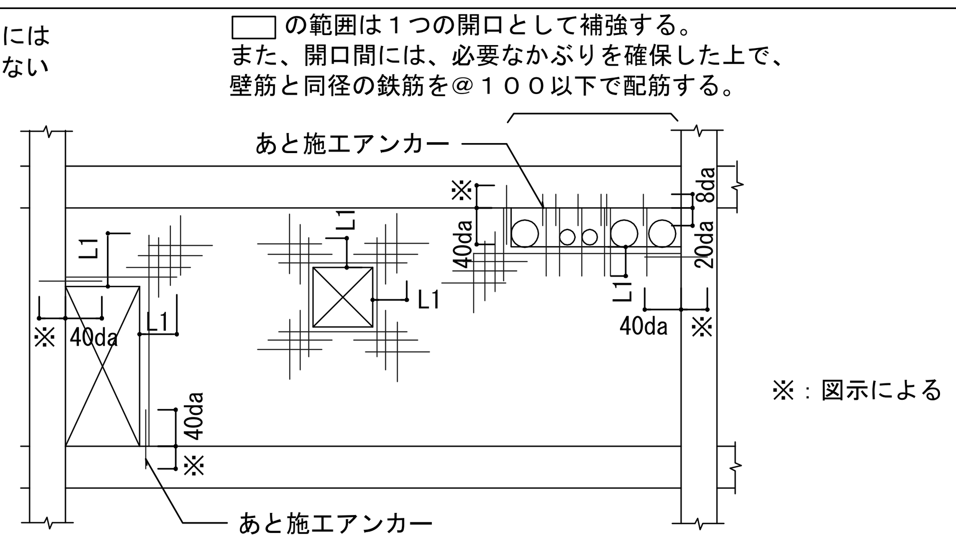
最小アンカーピッチ表

アンカー筋	P	e
D13	100 mm以上	65 mm以上
D16	120 mm以上	80 mm以上
D19	145 mm以上	95 mm以上
D22	165 mm以上	110 mm以上
D25	188 mm以上	125 mm以上

※但し、P は壁配筋表に依る。
P の最大は 300 mmとする。

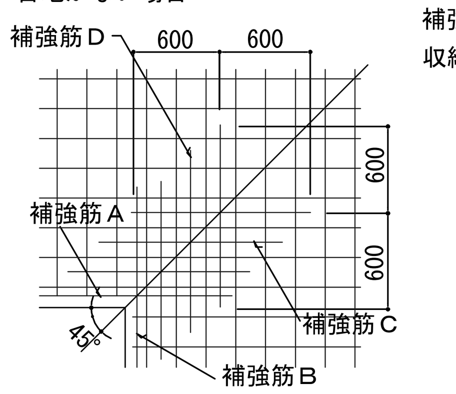
新設壁開口補強要領



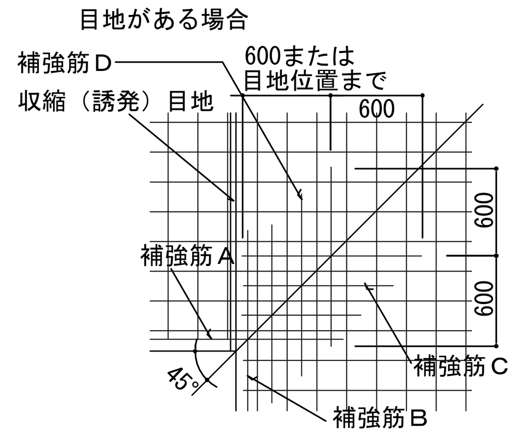


開口部の最大寸法が 300 以下で，鉄筋をゆるやかに曲げることにより開口部をさけて配筋できる場合は，補強を省略することができる。

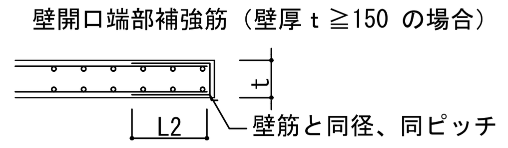
開口部鉄筋補強筋の詳細
目地がない場合



目地がある場合



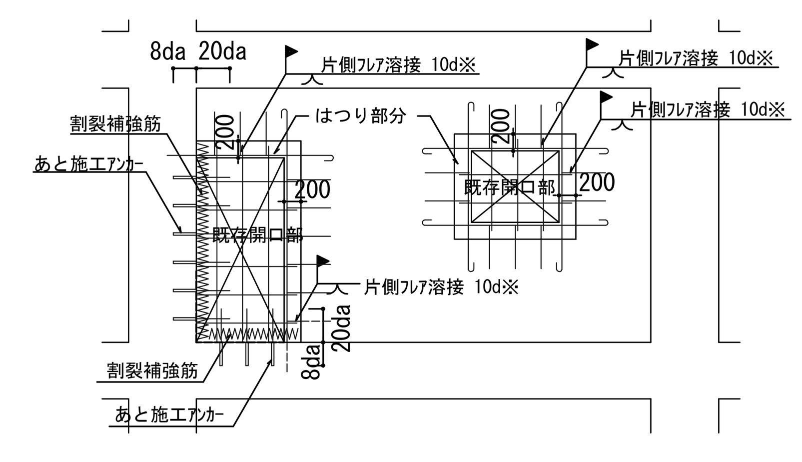
壁開口端部補強筋（壁厚ｔ≧150 の場合）



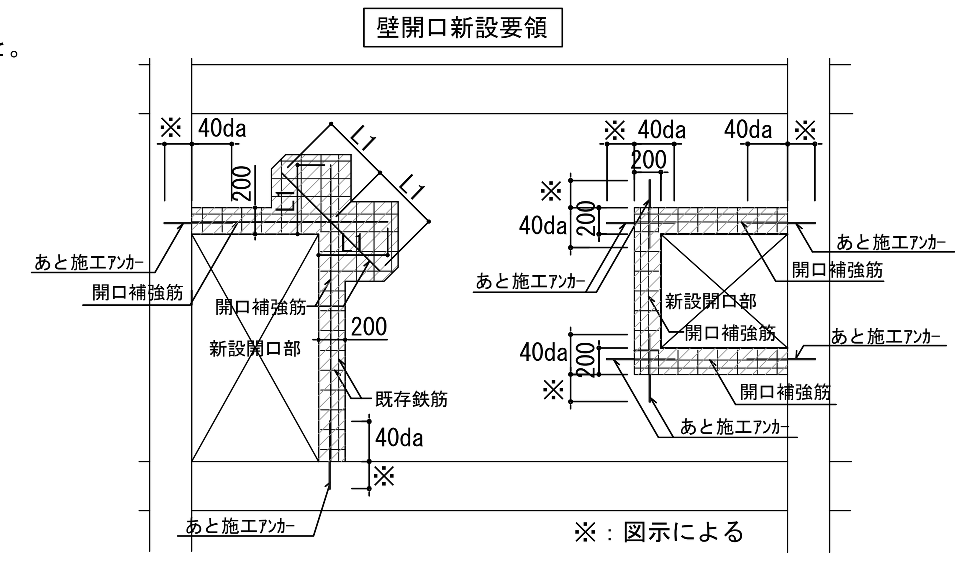
※図中のdaはアンカー径を示す。

既存ＲＣ壁又は補強コンクリート造壁開口閉塞要領

※既存コンクリートに熱影響を与えないように養生すること。
※地階外壁の開口閉塞の継ぎ目にはベントナイト系止水材を用いること。



壁開口新設要領



配筋標準

● 鉄筋の折曲げ

表. 鉄筋の折り曲げ形状及び寸法

角度	折曲げ図	折曲げ内法直径（D） SD295A SD345 D16以下	D19～D38
180°	4ｄ以上	3d以上	4d以上
135°	6ｄ以上		
90°	8ｄ以上		
135° 及び 90°（幅止め筋）	4ｄ以上 / 4ｄ以上		
90° 未満		4d以上（5d以上）	6d以上（8d以上）

注）　d：鉄筋の径、D：曲げ内法直径

● 継手及び定着

表. 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L1	L2	L3 小梁	L3 スラブ
SD295	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上
	21	40d	35d		
	24・27	35d	30d		
	30・33・36	35d	30d		
SD345	18	50d	40d		
	21	45d	35d	（片持ち小梁の場合は25d）	（片持ちスラブの場合は25d）
	24・27	40d	35d		
	30・33・36	35d	30d		
SD390	21	50d	40d		
	24・27	45d	40d		
	30・33・36	40d	35d		
SD490	30・33・36	50d	40d	―	―

● 鉄筋の継手

表　隣り合う継手の位置

重ね継手の場合	フックのある場合	(1) a≧0.5･L1h　(2) a＝0.5･L1h　原則として(1)による、やむを得ない場合のみ(2)とする
	フックのない場合	(1) a≧0.5･L1　(2) a＝0.5･L1　原則として(1)による、やむを得ない場合のみ(2)とする
圧接継手の場合 溶接継手の場合		圧接継手・溶接継手　a≧400mm
機械式継手の場合		機械式継手　a≧400mm以上、かつ(b＋40)mm以上

※ただし、壁の場合及びスラブ筋でＤ１６以下は除く。

● 鉄筋のかぶり厚さ

・鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
・柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに１０mmを加えた数値を標準とする。
・鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
・ひび割れ誘発目地・打継ぎ目地・化粧目地等がある場合は、目地底からのかぶり厚さを確保する。
・柱・梁で打継ぎ目地を設ける場合は、構造体寸法に目地深さ分を打増しとする。この打増しは、耐久性上有効な仕上げと考えることができる。

表　鉄筋のかぶり厚さ　（単位mm）

部位			設計かぶり厚さ ※2	最小かぶり厚さ ※3	分類記号
土に接しない部分	スラブ	屋内	30	20	a
		屋外	40	30	b
	柱・梁 耐力壁	屋内	40	30	c
		屋外	50	40	d
	非耐力壁	屋内	30	20	e
		屋外	40	30	f
	煙突内面		60	50	g
	擁壁・基礎スラブ		50	40	h
土に接する部分	柱・梁・壁・スラブ 連続基礎の立上り部分		50 ※1	40 ※1	i
	基礎スラブ・擁壁		70 ※1	60 ※1	j
基礎			70 ※1	60 ※1	k

※1 普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
※2 設計かぶり厚さ
施工誤差の割増１０mmを標準として見込むことによって、打設後最小かぶり厚さを下回る危険性を少なくするように、設計時点で配慮したかぶり厚さを示す。
※3 最小かぶり厚さ
建築基準法施行令に規定されたかぶり厚さを基に、屋外側については耐久性の観点から１０mm増したかぶり厚さを示す。

既存壁リスト

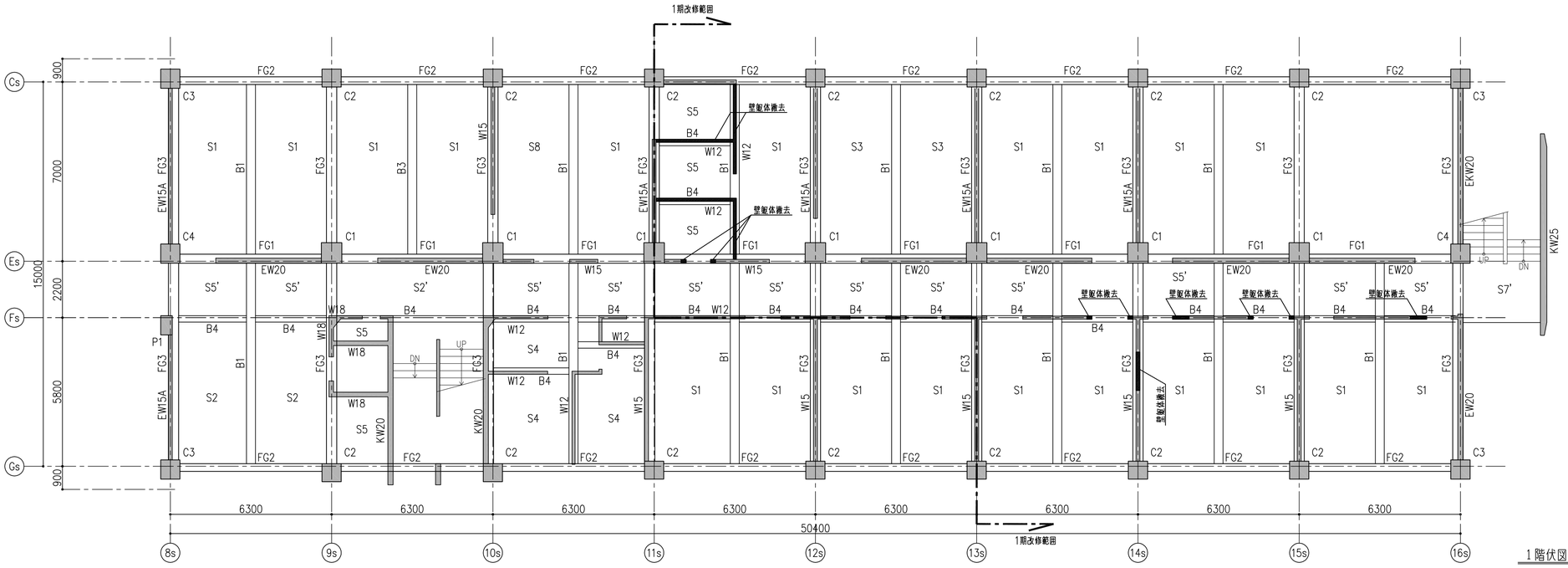
符号	壁厚	配筋		開口補強筋	
W12	120	ﾀﾃ筋	D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	1-D13	斜筋 1-D13
		ﾖｺ筋	D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	1-D13	
W15	150	ﾀﾃ筋	D10@150ｼﾝｸﾞﾙ	2-D13	斜筋 2-D13
		ﾖｺ筋	D10@150ｼﾝｸﾞﾙ	2-D13	
EW15	150	ﾀﾃ筋	D13@200ｼﾝｸﾞﾙ	2-D16	斜筋 2-D13
		ﾖｺ筋	D13@200ｼﾝｸﾞﾙ	2-D16	

符号	壁厚	配筋		開口補強筋	
EW15A	150	ﾀﾃ筋	D13@100ｼﾝｸﾞﾙ	2-D19	斜筋 2-D19
		ﾖｺ筋	D13@100ｼﾝｸﾞﾙ	2-D19	
EW18	180	ﾀﾃ筋	D10D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	4-D13	斜筋 4-D13
		ﾖｺ筋	D10D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	4-D13	
EW20	200	ﾀﾃ筋	D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	2-D22	斜筋 2-D19
		ﾖｺ筋	D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	2-D22	

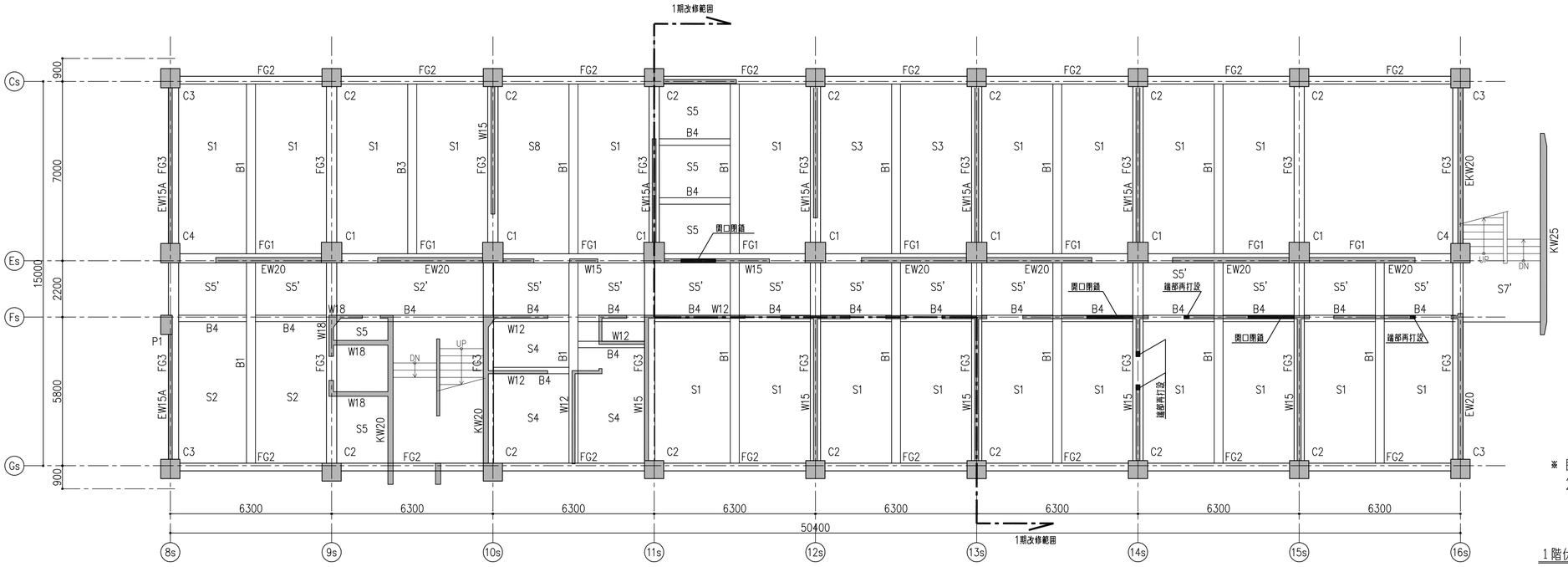
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 56 号	
図面名称	躯体改修標準図	縮尺 N.S.	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（31A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

業務名称　滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務
図面名称　躯体改修標準図
縮尺　A1 N.S.　A3 N.S.
図面番号　S-3



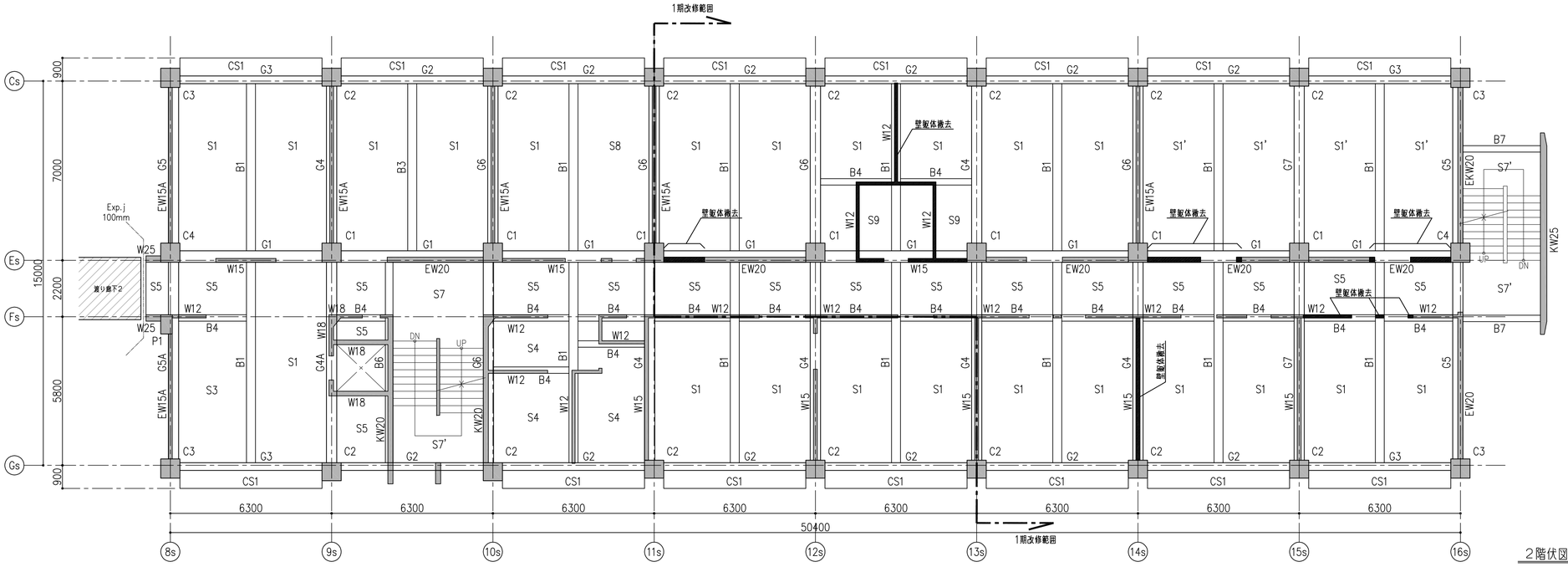
1階伏図（現況・撤去図）



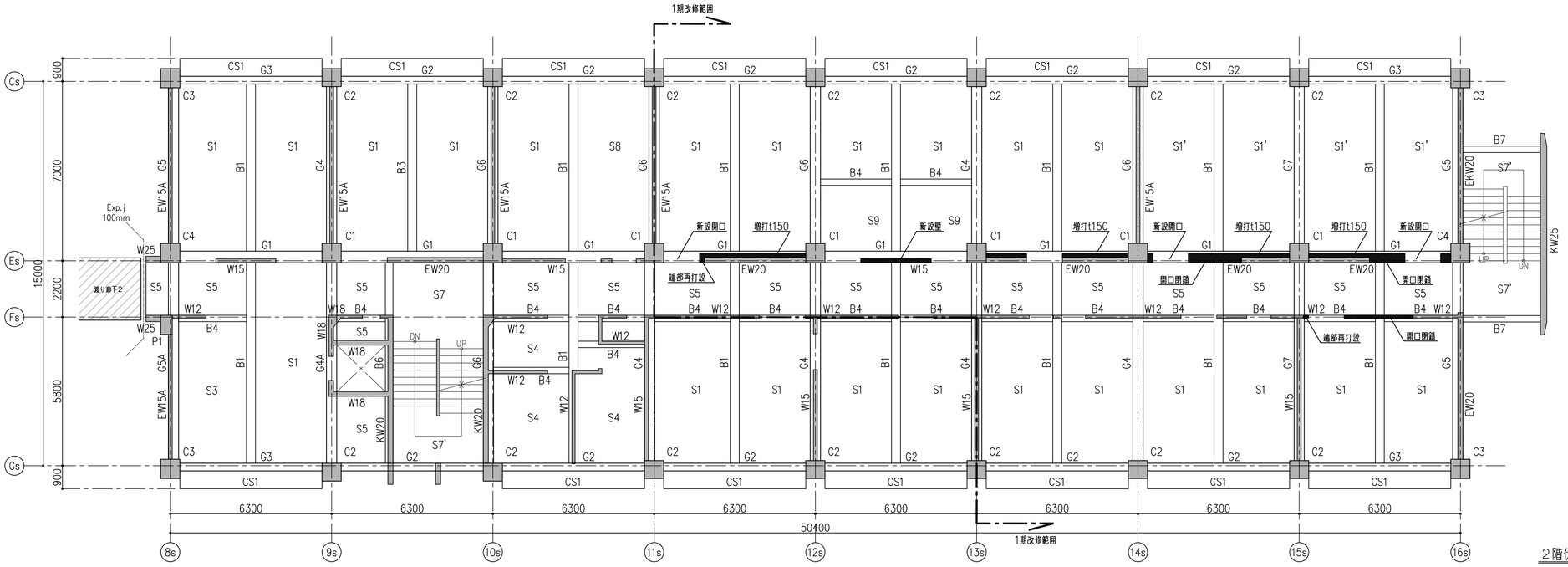
※ 既存梁開口の閉鎖は、無収縮モルタル埋めとする。
2階以上も同様とする。

1階伏図（改修図）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 57 号	株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司 登録第151119号 一級建築士事務所 京都府知事登録 (U)A)第6235号	業務名称 滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200
図面名称	改修前・改修後　1階伏図	縮尺 A1:1/100			図面番号 S-4
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	総括 / 主任 / 担当	図面名称 改修前・改修後　1階伏図	
滋賀大学施設管理課					



2階伏図（現況・撤去図）



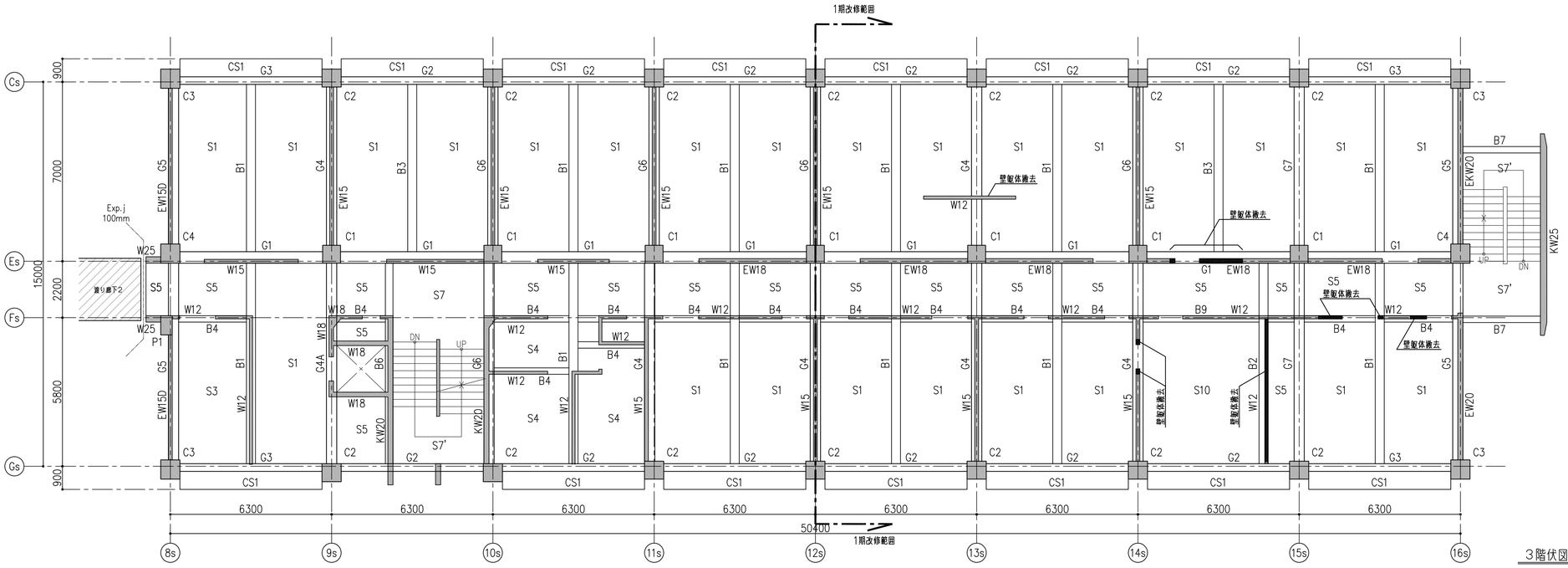
2階伏図（改修図）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 58 号	
図面名称	改修前・改修後　2階伏図	縮尺 A1:1/100	作成 令和4年 7 月
課長	副課長	係長	係員
滋賀大学施設管理課			

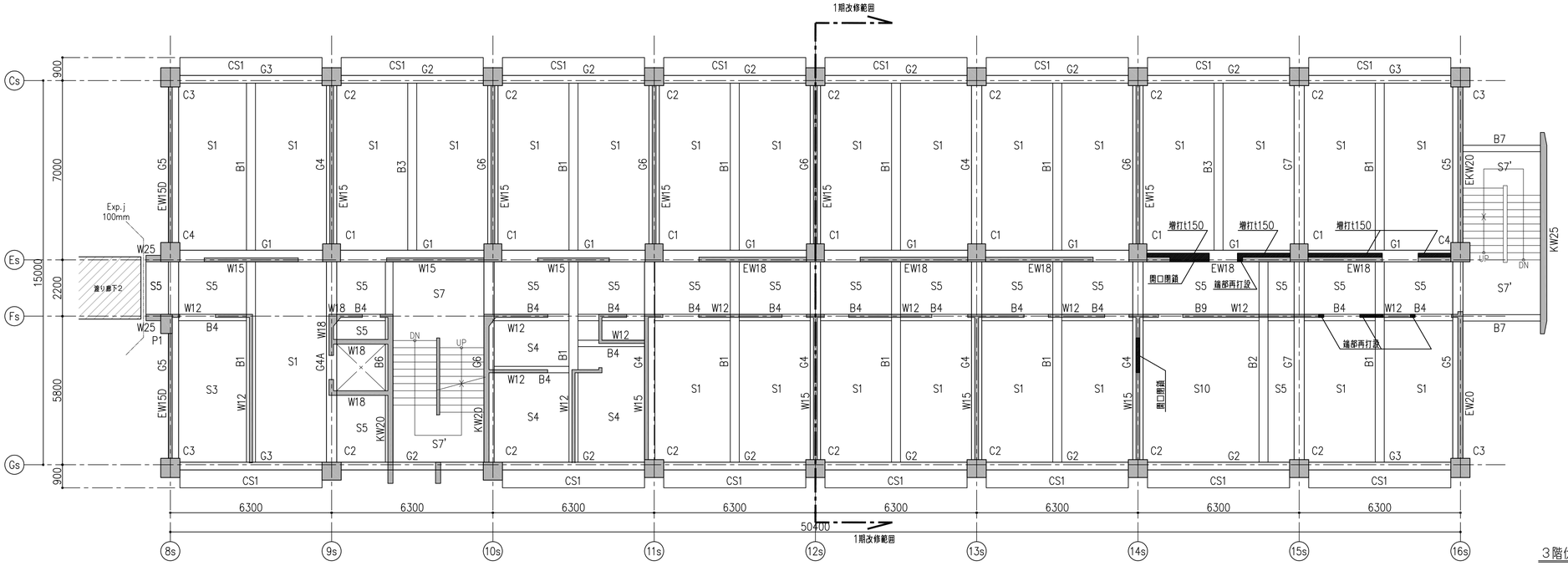
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠 司 （登録第151119号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ.ハ）第6229号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200
図面名称	改修前・改修後　2階伏図	図面番号 S-5



3階伏図（現況・撤去図）



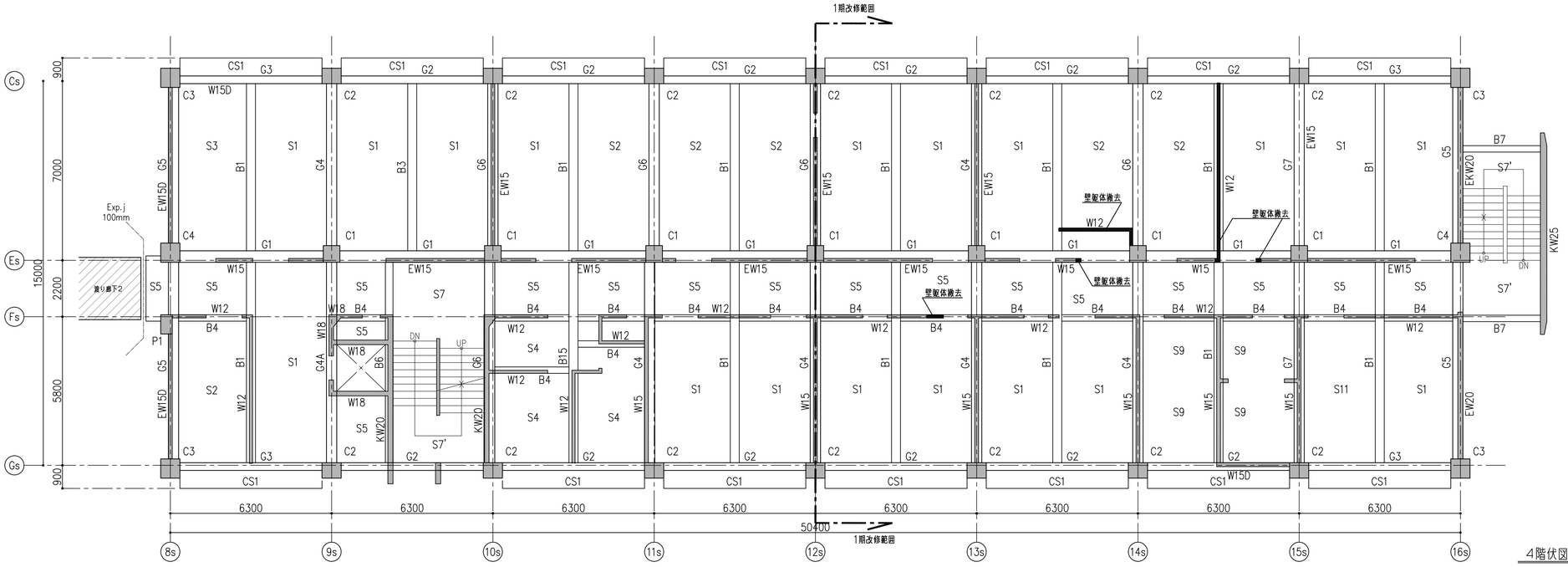
3階伏図（改修図）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 59 号	
図面名称	改修前・改修後　3階伏図	縮尺	A1:1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

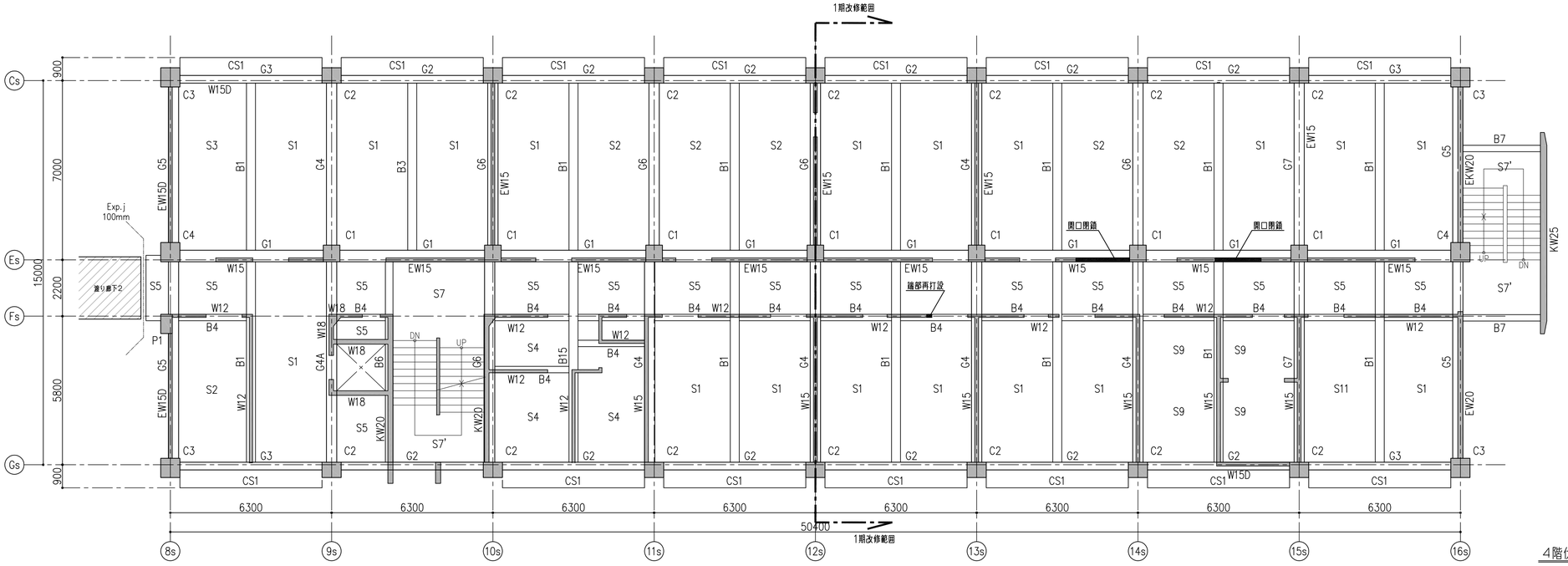
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠 司　登録第151119号
一級建築士事務所　京都府知事登録　(3A)第02291号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　3階伏図	A1　1/100 A3　1/200	S-6



4階伏図（現況・撤去図）



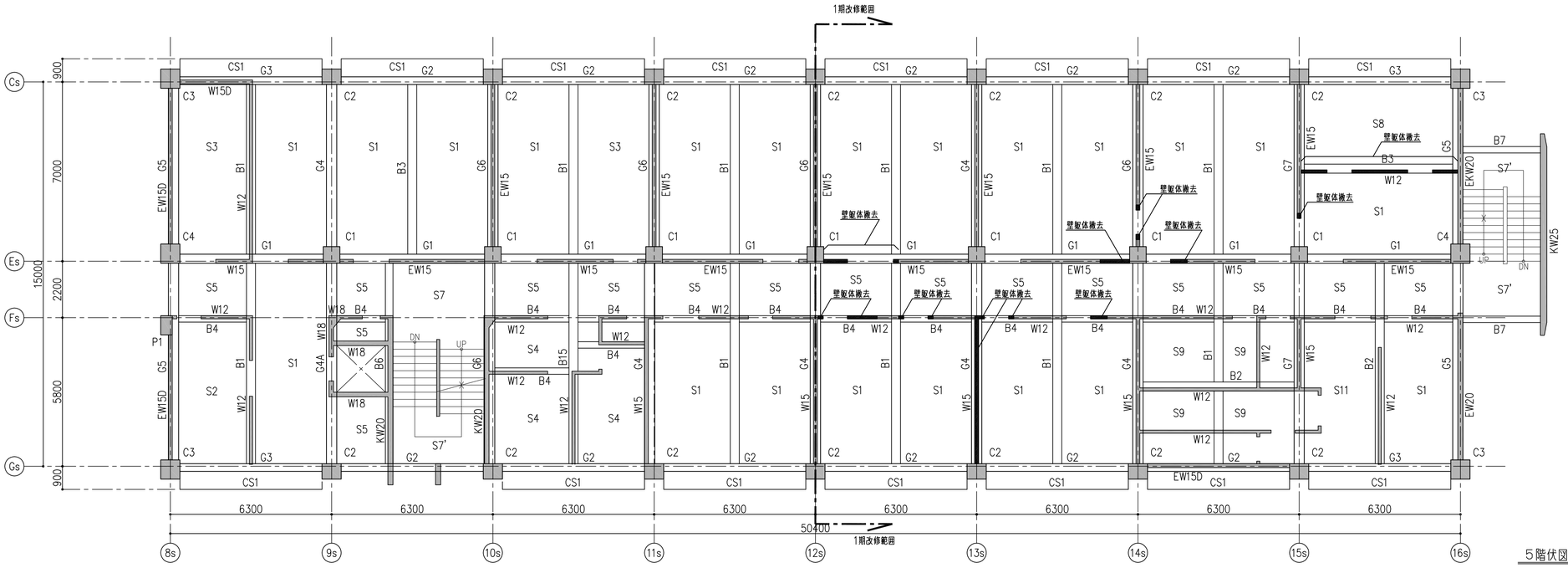
4階伏図（改修図）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 60 号	
図面名称	改修前・改修後　4階伏図	縮尺	A1:1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年　7 月
滋賀大学施設管理課			

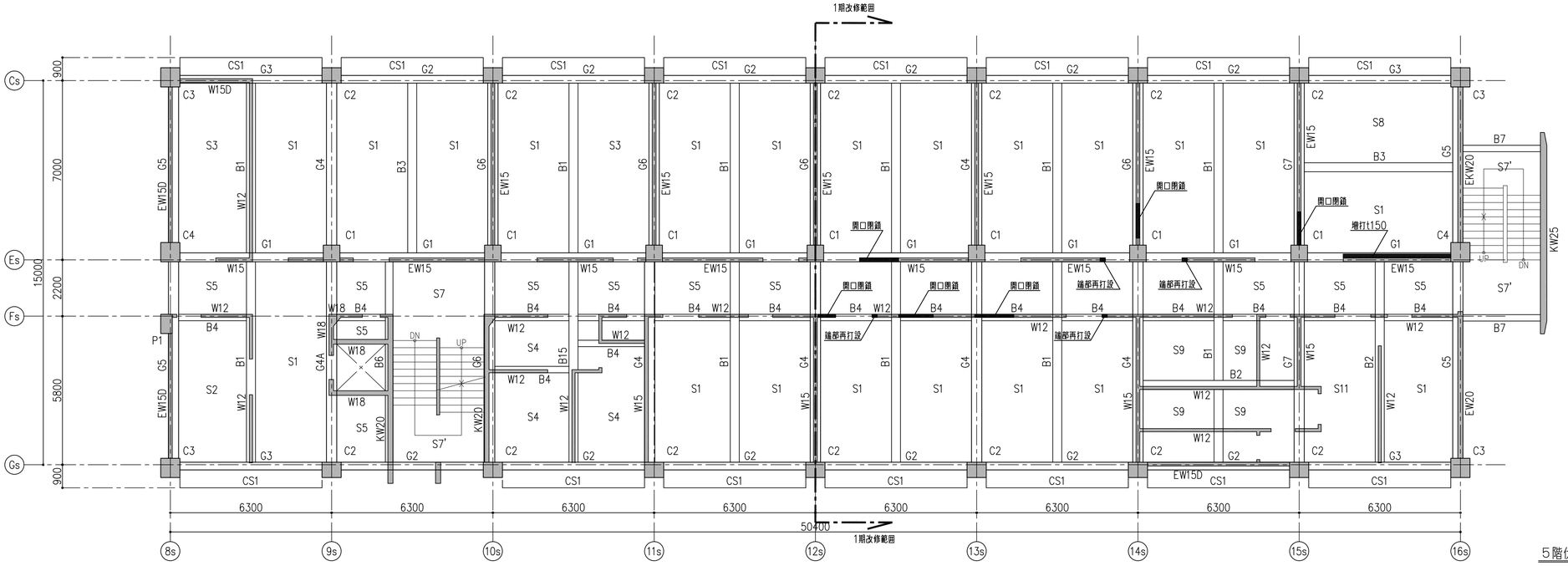
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先 誠 司　登録第151119号
一級建築士事務所　京都府知事登録　(U.A)第6229号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　4階伏図	A1　1/100 A3　1/200	S-7



5階伏図（現況・撤去図）



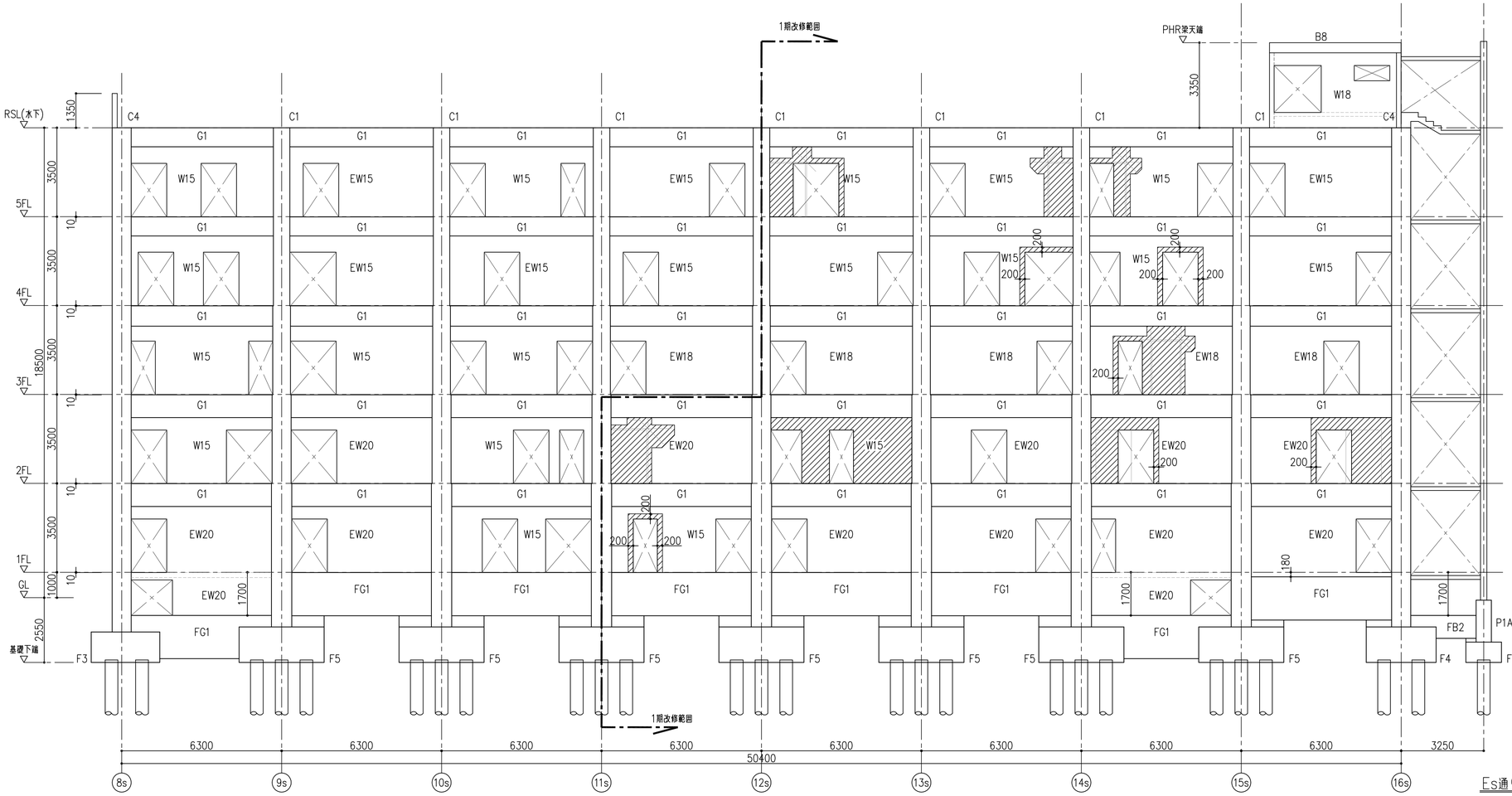
5階伏図（改修図）

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 61 号	
図面名称	改修前・改修後　5階伏図	縮尺	A1:1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 （登録第151119号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ.ハ）第6229号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	改修前・改修後　5階伏図	A1 1/100 A3 1/200	S-8



Es通り軸組図（現況・撤去図）

特記事項

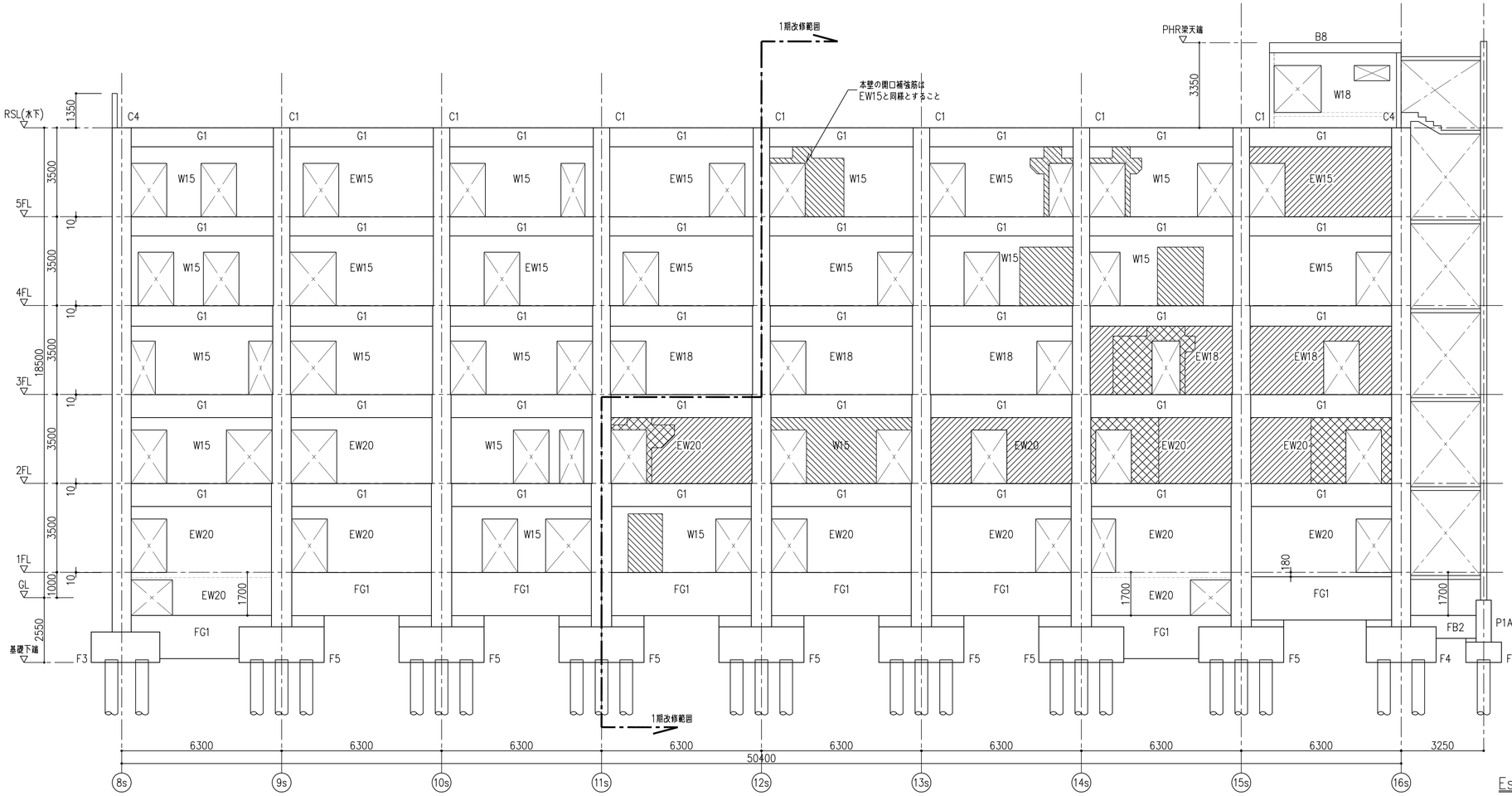
1. ▨ は、躯体撤去範囲を示す。
2.
3.
4.
5.

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 62 号	
図面名称	E通り軸組図（現況・撤去図）	縮尺 A1:1/100	
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 （登録第151119号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ.ハ）第6229号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200
図面名称	E通り軸組図（現況・撤去図）	図面番号 S-9



Es通り軸組図（改修図）

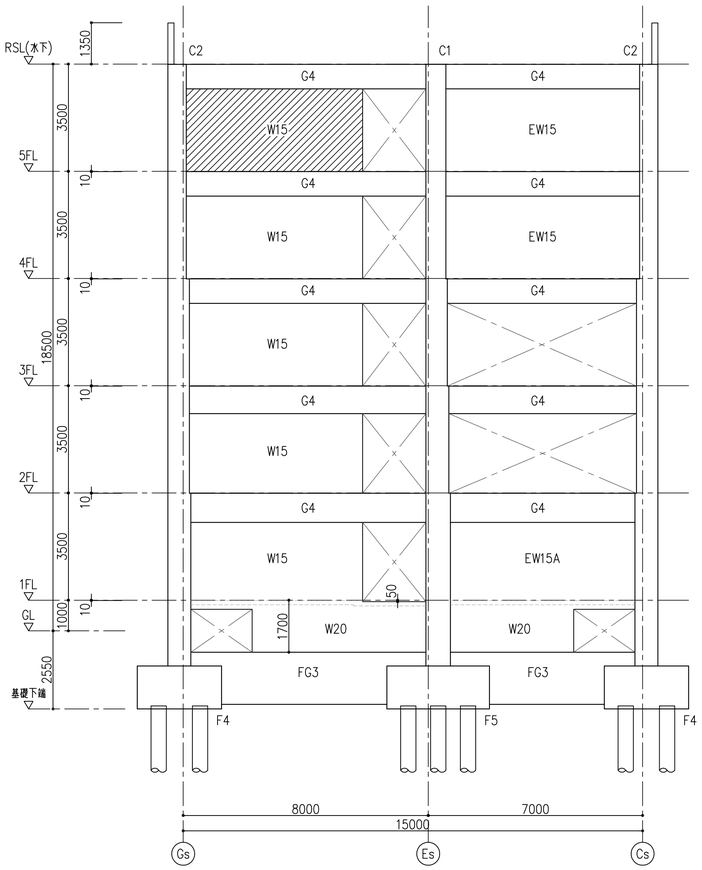
特記事項

1. ▧ は、開口閉鎖または新設壁範囲を示す。
2. ▨ は、壁増打ち（増打ち厚150）範囲を示す。
3. ⊠ は、開口閉鎖＋壁増打ち（増打ち厚150）範囲を示す。
4.
5.

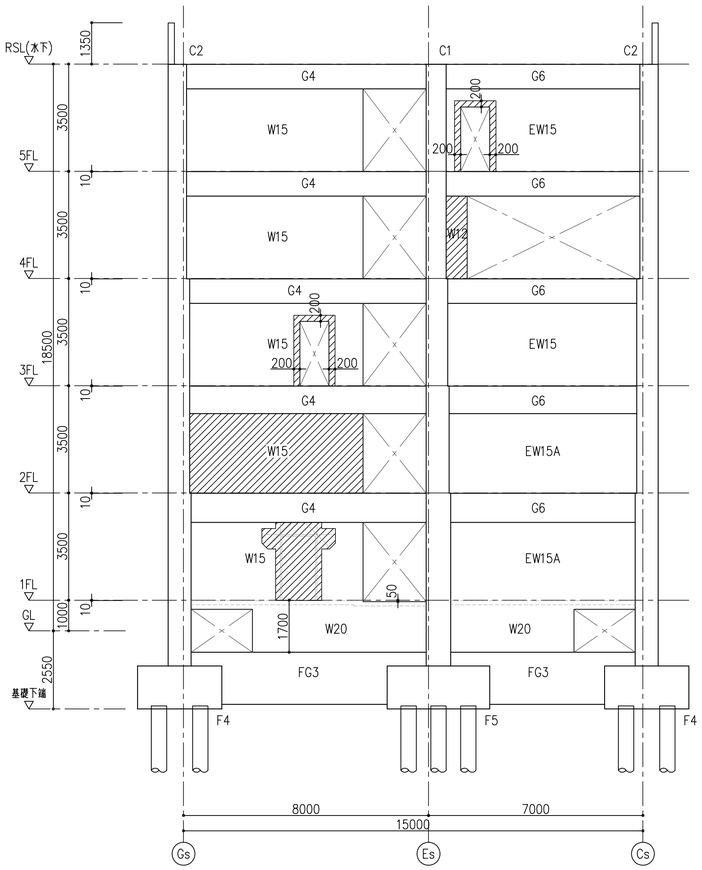
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ｉ期）	69 枚のうち 63 号	
図面名称	E通り軸組図（改修図）	縮尺	A1:1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 （登録第311119号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ.ハ）第(2)2241号
総括 / 主任 / 担当

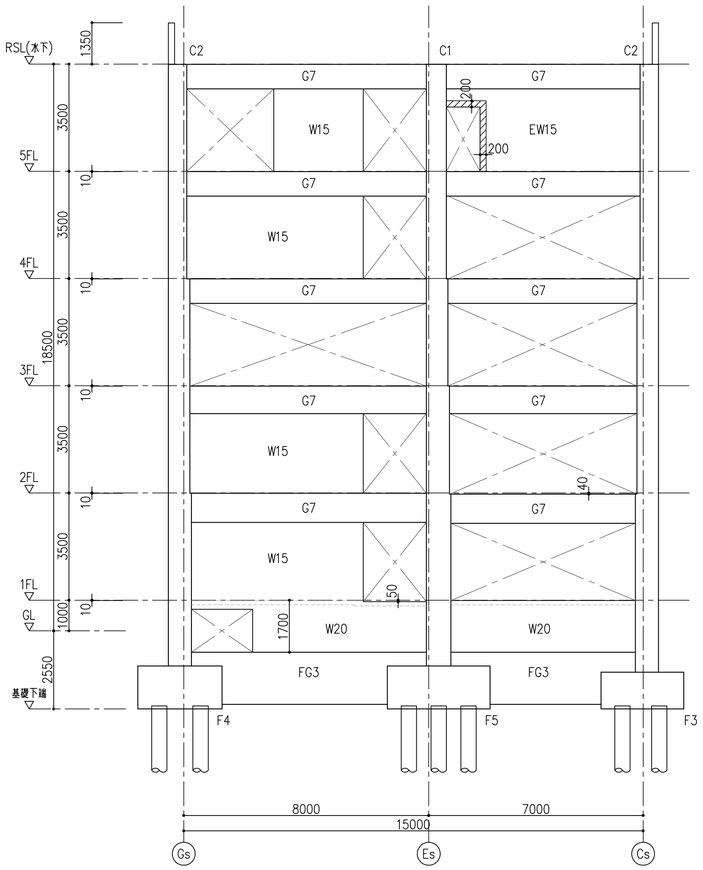
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	E通り軸組図（改修図）	A1 1/100 A3 1/200	S-10



13s通り軸組図（現況・撤去図）



14s通り軸組図（現況・撤去図）

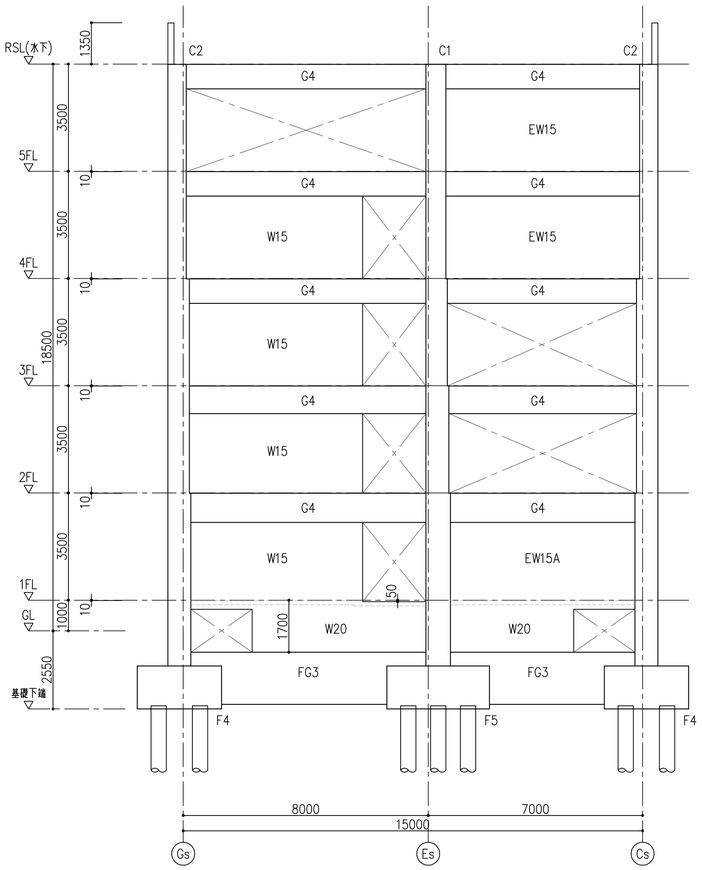


15s通り軸組図（現況・撤去図）

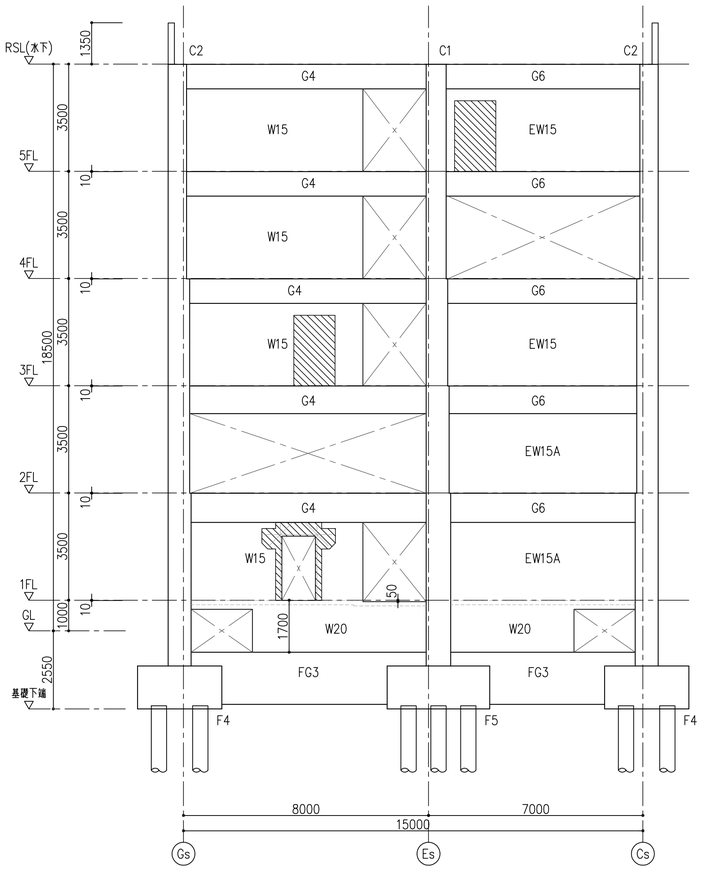
特記事項

1. ▨ は、躯体撤去範囲を示す。
2.
3.
4.
5.

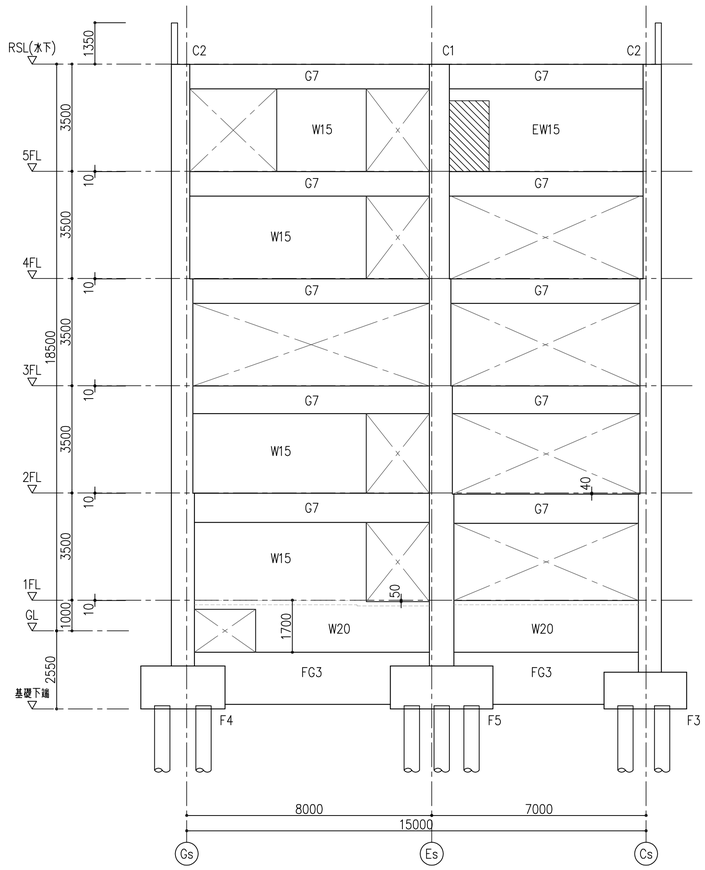
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 64 号	株式会社 内藤建築事務所	業務名称	縮尺
図面名称	13, 14, 15通り軸組図（現況・撤去図）	縮尺 A1:1/100	京都市左京区田中大堰町１８２	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	A1 1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成 令和4年 7 月	一級建築士 神先 誠司 (登録第331119号)	図面名称	A3 1/200
			一級建築士事務所 京都府知事登録 (1)A)第02291号	13, 14, 15通り軸組図（現況・撤去図）	図面番号
滋賀大学施設管理課			総括 / 主任 / 担当		S-11



13s通り軸組図（現況・撤去図）



14s通り軸組図（現況・撤去図）



15s通り軸組図（現況・撤去図）

特記事項

1. ▨ は、開口閉鎖または新設壁範囲を示す。
2.
3.
4.
5.

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 65 号	
図面名称	13, 14, 15通り軸組図（改修図）	縮尺	A1:1/100
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

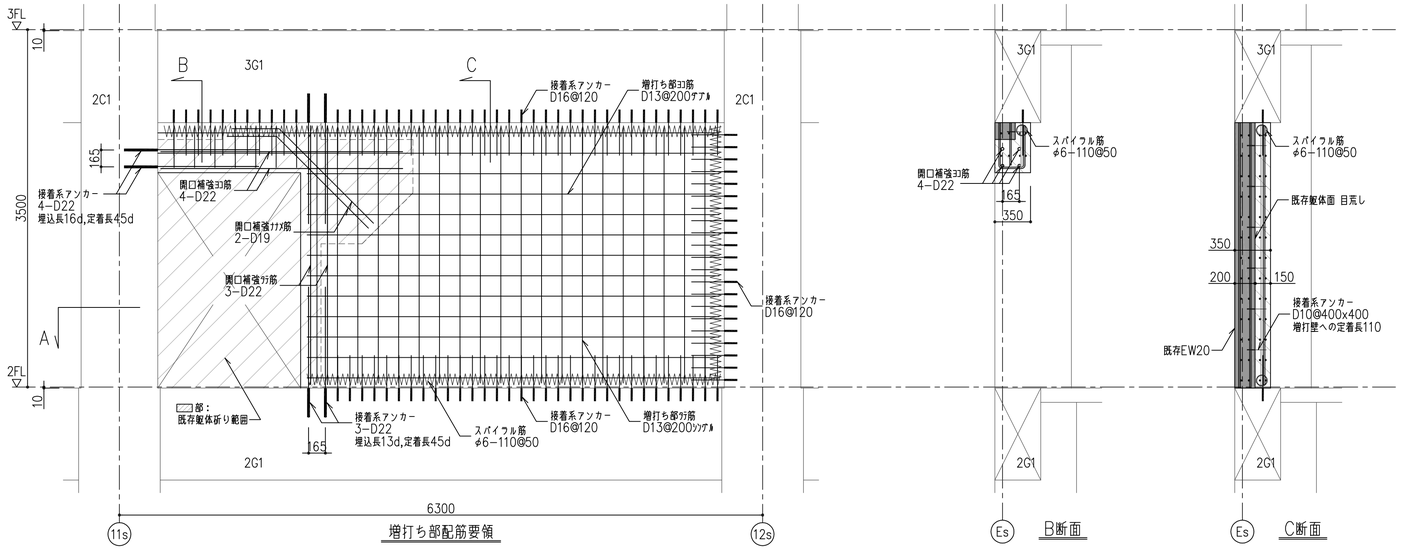
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 （登録第151119号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 （ロ）第(2)2291号

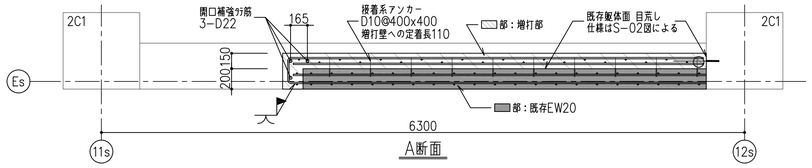
総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/100 A3 1/200
図面名称	13, 14, 15通り軸組図（改修図）	図面番号 S-12

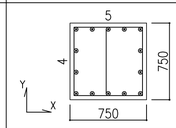
Es通り2階11s−12s間

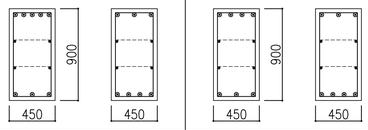
EW20増打ち配筋要領





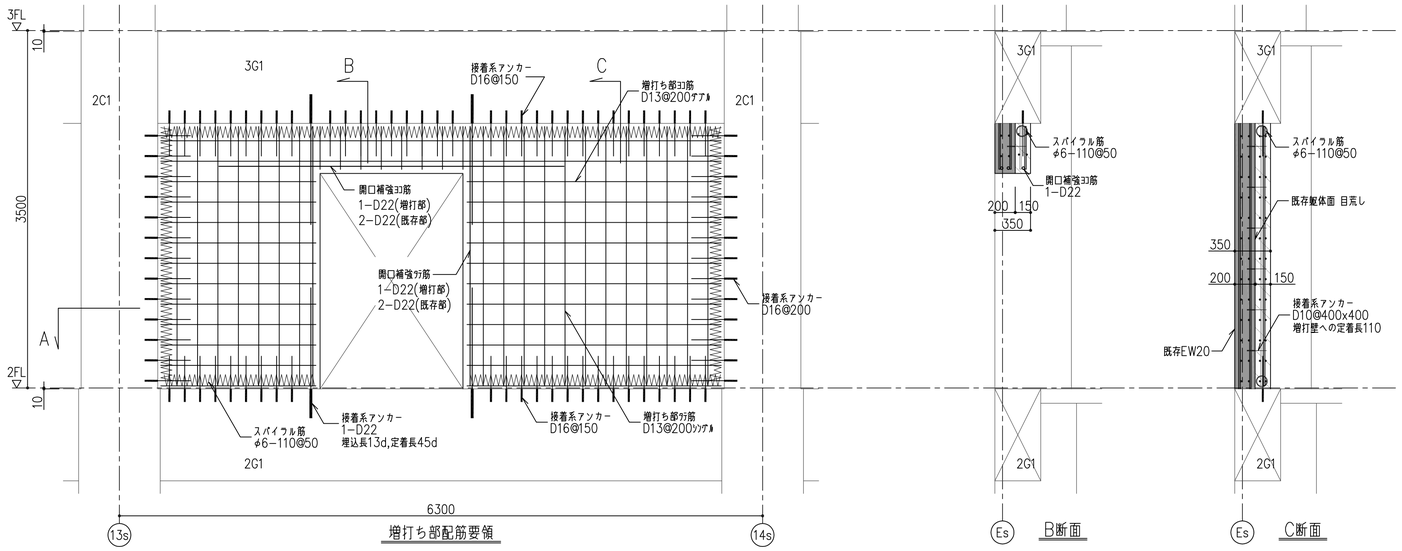
既存部材リスト　※ EW20はS−03図による

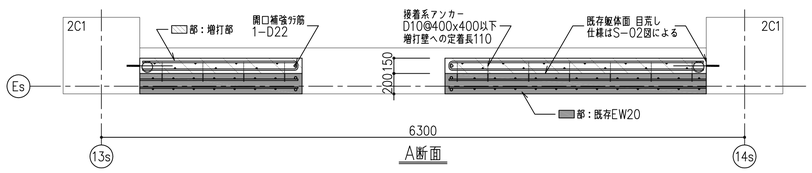
符号	2C1
断面	
B x D	750x750
主筋	14−D25
帯筋	◫−D13@90

符号	2G1		3G1	
	端部	中央	端部	中央
断面				
B x D	450x900		450x900	
上端主筋	5−D25	3−D25	4−D25	3−D25
下端主筋	3−D25	4−D25	3−D25	4−D25
肋筋	□−D13@200		□−D13@200	
腹筋	4−D10		4−D10	

Es通り2階13s−14s間

EW20増打ち配筋要領





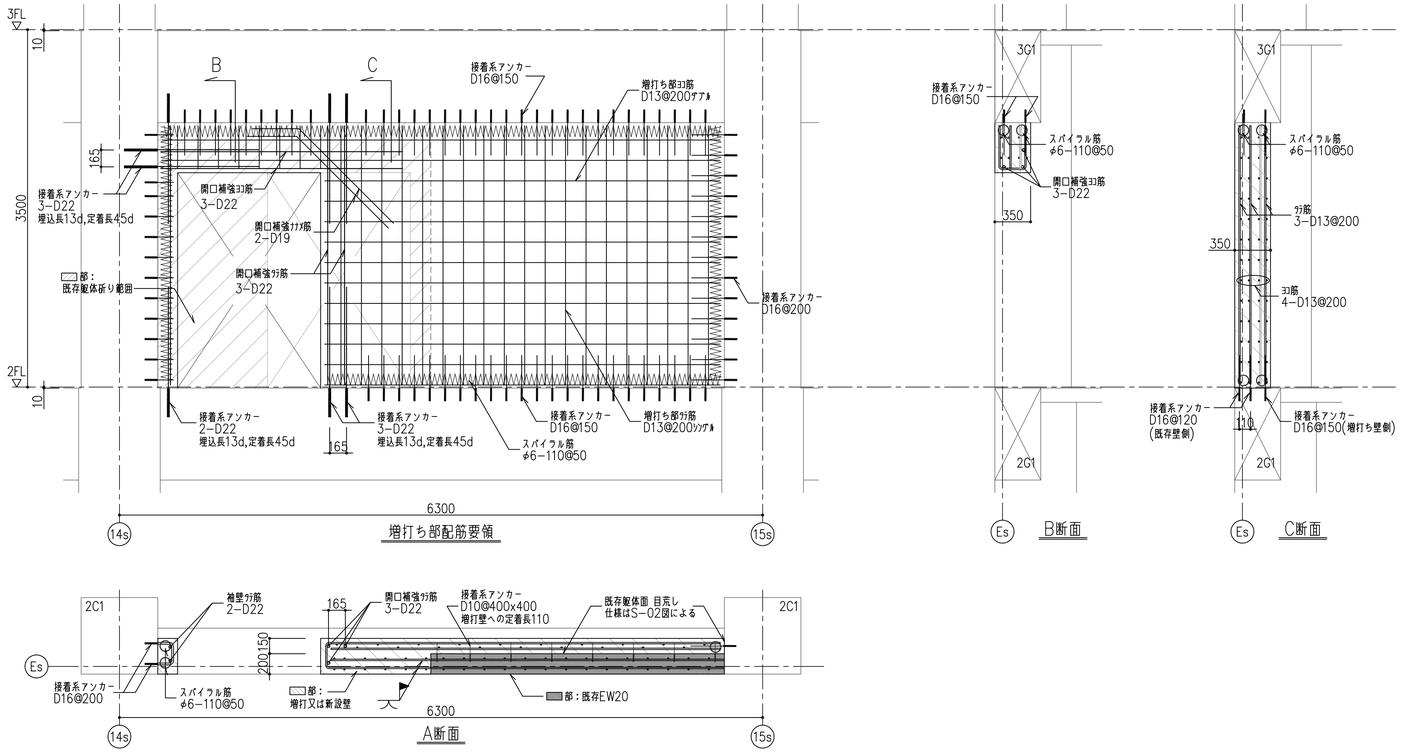
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 66 号	
図面名称	増打ち壁配筋要領図(1)	縮尺 A1:1/30	
課長	副課長	係長	係員
		作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第151119号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (U.A)第02291号
総括 主任 担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺 A1 1/30 A3 1/60	図面番号 S−13
図面名称	増打ち壁配筋要領図(1)		

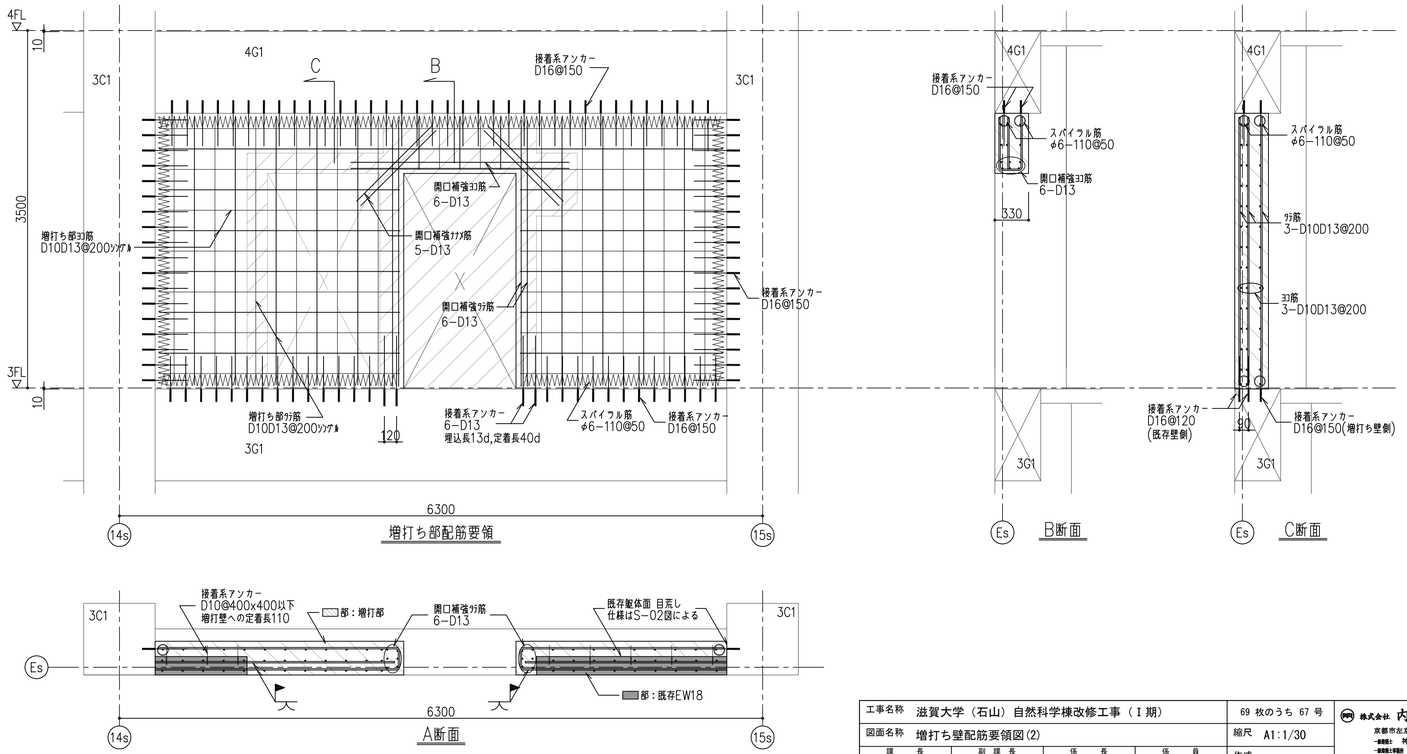
Es通り2階14s−15s間

EW20増打ち配筋要領



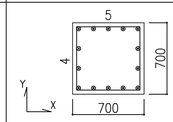
Es通り3階14s−15s間

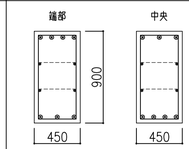
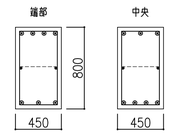
EW18増打ち配筋要領



既存部材リスト

※ EW18はS−03図による

符号	3C1
断面	
B x D	700x700
主筋	14−D25
帯筋	四−D13@90

符号	3G1		4G1	
	端部	中央	端部	中央
断面				
B x D	450x900		450x800	
上端主筋	4−D25	3−D25	4−D25	3−D25
下端主筋	3−D25	4−D25	3−D25	4−D25
肋筋	ロ−D13@200		ロ−D13@200	
腹筋	4−D10		2−D10	

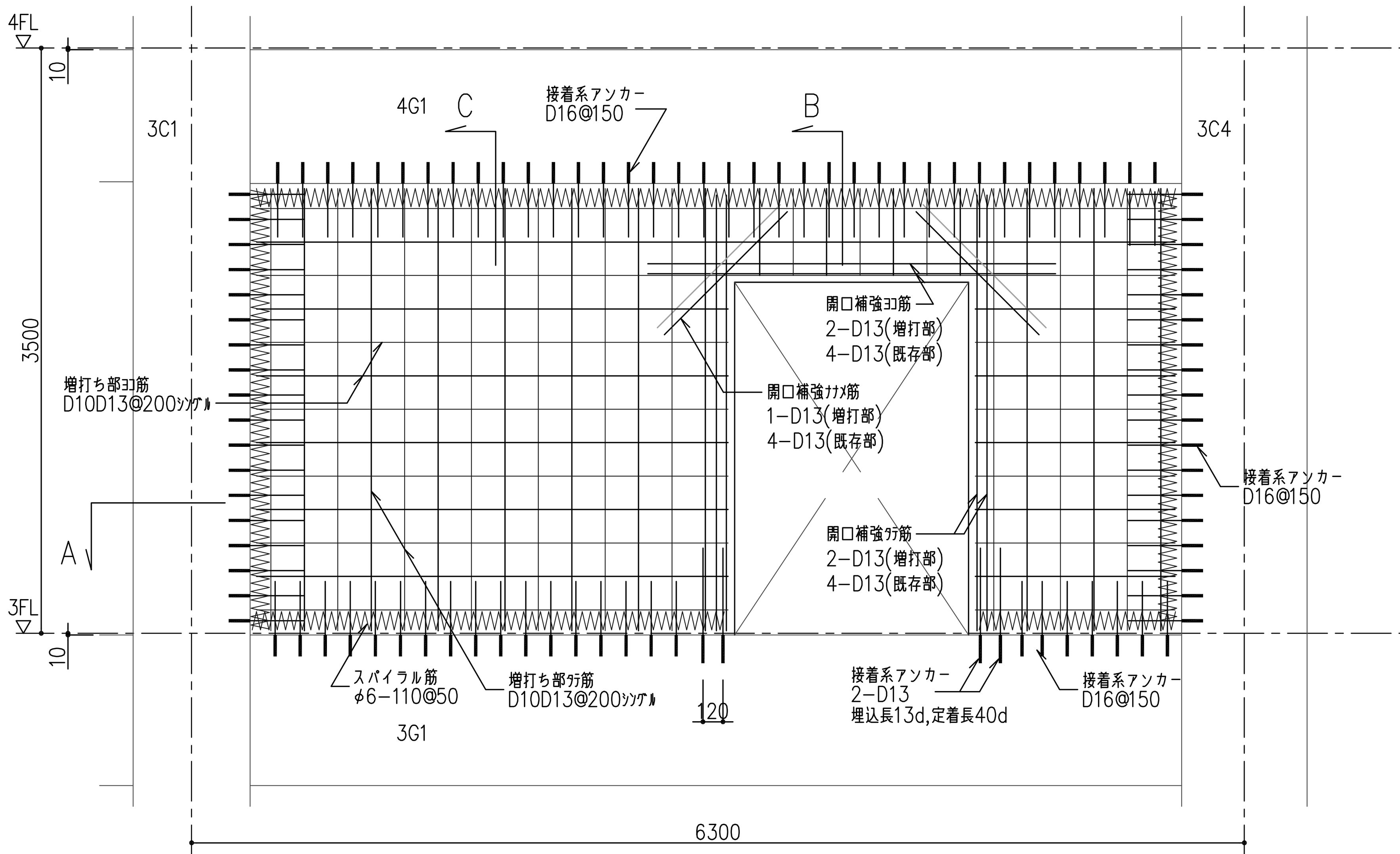
工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 67 号	
図面名称	増打ち壁配筋要領図(2)	縮尺	A1:1/30
課長 / 副課長 / 係長 / 係員		作成	令和4年 7 月
滋賀大学施設管理課			

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第151119号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (U.A)第02291号
総括 / 主任 / 担当

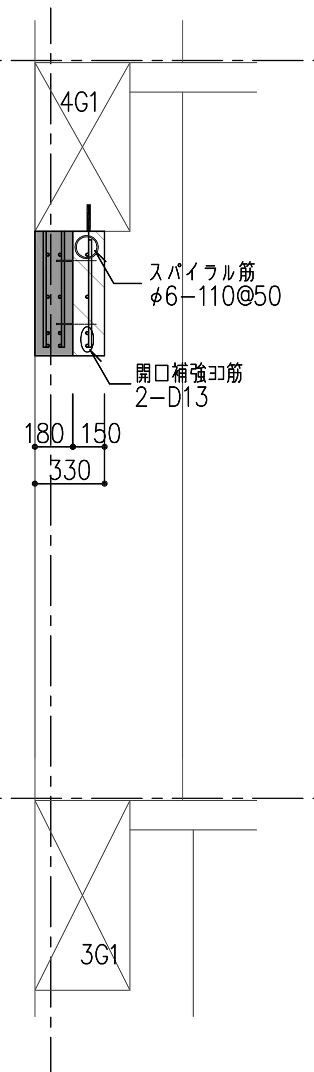
業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	増打ち壁配筋要領図(2)	A1 1/30 A3 1/60	S−14

Es通り3階15s−16s間

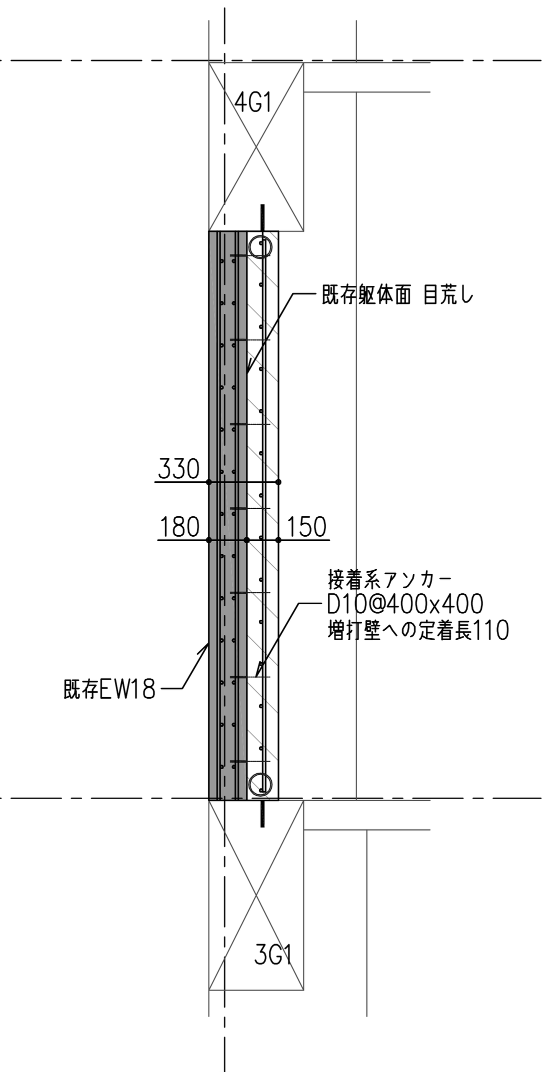
EW18増打ち配筋要領



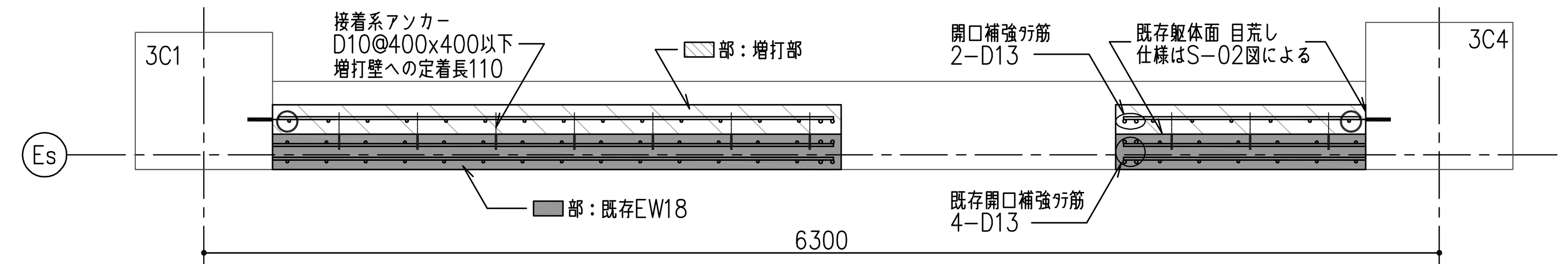
増打ち部配筋要領



B断面



C断面



A断面

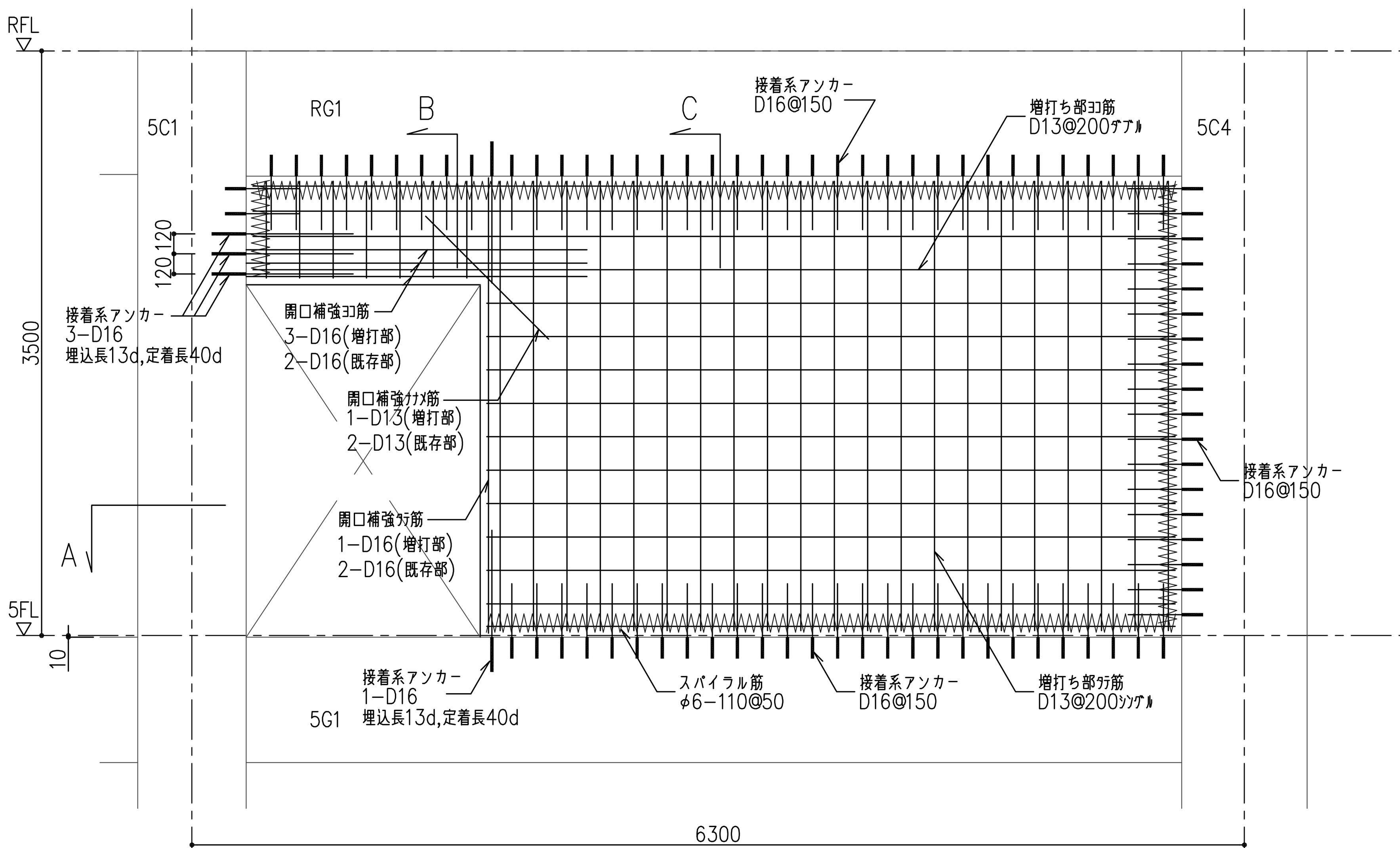
既存部材リスト ※ EW18はS−03図による

符 号	3C1	3C4
断 面	5 / 4 / 700 / 700	4 / 4 / 750 / 750
B x D	700x700	750x750
主 筋	14−D25	12−D25
帯 筋	◫−D13@90	□−D13@100

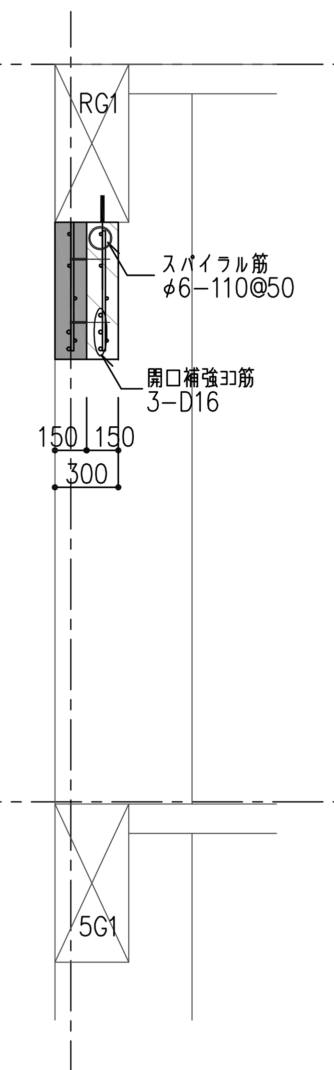
符 号	3G1		4G1	
断 面	端部 450 900	中央 450	端部 450 800	中央 450
B x D	450x900		450x800	
上端主筋	4−D25	3−D25	4−D25	3−D25
下端主筋	3−D25	4−D25	3−D25	4−D25
肋 筋	□−D13@200		□−D13@200	
腹 筋	4−D10		2−D10	

Es通り5階15s−16s間

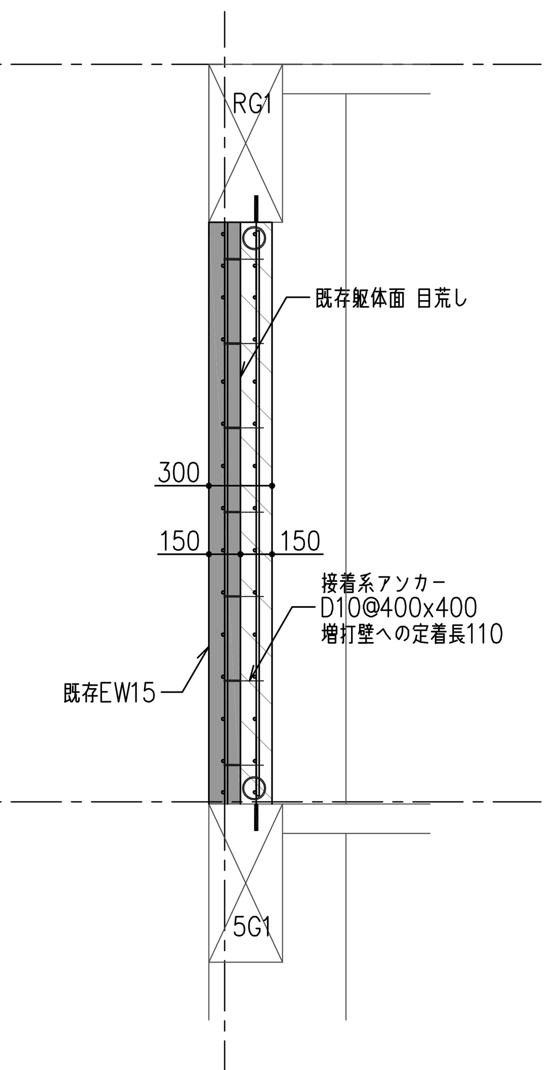
EW15増打ち配筋要領



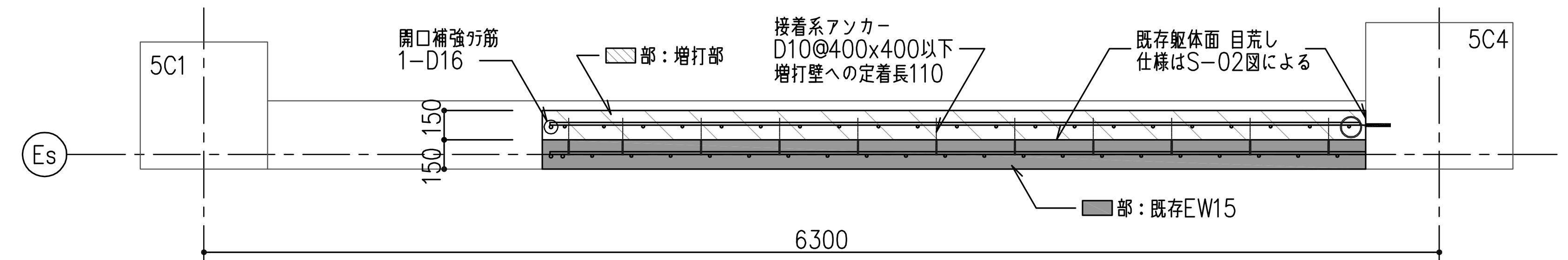
増打ち部配筋要領



B断面



C断面



A断面

既存部材リスト ※ EW15はS−03図による

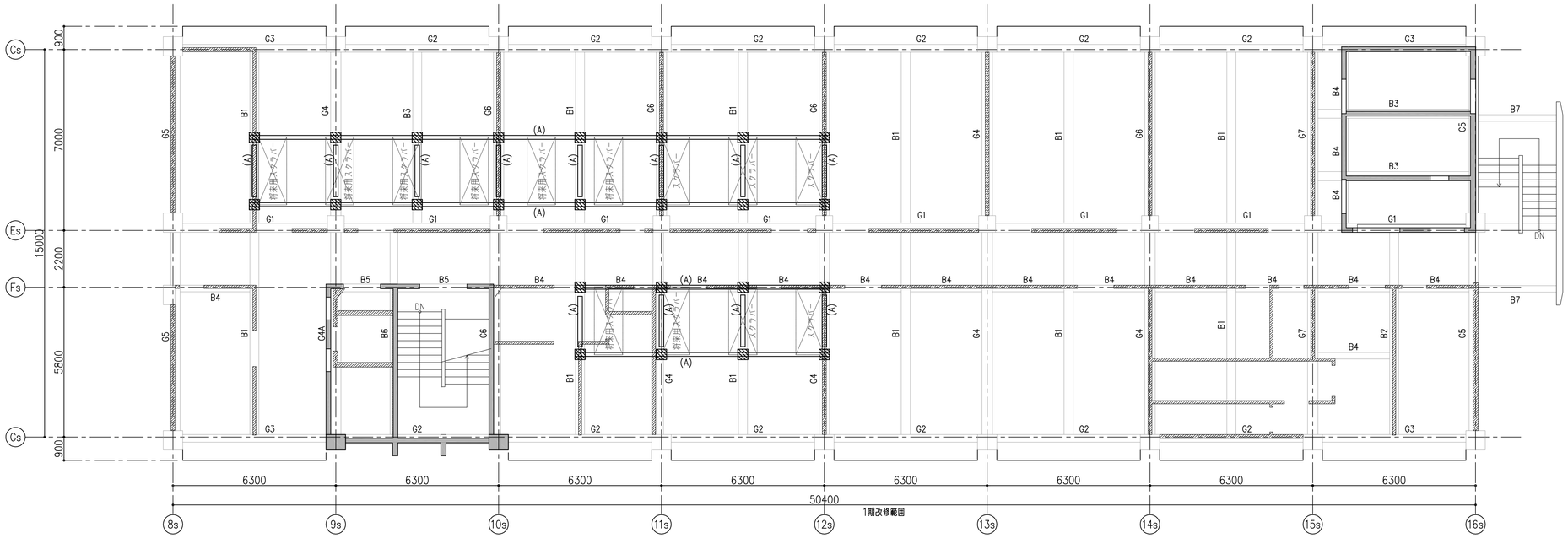
符 号	5C1	5C4
断 面	3 / 3 / 650 / 650	4 / 4 / 750 / 750
B x D	650x650	750x750
主 筋	8−D25	12−D25
帯 筋	□−D13@100	□−D13@100

符 号	5G1		RG1	
断 面	端部 350 750	中央 350	端部 350 750	中央 350
B x D	350x750		350x750	
上端主筋	5−D25	3−D25	5−D25	3−D25
下端主筋	4−D25	5−D25	4−D25	5−D25
肋 筋	□−D13@125		□−D13@125	
腹 筋	2−D10		2−D10	

工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）	69 枚のうち 68 号
図面名称	増打ち壁配筋要領図(3)	縮尺 A1:1/30
課 長 / 副 課 長 / 係 長 / 係 員		作成 令和4年 7 月
滋 賀 大 学 施 設 管 理 課		

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (31A)第02291号
総 括 / 主 任 / 担 当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	縮尺	図面番号
図面名称	増打ち壁配筋要領図(3)	A1 1/30 / A3 1/60	S-15

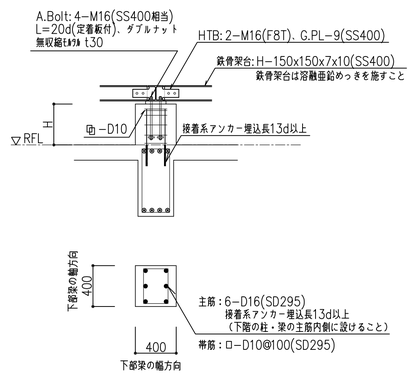


R階伏図（改修図）

特記事項

1. ▧ は、新設設備基礎を示す。
2. ▨ は、下階壁を示す。
3. (A) は、設備架台 H-150x150x7x10 (SS400)を示す。
4.

設備基礎配筋要領



工事名称	滋賀大学（石山）自然科学棟改修工事（Ⅰ期）			69 枚のうち 69 号	
図面名称	R階改修伏図			縮尺 A1:1/100	
課長	副課長	係長	係員	作成 令和4年 7 月	
滋賀大学施設管理課					

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司 (登録第351119号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (1A)第02291号

総括	主任	担当

業務名称	滋賀大学（石山）総合研究棟改修（自然科学系）建築設計業務	
図面名称	R階改修伏図	
縮尺	A1 1/100 A3 1/200	
図面番号	S-16	